

目次

[こんなことができます](#)

[便利なソフトウェアについて](#)

[スキャン](#)

[パソコンからスキャンしてみよう](#)

[IJ Scan Utilityでスキャンする](#)

[スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは](#)

[IJ Scan Utilityを起動する](#)

[おまかせスキャンでかんたんにスキャンする](#)

[写真をスキャンする](#)

[文書をスキャンする](#)

[フィルムをスキャンする](#)

[お気に入りの設定でスキャンする](#)

[原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）](#)

[複数の原稿を一度にスキャンする](#)

[スキャン結果を確認して保存する](#)

[スキャンした画像をEメールに添付して送信する](#)

[スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）](#)

[IJ Scan Utilityの画面説明](#)

[IJ Scan Utility基本画面](#)

[スキャン設定ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(おまかせ\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(写真\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(文書\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(お気に入り\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(貼り合わせ\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(ScanGear\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(AUTO SCANボタン\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(PDF \(カラー\)ボタン\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(PDF \(白黒\)ボタン\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(PDF \(お気に入り\)ボタン\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(COPYボタン\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(E-MAILボタン\)\] ダイアログ](#)

[\[スキャン設定\(基本設定\)\] ダイアログ](#)

[「データ形式の設定」ダイアログ](#)

[「保存設定」ダイアログ](#)

[「画像貼り合わせ」ウィンドウ](#)

[お使いのアプリケーションソフトでスキャンする \(ScanGear\)](#)

[ScanGear \(スキャナードライバー\) とは](#)

[ScanGear \(スキャナードライバー\) で細かく設定してスキャンしよう](#)

[ScanGear \(スキャナードライバー\) を起動する](#)

[「基本モード」でスキャンする](#)

[「拡張モード」でスキャンする](#)

[「拡張モード」でフィルムをスキャンする](#)

[ScanGear \(スキャナードライバー\) で複数の原稿を一度にスキャンする](#)

[ScanGear \(スキャナードライバー\) で画像補正や色調整を試みよう](#)

[画像補正のしかた \(輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など\)](#)

[色調整パターンを使った色調整のしかた](#)

[彩度・カラーバランスの調整のしかた](#)

[明るさ・コントラストの調整のしかた](#)

[ヒストグラムの調整のしかた](#)

[トーンカーブの調整のしかた](#)

[白黒設定のしかた](#)

[ScanGear \(スキャナードライバー\) の画面説明](#)

[「基本モード」シート](#)

[「拡張モード」シート](#)

[「入力設定」](#)

[「出力設定」](#)

[「画像設定」](#)

[色調整ボタン](#)

[「詳細設定」ダイアログ](#)

[「スキャナー」シート](#)

[「プレビュー」シート](#)

[「スキャン」シート](#)

[「色の設定」シート](#)

[使用上の注意 \(スキャナードライバー\)](#)

[スキャンの役立つ情報](#)

[クロップ枠の調整のしかた](#)

[解像度について](#)

[データ形式について \(ファイルの種類/フォーマット\)](#)

[カラーマッチングについて](#)

[原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)

[フィルムのセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)

[便利なソフトウェアについて](#)

[My Image Gardenガイド](#)

[My Image Gardenとは](#)

[My Image Gardenでできること](#)

[ファイル形式について](#)

[画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)

[My Image Gardenを起動しよう](#)

[おすすめの作品機能を活用しよう](#)

[My Image Gardenが提案する作品を楽しもう](#)

[写真にいろいろな情報を登録しよう](#)

[人物を登録する](#)

[人物のプロフィールを登録する](#)

[イベントを登録する](#)

[お気に入り度を登録する](#)

[印刷してみよう](#)

[写真や文書を印刷しよう](#)

[スライドショーに表示されたおすすめの作品や画像を印刷しよう](#)

[作品を作って印刷しよう](#)

[写真をいろいろなレイアウトで印刷する](#)

[コラージュを印刷する](#)

[カードを印刷する](#)

[カレンダーを印刷する](#)

[シールを印刷する](#)

[ディスクレーベルを印刷する](#)

[動画風のレイアウトで印刷する](#)

[クラフトを印刷する](#)

[プレミアムコンテンツをダウンロードして印刷しよう](#)

[動画から静止画を切り出して印刷しよう](#)

[動画からフレーム合成した画像を作成する](#)

[動画から切り出した静止画を補正する](#)

[いろいろな使い方をしてみよう](#)

[写真や文書をスキャンしよう](#)

[おまかせスキャンでかんたんにスキャンする](#)

[写真をスキャンする](#)

[文書をスキャンする](#)

[お気に入りの設定でスキャンする](#)

[スキャンした画像の一部を切り出す \(トリミング\)](#)

[作品を編集しよう](#)

[テーマや主役を設定する](#)

[背景を変更する](#)

[レイアウトを変更する](#)

[自動的に写真を並べる](#)

[ページを追加／削除／並べ替えする](#)

[画像を挿入／調整する](#)

[文字を入れる](#)

[写真を補正／加工して仕上げよう](#)

[自動写真補正を行う](#)

[赤目補正を行う](#)

[顔明るく補正を行う](#)

[顔くっきり補正を行う](#)

[美肌加工を行う](#)

[ほくろ除去を行う](#)

[画像調整を行う](#)

[写真をトリミングしよう](#)

[特殊なフィルターを使って写真を加工しよう](#)

[魚眼風加工する](#)

[ジオラマ風加工する](#)

[トイカメラ風加工する](#)

[やわらかい雰囲気加工する \(ソフトフォーカス\)](#)

[背景をぼかす](#)

[PDFファイルを作成／編集しよう](#)

[画像から文字を抜きだそう \(OCR機能\)](#)

[写真共有サイトから画像をダウンロードしよう](#)

[My Image Gardenの画面説明](#)

[メイン画面](#)

[\[マイ アート\] ビュー](#)

[\[テーマと主役の選択\] ダイアログ](#)

[\[背景の選択\] ダイアログ](#)

[\[レイアウト選択\] ダイアログ](#)

[\[詳細設定\] ダイアログ \(シール\)](#)

[\[詳細設定\] ダイアログ \(写真レイアウト\)](#)

[\[詳細設定\] ダイアログ \(カレンダー\)](#)

[\[詳細設定\] ダイアログ \(カレンダーの休日設定\)](#)

[\[詳細設定\] ダイアログ \(ディスクレーベル\)](#)

[\[カレンダー\] ビュー](#)

[\[イベント登録\] ダイアログ](#)

[\[イベント\] ビュー](#)

[\[人物\] ビュー](#)

[\[プロフィール登録\] ダイアログ](#)

[展開表示](#)

[\[未登録人物\] ビュー](#)

[フォルダービュー](#)

[\[スキャン\] ビュー](#)

[\[トリミング\] ビュー \(\[スキャン\] ビュー \)](#)

[\[保存\] ダイアログ \(\[スキャン\] ビュー \)](#)

[\[PDF設定\] ダイアログ](#)

[\[写真共有サイト\] ビュー](#)

[\[保存\] ダイアログ \(\[写真共有サイト\] ビュー \)](#)

[\[動画切り出し\] ビュー](#)

[\[補正\] ビュー](#)

[\[フレーム合成\] ビュー](#)

[\[保存\] ダイアログ \(\[動画切り出し\] ビュー \)](#)

[\[プレミアムコンテンツの入手\] ビュー](#)

[\[入手したプレミアムコンテンツ\] ビュー](#)

[\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)

[\[トリミング\] ウィンドウ](#)

[\[保存\] ダイアログ \(\[画像の補正/加工\] / \[画像の特殊フィルター\] ウィンドウ \)](#)

[\[画像の特殊フィルター\] ウィンドウ](#)

[\[PDFの作成/編集\] ビュー](#)

[\[保存\] ダイアログ \(\[PDFの作成/編集\] ビュー \)](#)

[\[ファイル設定\] ダイアログ](#)

[印刷設定ダイアログ](#)

[用紙サイズ一覧](#)

[\[環境設定\] ダイアログ](#)

[困ったときには](#)

[プレミアムコンテンツが利用できない](#)

[使用上の注意 \(My Image Garden\)](#)

[スキャナーの操作ボタン \(EZボタン\) でスキャンする](#)

[EZ \(イージー\) ボタンとは](#)

原稿をスキャンしてPDF文書として保存する (PDFボタン)

原稿をスキャンして画像を保存する (オートスキャン (AUTO SCAN) ボタン)

原稿をスキャンしてプリント/コピーする (コピー (COPY) ボタン)

原稿をスキャンしてEメールに添付する (Eメール (E-MAIL) ボタン)

IJ Scan UtilityでEZボタンの動作設定をする

困ったときには

スキャンができない

「ロックスイッチを解除し、...」というエラーメッセージが表示され、スキャンできない

スキャナーが動かない

ScanGear (スキャナードライバー) がアプリケーションソフトから呼び出せない

エラーメッセージが表示されてScanGear (スキャナードライバー) の画面が表示できない

EZボタンが使えない

EZボタンを押すと意図しないアプリケーションソフトに画像が渡される

複数の原稿を一度にスキャンできない

「おまかせスキャン」でうまくスキャンできない

スキャンに時間がかかる

「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない

スキャンの途中でパソコンが動かなくなった

スキャンした画像が開けない

EZボタンからスキャンしたときに画像の位置やサイズが正しく読めない

スキャン結果に満足できない

きれいにスキャンできない (モニターに表示された画像がきたない)

スキャンした画像の周囲に余白ができる

正しいサイズで読み込めない

原稿を正しくセットしたが、スキャンした画像が傾いている

スキャンした画像が、パソコンの画面で大きく (小さく) 表示される

ソフトウェアのトラブル

スキャンした画像が大きく (小さく) 印刷される

使用したいメールソフトが、メールソフトの選択画面に表示されない

フィルムスキャンのトラブル

フィルムのスキャンができない

きれいにスキャンできない、適切な色あいでスキャンできない

クロップ枠を移動、拡大/縮小すると、色あいがおかしくなる

コマを正しく認識できない

スキャンの途中で止まる、または「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない

インストールのトラブル

セットアップ CD-ROMが起動しない

[インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった](#)

[「メモリーが足りません...」のメッセージが出てインストールできない](#)

[\[インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム\] について](#)

[IJ Scan Utilityメッセージ/エラーメッセージ一覧](#)

[ScanGear（スキャナードライバー）メッセージ/エラーメッセージ一覧](#)

仕様

[電子マニュアルの使いかた、印刷方法](#)

[電子マニュアルを操作する](#)

[電子マニュアルを印刷する](#)

[調べたい項目をキーワードで探す](#)

[マイマニュアルに登録する](#)

[本文中の記号](#)

[商標、ライセンスについて](#)

[電子マニュアルを削除する](#)

[ご使用前にお読みください](#)

[最新のScanGear（スキャナードライバー）を入手する](#)

[ScanGear（スキャナードライバー）をインストールする前に](#)

[ScanGear（スキャナードライバー）をインストールする](#)

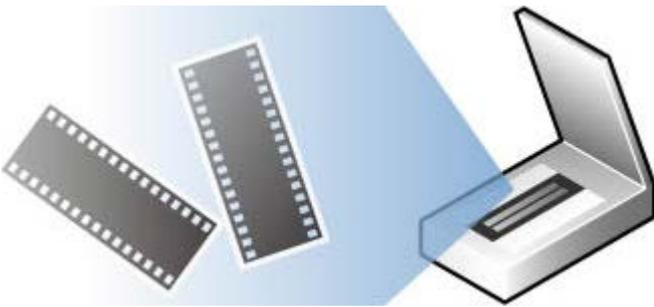
[不要になったScanGear（スキャナードライバー）を削除する](#)

こんなことができます



原稿の種類を自動で判別してスキャン

スキャンする原稿に合わせて、スキャナーが自動的におすすめの設定でスキャンします。



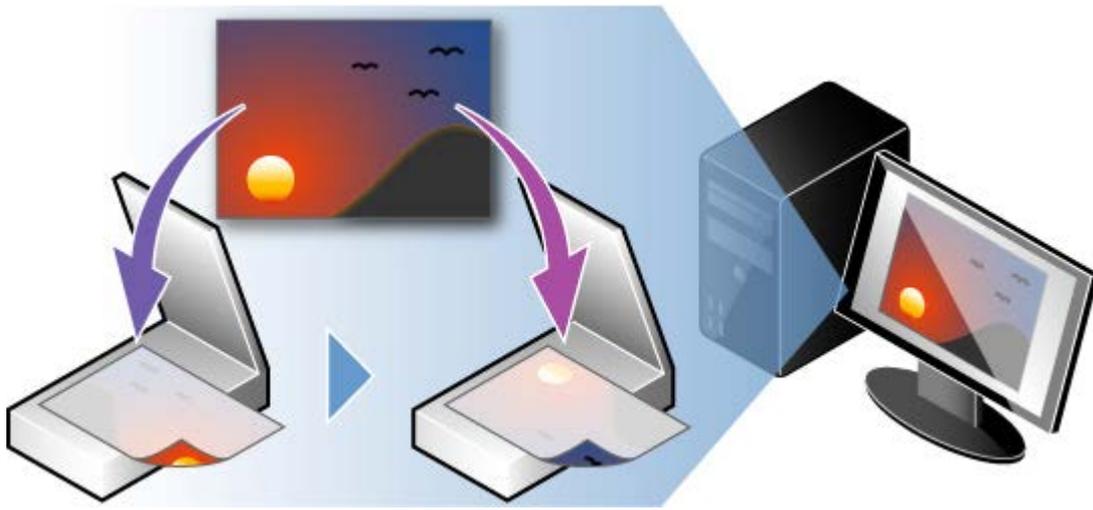
フィルムをスキャン

お手持ちのフィルムから写真データをスキャンできます。



複数の原稿を一度にスキャン

いくつかの原稿を一度にスキャンできます。



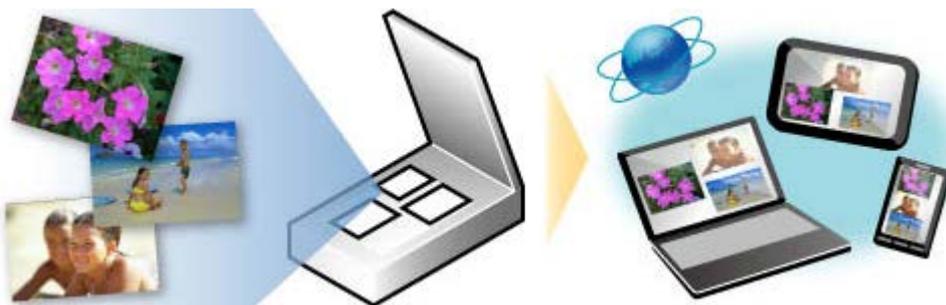
原稿台よりも大きな原稿をスキャン

原稿台よりも大きな原稿をスキャンできます。



便利なソフトウェアについて

付属のソフトウェアで便利な機能をかたんにご使用いただけます。



オンラインストレージ連携機能

スキャンした画像をかたんにウェブ上にアップロードできます。

A001

便利なソフトウェアについて

本製品では、下記のような便利なソフトウェアをご使用いただけます。

- My Image Garden (マイ・イメージ・ガーデン)
- Quick Menu (クイック・メニュー)

My Image Gardenについて

My Image Gardenは、パソコンに保存されているデジタルカメラで撮影した写真などの画像を、さまざまな用途で幅広く活用するためのアプリケーションソフトです。膨大な画像をかたんに整理したり、お気に入りの写真からコラージュやカードなどを作成して印刷したりできます。さらに、ワンクリックでいろいろなスキャンができます。



➡ My Image Gardenガイド

重要

- 画像や作品を印刷するには、My Image Gardenに対応したキヤノン製プリンターが必要となります。

Quick Menuについて

Quick Menuは、本製品に付属のアプリケーションソフトや取扱説明書をかたんに起動したり、お役立ちサイトにすぐアクセスしたりできるソフトウェアです。また、同時にインストールされるImage Display (イメージ・ディスプレイ) では、My Image Gardenのおすすめの作品機能で自動作成されたコラージュなどの作品イメージや、パソコンに保存されている画像のスライドショーを楽しむことができます。



参考

- 初期設定では、ご使用のパソコンを起動すると、Quick Menuが自動的に起動します。
- [Finder] の [移動] メニューから [アプリケーション] を選び、[Canon Utilities] フォルダ、[Quick Menu] フォルダ、[Canon Quick Menu] アイコンの順にダブルクリックすると、Quick Menuが起動します。
- Quick Menuを起動してもImage Displayが表示されない場合は、 (Image Display起動) アイコンをクリックしてください。My Image Gardenがインストールされていない場合は、アプリケーションソフトをダウンロードしてインストールします。ソフトウェアをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- お役立ち情報などが記載されたホームページへアクセスするには、インターネットへの接続が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- Quick Menuの詳細については、Quick Menuのヘルプをご覧ください。ヘルプを表示するには、controlキーを押しながらQuick Menuをクリックして表示されるメニューから [ヘルプ] を選びます。
- My Image Gardenのおすすめの作品機能を使用するには、事前に情報を登録しておく必要があります。詳細については、My Image Gardenのマニュアルをご覧ください。

[ページの先頭へ ▲](#)

スキャン

- パソコンからスキャンしてみよう
 - IJ Scan Utilityでスキャンする
 - お使いのアプリケーションソフトでスキャンする (ScanGear)
 - スキャンの役立つ情報
 - 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)
 - フィルムのセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)
 - 便利なソフトウェアについて
- スキャナーの操作ボタン (EZボタン) でスキャンする
 - EZ (イージー) ボタンとは
 - 原稿をスキャンしてPDF文書として保存する (PDFボタン)
 - 原稿をスキャンして画像を保存する (オートスキャン (AUTO SCAN) ボタン)
 - 原稿をスキャンしてプリント/コピーする (コピー (COPY) ボタン)
 - 原稿をスキャンしてEメールに添付する (Eメール (E-MAIL) ボタン)
 - IJ Scan UtilityでEZボタンの動作設定をする

[ページの先頭へ ▲](#)

パソコンからスキャンしてみよう

- [IJ Scan Utilityでスキャンする](#)
- [お使いのアプリケーションソフトでスキャンする \(ScanGear\)](#)
- [スキャンの役立つ情報](#)
- [原稿のセットのしかた \(パソコンからスキャンする場合\)](#)
- [フィルムのセットのしかた \(パソコンからスキャンする場合\)](#)
- [便利なソフトウェアについて](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

IJ Scan Utilityでスキャンする

- スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは
- IJ Scan Utilityを起動する
- おまかせスキャンでかんたんにスキャンする
- 写真をスキャンする
- 文書をスキャンする
- フィルムをスキャンする
- お気に入りの設定でスキャンする
- 原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）
- 複数の原稿を一度にスキャンする
- スキャン結果を確認して保存する
- スキャンした画像をEメールに添付して送信する
- スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）
- IJ Scan Utilityの画面説明

[ページの先頭へ▲](#)

S102

スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）は、写真や文書などを手軽にスキャンできるアプリケーションソフトです。

IJ Scan Utility基本画面で目的のアイコンをクリックするだけで、スキャンから保存までを一度に行うことができます。



IJ Scan Utilityでできること

目的に合わせてかんたんにスキャン

かんたんにスキャンしたいときは「おまかせ」、写真に適した設定でスキャンしたいときは「写真」、文書や雑誌の文字をくっきりさせてスキャンしたいときは「文書」など、原稿の種類や目的に合ったアイコンをクリックするだけでスキャンできます。

参考

- IJ Scan Utility基本画面の詳細については、「[IJ Scan Utility基本画面](#)」をご覧ください。

スキャンした画像を自動で保存

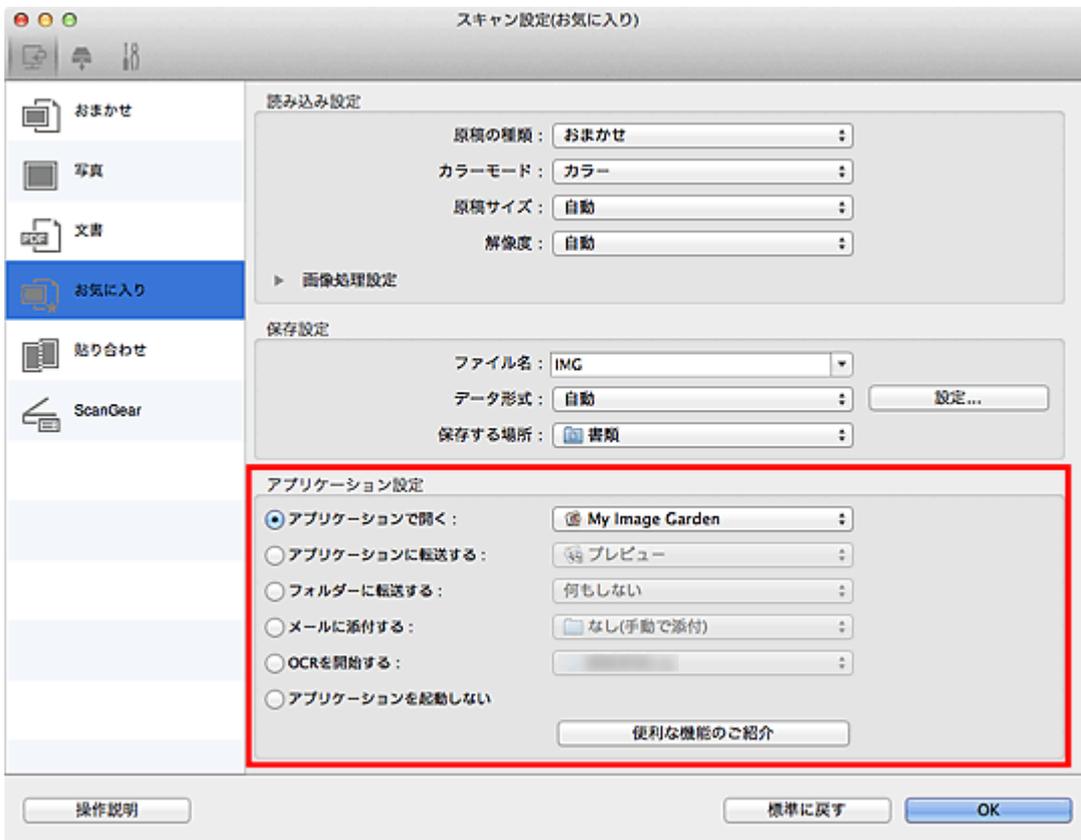
スキャンした画像は、あらかじめ指定されているフォルダーに自動で保存されます。保存先を変更することも可能です。

参考

- 初期設定では、「書類」フォルダーに保存されます。
- 保存先の指定方法については、「[スキャン設定ダイアログ](#)」をご覧ください。

アプリケーションソフトとの連携

スキャンした画像をお好みのアプリケーションソフトで表示したり、メールに添付したり、画像から文字をテキストとして抽出するなど、ほかのアプリケーションと連携してスキャン画像を活用することができます。



重要

- いくつかの機能については、My Image Gardenがインストールされている場合のみ使用できます。

参考

- 連携するアプリケーションの設定方法については、「スキャン設定ダイアログ」をご覧ください。

ページの先頭へ ▲

S001

IJ Scan Utility

IJ Scan Utilityを起動する

Finderの[移動]メニューから[アプリケーション]を選び、[Canon Utilities]フォルダー、[IJ Scan Utility]フォルダー、[Canon IJ Scan Utility]アイコンの順にダブルクリックすると、IJ Scan Utilityが起動します。



[ページの先頭へ▲](#)

おまかせスキャンでかんたんにスキャンする

原稿の種類を自動で判別し、かんたんにスキャンできます。

重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear（スキャナードライバー）の全体表示でクロップ枠（スキャンする範囲）を調節して、再度スキャンしてください。
 - ・周囲が白っぽい写真
 - ・白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - ・薄い原稿
 - ・厚みのある原稿
- ➡ クロップ枠の調整のしかた

1. ご使用のスキャナーの電源が入っていることを確認

2. ご使用のスキャナーの原稿台に原稿をセット

- ➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

3. IJ Scan Utilityを起動

- ➡ IJ Scan Utilityを起動する

4. 【おまかせ】をクリック



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- 原稿の種類に合わせた最適な補正を行いたい場合は、[スキャン設定...] をクリックし、[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログで [おすすめの画像補正で処理する] にチェックマークを付けてください。
- スキャンした画像は、[スキャン設定...] をクリックして表示される [スキャン設定(おまかせ)] ダイアログで、[保存する場所] に設定したフォルダーに保存されます。[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。
 - ➡ [スキャン設定(おまかせ)] ダイアログ
- 原稿の種類を指定してスキャンしたいときは、以下のページを参照してください。
 - ➡ 写真をスキャンする
 - ➡ 文書をスキャンする
 - ➡ お気に入りの設定でスキャンする

写真をスキャンする

原稿台にセットされた写真を、写真に適した設定でスキャンできます。

1. 原稿台に写真をセット

- ➡ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)

2. IJ Scan Utilityを起動

- ➡ IJ Scan Utilityを起動する

3. 必要に応じて【スキャン設定...】をクリックし、【スキャン設定(写真)】ダイアログを選んで、原稿サイズや解像度などを設定

- ➡ 【スキャン設定(写真)】ダイアログ

設定が完了したら【OK】をクリックしてください。

4. 【写真】をクリック



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、【キャンセル】をクリックします。
- スキャンした画像は、【スキャン設定...】をクリックして表示される【スキャン設定(写真)】ダイアログで、【保存する場所】に設定したフォルダーに保存されます。【スキャン設定(写真)】ダイアログでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

- ➡ 【スキャン設定(写真)】ダイアログ

文書をスキャンする

原稿台にセットされた原稿を、文書に適した設定でスキャンできます。

1. 原稿台に原稿をセット

- ➡ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)

2. IJ Scan Utilityを起動

- ➡ IJ Scan Utilityを起動する

3. 必要に応じて【スキャン設定...】をクリックし、【スキャン設定(文書)】ダイアログを選んで、原稿サイズや解像度などを設定

- ➡ 【スキャン設定(文書)】ダイアログ

設定が完了したら【OK】をクリックしてください。

4. 【文書】をクリック



スキャンが開始されます。

参考

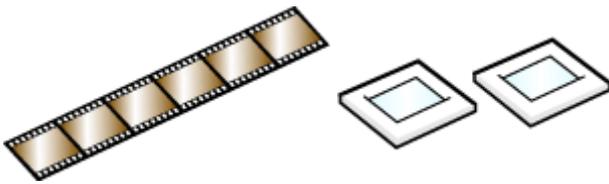
- スキャンを中止したいときは、【キャンセル】をクリックします。
- スキャンした画像は、【スキャン設定...】をクリックして表示される【スキャン設定(文書)】ダイアログで、【保存する場所】に設定したフォルダーに保存されます。【スキャン設定(文書)】ダイアログでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

- ➡ 【スキャン設定(文書)】ダイアログ

フィルムをスキャンする

ご使用のスキャナーでは、35 mmスリーブ（6コマずつつながった通常の現像仕上がり状態）のネガフィルムとポジフィルム、35 mmマウント（1コマずつスライド用マウントにセットした状態）のポジフィルムをスキャンすることができます。

スリーブフィルムは12コマまで、マウントフィルムは4コマまで、連続でスキャンできます。



35 mmスリーブフィルム 35 mmマウントフィルム

参考

- フィルムをプレビューで確認しながらスキャンしたり、細かく設定してきれいにスキャンしたりしたい場合は、ScanGear（スキャナードライバー）でスキャンしてください。
- モノクロフィルムやブローニーフィルムをスキャンするときは、ScanGearの【拡張モード】シートでスキャンしてください。
- 4800 dpiより高い解像度でスキャンするときは、ScanGearの【拡張モード】シートでスキャンしてください。
➡ 「拡張モード」でフィルムをスキャンする
- お気に入りの設定でスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. 原稿台にフィルムをセット

- ➡ フィルムのセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

2. IJ Scan Utilityを起動

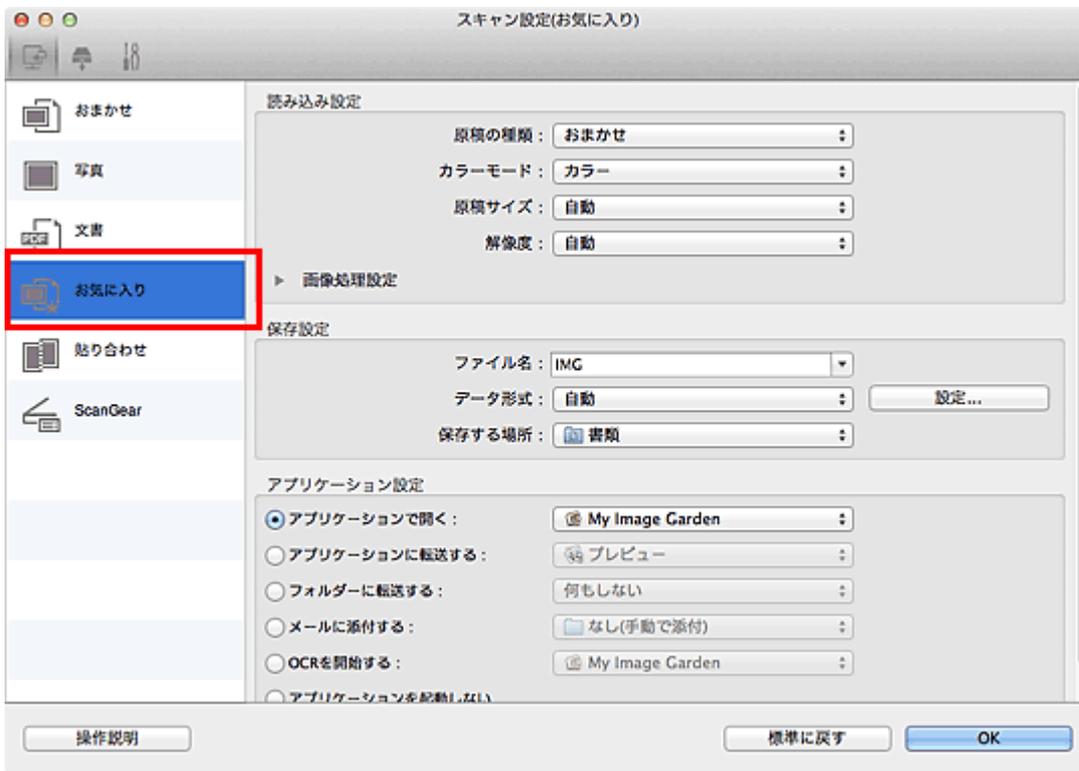
- ➡ IJ Scan Utilityを起動する

3. 【スキャン設定...】をクリック

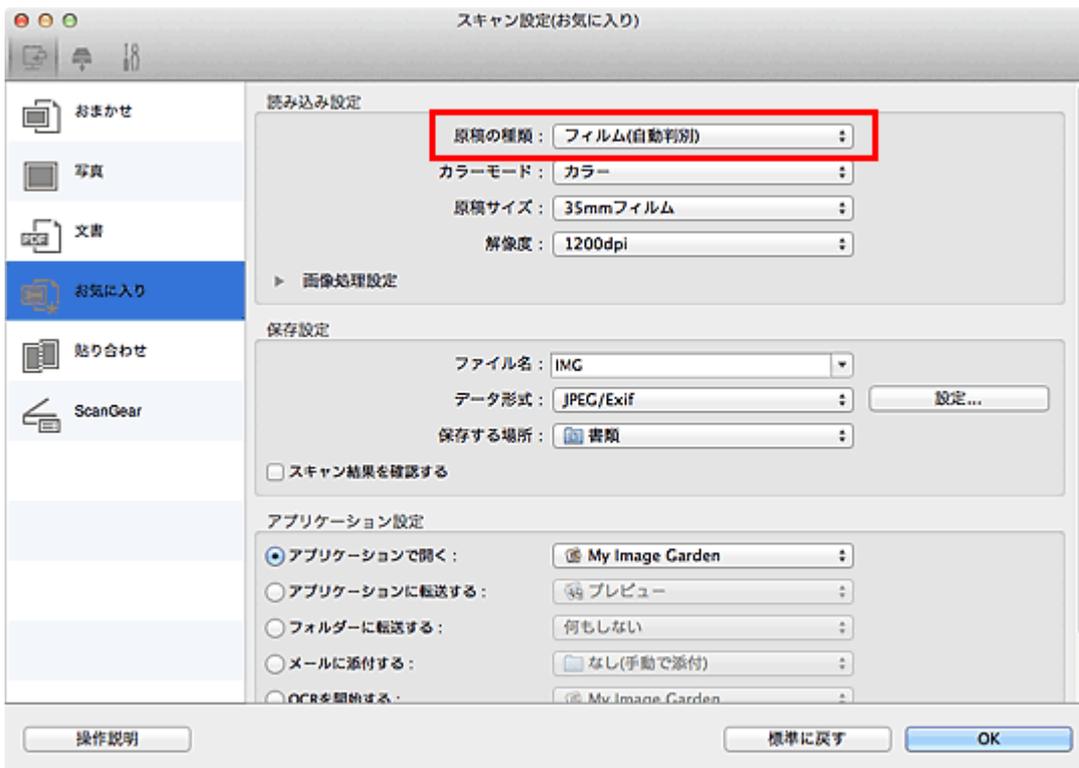


スキャン設定ダイアログが表示されます。

4. 【お気に入り】をクリック



5. 【原稿の種類】でフィルムを選択



6. 必要に応じて、カラーモードや解像度などを設定

➡ 【スキャン設定(お気に入り)】ダイアログ

設定が完了したら【OK】をクリックしてください。

7. 【お気に入り】をクリック



スキャンが開始されます。

重要

- フィルムが正しくスキャンできない場合は、ScanGearでスキャンしてください。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- スキャンした画像は、[スキャン設定...] をクリックして表示される [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログで、[保存する場所] に設定したフォルダーに保存されます。[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。
➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ

[ページの先頭へ▲](#)

お気に入りの設定でスキャンする

原稿台にセットされた原稿を、あらかじめ登録しておいたお好みの設定でスキャンできます。

よく使用する設定を登録しておいたり、スキャンの設定を細かく指定したりするときに便利です。

1. IJ Scan Utilityを起動

⇒ IJ Scan Utilityを起動する

2. 【スキャン設定...】をクリックし、【スキャン設定(お気に入り)】ダイアログを選んで、原稿の種類や解像度などを設定

⇒ 【スキャン設定(お気に入り)】ダイアログ

設定が完了したら【OK】をクリックしてください。

参考

- 1度設定しておく、次回以降も同じ設定でスキャンできます。

3. 原稿台に原稿をセット

⇒ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)

4. 【お気に入り】をクリック



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、【キャンセル】をクリックします。
- スキャンした画像は、【スキャン設定...】をクリックして表示される【スキャン設定(お気に入り)】ダイアログで、【保存する場所】に設定したフォルダーに保存されます。【スキャン設定(お気に入り)】ダイアログでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

⇒ 【スキャン設定(お気に入り)】ダイアログ

原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）

原稿台よりも大きなサイズの原稿を左右に分けてスキャンし、1つの画像に貼り合わせることができます。原稿台の約2倍のサイズの原稿まで対応できます。

参考

- ここでは、左側に配置する原稿から読み取る手順で説明します。

1. IJ Scan Utilityを起動

⇒ IJ Scan Utilityを起動する

2. 必要に応じて【スキャン設定...】をクリックし、【スキャン設定(貼り合わせ)】ダイアログを選んで、原稿の種類や解像度などを設定

⇒ 【スキャン設定(貼り合わせ)】ダイアログ

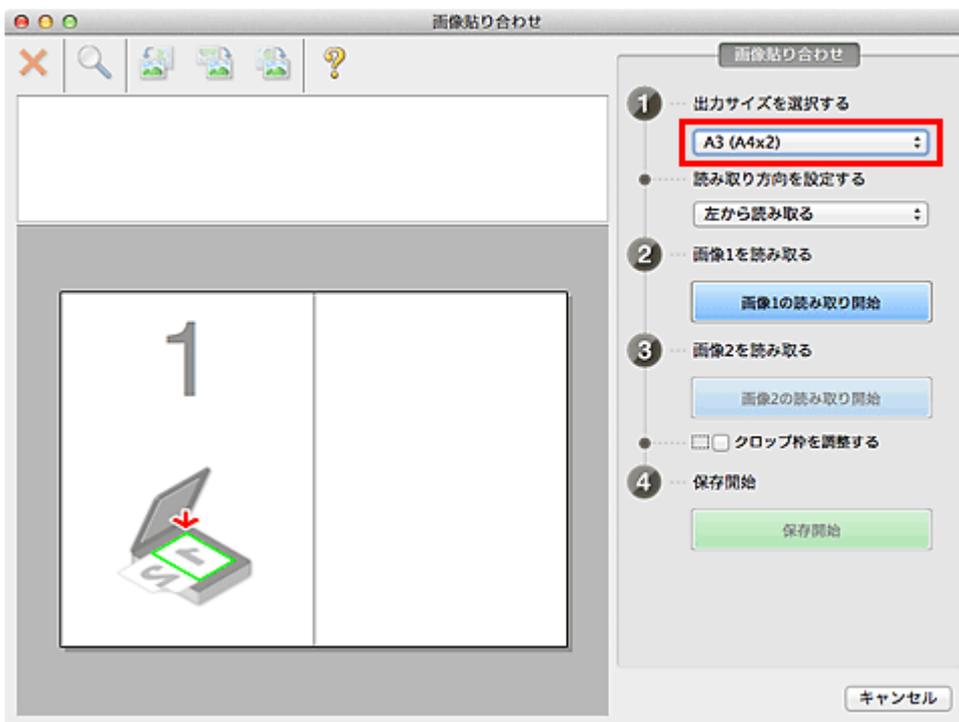
設定が完了したら【OK】をクリックしてください。

3. 【貼り合わせ】をクリック



【画像貼り合わせ】ウィンドウが表示されます。

4. 【出力サイズを選択する】で、原稿のサイズに合わせて出力サイズを選択

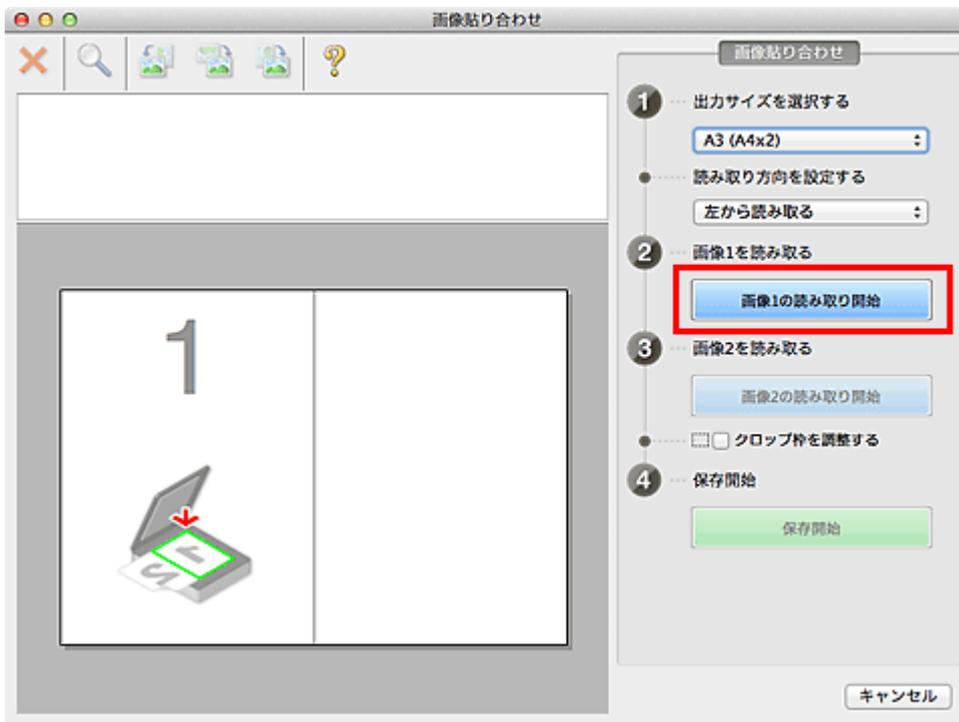


5. [読み取り方向を設定する] で [左から読み取る] が選ばれていることを確認



6. 画面の左側に配置する原稿を、スキャンする面を下にして原稿台にセット

7. [画像1の読み取り開始] をクリック



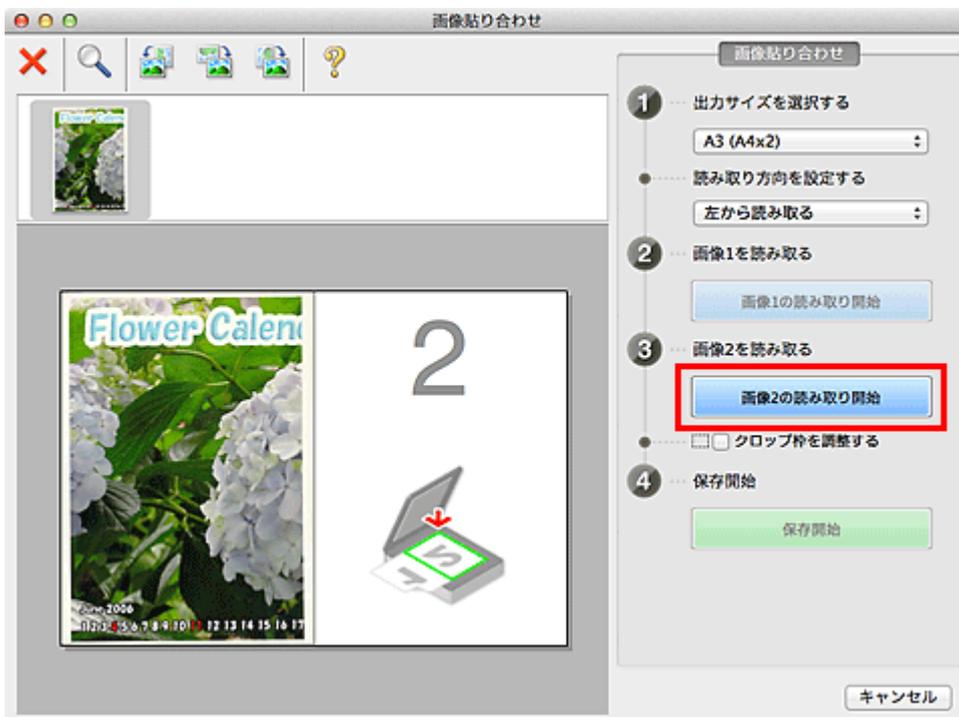
1枚目の原稿がスキャンされ、[1]に表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル]をクリックします。

8. 画面の右側に配置する原稿を、スキャンする面を下にして原稿台にセット

9. [画像2の読み取り開始]をクリック



2枚目の原稿がスキャンされ、[2]に表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル]をクリックします。

10. 必要に応じて、取り込んだ画像を調整

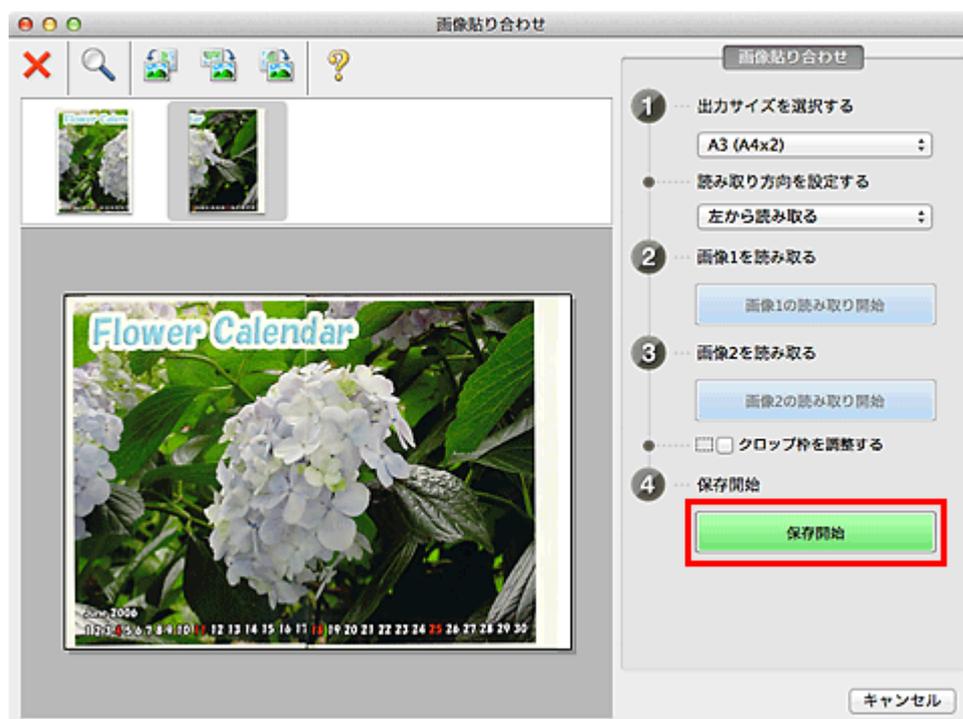
ツールバーを使用して回転や拡大／縮小表示したり、画像をドラッグして配置を調整したりします。



参考

- [クロップ枠を調整する] にチェックマークを付けると、保存する範囲を指定することができます。
➡ クロップ枠の調整のしかた
- 原稿をスキャンし直したい場合は、プレビュー領域の画像または画面上側のサムネイル画像を選び、
 (削除) をクリックしてください。選んだ画像が削除され、再度原稿をスキャンできるようになります。

11. 【保存開始】をクリック



貼り合わせた画像が保存されます。

- [画像貼り合わせ] ウィンドウの詳細については、「[\[画像貼り合わせ\] ウィンドウ](#)」をご覧ください。
- [スキャン設定...] をクリックして表示される [スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログで、スキャンするときの詳細な設定ができます。
 - ➡ [\[スキャン設定\(貼り合わせ\)\] ダイアログ](#)

複数の原稿を一度にスキャンする

原稿台にセットした2枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を一度にまとめてスキャンし、画像を1枚ずつ保存できます。

重要

- 次のような原稿は、正しく切り抜けないことがあります。その場合は、ScanGear（スキャナードライバー）の全体表示でクロップ枠（スキャンする範囲）を調節して、再度スキャンしてください。
 - ・周囲が白っぽい写真
 - ・白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - ・薄い原稿
 - ・厚みのある原稿
- ➡ ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする

おまかせスキャンの場合

原稿が複数あるかどうかは自動で判別されます。【おまかせ】をクリックし、スキャンしてください。

➡ おまかせスキャンでかんたんにスキャンする

おまかせスキャン以外の場合

スキャン設定ダイアログで、【原稿サイズ】を【自動読取】に設定し、スキャンしてください。

参考

- 写真をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. 原稿台に原稿をセット

➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

2. IJ Scan Utilityを起動

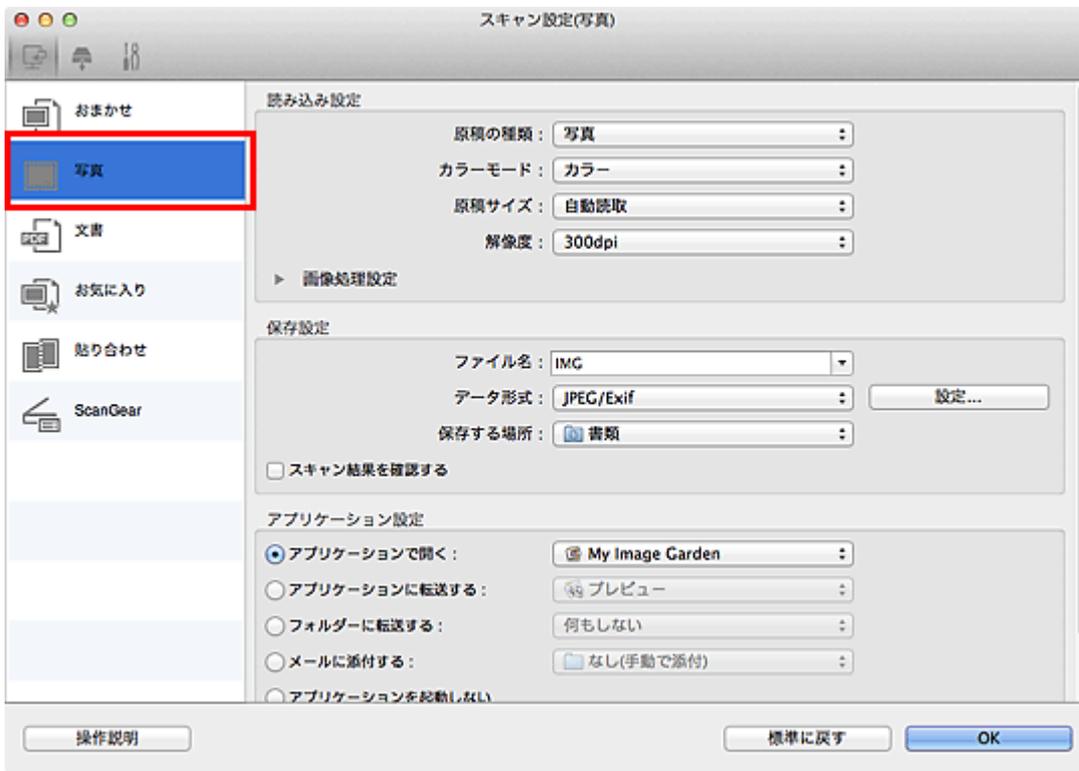
➡ IJ Scan Utilityを起動する

3. 【スキャン設定...】をクリック

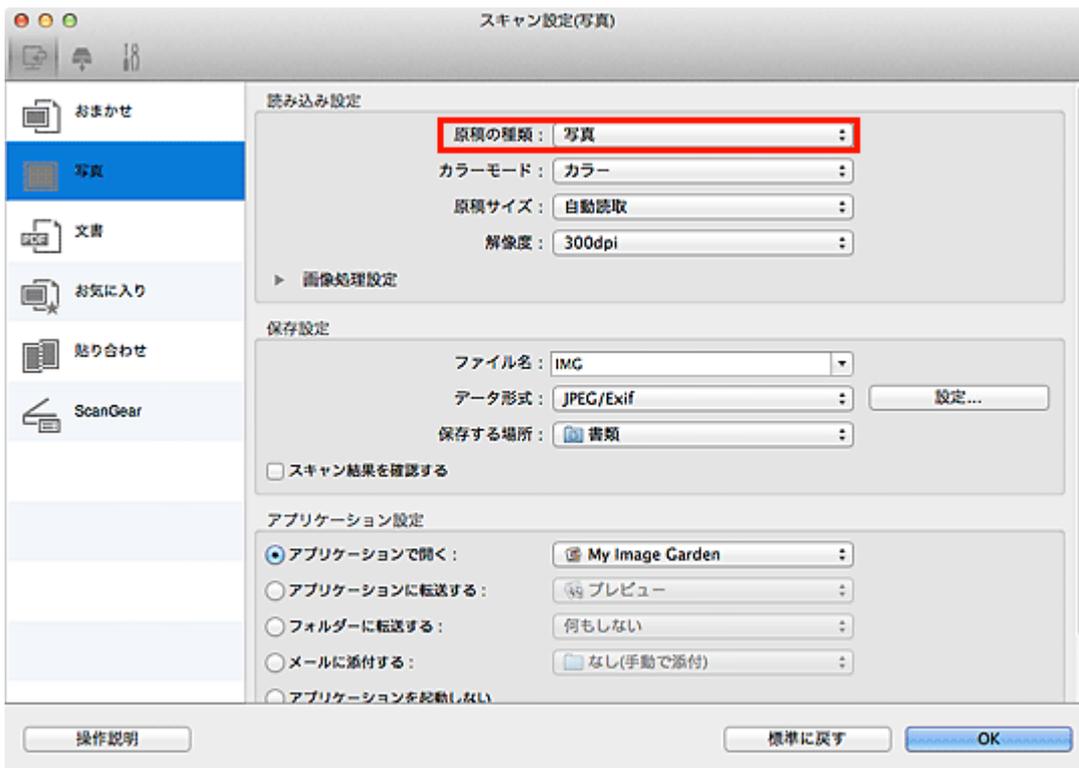


スキャン設定ダイアログが表示されます。

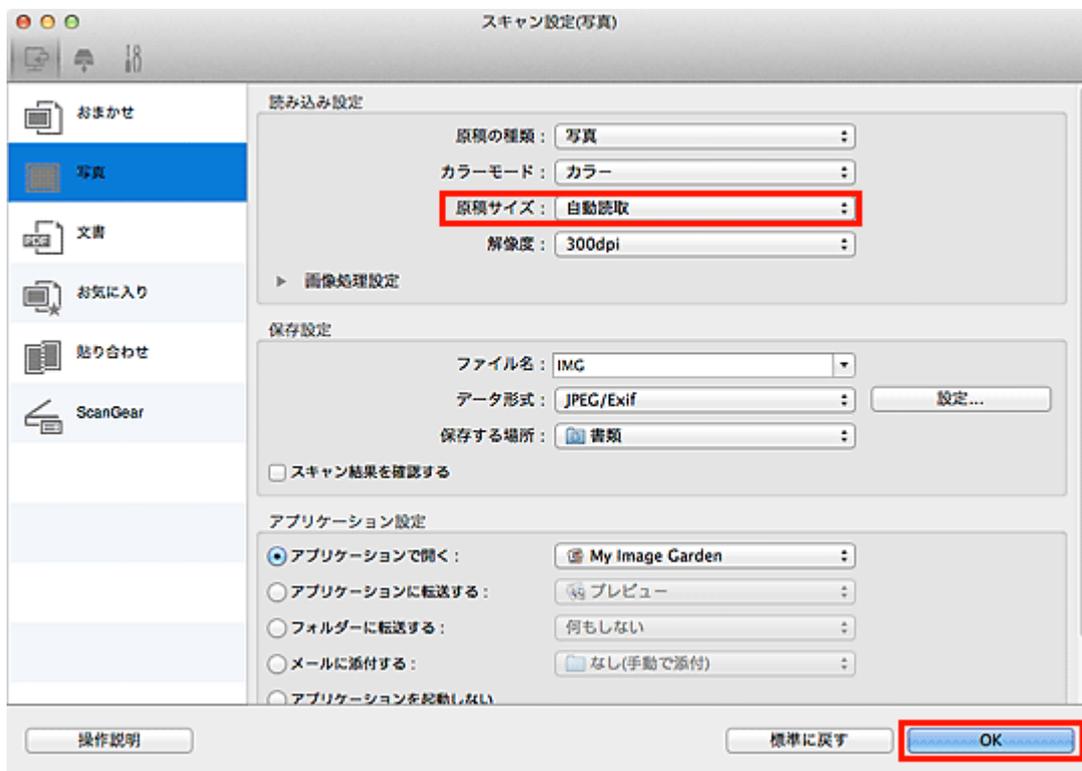
4. 【写真】をクリック



5. スキャンする原稿に合わせて、【原稿の種類】を選択



6. 【原稿サイズ】で【自動読取】を選択し、【OK】をクリック



IJ Scan Utility基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログの設定項目について、詳しくは以下のページをご覧ください。
 - ➡ [スキャン設定(写真)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ

7. [写真] をクリック



複数の原稿が一度にまとめてスキャンされます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- スキャンした画像は、[スキャン設定...] をクリックして表示される各スキャン設定ダイアログで、[保存する場所] に設定したフォルダーに保存されます。各スキャン設定ダイアログでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

[ページの先頭へ▲](#)

スキャン結果を確認して保存する

スキャン結果を確認して画像をパソコンに保存することができます。

参考

- [おまかせ] スキャンやEZボタンからスキャンした場合は、スキャン結果を確認して保存することはできません。
- 写真をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. IJ Scan Utilityを起動

➡ IJ Scan Utilityを起動する

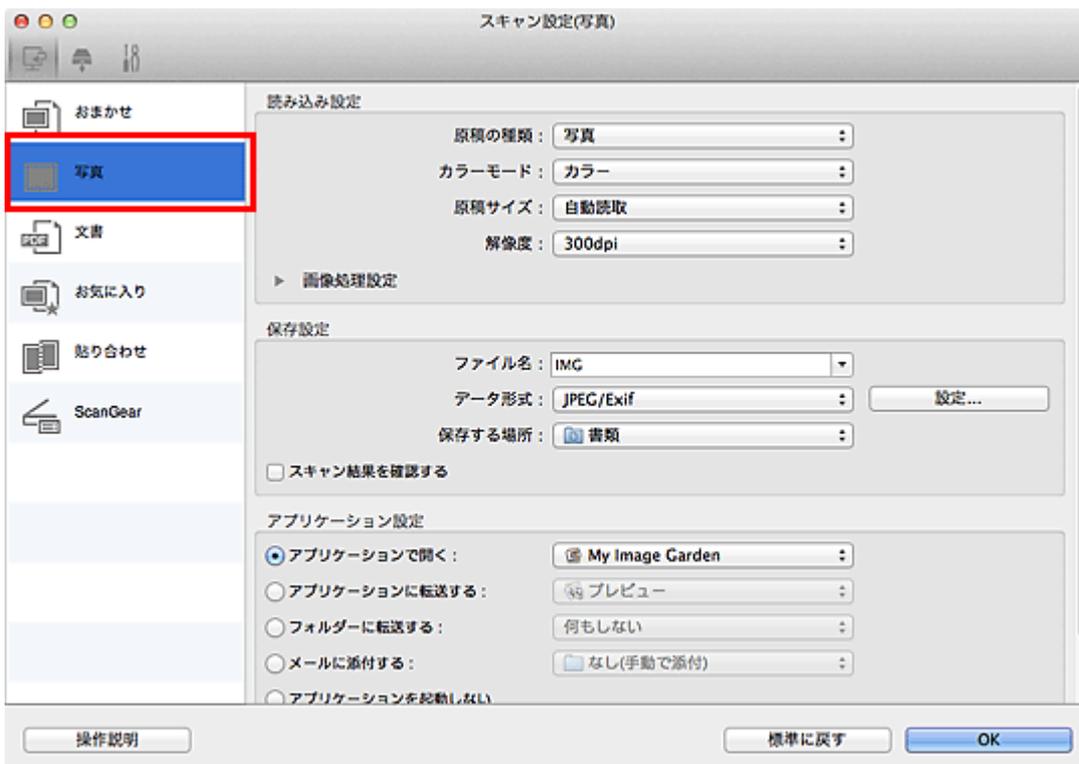
2. [スキャン設定...] をクリック



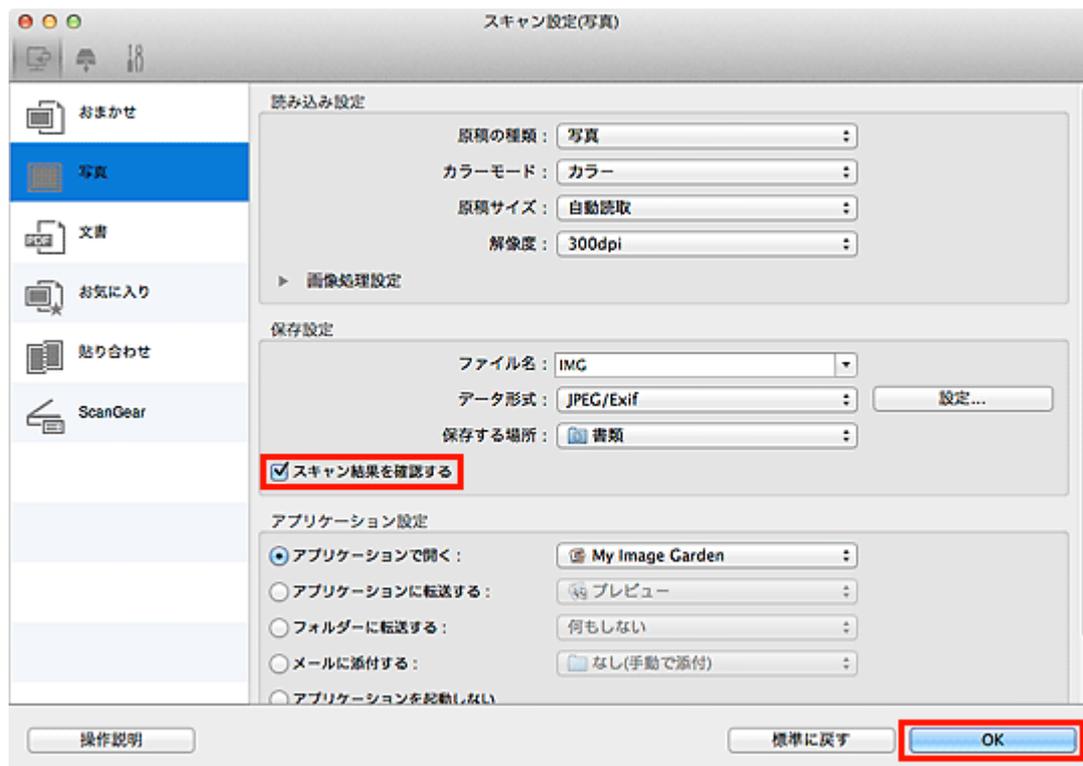
スキャン設定ダイアログが表示されます。

➡ スキャン設定ダイアログ

3. [写真] をクリック



4. [スキャン結果を確認する] にチェックマークを付け、[OK] をクリック



IJ Scan Utility基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログの設定項目について、詳しくは以下のページをご覧ください。
 - ➡ [スキャン設定(写真)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログ

5. [写真] をクリック



スキャンが開始されます。

スキャン終了後に、[保存設定] ダイアログが表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

6. 必要に応じて画像の順番やファイルの保存方法を変更

[保存設定] ダイアログで、画像の順番やファイルの保存方法を変更することができます。

- ➡ [保存設定] ダイアログ

参考

-  /  (左回りに90度回転) / (右回りに90度回転) をクリックして、選択した画像の向きを調整することもできます。
 - 初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。
-

7. [OK] をクリック

スキャンした画像が設定どおりに保存されます。

[ページの先頭へ ▲](#)

スキャンした画像をEメールに添付して送信する

スキャンした画像データをEメールに添付して送信することができます。

参考

- メールソフトを選択していない場合は、スキャン後に保存された画像を手動でメールに添付してください。
- 写真をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. IJ Scan Utilityを起動

➡ IJ Scan Utilityを起動する

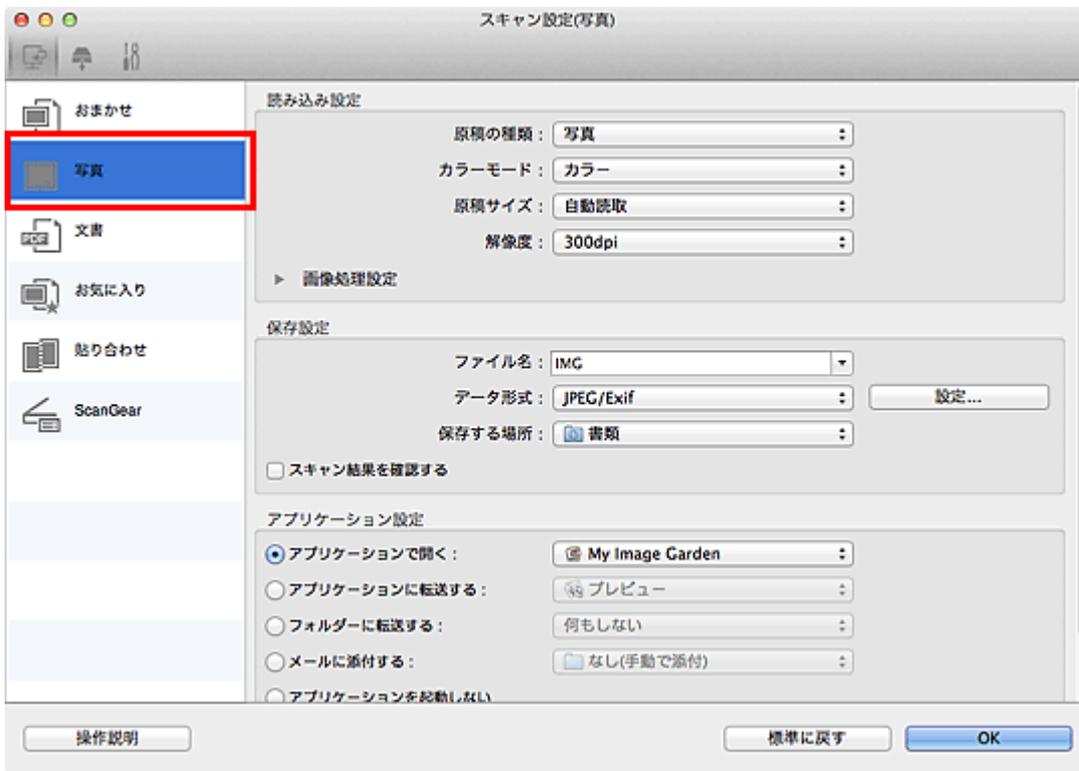
2. 【スキャン設定...】をクリック



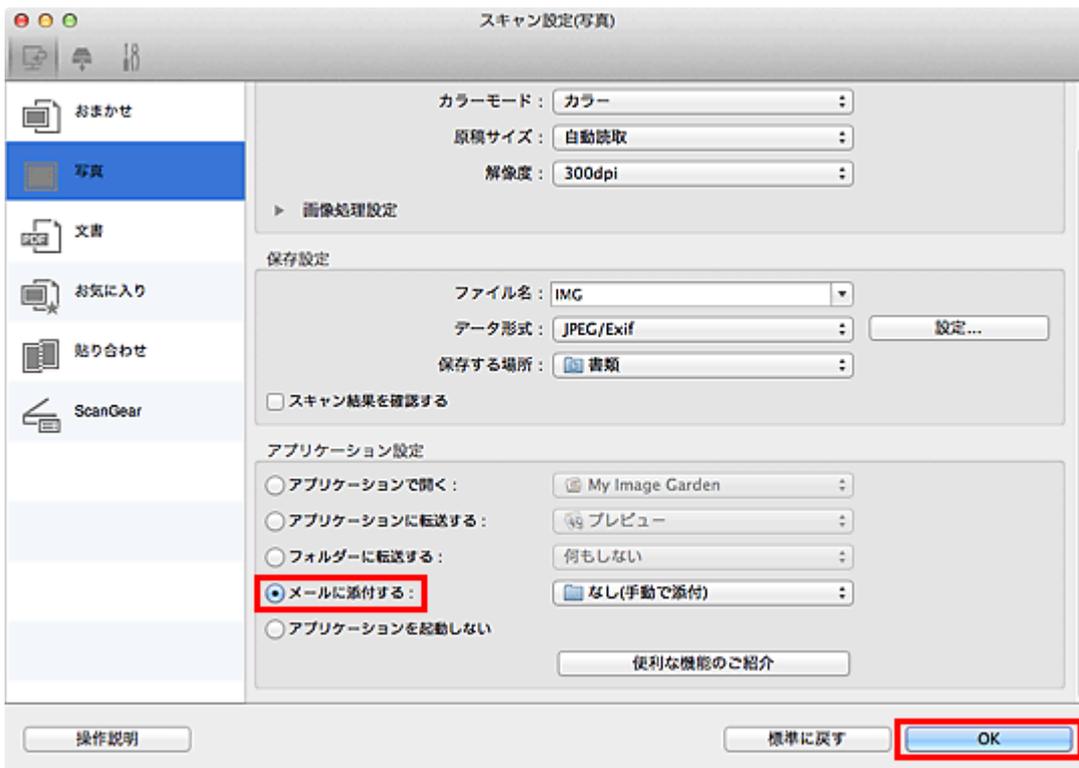
スキャン設定ダイアログが表示されます。

➡ スキャン設定ダイアログ

3. 【写真】をクリック



4. [アプリケーション設定] で [メールに添付する] を選択し、[OK] をクリック



IJ Scan Utility基本画面が表示されます。

参考

- [メールに添付する] のポップアップメニューから添付するメールソフトを追加することもできます。
- スキャン設定ダイアログの設定項目について、詳しくは以下のページをご覧ください。
 - ➡ [スキャン設定(おまかせ)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(写真)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログ

➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ

➡ [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログ

5. [写真] をクリック



スキャンが開始されます。

スキャン終了後、指定したメールソフトが起動し、新規メールに画像が添付されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- スキャン画像は、スキャン設定ダイアログに設定した内容で保存されます。
- スキャン設定ダイアログで、[スキャン結果を確認する] にチェックマークを付けた場合、[保存設定] ダイアログが表示されます。保存方法を設定し、[OK] をクリックすると、スキャン画像が保存され、自動で指定したメールソフトの新規メールに添付されます。
➡ [保存設定] ダイアログ

6. 宛先を指定し、件名や本文を入力してメールを送信

メールの設定については、ご使用のメールソフトの取扱説明書をご覧ください。

ページの先頭へ ▲

スキャンした画像から文字列を抜き出す (OCR)

画像としてスキャンした雑誌や新聞などの活字を、ワープロソフトウェアなどで編集可能なテキスト (文字) データに変換することができます。

参考

- [文書]、[お気に入り]、または [ScanGear] でスキャンするときに、文字列を抜き出すことができます。
- 文書をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. IJ Scan Utilityを起動

⇒ IJ Scan Utilityを起動する

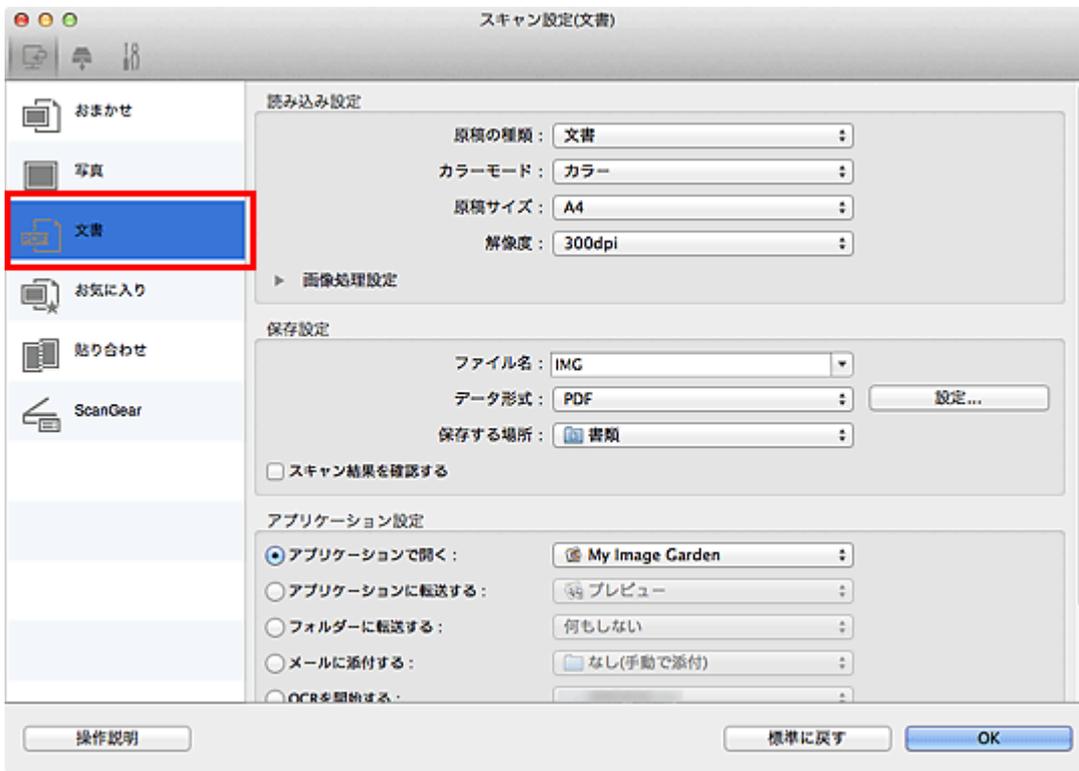
2. 【スキャン設定...】をクリック



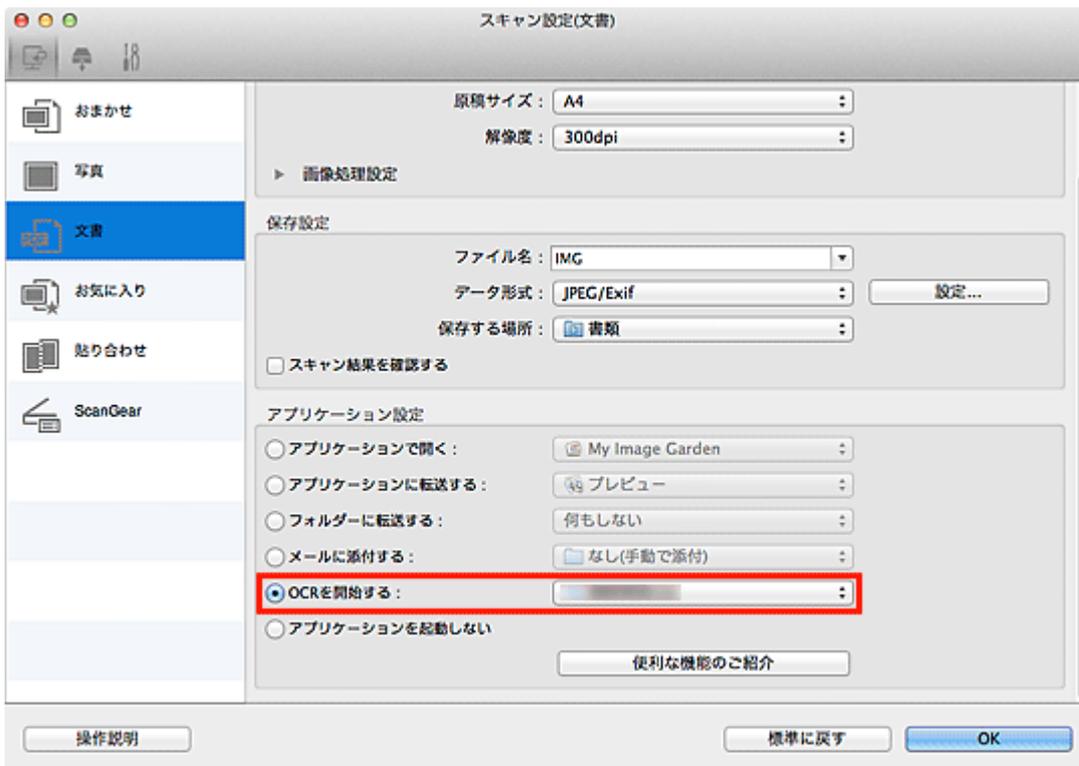
スキャン設定ダイアログが表示されます。

⇒ スキャン設定ダイアログ

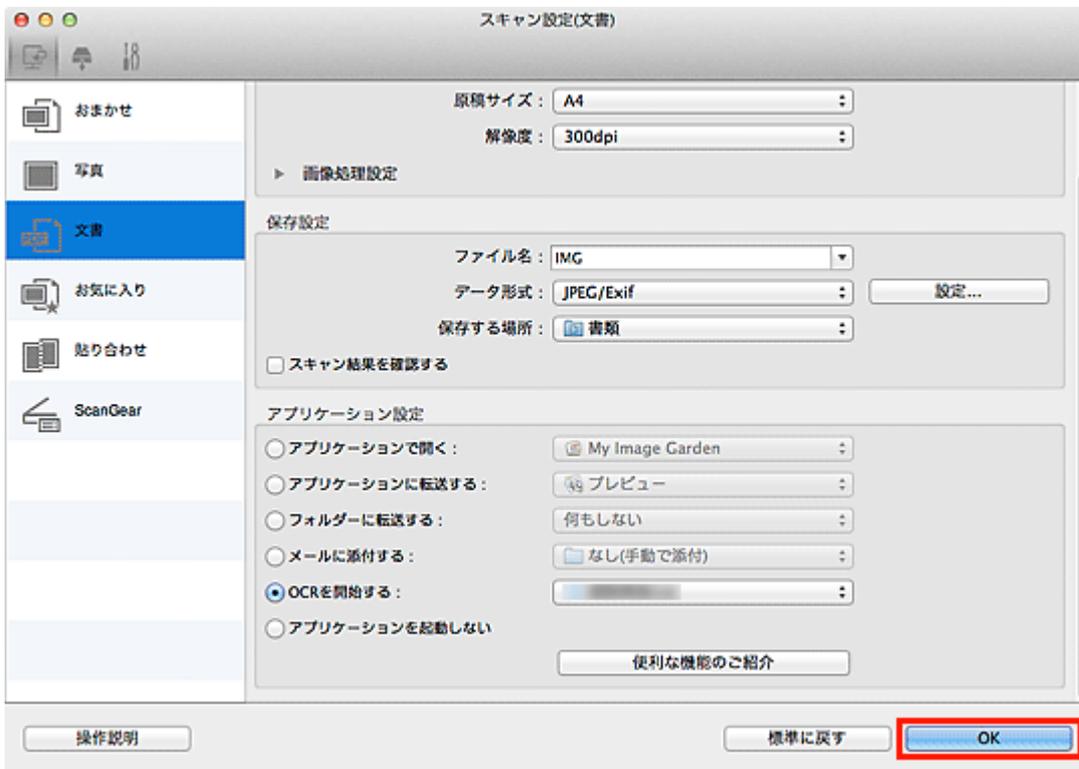
3. 【文書】をクリック



4. [アプリケーション設定] で [OCRを開始する] を選択し、結果を表示させたいアプリケーションを選択



5. [OK] をクリック



IJ Scan Utility基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログの設定項目について、詳しくは以下のページをご覧ください。
 - ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ
 - ➡ [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログ

6. [文書] をクリック



スキャンが開始されます。

スキャン終了後、設定した内容でスキャン画像が保存され、指定したアプリケーションに抜き出された文字列が表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- Mac OSに付属のテキストエディットに表示する文字列は簡易的なものであり、次のような原稿は、画像内の文字を正しく認識できない場合があります。
 - ・文字サイズが8ポイント～40ポイント（300 dpi時）の範囲外の文字を含む原稿
 - ・傾いた原稿
 - ・上下が逆になっている原稿や文字が横になっているなど、文字の方向が正しくない原稿
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - ・文字の行間が狭い原稿
 - ・文字の背景に色がついた原稿
 - ・複数の言語を含む原稿

[ページの先頭へ▲](#)

IJ Scan Utilityの画面説明

- IJ Scan Utility基本画面
- スキャン設定ダイアログ
 - [スキャン設定(おまかせ)] ダイアログ
 - [スキャン設定(写真)] ダイアログ
 - [スキャン設定(文書)] ダイアログ
 - [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ
 - [スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログ
 - [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログ
 - [スキャン設定(AUTO SCANボタン)] ダイアログ
 - [スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)] ダイアログ
 - [スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)] ダイアログ
 - [スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)] ダイアログ
 - [スキャン設定(COPYボタン)] ダイアログ
 - [スキャン設定(E-MAILボタン)] ダイアログ
 - [スキャン設定(基本設定)] ダイアログ
- [データ形式の設定] ダイアログ
- [保存設定] ダイアログ
- [画像貼り合わせ] ウィンドウ

IJ Scan Utility基本画面

Finderの【移動】メニューから【アプリケーション】を選び、【Canon Utilities】フォルダー、【IJ Scan Utility】フォルダー、【Canon IJ Scan Utility】アイコンの順にダブルクリックすると、IJ Scan Utilityが起動します。

目的のアイコンをクリックするだけで、スキャンから保存までを一度に行うことができます。



• 【製品名】

現在IJ Scan Utilityに設定されている製品名が表示されます。

ほかの製品名が表示されている場合は、ご使用になる製品名を選んでください。

• 【おまかせ】

原稿の種類を自動で判別し、パソコンに保存します。保存するデータ形式も自動で設定されます。

【スキャン設定(おまかせ)】ダイアログで、保存の詳細やスキャン後の動作を設定することができます。

➡ [【スキャン設定\(おまかせ\)】ダイアログ](#)

• 【写真】

原稿を写真としてスキャンし、パソコンに保存します。

【スキャン設定(写真)】ダイアログで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

➡ [【スキャン設定\(写真\)】ダイアログ](#)

• 【文書】

原稿を文書としてスキャンし、パソコンに保存します。

【スキャン設定(文書)】ダイアログで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

➡ [【スキャン設定\(文書\)】ダイアログ](#)

• 【お気に入り】

お好みの設定で原稿をスキャンし、パソコンに画像を保存します。原稿の種類を自動で判別することもできます。

【スキャン設定(お気に入り)】ダイアログで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

➡ [【スキャン設定\(お気に入り\)】ダイアログ](#)

• 【貼り合わせ】

【画像貼り合わせ】ウィンドウが表示され、原稿台よりも大きいサイズ of 原稿を、左右に分けてスキャンし、画像を貼り合わせて1つの画像にすることができます。

【スキャン設定(貼り合わせ)】ダイアログで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

➡ [【スキャン設定\(貼り合わせ\)】ダイアログ](#)

- **【ScanGear】**

ScanGear（スキャナードライバー）を起動し、画像補正や色調整を行ってきれいにスキャンすることができます。

【スキャン設定(ScanGear)】ダイアログで、スキャンや保存の詳細、アプリケーションソフトを設定することができます。

➡ [【スキャン設定\(ScanGear\)】ダイアログ](#)

- **【操作説明】**

本書を表示します。

- **【スキャン設定...】**

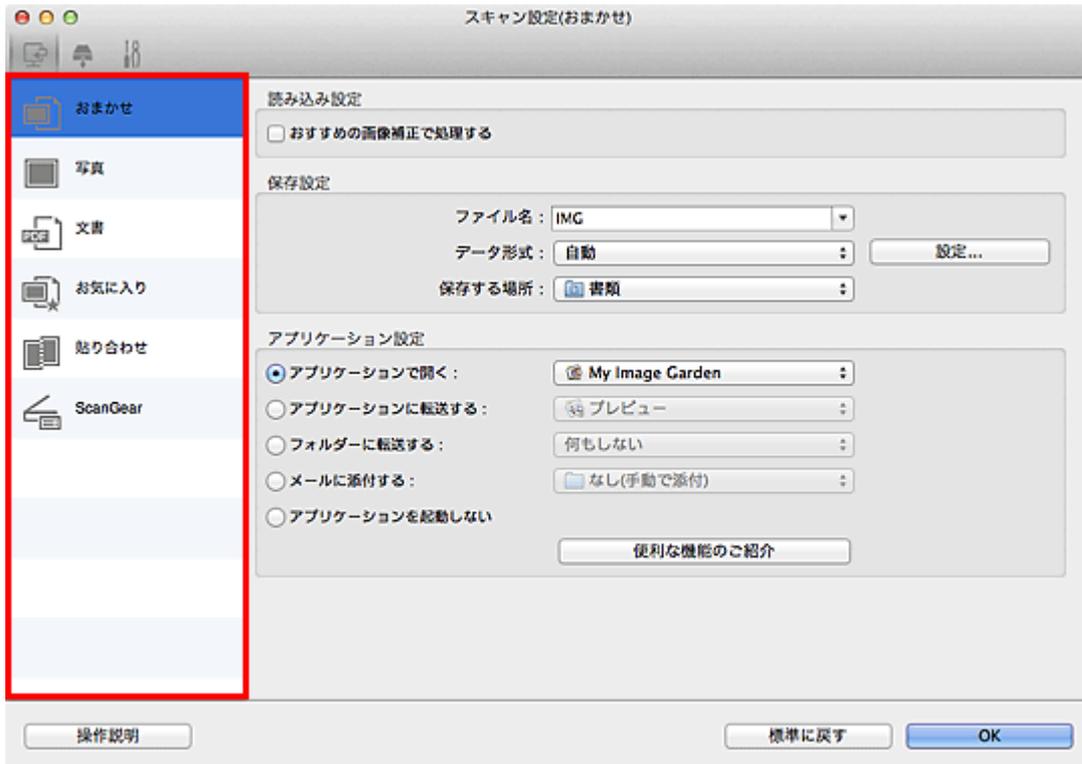
スキャン設定ダイアログが表示され、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

➡ [スキャン設定ダイアログ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

スキャン設定ダイアログ

スキャン設定ダイアログには、 (パソコンからスキャン)、 (EZボタンからスキャン)、 (基本設定) の3つのシートがあります。それぞれのタブをクリックすると、赤枠内の表示が切り替わり、各シートで機能ごとの詳細な設定ができます。



(パソコンからスキャン) シート

IJ Scan UtilityやMy Image Gardenからスキャンするときの動作を設定することができます。

- ➡ [スキャン設定(おまかせ)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(写真)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログ

(EZボタンからスキャン) シート

EZボタンからスキャンするときの動作を設定することができます。

- ➡ [スキャン設定(AUTO SCANボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)] ダイアログ

➡ [スキャン設定(COPYボタン)] ダイアログ

➡ [スキャン設定(E-MAILボタン)] ダイアログ

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合、 (EZボタンからスキャン) シートは表示されません。



(基本設定) シート

ご使用になる製品、メールに添付するファイルのサイズ制限、画像を一時的に保存するフォルダー、および画像内の文字列を認識させるための言語を設定することができます。

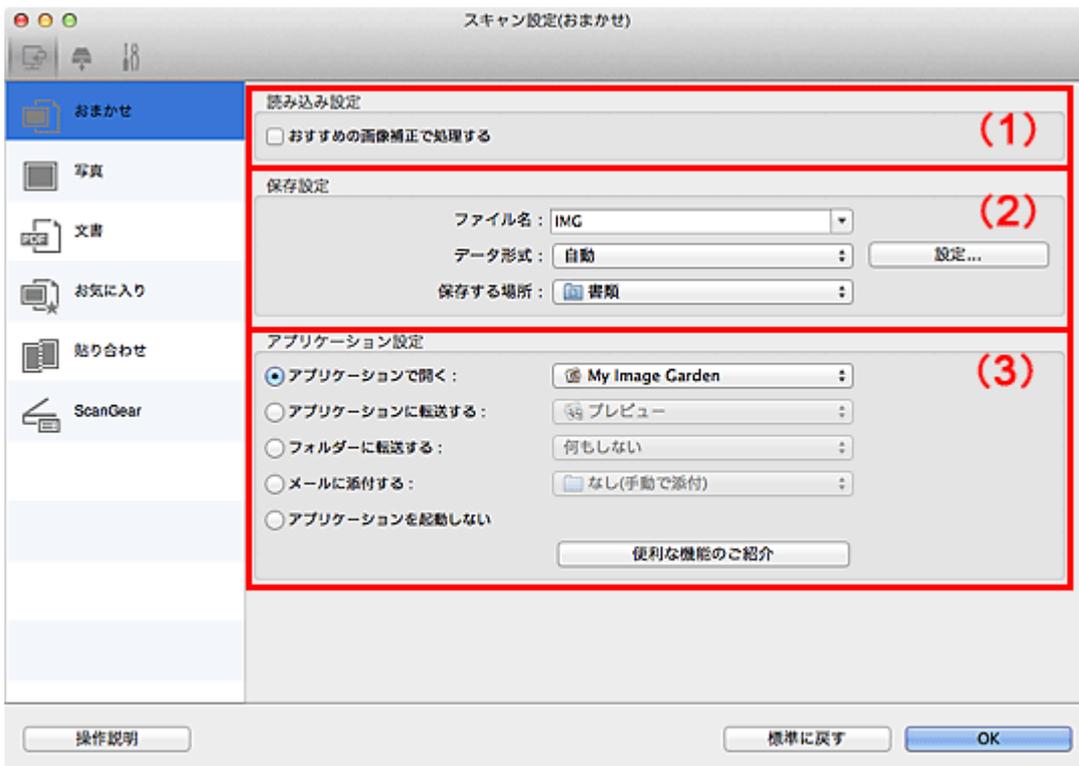
➡ [スキャン設定(基本設定)] ダイアログ

ページの先頭へ ▲

[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログ

 (パソコンからスキャン) シートで [おまかせ] をクリックすると、[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(おまかせ)] ダイアログでは、原稿を自動で判別してスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- (1) 読み込み設定エリア
- (2) 保存設定エリア
- (3) アプリケーション設定エリア

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

• 利用できる原稿

写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD/DVD/CD、フィルム

重要

- 次のような原稿は、[スキャン設定(写真)] ダイアログや [スキャン設定(文書)] ダイアログで原稿の種類やサイズを指定し、IJ Scan Utility基本画面で [写真] や [文書] をクリックしてスキャンしてください。[おまかせ] では、正しくスキャンすることができません。
 - ・ A4サイズの写真
 - ・ 2L判 (127 mm x 178 mm) (5 inches x 7 inches) より小さいサイズの文書原稿 (例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など)
 - ・ 下地が白く、紙質が薄い原稿

- ・パノラマ写真などの細長い原稿
- フィルムをスキャンするとき、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear（スキャナードライバー）でスキャンしてください。
- モノクロフィルムやブローニーフィルムをスキャンするときは、ScanGearの [拡張モード] シートでスキャンしてください。
➡ 「拡張モード」でフィルムをスキャンする
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- スキャンする原稿は、原稿台に正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿の種類によっては期待どおりにスキャンできない場合があります。
原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）」をご覧ください。

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、[スキャン設定(文書)] ダイアログで [原稿の種類] を [雑誌] に設定し、IJ Scan Utility基本画面で [文書] をクリックしてスキャンしてください。

(1) 読み込み設定エリア

● 【おすすめの画像補正で処理する】

原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

(2) 保存設定エリア

● 【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

● 【データ形式】

[自動] が選択されています。原稿の種類に合わせて以下のデータ形式に自動で保存されます。

- ・写真、はがき、BD/DVD/CD、名刺、フィルム：JPEG
- ・雑誌、新聞、文書：PDF

重要

- 原稿の置きかたによっては、保存される形式が異なることがあります。
原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）」をご覧ください。

参考

- データ形式は、[設定...] で変更することもできます。

● 【設定...】

クリックすると、[データ形式の設定] ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [データ形式の設定] ダイアログ

● 【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから

[追加...] を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。
初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、この項目は表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

• 【アプリケーションで開く】

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

• 【アプリケーションに転送する】

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

• 【フォルダーに転送する】

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。
ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

• 【メールに添付する】

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。
ポップアップメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

• 【アプリケーションを起動しない】

[保存する場所] で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。

• 【操作説明】

本書を表示します。

• 【標準に戻す】

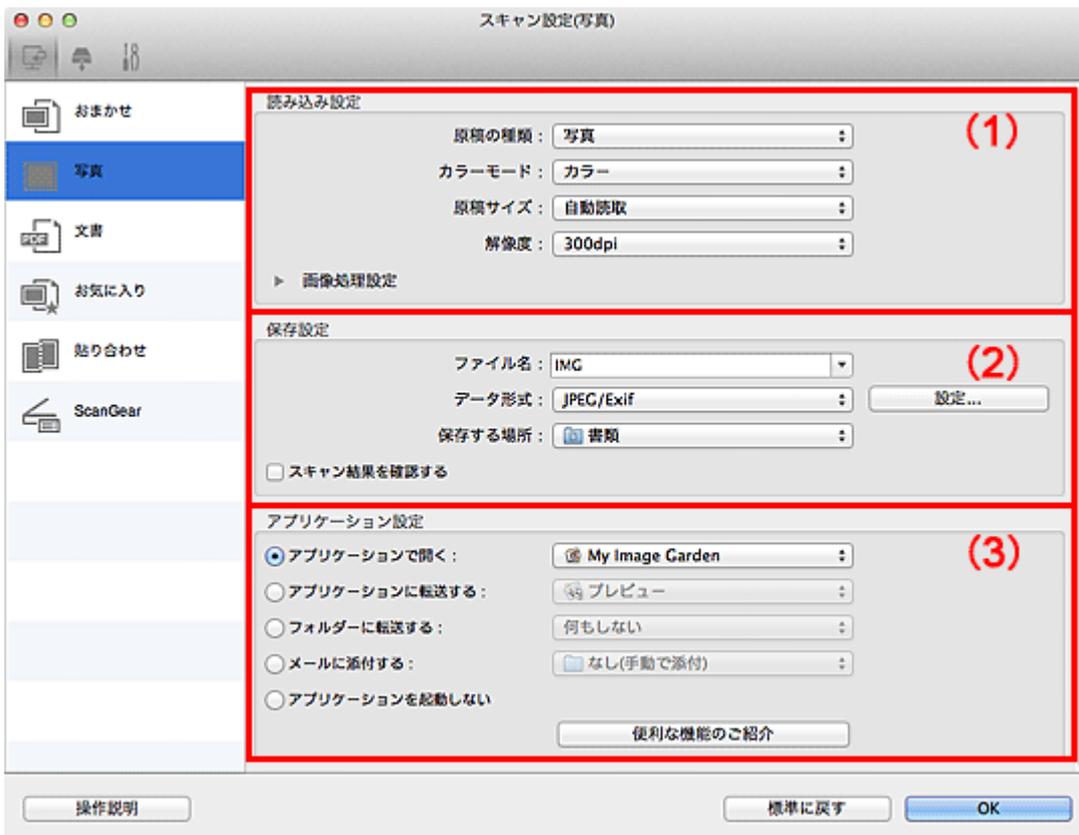
表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[ページの先頭へ▲](#)

[スキャン設定(写真)] ダイアログ

 (パソコンからスキャン) シートで [写真] をクリックすると、[スキャン設定(写真)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(写真)] ダイアログでは、原稿を写真としてスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- (1) 読み込み設定エリア
- (2) 保存設定エリア
- (3) アプリケーション設定エリア

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 読み込み設定エリア

- **[原稿の種類]**
[写真] が選択されています。
- **[カラーモード]**
どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

【原稿サイズ】

スキャンする原稿のサイズを選びます。

【ユーザー定義用紙】を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。【単位】を選んでから、【幅】と【高さ】を入力し、【OK】をクリックしてください。



幅: 210.0 mm (25.4 - 215.9)
高さ: 297.0 mm (25.4 - 297.0)
単位: mm

キャンセル 標準に戻す OK

参考

- 【標準に戻す】をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

• 【解像度】

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

• 【画像処理設定】

▶（右向き矢印）をクリックすると、次の項目を設定できます。

参考

- 【カラーモード】が【白黒】の場合は、【画像処理設定】を行うことはできません。

• 【輪郭を強調する】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

(2) 保存設定エリア

• 【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

• 【データ形式】

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

【JPEG/Exif】、【TIFF】、【PNG】が選べます。

• 【設定...】

クリックすると、【データ形式の設定】ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [【データ形式の設定】ダイアログ](#)

• 【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから【追加...】を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、【書類】フォルダーに保存されます。

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、この項目は表示されません。

• 【スキャン結果を確認する】

スキャン後に【保存設定】ダイアログが表示されます。

➡ [【保存設定】ダイアログ](#)

- My Image Gardenからスキャンした場合、スキャン後に [保存設定] ダイアログは表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

- **【アプリケーションで開く】**

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【アプリケーションに転送する】**

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【フォルダーに転送する】**

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。
ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

- **【メールに添付する】**

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。
ポップアップメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

- **【アプリケーションを起動しない】**

[保存する場所] で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。

- **【操作説明】**

本書を表示します。

- **【標準に戻す】**

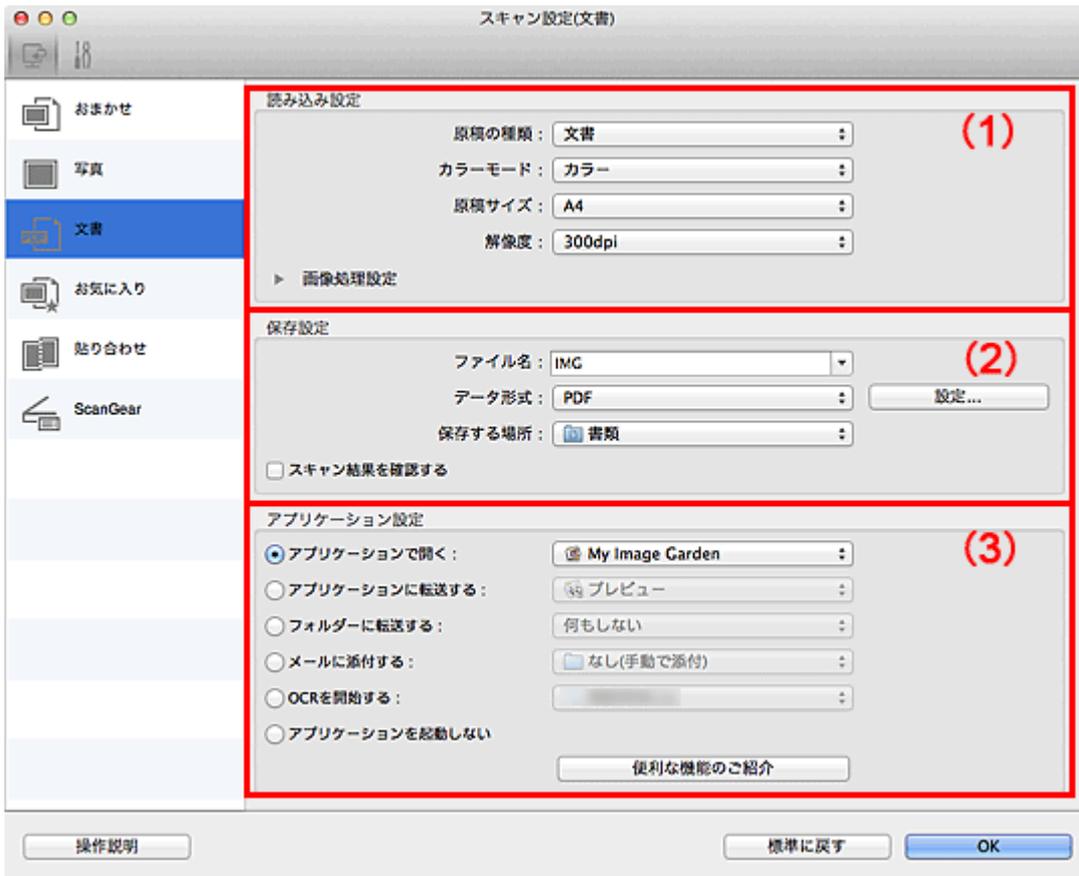
表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[ページの先頭へ ▲](#)

[スキャン設定(文書)] ダイアログ

 (パソコンからスキャン) シートで [文書] をクリックすると、[スキャン設定(文書)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(文書)] ダイアログでは、原稿を文書としてスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- (1) 読み込み設定エリア
- (2) 保存設定エリア
- (3) アプリケーション設定エリア

重要

- My Image Gardenのスクリーン画面からスキャン設定ダイアログを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 読み込み設定エリア

● [原稿の種類]

スキャンする原稿の種類を選びます。

文書原稿をスキャンする場合： [文書]

雑誌の原稿をスキャンする場合： [雑誌]

• 【カラーモード】

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

• 【原稿サイズ】

スキャンする原稿のサイズを選びます。

【ユーザー定義用紙】を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。【単位】を選んでから、【幅】と【高さ】を入力し、【OK】をクリックしてください。

幅: 210.0 mm (25.4 - 215.9)
高さ: 297.0 mm (25.4 - 297.0)
単位: mm

キャンセル 標準に戻す OK

参考

- 【標準に戻す】をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

• 【解像度】

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

• 【画像処理設定】

▶ (右向き矢印) をクリックすると、次の項目を設定できます。

参考

- 【カラーモード】が【白黒】の場合は、【とじ部の影を補正する】、【文字原稿の傾きを補正する】、【文字原稿の向きを検知して、画像を回転する】のみ表示されます。

• 【自動文書補正をかける】

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• 【輪郭を強調する】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

• 【裏写りを低減する】

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

• 【モアレを低減する】

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象を「モアレ」といいます。

参考

- 【モアレを低減する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• 【とじ部の影を補正する】

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の「[拡張モード]」シートを使用してください。

詳細については、「[とじ部の影補正]」をご覧ください。

● [文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1度から10度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
 - ・テキストの行が10度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
 - ・縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
 - ・文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
 - ・文字数が少ない原稿
 - ・図形や画像の含まれる原稿
 - ・手書きの原稿
 - ・縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- [文字原稿の傾きを補正する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

● [文字原稿の向きを検知して、画像を回転する]

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [スキャン設定(基本設定)] ダイアログの「[文書の言語]」で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
➡ [スキャン設定(基本設定)] ダイアログ
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
 - ・解像度が300 dpi～600 dpiの範囲外
 - ・文字サイズが8ポイント～48ポイントの範囲外
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - ・下地に模様（地紋）がある原稿このときは、「[スキャン結果を確認する]」にチェックを付け、「[保存設定]」ダイアログで画像を回転してください。
➡ [保存設定] ダイアログ

(2) 保存設定エリア

● [ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

● [データ形式]

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

重要

- [アプリケーション設定] で「[OCRを開始する]」を選んでいるときは、「[PDF]」、「[PDF (複数ページ)]」は選べません。

● [設定...]

クリックすると、「[データ形式の設定]」ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [データ形式の設定] ダイアログ

- **【保存する場所】**

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、この項目は表示されません。

- **【スキャン結果を確認する】**

スキャン後に [保存設定] ダイアログが表示されます。

➡ **【保存設定】ダイアログ**

重要

- My Image Gardenからスキャンした場合、スキャン後に [保存設定] ダイアログは表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

- **【アプリケーションで開く】**

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【アプリケーションに転送する】**

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【フォルダーに転送する】**

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。
ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

- **【メールに添付する】**

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。
ポップアップメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

- **【OCRを開始する】**

指定したOCRソフトウェアで画像内の文字をテキストデータに変換したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【アプリケーションを起動しない】**

[保存する場所] で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。

- **【操作説明】**

本書を表示します。

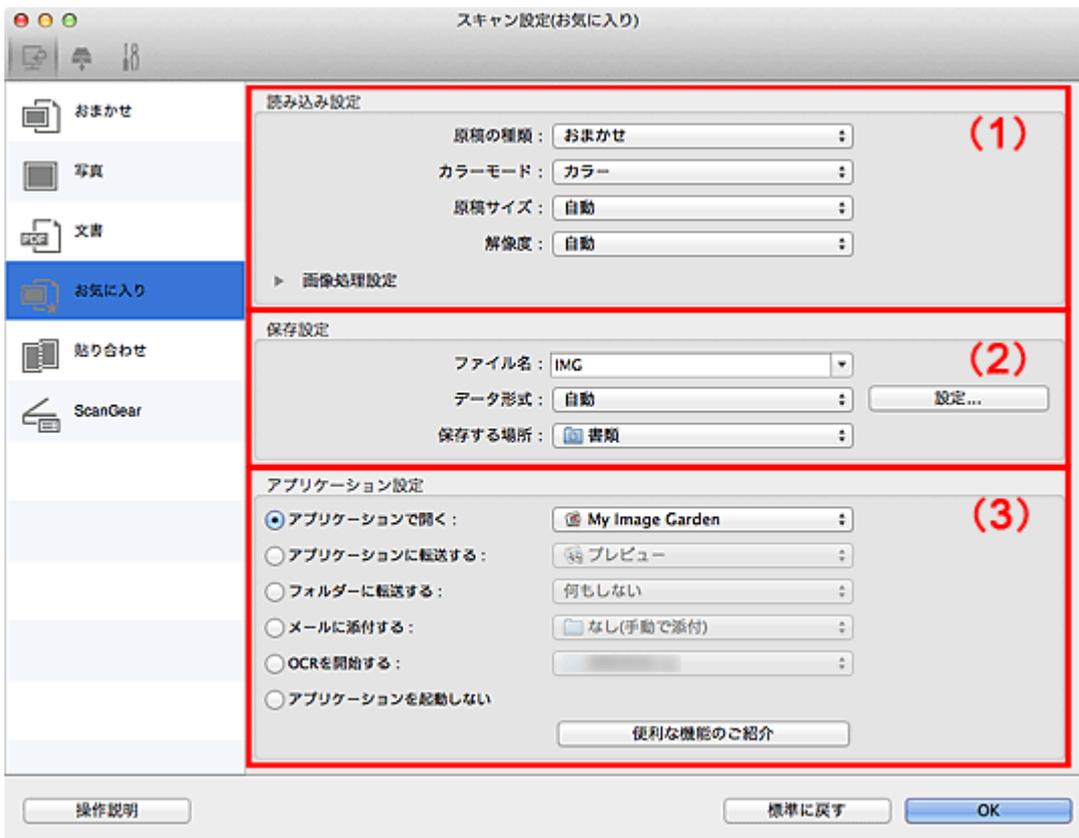
- **【標準に戻す】**

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ

 (パソコンからスキャン) シートで [お気に入り] をクリックすると、[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログでは、お好みに合わせて原稿をスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- (1) 読み込み設定エリア
- (2) 保存設定エリア
- (3) アプリケーション設定エリア

重要

- My Image Gardenのスキャン画面からスキャン設定ダイアログを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 読み込み設定エリア

● [原稿の種類]

スキャンする原稿の種類を選びます。[おまかせ] を選ぶと、スキャンする原稿の種類を自動で判別します。

[カラーモード]、[原稿サイズ]、[解像度] も自動で設定されます。

[フィルム(自動判別)] を選ぶと、ネガフィルムとポジフィルムを自動で判別します。

重要

- [おまかせ] で利用できる原稿の種類は、写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD/DVD/CD、フィルムです。
- 次のような原稿は、原稿の種類やサイズを指定してスキャンしてください。[おまかせ] では、正しくスキャンすることができません。
 - ・ A4サイズの写真
 - ・ 2L判 (127 mm x 178 mm) (5 inches x 7 inches) より小さいサイズの文書原稿 (例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など)
 - ・ 下地が白く、紙質が薄い原稿
 - ・ パノラマ写真などの細長い原稿
- フィルムをスキャンするとき、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear (スキャナードライバー) でスキャンしてください。
- モノクロフィルムやブローニーフィルムをスキャンするときは、ScanGearの [拡張モード] シートでスキャンしてください。
 - ➡ 「拡張モード」でフィルムをスキャンする
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。
原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた \(パソコンからスキャンする場合\)](#)」をご覧ください。
- スキャン後に文字列をテキストデータに変換したい場合は、[おまかせ] を選ばずに、[原稿の種類] を指定してスキャンしてください。

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、[原稿の種類] を [雑誌] に設定してスキャンしてください。

• [カラーモード]

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

• [原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選びます。

[ユーザー定義用紙] を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。[単位] を選んでから、[幅] と [高さ] を入力し、[OK] をクリックしてください。

幅:	<input type="text" value="210.0"/>	mm (25.4 - 215.9)
高さ:	<input type="text" value="297.0"/>	mm (25.4 - 297.0)
単位:	<input type="text" value="mm"/>	
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="標準に戻す"/> <input type="button" value="OK"/>		

参考

- [原稿の種類] が [おまかせ] の場合は、[自動] のみ設定できます。
- [原稿の種類] がフィルムの場合は、[35mmフィルム] のみ設定できます。
- 原稿のサイズを設定する画面で [標準に戻す] をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

• [解像度]

スキャンする原稿の解像度を選びます。設定できる解像度は以下のとおりです。

[原稿の種類] がフィルム以外するとき : 75 dpi / 100 dpi / 150 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 400 dpi / 600 dpi

[原稿の種類] フィルムのとき : 300 dpi / 400 dpi / 600 dpi / 1200 dpi / 2400 dpi / 4800 dpi

解像度が高い (数字が大きい) ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

参考

- [原稿の種類] が [おまかせ] の場合は、[自動] のみ設定できます。

• [画像処理設定]

▶ (右向き矢印) をクリックすると、次の項目を設定できます。設定できる項目は [原稿の種類] によって異なります。

[原稿の種類] が [写真] または [フィルム] の場合

参考

- [カラーモード] が [白黒] の場合は、[画像処理設定] を行うことはできません。

• [輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

[原稿の種類] が [雑誌] または [文書] の場合

参考

- [カラーモード] が [白黒] の場合は、[とじ部の影を補正する]、[文字原稿の傾きを補正する]、[文字原稿の向きを検知して、画像を回転する] のみ表示されます。

• [自動文書補正をかける]

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

• [裏写りを低減する]

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

• [モアレを低減する]

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象を「モアレ」といいます。

参考

- [モアレを低減する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [とじ部の影を補正する]

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGearの [拡張モード] シートを使用してください。
詳細については、「[\[とじ部の影補正\]](#)」をご覧ください。

• [文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1度から10度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
 - ・テキストの行が10度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
 - ・縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
 - ・文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
 - ・文字数が少ない原稿

- ・図形や画像の含まれる原稿
- ・手書きの原稿
- ・縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- [文字原稿の傾きを補正する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [文字原稿の向きを検知して、画像を回転する]

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [スキャン設定(基本設定)] ダイアログの [文書の言語] で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
➡ [スキャン設定(基本設定)] ダイアログ
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
 - ・解像度が300 dpi~600 dpiの範囲外
 - ・文字サイズが8ポイント~48ポイントの範囲外
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - ・下地に模様（地紋）がある原稿このときは、[スキャン結果を確認する] にチェックを付け、[保存設定] ダイアログで画像を回転してください。
➡ [保存設定] ダイアログ

【原稿の種類】が【おまかせ】の場合

• 【おすすめの画像補正で処理する】

原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

(2) 保存設定エリア

• 【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

• 【データ形式】

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)]、[自動] が選べます。

重要

- [自動] を選んだ場合、原稿の置きかたによって保存される形式が異なることがあります。原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)」をご覧ください。
- [アプリケーション設定] で [OCRを開始する] を選んでいるときは、[PDF]、[PDF (複数ページ)]、または [自動] は選べません。

参考

- [読み込み設定] の [原稿の種類] で [おまかせ] を選択しているときのみ [自動] が表示されます。

• 【設定...】

クリックすると、[データ形式の設定] ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイル

のキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [\[データ形式の設定\] ダイアログ](#)

● **【保存する場所】**

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。
初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、この項目は表示されません。

● **【スキャン結果を確認する】**

スキャン後に [保存設定] ダイアログが表示されます。

➡ [\[保存設定\] ダイアログ](#)

重要

- [原稿の種類] が [おまかせ] の場合は表示されません。
- My Image Gardenからスキャンした場合、スキャン後に [保存設定] ダイアログは表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

● **【アプリケーションで開く】**

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

● **【アプリケーションに転送する】**

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

● **【フォルダーに転送する】**

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。
ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

● **【メールに添付する】**

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。
ポップアップメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

● **【OCRを開始する】**

指定したOCRソフトウェアで画像内の文字をテキストデータに変換したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

● **【アプリケーションを起動しない】**

[保存する場所] で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。

● **【操作説明】**

本書を表示します。

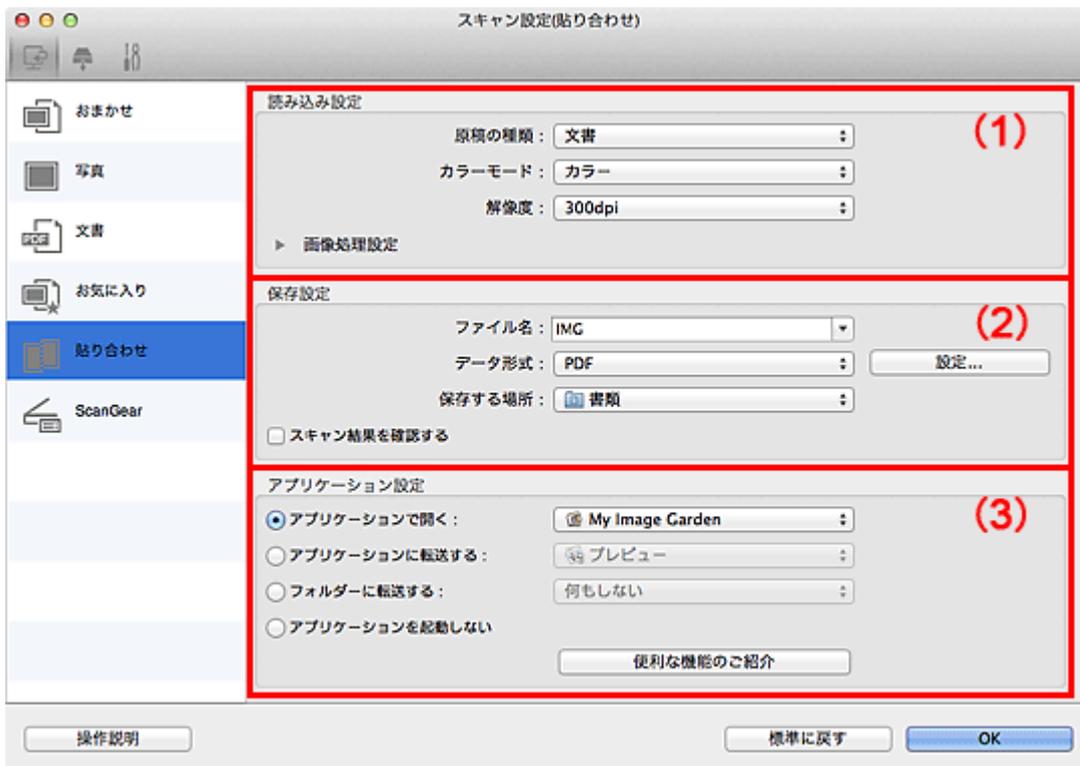
● **【標準に戻す】**

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログ

 (パソコンからスキャン) シートで [貼り合わせ] をクリックすると、[スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログでは、原稿台よりも大きなサイズ of 原稿をスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- (1) 読み込み設定エリア
- (2) 保存設定エリア
- (3) アプリケーション設定エリア

重要

- My Image Gardenのスキャン画面からスキャン設定ダイアログを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 読み込み設定エリア

● [原稿の種類]

スキャンする原稿の種類を選びます。

写真原稿をスキャンする場合： [写真]

文書原稿をスキャンする場合： [文書]

雑誌の原稿をスキャンする場合： [雑誌]

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、[原稿の種類] を [雑誌] に設定してスキャンしてください

い。

- **【カラーモード】**

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

- **【解像度】**

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

- **【画像処理設定】**

（右向き矢印）をクリックすると、次の項目を設定できます。設定できる項目は【原稿の種類】によって異なります。

参考

- 【カラーモード】が【白黒】の場合は、【画像処理設定】を行うことはできません。

【原稿の種類】が【写真】の場合

- **【輪郭を強調する】**

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

【原稿の種類】が【雑誌】または【文書】の場合

- **【輪郭を強調する】**

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

- **【裏写りを低減する】**

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

- **【モアレを低減する】**

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象を「モアレ」といいます。

参考

- 【モアレを低減する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

(2) 保存設定エリア

- **【ファイル名】**

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

- **【データ形式】**

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

【JPEG/Exif】、【TIFF】、【PNG】、【PDF】、【PDF (複数ページ)】が選べます。

- **【設定...】**

クリックすると、【データ形式の設定】ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [【データ形式の設定】ダイアログ](#)

- **【保存する場所】**

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから【追加...】を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、【書類】フォルダーに保存されます。

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、この項目は表示されません。

• 【スキャン結果を確認する】

スキャン後に【保存設定】ダイアログが表示されます。

➡ 【保存設定】ダイアログ

重要

- My Image Gardenからスキャンした場合、スキャン後に【保存設定】ダイアログは表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

• 【アプリケーションで開く】

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

• 【アプリケーションに転送する】

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

• 【フォルダーに転送する】

スキャンした画像を【保存する場所】で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。
ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

• 【アプリケーションを起動しない】

【保存する場所】で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから【追加...】を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。

• 【操作説明】

本書を表示します。

• 【標準に戻す】

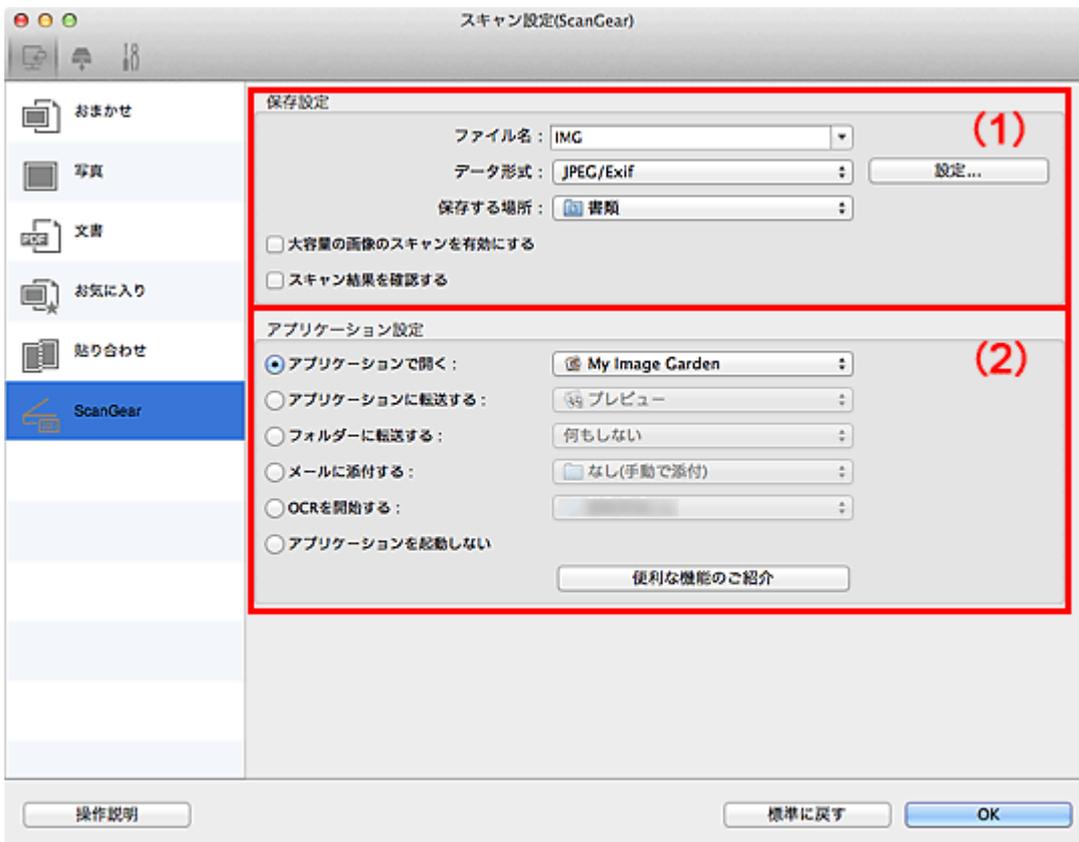
表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[ページの先頭へ▲](#)

[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログ

 (パソコンからスキャン) シートで [ScanGear] をクリックすると、[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログでは、ScanGear (スキャナードライバー) を使用して原稿をスキャンするときの画像の保存のしかたや、保存後の動作を設定できます。



(1) 保存設定エリア

(2) アプリケーション設定エリア

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、[アプリケーション設定] の設定項目は表示されません。

(1) 保存設定エリア

• [ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

• [データ形式]

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

参考

- [PDF]、[PDF (複数ページ)] を選んだ場合は、9600 pixels x 9600 pixelsまでの画像をスキャンすることができます。
- [保存設定] で [大容量の画像のスキャンを有効にする] にチェックマークを付けているとき、または [アプリケーション設定] で [OCRを開始する] を選んでいるときは、[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG] が選べます。

● [設定...]

クリックすると、[データ形式の設定] ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [データ形式の設定] ダイアログ

● [保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、この項目は表示されません。

● [大容量の画像のスキャンを有効にする]

チェックマークを付けると、縦横のピクセル数が最大50000 pixels x 50000 pixels、4.0 GBまでの画像をスキャンすることができます。

重要

- チェックマークを付けているときは、[アプリケーションに転送する]、[フォルダーに転送する]、[メールに添付する]、[OCRを開始する] は選べません。
- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、この項目は表示されません。

参考

- チェックを外しているときは、最大10208 pixels x 14032 pixelsまでの画像をスキャンできます。

● [スキャン結果を確認する]

スキャン後に [保存設定] ダイアログが表示されます。

➡ [保存設定] ダイアログ

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、この項目は表示されません。

(2) アプリケーション設定エリア

● [アプリケーションで開く]

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

● [アプリケーションに転送する]

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

● [フォルダーに転送する]

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

● [メールに添付する]

スキャンした画像を添付してメールを送信するときを選びます。
ポップアップメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

- **【OCRを開始する】**

指定したOCRソフトウェアで画像内の文字をテキストデータに変換したいときを選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【アプリケーションを起動しない】**

【保存する場所】で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから【追加...】を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。
-

- **【操作説明】**

本書を表示します。

- **【標準に戻す】**

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

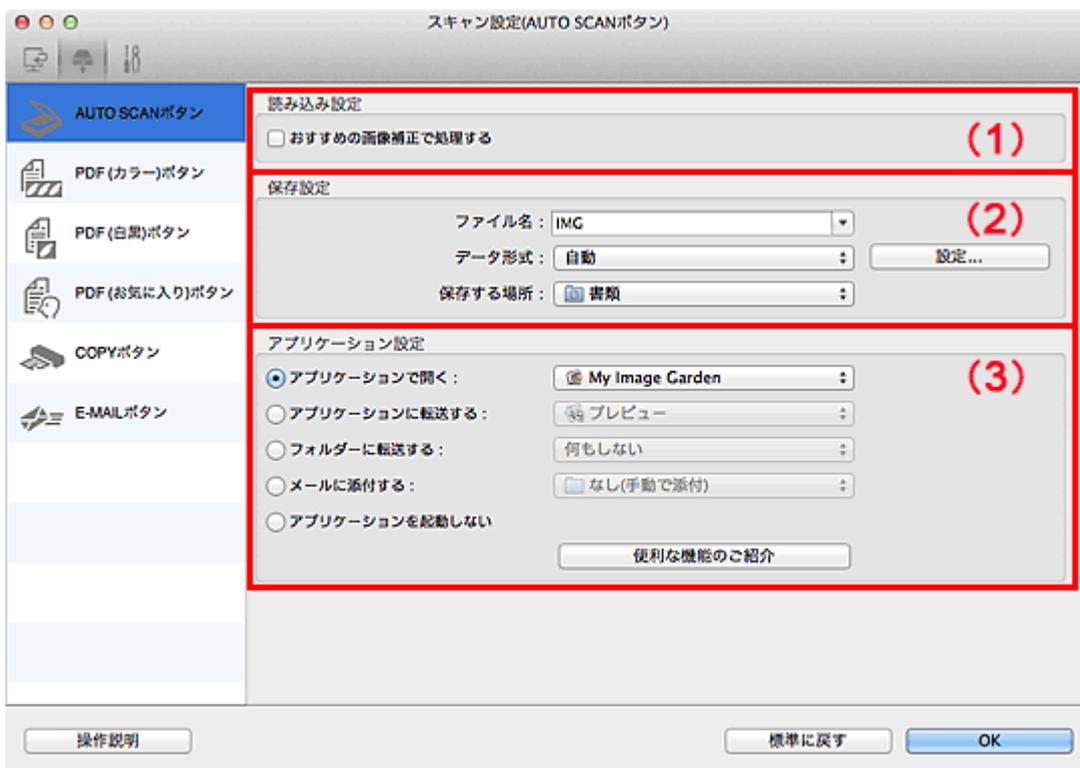
[ページの先頭へ▲](#)

[スキャン設定(AUTO SCANボタン)] ダイアログ



(EZボタンからスキャン) シートで [AUTO SCANボタン] をクリックすると、[スキャン設定(AUTO SCANボタン)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(AUTO SCANボタン)] ダイアログでは、EZボタンから原稿を自動で判別してスキャンしたデータを、パソコンに保存するときの動作を設定することができます。



(1) 読み込み設定エリア

(2) 保存設定エリア

(3) アプリケーション設定エリア

● 利用できる原稿

写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD/DVD/CD、フィルム

重要

- 次のような原稿は、[スキャン設定(写真)] ダイアログや [スキャン設定(文書)] ダイアログで原稿の種類やサイズを指定し、IJ Scan Utility基本画面で [写真] や [文書] をクリックしてスキャンしてください。[おまかせ] では、正しくスキャンすることができません。
 - ・ A4サイズの写真
 - ・ 2L判 (127 mm x 178 mm) (5 inches x 7 inches) より小さいサイズの文書原稿 (例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など)
 - ・ 下地が白く、紙質が薄い原稿
 - ・ パノラマ写真などの細長い原稿
- フィルムをスキャンするとき、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear (スキャナードライバー) でスキャンしてください。
- モノクロフィルムやブローニーフィルムをスキャンするときは、ScanGearの [拡張モード] シートでス

キャンしてください。

➡ 「拡張モード」でフィルムをスキャンする

- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- スキャンする原稿は、原稿台に正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿の種類によっては期待どおりにスキャンできない場合があります。
原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)」をご覧ください。

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、[スキャン設定(文書)] ダイアログで [原稿の種類] を [雑誌] に設定し、IJ Scan Utility基本画面で [文書] をクリックしてスキャンしてください。

(1) 読み込み設定エリア

● 【おすすめの画像補正で処理する】

原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

(2) 保存設定エリア

● 【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

● 【データ形式】

[自動] が選択されています。原稿の種類に合わせて以下のデータ形式に自動で保存されます。

- ・写真、はがき、BD/DVD/CD、名刺、フィルム：JPEG
- ・雑誌、新聞、文書：PDF

重要

- 原稿の置きかたによっては、保存される形式が異なることがあります。
原稿をセットする方法については、「[原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）](#)」をご覧ください。

参考

- データ形式は、[設定...] で変更することもできます。

● 【設定...】

クリックすると、[データ形式の設定] ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [\[データ形式の設定\] ダイアログ](#)

● 【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。

(3) アプリケーション設定エリア

- **【アプリケーションで開く】**

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【アプリケーションに転送する】**

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【フォルダーに転送する】**

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。
ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

- **【メールに添付する】**

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。
ポップアップメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

- **【アプリケーションを起動しない】**

[保存する場所] で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。

- **【操作説明】**

本書を表示します。

- **【標準に戻す】**

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

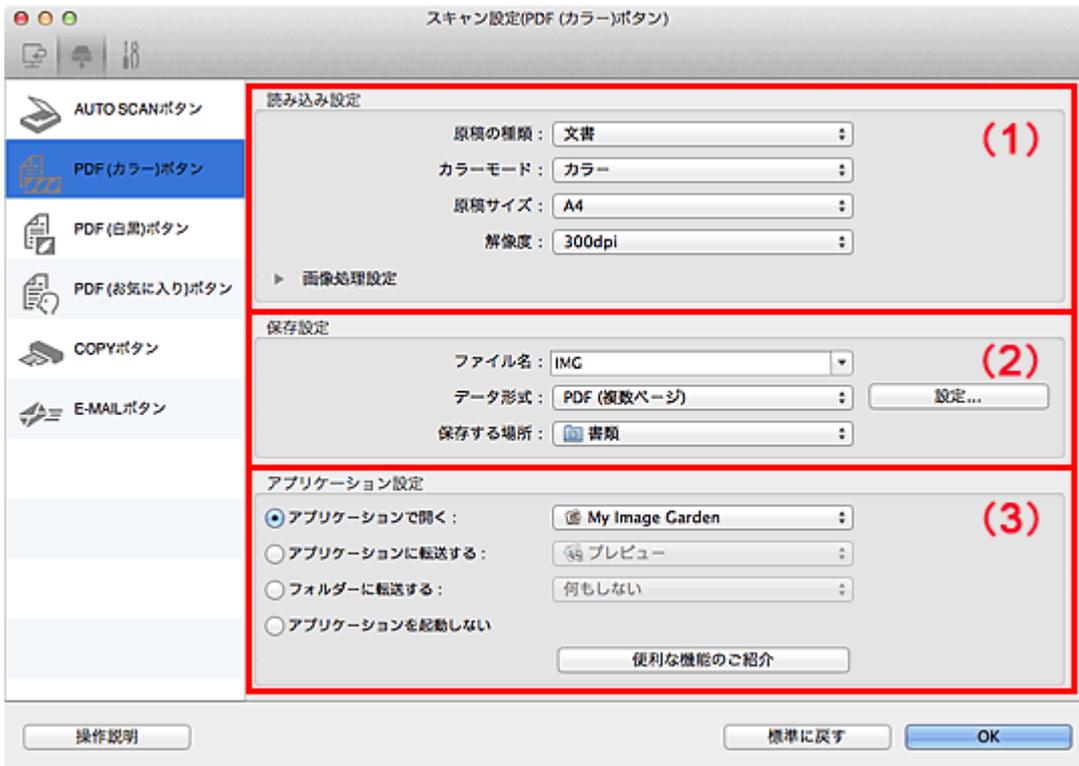
[ページの先頭へ▲](#)

[スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)] ダイアログ



(EZボタンからスキャン) シートで [PDF (カラー)ボタン] をクリックすると、[スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)] ダイアログでは、EZボタンからスキャンしたデータを、カラーのPDF文書としてパソコンに保存するときの動作を設定することができます。



- (1) 読み込み設定エリア
- (2) 保存設定エリア
- (3) アプリケーション設定エリア

(1) 読み込み設定エリア

● 【原稿の種類】

スキャンする原稿の種類を選びます。

写真原稿をスキャンする場合： [写真]

文書原稿をスキャンする場合： [文書]

雑誌の原稿をスキャンする場合： [雑誌]

● 【カラーモード】

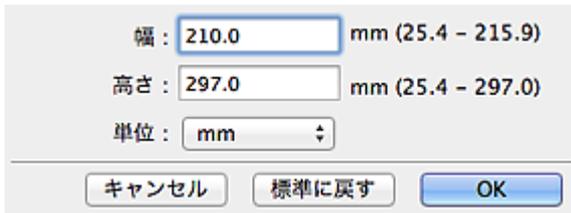
[カラー] が選択されています。

● 【原稿サイズ】

スキャンする原稿のサイズを選びます。

[ユーザー定義用紙] を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。 [単位] を選んでか

ら、[幅]と[高さ]を入力し、[OK]をクリックしてください。



参考

- [標準に戻す] をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

• [解像度]

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

• [画像処理設定]

▶ (右向き矢印) をクリックすると、次の項目を設定できます。

[原稿の種類] が [写真] の場合

• [輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

[原稿の種類] が [雑誌] または [文書] の場合

• [自動文書補正をかける]

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

• [裏写りを低減する]

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

• [モアレを低減する]

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象を「モアレ」といいます。

参考

- [モアレを低減する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [とじ部の影を補正する]

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の [拡張モード] シートを使用してください。
詳細については、「[\[とじ部の影補正\]](#)」をご覧ください。

• 【文字原稿の傾きを補正する】

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1度から10度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
 - ・テキストの行が10度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
 - ・縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
 - ・文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
 - ・文字数が少ない原稿
 - ・図形や画像の含まれる原稿
 - ・手書きの原稿
 - ・縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- 【文字原稿の傾きを補正する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• 【文字原稿の向きを検知して、画像を回転する】

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- 【スキャン設定(基本設定)】ダイアログの【文書の言語】で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
➡ 【スキャン設定(基本設定)】ダイアログ
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
 - ・解像度が300 dpi~600 dpiの範囲外
 - ・文字サイズが8ポイント~48ポイントの範囲外
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - ・下地に模様（地紋）がある原稿

(2) 保存設定エリア

• 【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

• 【データ形式】

【PDF】、【PDF (複数ページ)】が選べます。

• 【設定...】

クリックすると、【データ形式の設定】ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ 【データ形式の設定】ダイアログ

• 【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから【追加...】を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。
初期設定では、【書類】フォルダーに保存されます。

(3) アプリケーション設定エリア

• 【アプリケーションで開く】

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

• 【アプリケーションに転送する】

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【フォルダーに転送する】**

スキャンした画像を【保存する場所】で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

- **【アプリケーションを起動しない】**

【保存する場所】で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから【追加...】を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。
-

- **【操作説明】**

本書を表示します。

- **【標準に戻す】**

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

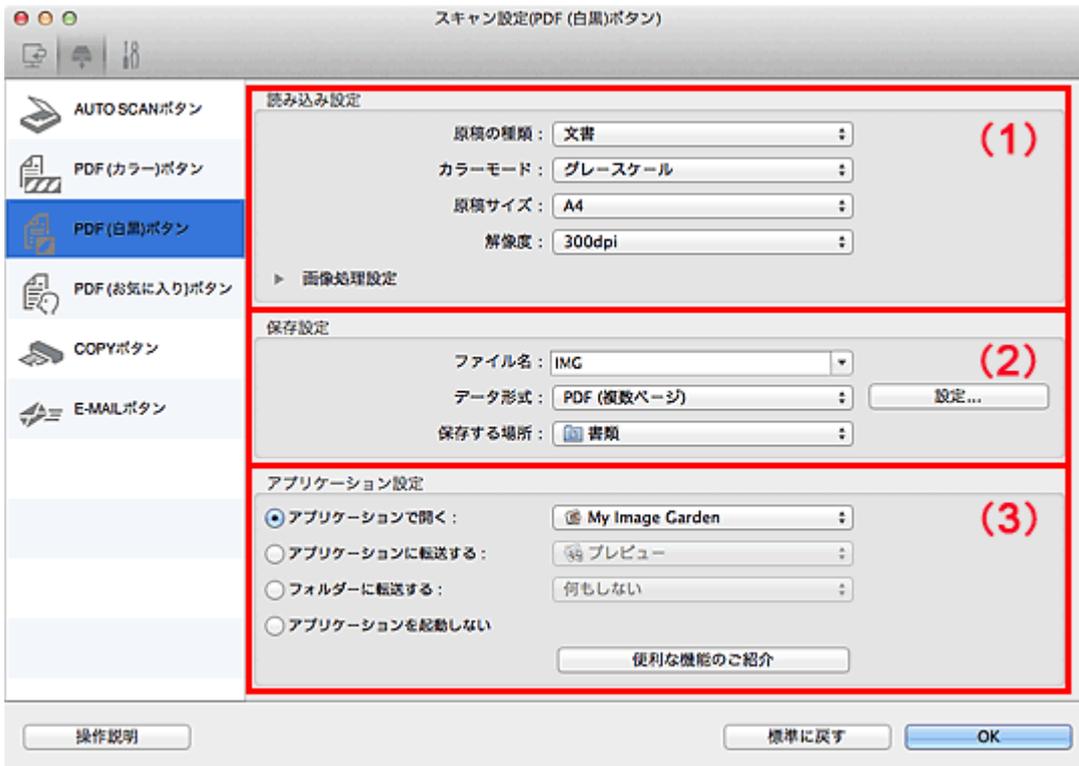
[ページの先頭へ▲](#)

[スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)] ダイアログ



(EZボタンからスキャン) シートで [PDF (白黒)ボタン] をクリックすると、[スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)] ダイアログでは、EZボタンからスキャンしたデータを、グレースケールまたは白黒のPDF文書としてパソコンに保存するときの動作を設定することができます。



- (1) 読み込み設定エリア
- (2) 保存設定エリア
- (3) アプリケーション設定エリア

(1) 読み込み設定エリア

● [原稿の種類]

スキャンする原稿の種類を選びます。

写真原稿をスキャンする場合： [写真]

文書原稿をスキャンする場合： [文書]

雑誌の原稿をスキャンする場合： [雑誌]

● [カラーモード]

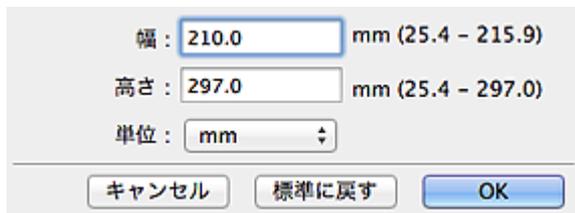
どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

● [原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選びます。

[ユーザー定義用紙] を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。 [単位] を選んでか

ら、[幅]と[高さ]を入力し、[OK]をクリックしてください。



参考

- [標準に戻す] をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

• [解像度]

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

• [画像処理設定]

▶ (右向き矢印) をクリックすると、次の項目を設定できます。

[原稿の種類] が [写真] の場合

参考

- [カラーモード] が [白黒] の場合は、[画像処理設定] を行うことはできません。

• [輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

[原稿の種類] が [雑誌] または [文書] の場合

参考

- [カラーモード] が [白黒] の場合は、[とじ部の影を補正する]、[文字原稿の傾きを補正する]、[文字原稿の向きを検知して、画像を回転する] のみ表示されます。

• [自動文書補正をかける]

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

• [裏写りを低減する]

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

• [モアレを低減する]

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象を「モアレ」といいます。

参考

- [モアレを低減する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [とじ部の影を補正する]

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の [拡張モード] シートを使用してください。
詳細については、「[とじ部の影補正]」をご覧ください。

• [文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1度から10度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
 - ・テキストの行が10度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
 - ・縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
 - ・文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
 - ・文字数が少ない原稿
 - ・図形や画像の含まれる原稿
 - ・手書きの原稿
 - ・縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- [文字原稿の傾きを補正する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [文字原稿の向きを検知して、画像を回転する]

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [スキャン設定(基本設定)] ダイアログの [文書の言語] で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
➡ [スキャン設定(基本設定)] ダイアログ
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
 - ・解像度が300 dpi~600 dpiの範囲外
 - ・文字サイズが8ポイント~48ポイントの範囲外
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - ・下地に模様（地紋）がある原稿

(2) 保存設定エリア

• [ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

• [データ形式]

[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

• [設定...]

クリックすると、[データ形式の設定] ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [データ形式の設定] ダイアログ

• [保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。

(3) アプリケーション設定エリア

- **【アプリケーションで開く】**

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【アプリケーションに転送する】**

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【フォルダーに転送する】**

スキャンした画像を【保存する場所】で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。
ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

- **【アプリケーションを起動しない】**

【保存する場所】で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから【追加...】を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。

- **【操作説明】**

本書を表示します。

- **【標準に戻す】**

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

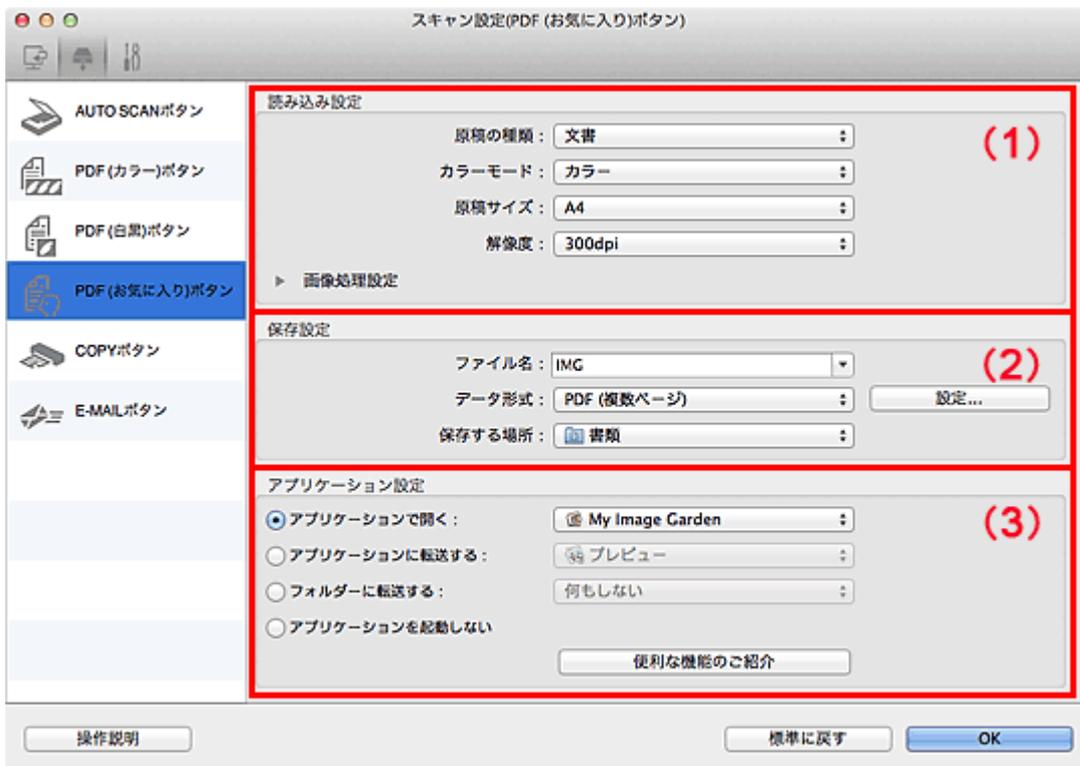
[ページの先頭へ▲](#)

[スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)] ダイアログ



(EZボタンからスキャン) シートで [PDF (お気に入り)ボタン] をクリックすると、[スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)] ダイアログでは、EZボタンからスキャンしたデータを、好みの設定でPDF文書としてパソコンに保存するときの動作を設定することができます。



- (1) 読み込み設定エリア
- (2) 保存設定エリア
- (3) アプリケーション設定エリア

(1) 読み込み設定エリア

● [原稿の種類]

スキャンする原稿の種類を選びます。

写真原稿をスキャンする場合： [写真]

文書原稿をスキャンする場合： [文書]

雑誌の原稿をスキャンする場合： [雑誌]

● [カラーモード]

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

● [原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選びます。

[ユーザー定義用紙] を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。 [単位] を選んでか

ら、[幅]と[高さ]を入力し、[OK]をクリックしてください。



参考

- [標準に戻す] をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

• [解像度]

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ [解像度について](#)

• [画像処理設定]

▶ (右向き矢印) をクリックすると、次の項目を設定できます。

[原稿の種類] が [写真] の場合

参考

- [カラーモード] が [白黒] の場合は、[画像処理設定] を行うことはできません。

• [輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

[原稿の種類] が [雑誌] または [文書] の場合

参考

- [カラーモード] が [白黒] の場合は、[とじ部の影を補正する]、[文字原稿の傾きを補正する]、[文字原稿の向きを検知して、画像を回転する] のみ表示されます。

• [自動文書補正をかける]

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

• [裏写りを低減する]

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

• [モアレを低減する]

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象を「モアレ」といいます。

参考

- [モアレを低減する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [とじ部の影を補正する]

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の [拡張モード] シートを使用してください。
詳細については、「[とじ部の影補正]」をご覧ください。

• [文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1度から10度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
 - ・テキストの行が10度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
 - ・縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
 - ・文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
 - ・文字数が少ない原稿
 - ・図形や画像の含まれる原稿
 - ・手書きの原稿
 - ・縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- [文字原稿の傾きを補正する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• [文字原稿の向きを検知して、画像を回転する]

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [スキャン設定(基本設定)] ダイアログの [文書の言語] で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
➡ [スキャン設定(基本設定)] ダイアログ
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
 - ・解像度が300 dpi~600 dpiの範囲外
 - ・文字サイズが8ポイント~48ポイントの範囲外
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - ・下地に模様（地紋）がある原稿

(2) 保存設定エリア

• [ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

• [データ形式]

[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

• [設定...]

クリックすると、[データ形式の設定] ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [データ形式の設定] ダイアログ

• [保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。

(3) アプリケーション設定エリア

- **【アプリケーションで開く】**

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【アプリケーションに転送する】**

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。
ポップアップメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

- **【フォルダーに転送する】**

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。
ポップアップメニューからフォルダーを指定できます。

- **【アプリケーションを起動しない】**

[保存する場所] で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、アプリケーションソフトやフォルダーを指定します。

- **【操作説明】**

本書を表示します。

- **【標準に戻す】**

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[ページの先頭へ ▲](#)

[スキャン設定(COPYボタン)] ダイアログ

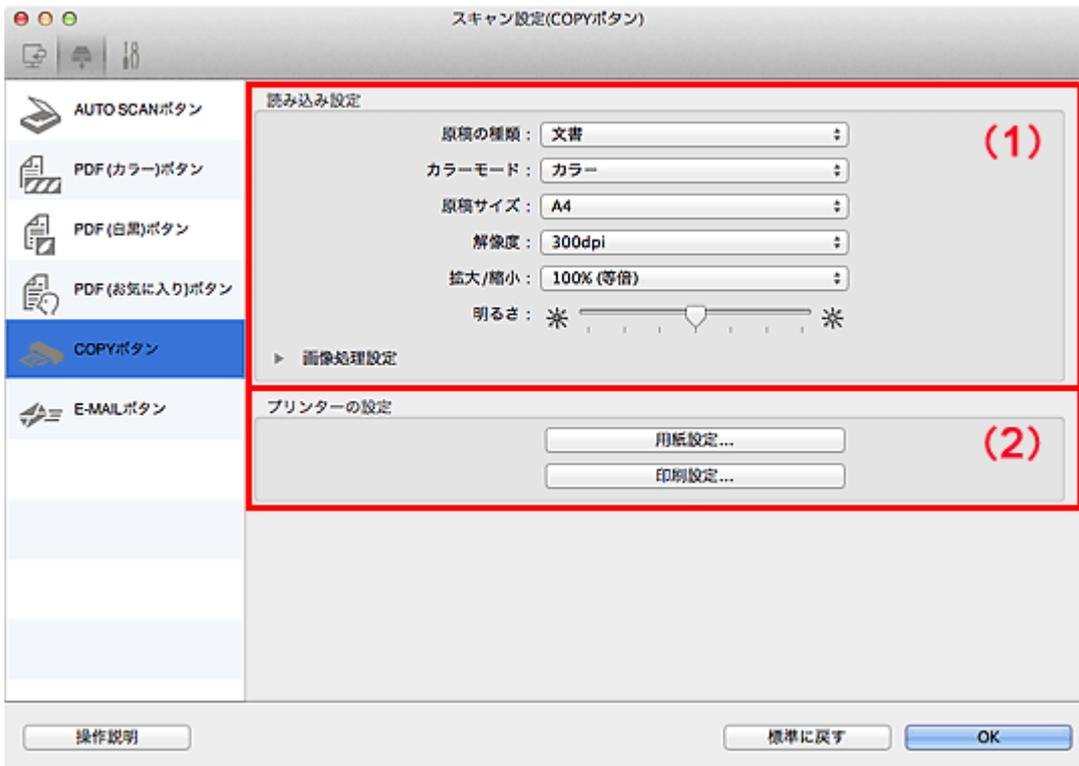


(EZボタンからスキャン) シートで [COPYボタン] をクリックすると、[スキャン設定(COPYボタン)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(COPYボタン)] ダイアログでは、EZボタンからスキャンしたデータを、プリンターで印刷するときの動作を設定することができます。

参考

- ご使用のプリンターにより、選べる用紙のサイズや種類などが異なります。
- 原稿が複数枚ある場合、[原稿の種類] で [おまかせ] を選ぶと、原稿台に置かれたそれぞれの原稿が1枚ずつスキャンされ、別々の用紙に印刷されます。複数枚の原稿を1枚の用紙に印刷したい場合は、[おまかせ] 以外に設定し、[原稿サイズ] をA4やレターなどの定型サイズに設定してください。



(1) 読み込み設定エリア

(2) プリンターの設定エリア

(1) 読み込み設定エリア

● 【原稿の種類】

スキャンする原稿の種類を選びます。[おまかせ] を選ぶと、スキャンする原稿の種類を自動で判別し、[カラーモード]、[原稿サイズ]、[解像度] も自動で設定されます。

[フィルム(自動判別)] を選ぶと、ネガフィルムとポジフィルムを自動で判別します。

重要

- [おまかせ] で利用できる原稿の種類は、写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD/DVD/CD、

フィルムです。

- 次のような原稿は、原稿の種類やサイズを指定してスキャンしてください。【おまかせ】では、正しくスキャンすることができません。
 - ・ A4サイズの写真
 - ・ 2L判 (127 mm x 178 mm) (5 inches x 7 inches) より小さいサイズの文書原稿 (例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など)
 - ・ 下地が白く、紙質が薄い原稿
 - ・ パノラマ写真などの細長い原稿
- フィルムをスキャンするとき、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear (スキャナードライバー) でスキャンしてください。
- モノクロフィルムやブローニーフィルムをスキャンするときは、ScanGearの【拡張モード】シートでスキャンしてください。
 - ➡ **「拡張モード」でフィルムをスキャンする**
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。
原稿をセットする方法については、「**原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)**」をご覧ください。

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、【原稿の種類】を【雑誌】に設定してスキャンしてください。

・【カラーモード】

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

・【原稿サイズ】

スキャンする原稿のサイズを選びます。

【ユーザー定義用紙】を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。【単位】を選んでから、【幅】と【高さ】を入力し、【OK】をクリックしてください。

幅: 210.0 mm (25.4 - 215.9)
高さ: 297.0 mm (25.4 - 297.0)
単位: mm

キャンセル 標準に戻す OK

参考

- 【原稿の種類】が【おまかせ】の場合は、【自動】のみ設定できます。
- 【原稿の種類】がフィルムの場合は、【35mmフィルム】のみ設定できます。
- 原稿のサイズを設定する画面で【標準に戻す】をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

・【解像度】

スキャンする原稿の解像度を選びます。設定できる解像度は以下のとおりです。

【原稿の種類】がフィルム以外のとき: 150 dpi/300 dpi/600 dpi

【原稿の種類】フィルムのとき: 300 dpi/400 dpi/600 dpi/1200 dpi/2400 dpi/4800 dpi

解像度が高い (数字が大きい) ほど、きめ細かい画像になります。

➡ **解像度について**

参考

- 【原稿の種類】が【おまかせ】の場合は、【自動】のみ設定できます。

・【拡大/縮小】

印刷する用紙や使用目的に合わせ、拡大/縮小の倍率を選びます。

【用紙に合わせる】を選ぶと、印刷する用紙にスキャンした画像全体が収まるように、画像の大きさを自動で調整します。画像の縦横の比率は変更されないため、原稿と用紙のサイズによっては、上下

または左右に余白ができます。

【ユーザー設定】を選ぶと、【拡大/縮小の設定】を入力できます。25 %～400 %の範囲でパーセンテージを入力し、【OK】をクリックしてください。

参考

- スキャンした画像は、ご使用のプリンターで設定した用紙サイズに印刷されます。詳細については、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

• 【明るさ】

スキャン画像の明るさを設定します。

スライダーを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。

重要

- 【原稿の種類】で【雑誌】または【文書】を選択したときのみ、この機能を使用できます。
- 【原稿サイズ】で【自動読取】を選択した場合、この機能は使用できません。

• 【画像処理設定】

▶ (右向き矢印)をクリックすると、次の項目を設定できます。設定できる項目は【原稿の種類】によって異なります。

【原稿の種類】が【写真】または【フィルム】の場合

参考

- 【カラーモード】が【白黒】の場合は、【画像処理設定】を行うことはできません。

• 【輪郭を強調する】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

【原稿の種類】が【雑誌】または【文書】の場合

参考

- 【カラーモード】が【白黒】の場合は、【とじ部の影を補正する】のみ表示されます。

• 【自動文書補正をかける】

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• 【輪郭を強調する】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

• 【裏写りを低減する】

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

• 【モアレを低減する】

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象を「モアレ」といいます。

参考

- 【モアレを低減する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

• 【とじ部の影を補正する】

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGearの【拡張モード】シートを使用してください。
詳細については、「【とじ部の影補正】」をご覧ください。

【原稿の種類】が【おまかせ】の場合

• 【おすすめの画像補正で処理する】

原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

(2) プリンターの設定エリア

• 【用紙設定...】

使用するプリンターや用紙サイズなどを細かく設定することができます。

参考

- 選んでいるプリンターによって、選べる用紙サイズが異なります。

• 【印刷設定...】

使用するプリンターや印刷方法、印刷部数などを細かく設定することができます。

• 【操作説明】

本書を表示します。

• 【標準に戻す】

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

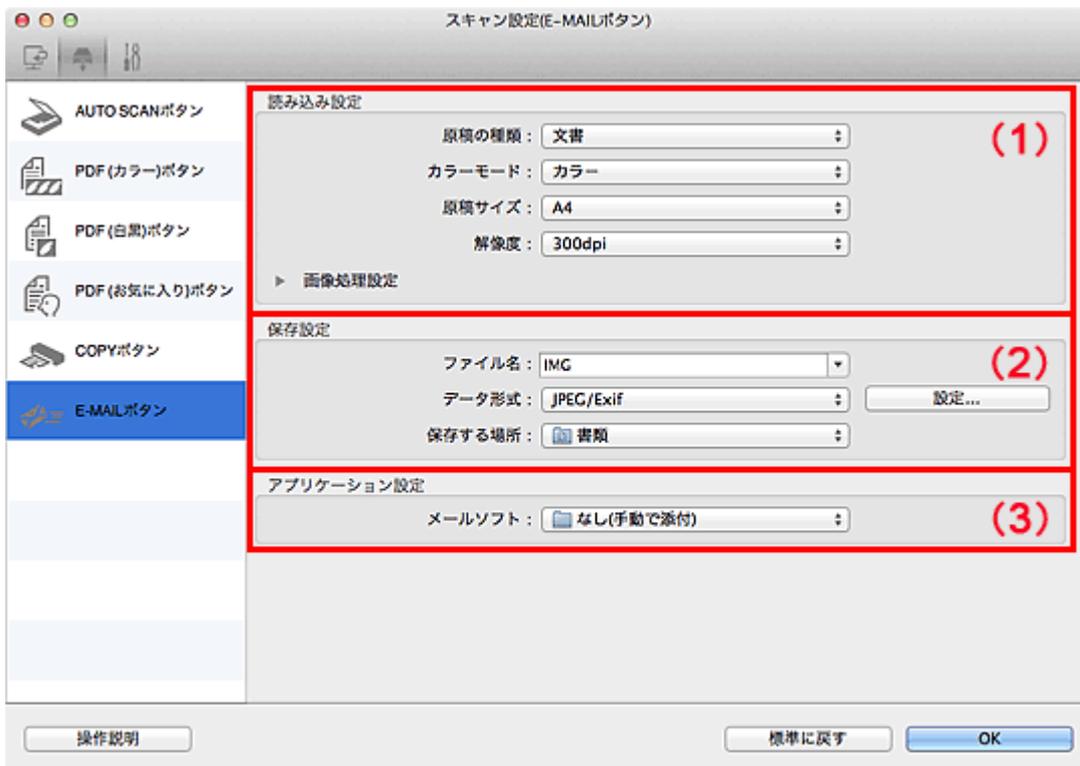
ページの先頭へ ▲

[スキャン設定(E-MAILボタン)] ダイアログ



(EZボタンからスキャン) シートで [E-MAILボタン] をクリックすると、[スキャン設定(E-MAILボタン)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(E-MAILボタン)] ダイアログでは、EZボタンからスキャンしたデータを、メールに添付するときの動作を設定することができます。



- (1) 読み込み設定エリア
- (2) 保存設定エリア
- (3) アプリケーション設定エリア

(1) 読み込み設定エリア

● [原稿の種類]

スキャンする原稿の種類を選びます。[おまかせ] を選ぶと、スキャンする原稿の種類を自動で判別し、[カラーモード]、[原稿サイズ]、[解像度] も自動で設定されます。

[フィルム(自動判別)] を選ぶと、ネガフィルムとポジフィルムを自動で判別します。

重要

- [おまかせ] で利用できる原稿の種類は、写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD/DVD/CD、フィルムです。
- 次のような原稿は、原稿の種類やサイズを指定してスキャンしてください。[おまかせ] では、正しくスキャンすることができません。
 - ・ A4サイズの写真
 - ・ 2L判 (127 mm x 178 mm) (5 inches x 7 inches) より小さいサイズの文書原稿 (例、文庫本の

背表紙を切り落とした原稿など)

- ・下地が白く、紙質が薄い原稿
- ・パノラマ写真などの細長い原稿

- フィルムをスキャンするとき、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear（スキャナードライバー）でスキャンしてください。
- モノクロフィルムやブローニーフィルムをスキャンするときは、ScanGearの【拡張モード】シートでスキャンしてください。

➡ 「拡張モード」でフィルムをスキャンする

- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）」をご覧ください。

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、【原稿の種類】を【雑誌】に設定してスキャンしてください。

• 【カラーモード】

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

• 【原稿サイズ】

スキャンする原稿のサイズを選びます。

【ユーザー定義用紙】を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。【単位】を選んでから、【幅】と【高さ】を入力し、【OK】をクリックしてください。

幅:	<input type="text" value="210.0"/>	mm (25.4 - 215.9)
高さ:	<input type="text" value="297.0"/>	mm (25.4 - 297.0)
単位:	<input type="text" value="mm"/>	
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="標準に戻す"/> <input type="button" value="OK"/>		

参考

- 【原稿の種類】が【おまかせ】の場合は、【自動】のみ設定できます。
- 【原稿の種類】がフィルムの場合は、【35mmフィルム】のみ設定できます。
- 原稿のサイズを設定する画面で【標準に戻す】をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

• 【解像度】

スキャンする原稿の解像度を選びます。設定できる解像度は以下のとおりです。

【原稿の種類】がフィルム以外の場合：75 dpi/100 dpi/150 dpi/200 dpi/300 dpi/400 dpi/600 dpi

【原稿の種類】フィルムの場合：300 dpi/400 dpi/600 dpi/1200 dpi/2400 dpi/4800 dpi

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ 解像度について

参考

- 【原稿の種類】が【おまかせ】の場合は、【自動】のみ設定できます。

• 【画像処理設定】

▶（右向き矢印）をクリックすると、次の項目を設定できます。設定できる項目は【原稿の種類】によって異なります。

【原稿の種類】が【写真】またはフィルムの場合

参考

- 【カラーモード】が【白黒】の場合は、【画像処理設定】を行うことはできません。

【輪郭を強調する】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

【原稿の種類】が【雑誌】または【文書】の場合

参考

- 【カラーモード】が【白黒】の場合は、【とじ部の影を補正する】、【文字原稿の傾きを補正する】、【文字原稿の向きを検知して、画像を回転する】のみ表示されます。

● 【自動文書補正をかける】

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

● 【輪郭を強調する】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

● 【裏写りを低減する】

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

● 【モアレを低減する】

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象を「モアレ」といいます。

参考

- 【モアレを低減する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

● 【とじ部の影を補正する】

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGearの【拡張モード】シートを使用してください。
詳細については、「【とじ部の影補正】」をご覧ください。

● 【文字原稿の傾きを補正する】

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き ± 0.1 度から10度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
 - ・テキストの行が10度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
 - ・縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
 - ・文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
 - ・文字数が少ない原稿
 - ・図形や画像の含まれる原稿
 - ・手書きの原稿
 - ・縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- 【文字原稿の傾きを補正する】を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

● 【文字原稿の向きを検知して、画像を回転する】

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [スキャン設定(基本設定)] ダイアログの [文書の言語] で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
➡ [スキャン設定(基本設定)] ダイアログ
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
 - ・解像度が300 dpi~600 dpiの範囲外
 - ・文字サイズが8ポイント~48ポイントの範囲外
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - ・下地に模様（地紋）がある原稿

[原稿の種類] が [おまかせ] の場合

● [おすすめの画像補正で処理する]

原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

(2) 保存設定エリア

● [ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

● [データ形式]

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

● [設定...]

クリックすると、[データ形式の設定] ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [データ形式の設定] ダイアログ

● [保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。

(3) アプリケーション設定エリア

● [メールソフト]

スキャンした画像を添付するメールソフトを設定します。
ポップアップメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

参考

- ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、メールソフトを指定します。

● [操作説明]

本書を表示します。

● [標準に戻す]

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

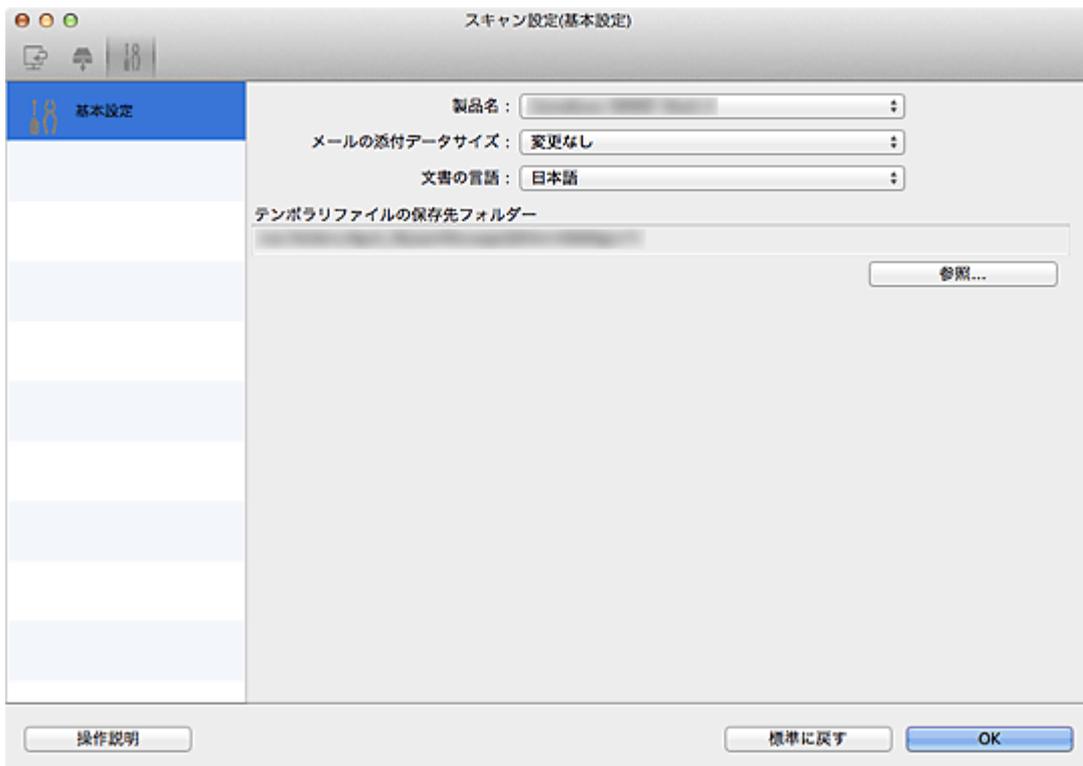
[ページの先頭へ▲](#)

[スキャン設定(基本設定)] ダイアログ



(基本設定) シートをクリックすると、[スキャン設定(基本設定)] ダイアログが表示されます。

[スキャン設定(基本設定)] ダイアログでは、ご使用になる製品、メールに添付するファイルのサイズ制限、および画像を一時的に保存するフォルダーを設定することができます。



• 【製品名】

現在IJ Scan Utilityに設定されている製品名が表示されます。

ほかの製品名が表示されている場合は、ご使用になる製品名を選んでください。

• 【メールの添付データサイズ】

スキャンした画像をメールに添付するときのサイズを制限することができます。

[小(640x480ウィンドウに合う)]、[中(800x600ウィンドウに合う)]、[大(1024x768ウィンドウに合う)]、[変更なし] が選べます。

重要

- My Image Gardenからスキャン設定ダイアログを表示した場合は、この項目は表示されません。

• 【文書の言語】

画像内の文字列を認識させるための言語を選べます。

• 【テンポラリファイルの保存先フォルダー】

画像を一時的に保存するフォルダーが表示されます。[参照...] をクリックして、保存先のフォルダーを指定します。

- **【操作説明】**

本書を表示します。

- **【標準に戻す】**

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[ページの先頭へ▲](#)

[データ形式の設定] ダイアログ

以下のいずれかの操作で、[データ形式の設定] ダイアログが表示されます。

- スキャン設定ダイアログの各シートで [保存設定] の [設定...] をクリック
- スキャン設定ダイアログで [スキャン結果を確認する] にチェックマークを付けてスキャンすると表示される [保存設定] ダイアログで [保存設定] の [設定...] をクリック

[データ形式の設定] ダイアログでは、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

• [JPEG画質]

JPEGファイルの画質を指定することができます。

• [キーワード検索が可能なPDFを作成する]

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができるPDFファイルを作成できます。

• [PDF圧縮タイプ]

PDFファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

• 【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

• 【高圧縮】

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

参考

- スキャン設定ダイアログの  (パソコンからスキャン) シートにある [カラーモード] を [白黒] に設定しているときは、[高圧縮] を設定しても [標準] でPDFファイルが保存されます。

• 【おまかせスキャンで文書と判別された場合】

おまかせスキャンで文書と判別されたときに、自動で保存されるデータ形式を指定できます。

• 【おまかせスキャンで写真と判別された場合】

おまかせスキャンで写真と判別されたときに、自動で保存されるデータ形式を指定できます。

• 【標準に戻す】

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

【保存設定】ダイアログ

スキャン設定ダイアログの[保存設定]にある[スキャン結果を確認する]にチェックマークを付けてスキャンすると、[保存設定]ダイアログが表示されます。

スキャン結果のサムネイル(縮小版)画像を確認しながら、データ形式や保存先を指定することができます。

重要

- My Image GardenやEZボタンからスキャンした場合、スキャン後に[保存設定]ダイアログは表示されません。



(1) ツールバー

(2) スキャン結果表示領域

(3) 保存設定エリア

(1) ツールバー

-  /  (左回りに90度回転) / (右回りに90度回転)

スキャンした画像を左または右に90度回転することができます。

回転させたい画像を選び、 (左回りに90度回転) または  (右回りに90度回転) をクリックします。

重要

- [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログで [大容量の画像のスキャンを有効にする] にチェックマークを付けているときは、ツールバーは表示されません。

(2) スキャン結果表示領域

スキャンした画像のサムネイルを表示します。ドラッグ&ドロップで画像を保存する順番を変更できます。サムネイル画像の下に保存するときのファイル名が表示されます。

(3) 保存設定エリア

• 【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と4桁の数字が付きます。

• 【データ形式】

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

[JPEG/Exif]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (複数ページ)] が選べます。

重要

- 以下のいずれかに該当する場合、[PDF]、[PDF (複数ページ)] を選択できません。
 - [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログの [保存設定] で [大容量の画像のスキャンを有効にする] にチェックマークを付けている
 - [スキャン設定(文書)]、[スキャン設定(お気に入り)]、[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログの [アプリケーション設定] で [OCRを開始する] を選んでいる
 - [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログの [原稿の種類] でフィルムを選んでいる
 - [カラーモード] で [白黒] を選択しているときは、[JPEG/Exif] を選択できません。

• 【設定...】

クリックすると、[データ形式の設定] ダイアログが表示され、保存する画像の画質やPDFファイルのキーワード検索と圧縮タイプ、おまかせスキャンでスキャンした画像を保存するときのデータ形式を設定することができます。

➡ [データ形式の設定] ダイアログ

• 【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、ポップアップメニューから [追加...] を選択して表示されるダイアログで、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、[書類] フォルダーに保存されます。

ページの先頭へ ▲

[画像貼り合わせ] ウィンドウ

IJ Scan Utility基本画面の [貼り合わせ] をクリックすると、[画像貼り合わせ] ウィンドウが表示されます。

原稿台よりも大きなサイズの原稿は、左右に分けてスキャンし、画像を貼り合わせて1つの画像に仕上げることができます。最大で原稿台の約2倍のサイズまでスキャンすることが可能です。



- (1) 設定項目と操作ボタン
- (2) ツールバー
- (3) サムネイル表示領域
- (4) プレビュー領域

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。

(1) 設定項目と操作ボタン

● [出力サイズを選択する]

● [B4 (B5x2)]

B4サイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

● [A3 (A4x2)]

A3サイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

● [11x17 (レターx2)]

レターサイズの2倍のサイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

- **【原稿台全面x2】**

原稿台の2倍のサイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

- **【読み取り方向を設定する】**

- **【左から読み取る】**

最初にスキャンした画像が左側に表示されます。

- **【右から読み取る】**

最初にスキャンした画像が右側に表示されます。

- **【画像1を読み取る】**

- **【画像1の読み取り開始】**

1枚目の原稿をスキャンします。



- **【画像2を読み取る】**

- **【画像2の読み取り開始】**

2枚目の原稿をスキャンします。



- **【クロップ枠を調整する】**

読み取り範囲をプレビュー上で調整することができます。

範囲を指定しない場合は、[出力サイズを選択する] で選んだ原稿サイズの画像が保存されます。範囲を指定した場合は、クロップ枠内の画像だけが読み込まれ、保存されます。

➡ [クロップ枠の調整のしかた](#)

- **【保存開始】**

- **【保存開始】**

スキャンした2枚の画像を、1枚の画像として保存します。

- **【キャンセル】**

[貼り合わせ] スキャンをキャンセルします。

(2) ツールバー

- **ツールバー**

スキャンした画像を取り消したり、プレビューした画像を調整したりすることができます。

-  **(削除)**

スキャンした画像を削除します。

-  **(拡大／縮小)**

プレビュー領域上の画像を拡大／縮小できるようになります。

プレビュー領域を左クリックすると、表示画像が拡大されます。

controlキーを押しながらプレビュー領域をクリックすると、表示画像が縮小されます。

-  **(左回転)**

プレビュー領域の画像が左に90度回転します。

-  **(上下反転)**

プレビュー領域の画像が180度回転します。

-  **(右回転)**

プレビュー領域の画像が右に90度回転します。

-  **(操作説明表示)**

このページが表示されます。

(3) サムネイル表示領域

- **サムネイル表示領域**

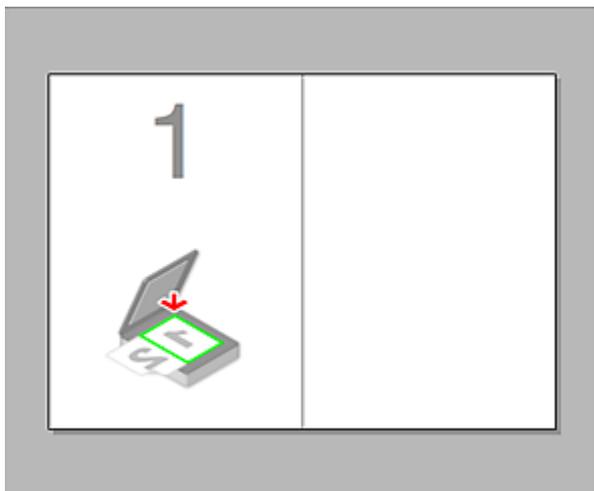
スキャンした画像のサムネイルを表示します。スキャンしていないときは、空欄になります。

(4) プレビュー領域

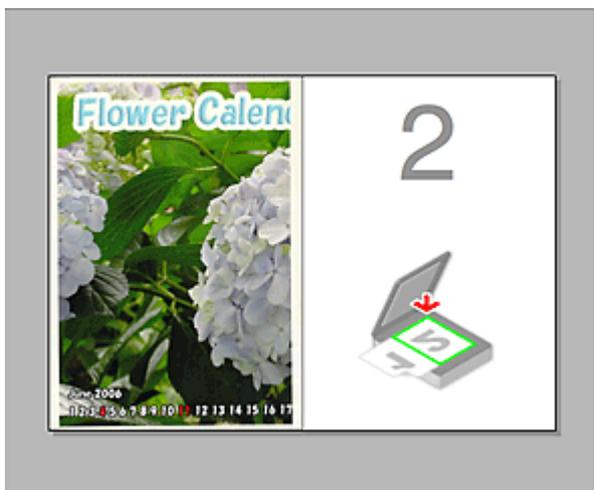
- **プレビュー領域**

スキャンされた画像を表示します。スキャン画像をドラッグして配置を調整したり、「[設定項目と操作ボタン](#)」で設定した内容を確認したりすることができます。

- 画像をスキャンしていない場合



- [画像1の読み取り開始] をクリックし、1枚目の原稿をスキャンした場合



[読み取り方向を設定する] で、設定した方向に画像がスキャンされ、その隣に [2] が表示されます。

- [画像2の読み取り開始] をクリックし、2枚目の原稿をスキャンした場合



スキャンした2枚の画像が表示されます。

関連項目

- [原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）](#)

お使いのアプリケーションソフトでスキャンする (ScanGear)

- [ScanGear \(スキャナードライバー\) とは](#)
- [ScanGear \(スキャナードライバー\) で細かく設定してスキャンしよう](#)
- [ScanGear \(スキャナードライバー\) で画像補正や色調整をしてみよう](#)
- [ScanGear \(スキャナードライバー\) の画面説明](#)
- [使用上の注意 \(スキャナードライバー\)](#)

[ページの先頭へ▲](#)

S900

ScanGear

ScanGear (スキャナードライバー) とは

ScanGear (スキャナードライバー) とは、原稿やフィルムをスキャンするために必要なソフトウェアです。出力サイズや画像補正などを細かく設定してスキャンすることができます。

ScanGearはIJ Scan UtilityまたはMy Image Gardenから起動して使用できます。また、TWAIN (トウェイン) という業界標準規格に対応したアプリケーションソフトから起動して使用することもできます。(ScanGearはTWAIN対応ドライバーです。)

このソフトウェアでできること

プレビュー (仮読み込み) で原稿やフィルムがどのように読み込まれるかを確認したり、原稿や出力サイズなどを細かく設定したりしてスキャンすることができます。さまざまな補正機能の設定や、明るさ、コントラストなどの詳細な調整ができるので、お好みの色あいでスキャンしたいときに便利です。

画面紹介

基本モード、拡張モードの2つのモードがあります。

モードは画面右上にある各タブをクリックして切り替えます。

基本モード 拡張モード

参考

- モードを切り替えたあとにScanGearを終了した場合、次回起動時の画面は、終了したときと同じモードになります。
- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。

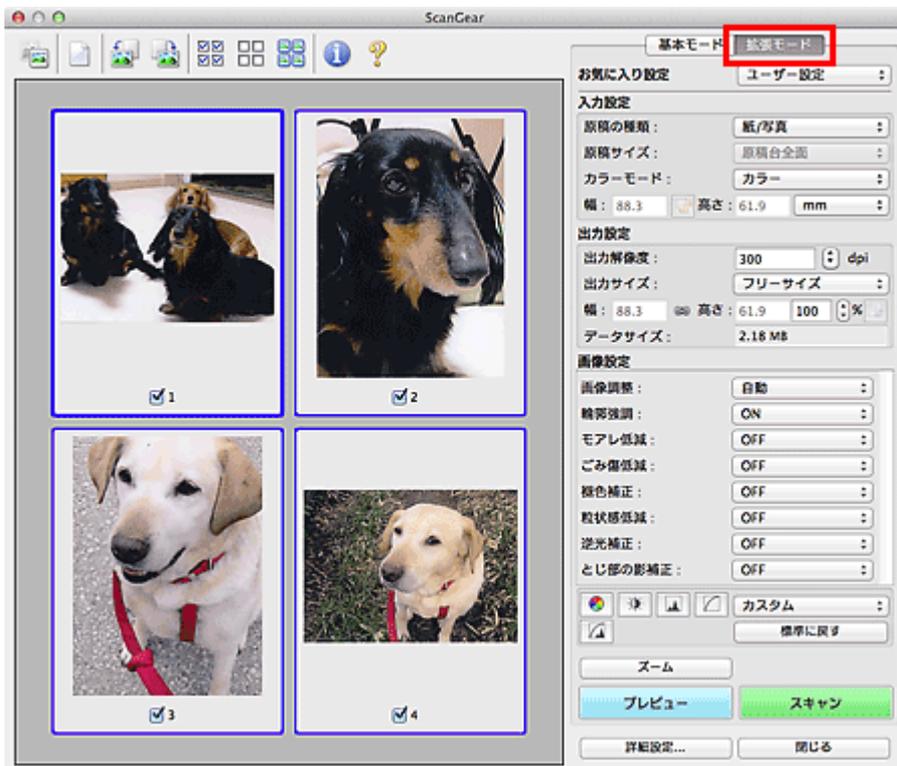
基本モード

[基本モード] シートでは、画面に表示されるシンプルな3ステップ (① 、 ② 、 ③) に従って設定、実行するだけで、簡単にスキャンすることができます。



拡張モード

〔拡張モード〕シートでは、カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンすることができます。



ページの先頭へ ▲

S901

ScanGear

ScanGear (スキャナードライバー) で細かく設定してスキャンしよう

- ScanGear (スキャナードライバー) を起動したい
 - ➡ ScanGear (スキャナードライバー) を起動する
- 簡単に画像補正してスキャンしたい
 - ➡ 「基本モード」でスキャンする
- 画像補正を加えたり、明るさや色あいを好みに調整したりしてスキャンしたい
 - ➡ 「拡張モード」でスキャンする
 - ➡ 「拡張モード」でフィルムをスキャンする
- 複数の原稿に画像補正や色調整を設定して一度にスキャンしたい
 - ➡ ScanGear (スキャナードライバー) で複数の原稿を一度にスキャンする

[ページの先頭へ ▲](#)

ScanGear (スキャナードライバー) を起動する

ScanGear (スキャナードライバー) を使用すると、画像補正や色調整を行ってきれいにスキャンすることができます。ScanGearは、IJ Scan Utilityまたはアプリケーションソフトから起動します。

IJ Scan Utilityから起動する

IJ Scan UtilityからScanGearを起動する手順を説明します。

1. IJ Scan Utilityを起動

⇒ [IJ Scan Utilityを起動する](#)

2. IJ Scan Utility基本画面でScanGearのアイコンをクリック

ScanGearの画面が表示されます。

アプリケーションソフトから起動する

アプリケーションソフトからScanGearを起動する手順の一例を説明します。

この操作は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しい操作方法については、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1. アプリケーションソフトを起動

2. アプリケーションソフトのメニューで本製品を選択

3. 原稿をスキャンするための操作を行う

ScanGearの画面が表示されます。

「基本モード」でスキャンする

〔基本モード〕シートでは、画面に表示される手順に従って操作するだけで、簡単にスキャンすることができます。

ここでは、1枚の原稿またはカラーフィルムをスキャンするときの操作手順を説明します。

複数の原稿を一度にスキャンしたい場合は、「ScanGear (スキャナードライバー) で複数の原稿を一度にスキャンする」をご覧ください。

モノクロフィルム、ブローニーフィルムをスキャンしたい場合は、「拡張モード」でフィルムをスキャンする」をご覧ください。

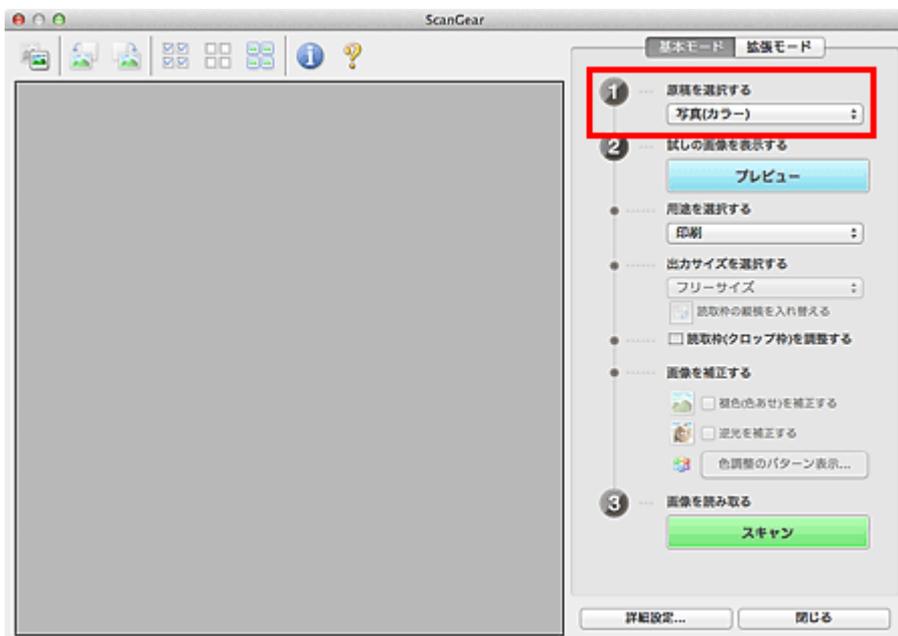
重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ツールバーの  (サムネイル) をクリックし、全体表示に切り替えてスキャンしてください。
 - ・周囲が白っぽい写真
 - ・白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - ・薄い原稿
 - ・厚みのある原稿
- 次のような原稿は、正しくスキャンすることができません。
 - ・3 cm (1.2 inches) 四方より小さい原稿
 - ・いろいろな形に切り抜いた写真

1. 本製品の原稿台に原稿やフィルムをセットし、ScanGear (スキャナードライバー) を起動

- ➡ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)
- ➡ フィルムのセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)
- ➡ ScanGear (スキャナードライバー) を起動する

2. セットした原稿やフィルムに合わせて、【原稿を選択する】を設定



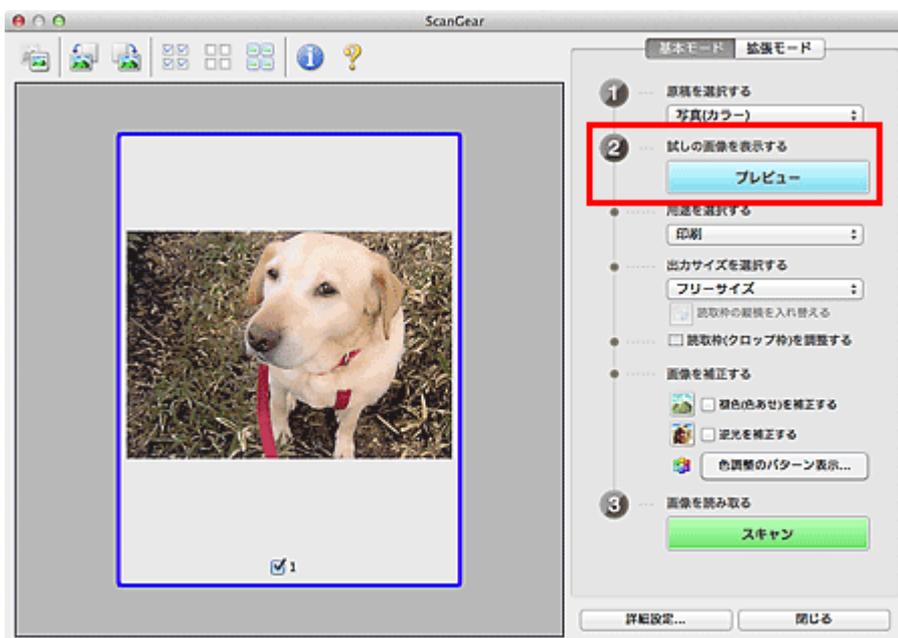
参考

- カラー写真の多い雑誌をスキャンする場合は、[雑誌(カラー)] を選択してください。

3. [プレビュー] をクリック

写真や文書をプレビューした場合

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像が表示されます。



参考

- [原稿を選択する] で選択した原稿に合わせた色調整が行われます。

フィルムをプレビューした場合

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像が表示されます。フィルムのサイズに合わせて、自動的にクロップ枠（スキャンする範囲）が指定されます。

スキャンしたいコマにチェックマークを付けます。



重要

- フィルムはプレビューしないとスキャンできません。

4. 【用途を選択する】を設定

5. 目的に応じて、【出力サイズを選択する】を設定

【用途を選択する】で選択した項目によって、選べる出力サイズが異なります。

6. 必要に応じて、クロープ枠を調整

プレビュー画像のクロープ枠の大きさや位置を調整します。

➡クロープ枠の調整のしかた

7. 必要に応じて、【画像を補正する】を設定

8. 【スキャン】をクリック

スキャンが開始されます。

参考

-  (情報) をクリックすると、表示されたダイアログで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- 【詳細設定】ダイアログにある【スキャン】シートの【スキャン終了後の ScanGear の画面】で、スキャン終了後の動作を設定することができます。
➡【スキャン】シート

関連項目

- 【基本モード】シート

ページの先頭へ ▲

「拡張モード」でスキャンする

【拡張モード】シートでは、カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンすることができます。

複数の原稿を一度にスキャンしたい場合は、「ScanGear (スキャナードライバー) で複数の原稿を一度にスキャンする」をご覧ください。

フィルムをスキャンしたい場合は、「「拡張モード」でフィルムをスキャンする」をご覧ください。

重要

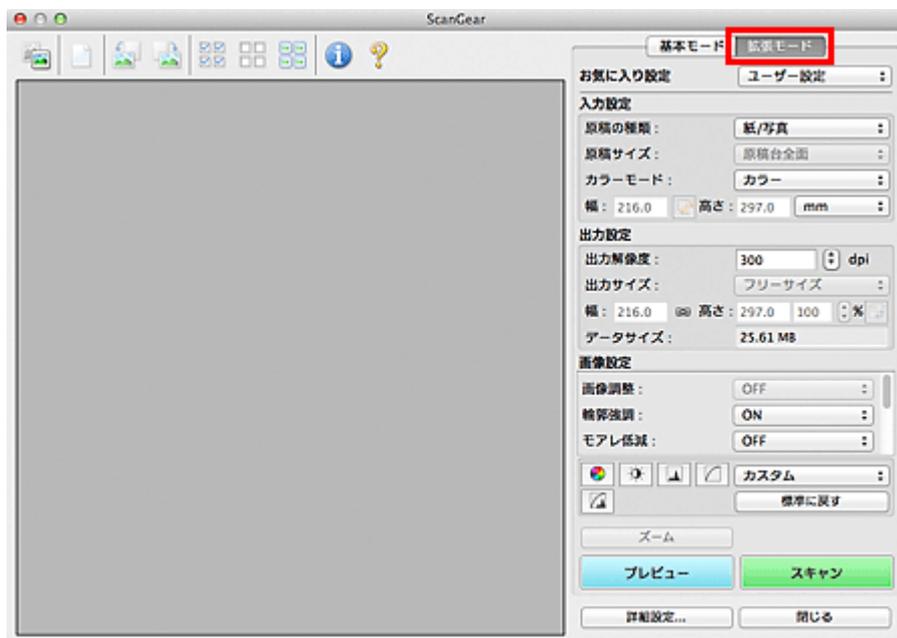
- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ツールバーの  (サムネイル) をクリックし、全体表示に切り替えてスキャンしてください。
 - ・周囲が白っぽい写真
 - ・白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - ・薄い原稿
 - ・厚みのある原稿
- 次のような原稿は、正しくスキャンすることができません。
 - ・3 cm (1.2 inches) 四方より小さい原稿
 - ・いろいろな形に切り抜いた写真

1. 本製品の原稿台に原稿をセットし、ScanGear (スキャナードライバー) を起動

- ➡ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)
- ➡ ScanGear (スキャナードライバー) を起動する

2. 【拡張モード】タブをクリック

【拡張モード】シートに切り替わります。



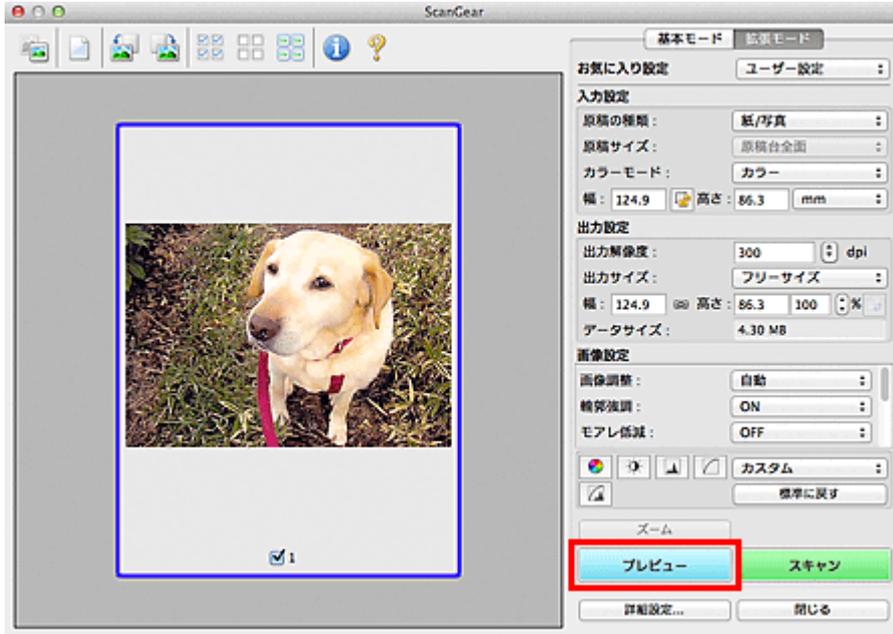
- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。

3. 原稿や目的に合わせて、【入力設定】を設定

➡ 【入力設定】

4. 【プレビュー】をクリック

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像が表示されます。



5. 【出力設定】を設定

➡ 【出力設定】

6. 必要に応じて、クロープ枠（スキャンする範囲）の調整や画像補正、色調整を行う

- ➡ クロープ枠の調整のしかた
- ➡ 【画像設定】
- ➡ 色調整ボタン

7. 【スキャン】をクリック

スキャンが開始されます。

-  (情報) をクリックすると、表示されたダイアログで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- 【詳細設定】ダイアログにある【スキャン】シートの【スキャン終了後の ScanGear の画面】で、スキャン終了後の動作を設定することができます。
- ➡ 【スキャン】シート

関連項目

- 【拡張モード】シート

[ページの先頭へ▲](#)

「拡張モード」でフィルムをスキャンする

【拡張モード】シートでは、カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンすることができます。

1枚の原稿をスキャンしたい場合は、「【拡張モード】でスキャンする」をご覧ください。

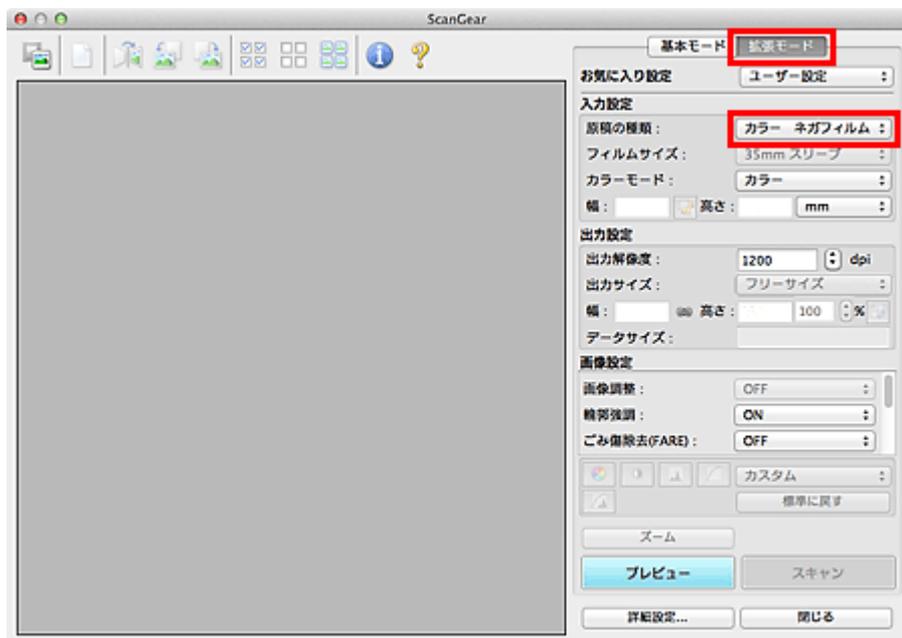
1. 本製品の原稿台にフィルムをセットし、ScanGear (スキャナードライバー) を起動

- ➡ フィルムのセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)
- ➡ ScanGear (スキャナードライバー) を起動する

重要

- アプリケーションソフトによっては、【カラー(48ビット)】、【グレースケール(16ビット)】でスキャンされた画像を受け取れなかったり、終了したりする場合があります。

2. 【拡張モード】タブをクリックし、【原稿の種類】でフィルムを選択



参考

- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。

3. フィルムや目的に合わせて、【入力設定】を設定

- ➡ 【入力設定】

4. 【プレビュー】をクリック

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像が表示されます。フィルムのサイズに合わせて、自動的にクロップ枠 (スキャンする範囲) が指定されます。

スキャンしたいコマにチェックマークを付けます。



5. [出力設定] を設定

➡ [出力設定]

参考

- データサイズが1.8 GBを超える場合は、IJ Scan Utilityの [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログで [大容量の画像のスキャンを有効にする] にチェックマーク付けてください。4.0 GBまでの画像をスキャンすることができます。

➡ [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログ

6. 必要に応じて、クロップ枠の調整や画像補正、色調整を行う

➡ クロップ枠の調整のしかた

➡ [画像設定]

➡ 色調整ボタン

参考

- 読み込んだ画像ごとに補正することができます。補正したいコマを選んでください。

7. [スキャン] をクリック

スキャンが開始されます。

参考

-  (情報) をクリックすると、表示されたダイアログで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- [詳細設定] ダイアログにある [スキャン] シートの [スキャン終了後の ScanGear の画面] で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

➡ [スキャン] シート

関連項目

- [拡張モード] シート

[ページの先頭へ▲](#)

ScanGear (スキャナードライバー) で複数の原稿を一度にスキャンする

【基本モード】シート、【拡張モード】シートでは、原稿台にセットした2枚以上の写真 (小さいサイズの原稿) を、一度にまとめてスキャンすることができます。

ここでは、【基本モード】シートで複数の原稿をスキャンする例を説明します。

重要

- 複数の原稿を1枚の画像でスキャンしたい場合は、全体表示でスキャンしてください。
- 次のような原稿は、正しく切り抜けないことがあります。その場合は、全体表示でクロップ枠 (スキャンする範囲) を調節して、スキャンしてください。
 - ・周囲が白っぽい写真
 - ・白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
 - ・薄い原稿
 - ・厚みのある原稿
- ➡ 全体表示で複数の原稿をスキャンする
- 次のような原稿は、正しく切り抜いてスキャンすることができません。
 - ・3 cm (1.2 inches) 四方より小さい原稿
 - ・いろいろな形に切り抜いた写真

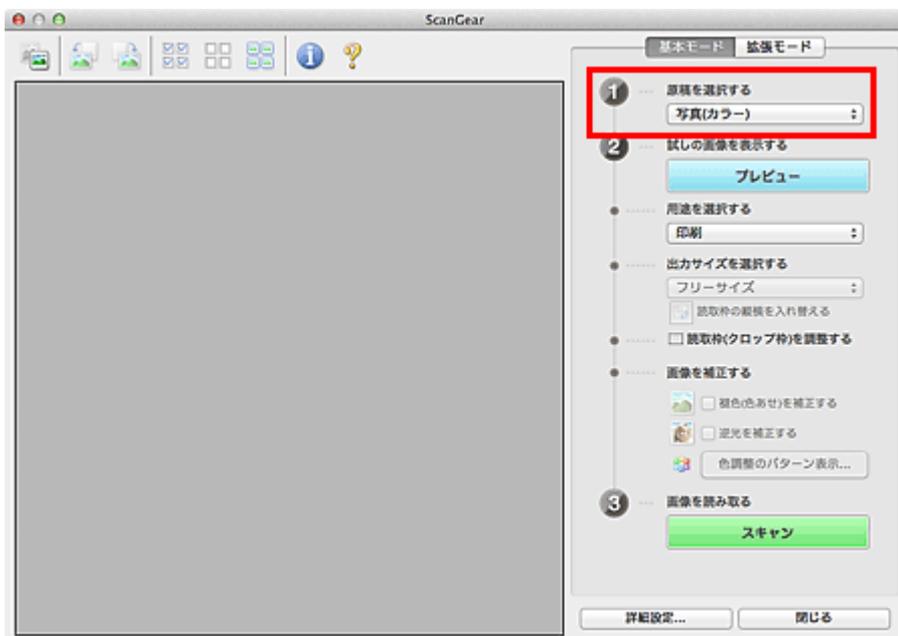
参考

- 【拡張モード】シートでも同じように複数の原稿を一度にスキャンできます。カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンしたい場合は、【拡張モード】シートをご使用ください。
- 【基本モード】シート、【拡張モード】シートの詳細については、以下をご覧ください。
 - ➡ [【基本モード】シート](#)
 - ➡ [【拡張モード】シート](#)

1. 本製品の原稿台に原稿をセットし、ScanGear (スキャナードライバー) を起動

- ➡ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)
- ➡ ScanGear (スキャナードライバー) を起動する

2. セットした原稿に合わせて、【原稿を選択する】を設定



3. 【プレビュー】をクリック

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像がサムネイル（縮小版）表示されます。原稿のサイズに合わせて、自動的にクロップ枠が指定されます。



4. 【用途を選択する】を設定

5. 目的に応じて、【出力サイズを選択する】を設定

6. 必要に応じて、クロップ枠の調整や【画像を補正する】を設定

参考

- 読み込んだ画像ごとに補正することができます。補正したいコマを選んでください。
- サムネイル（縮小版）表示では、クロップ枠を1コマにつき1つしか作成できません。1枚の画像に複数のクロップ枠を作成したい場合は、全体表示でスキャンしてください。
➡全体表示で複数の原稿をスキャンする

7. スキャンしたい画像を選択

スキャンしたい画像のチェックボックスにチェックマークを付けます。

8. 【スキャン】をクリック

全体表示で複数の原稿をスキャンする

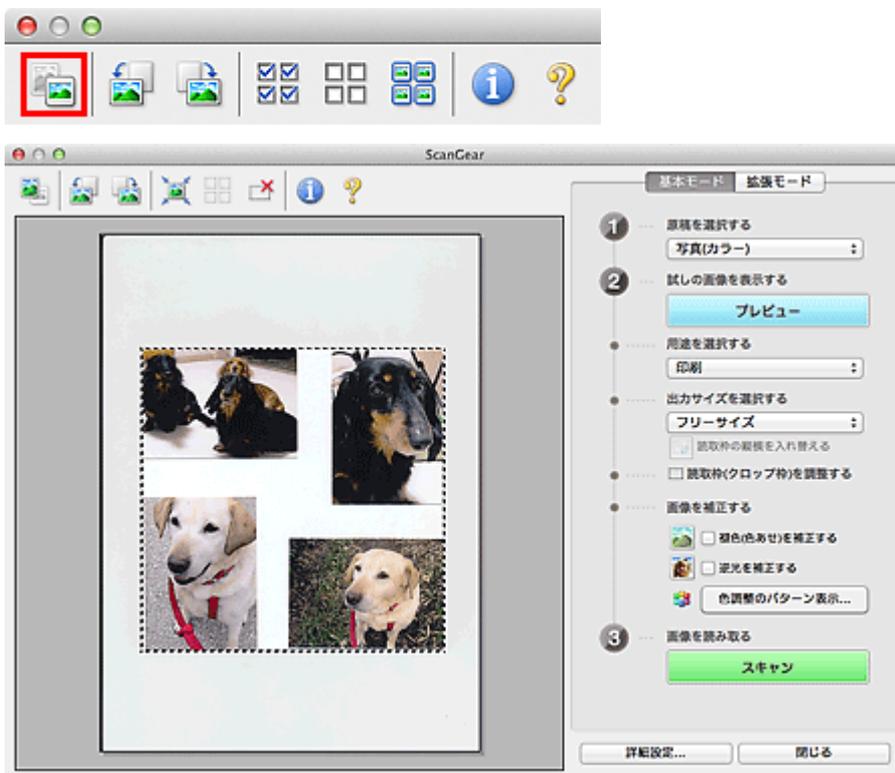
プレビューしたときに、正常にサムネイル（縮小版）表示されない場合や、複数の原稿を1枚の画像でスキャンしたい場合は、以下の手順を行ってください。

参考

- 全体表示では、原稿の傾きは補正されません。

1. 画像をプレビュー後、ツールバーの (サムネイル) をクリック

全体表示にします。



参考

- 全体を表示しているときは、アイコンが  (全体表示) に変わります。

2. 【用途を選択する】を設定

3. 目的に応じて、【出力サイズを選択する】を設定

【出力サイズを選択する】が、【フリーサイズ】以外のとき【読取枠の縦横を入れ替える】が有効となります。このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

4. クロップ枠を調整

プレビュー画像のクロップ枠の大きさや位置を調整します。また、クロップ枠を複数作成することも

できます。

範囲を指定しない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み込まれます。範囲を指定した場合は、その範囲の画像だけが読み込まれます。

➡ クロップ枠の調整のしかた

5. 必要に応じて、[画像を補正する] を設定

6. [スキャン] をクリック

点線で囲まれた原稿がスキャンされます。

参考

- [詳細設定] ダイアログにある [スキャン] シートの [スキャン終了後の ScanGear の画面] で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

➡ [スキャン] シート

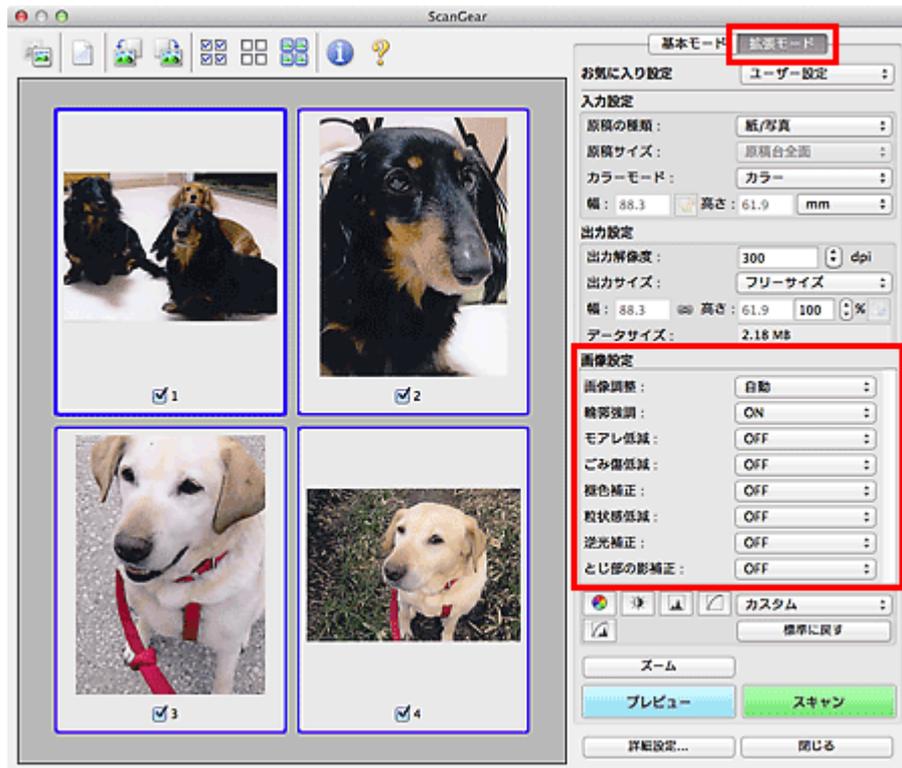
ページの先頭へ ▲

ScanGear (スキャナードライバー) で画像補正や色調整をしてみよう

- ぼやけた写真をくっきりさせたり、ごみ傷や色褪せを補正したりしたい
⇒ 画像補正のしかた (輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など)
- プレビューを見ながら画像全体の色あいを変えてスキャンしたい
⇒ 色調整パターンを使った色調整のしかた
- 色かぶりや褪色によって損なわれた色彩を鮮やかにしたい
⇒ 彩度・カラーバランスの調整のしかた
- 暗すぎたり明るすぎたりする画像や、明暗差がなくフラットな画像の色を調整したい
⇒ 明るさ・コントラストの調整のしかた
- 明るさの分布を示すグラフ、ヒストグラムで色あいを調整したい
⇒ ヒストグラムの調整のしかた
- 明暗のバランスを示したグラフ、トーンカーブを編集して画像の明るさを調整したい
⇒ トーンカーブの調整のしかた
- 文書原稿の文字をくっきりさせたり、裏写りを軽減させたりしたい
⇒ 白黒設定のしかた

画像補正のしかた (輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など)

ScanGear (スキャナードライバー) の [拡張モード] シートの [画像設定] の機能を使用すると、画像の輪郭を強調したり、ごみ傷や色褪せを目立たなくしたりしてスキャンすることができます。



設定のしかた

各機能の  (矢印) をクリックし、ポップアップメニューから項目を選びます。



重要

- モアレ、ごみ傷、色褪せなどが発生していない原稿に対して、これらの機能を使用しないでください。色あいがおかしくなることがあります。
- 各機能の詳細や注意事項などは、「[\[画像設定\]](#)」をご覧ください。

参考

- ScanGearの [拡張モード] シートの起動方法、スキャンする手順については、「[「拡張モード」でスキャンする](#)」をご覧ください。
- [原稿の種類] が [紙/写真] のときとフィルムのときでは、設定できる項目が異なります。

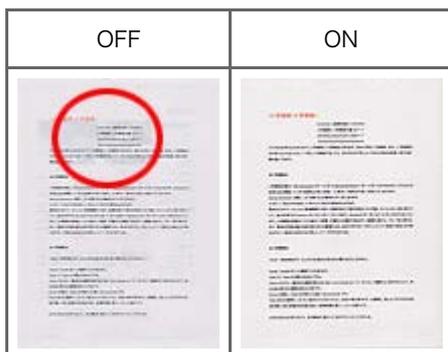
画像の明るさや色あいを調整したい

[画像調整] を、原稿の種類に応じて [自動]、[写真]、[雑誌]、[文書] のいずれかに設定します。



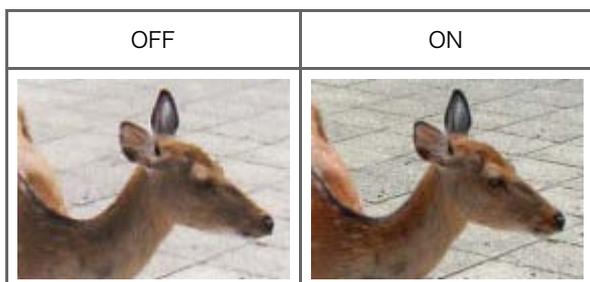
原稿をスキャンするときに、文字原稿の裏写りや、再生紙や新聞などの下地の色を軽減したい

[裏写り低減] を [ON] にします。



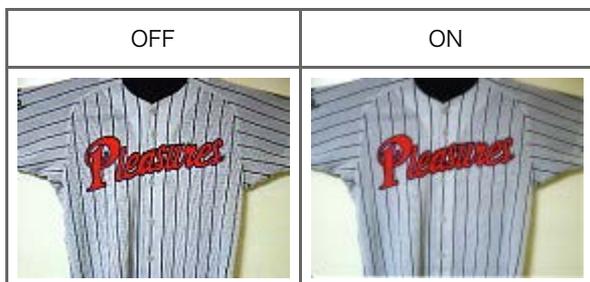
ぼやけ気味の画像をもっとくっきりした画質にしたい

[輪郭強調] を [ON] にします。



濃淡のむらや縞模様を低減したい

[モアレ低減] を [ON] にします。

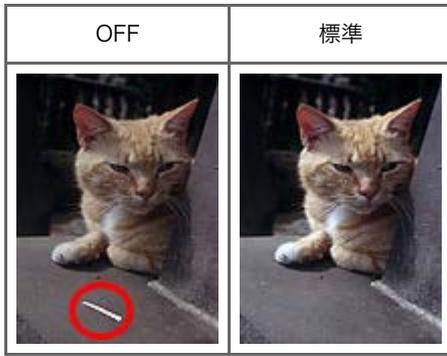


参考

- 印刷された写真や絵は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象です。[モアレ低減] は、このモアレを少なくする機能です。

フィルム上のごみや傷を除去してスキャンしたい

[ごみ傷除去(FARE)] を、程度に応じて [弱]、[標準]、[強] のいずれかに設定します。フィルムをスキャンしたときに、フィルム上のごみや傷を自動的に除去してスキャンします。



参考

- 解像度を4801 dpi以上に設定して [ごみ傷除去(FARE)] をオンにした場合、スキャンの時間が長くなります。また、ハードディスクドライブの空き容量を確保してからスキャンしてください。

ごみや傷を少なくしてスキャンしたい

[ごみ傷低減] を、程度に応じて [弱]、[標準]、[強] のいずれかに設定します。



褪色や、色かぶりした写真の色を補正したい

[褪色補正] を、程度に応じて [弱]、[標準]、[強] のいずれかに設定します。



粒状感を低減したい

[粒状感低減] を、程度に応じて [弱]、[標準]、[強] のいずれかに設定します。



逆光で見えにくくなった画像を補正したい

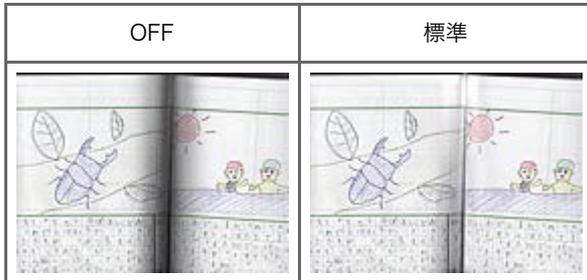
[逆光補正] を、程度に応じて [弱]、[標準]、[強] のいずれかに設定します。





冊子などを見開きでスキャンするときにとじ部にできる影を補正したい

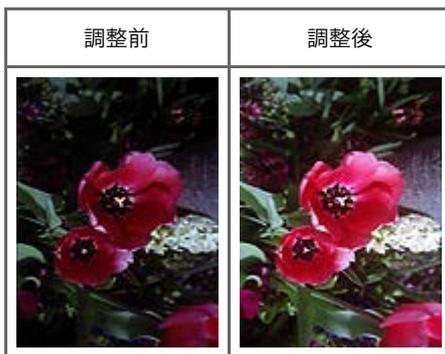
【とじ部の影補正】を、程度に応じて【弱】、【標準】、【強】のいずれかに設定します。



フィルムの露光量を手動で調整したい

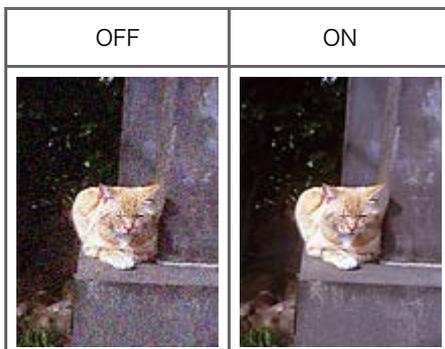
【露光・色調整設定】の  (下矢印) をクリックします。

【手動露光調整】のチェックボックスにチェックマークを付け、50 %～200 %の範囲でお好みの露光量に調整します。



フィルムを高画質でスキャンしたい

【露光・色調整設定】の  (下矢印) をクリックし、【高画質モード】を【ON】にします。



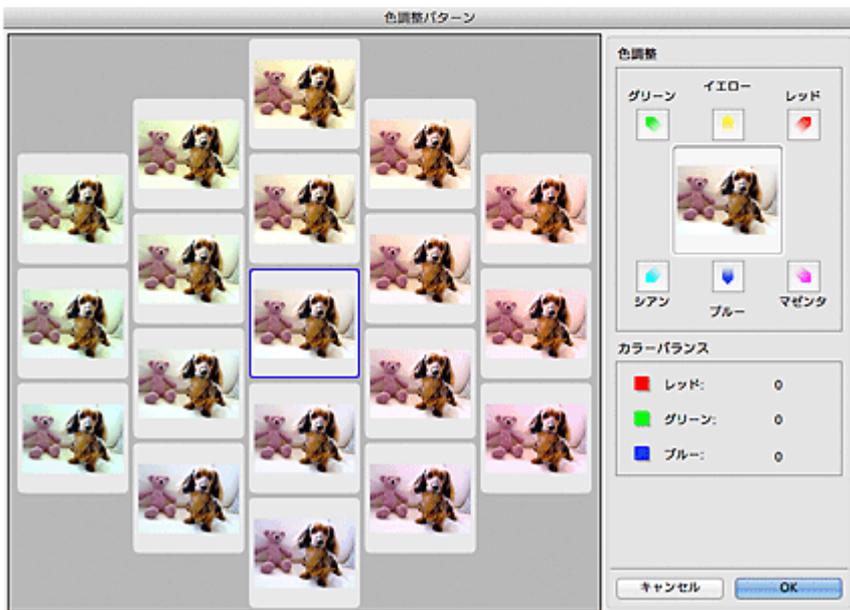
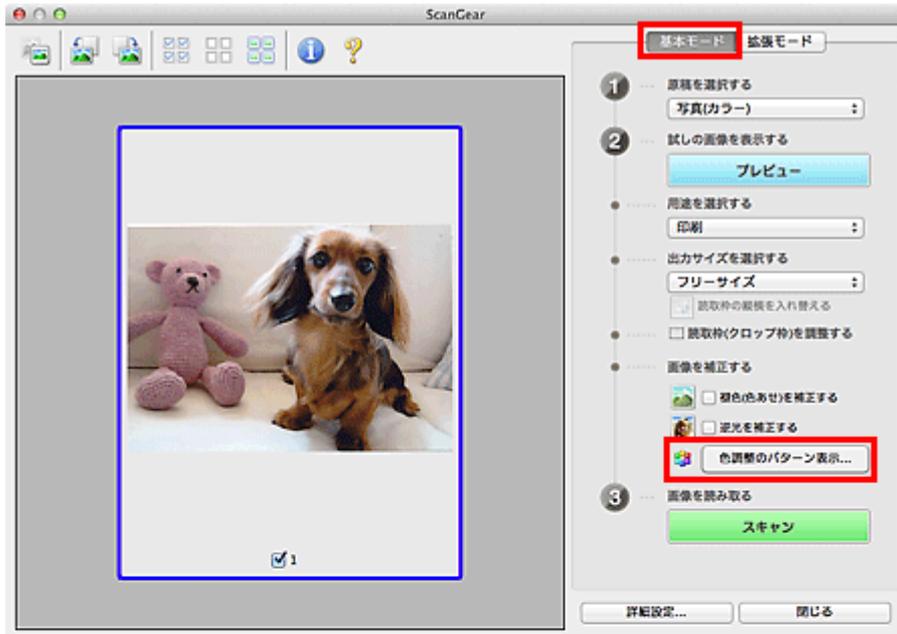
ホーム > スキャン > パソコンからスキャンしてみよう > お使いのアプリケーションソフトでスキャンする (ScanGear) > ScanGear (スキャナードライバー) で画像補正や色調整をしてみよう > 色調整パターンを使った色調整のしかた

S910

ScanGear

色調整パターンを使った色調整のしかた

ScanGear (スキャナードライバー) の [基本モード] シートで色調整パターンを使用すると、色の变化をプレビューで確認しながら自然な色あいに近づけることができます。



色の調整

褪色や色かぶりによって損なわれた画像の色を補正します。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

【色調整】の各色の矢印をクリックして、それぞれの色あいを強くすることができます。

シアン－レッド、マゼンタ－グリーン、イエロー－ブルー、これらは互いに補色（混ぜ合わせると無彩色になる色）であり、色かぶりした色を弱め、反対に補色を強めることで本来の自然な色調に近づけることができます。

画像の中で本来白である部分を見つけ、その部分が白になるように色を調整すると、上手に補正できます。

中心にはプレビューが表示されます。プレビューで色の変化を確認しながら調整できます。



青みがかってしまった画像の補正例を次に示します。

【ブルー】や【グリーン】が強いので、【イエロー】と【マゼンタ】の矢印をクリックし色あいを強くすると上手に補正できます。



参考

- クロップ枠（スキャンする範囲）で選んだ範囲またはサムネイル表示で選択したコマのみ、色調整が適用されます。
commandキーを押しながらクロップ枠やコマをクリックすると、複数のクロップ枠または複数のコマを同時に選択状態にすることができます。
- 【色調整パターン】では、画面左のパターンから好みの色調を選ぶこともできます。
- わざと色あいを変えて、画像に雰囲気を加えることもできます。マゼンタ寄りに調整すると優しく温かい雰囲気を、ブルー寄りに調整すると涼しげでクールな雰囲気を演出することができます。

彩度・カラーバランスの調整のしかた

ScanGear (スキャナードライバー) の [拡張モード] シートで  (彩度・カラーバランス) をクリックします。



参考

- [標準に戻す] をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

彩度の調整

画像の彩度 (色の鮮やかさ) を調整します。褪色などで損なわれた色彩を鮮やかに調整できます。

[彩度] の ▲ (スライダー) を左に動かすと彩度が低く (色が薄く) なり、右に動かすと彩度が高く (色が鮮やかに) なります。数値 (-127~127) を直接入力して指定することもできます。



参考

- 彩度を高くしすぎると、元の画像が持つ自然な色調が失われることがあります。

カラーバランスの調整

色かぶりした画像を調整します。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全

体に影響を与えてしまう現象です。

「カラーバランス」の▲（スライドバー）を左右に動かして、それぞれの色あいを強くすることができます。

シアン－レッド

マゼンタ－グリーン

イエロー－ブルー

これらは互いに補色（混ぜ合わせると無彩色になる色）であり、色かぶりした色を弱め、反対に補色を強めることで本来の自然な色調に近づけることができます。

1組の色を調整するだけでは補正しきれないことが多いので、画像の中で本来白である部分を見つけ、その部分が白になるように3組の色を調整すると、上手に補正できます。

また数値（-127～127）を直接入力して指定することもできます。

「シアン－レッド」を調整した画像の例を次に示します。

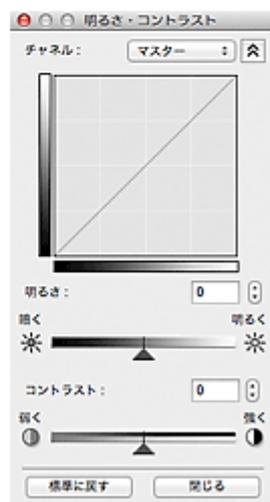
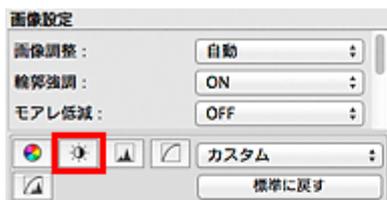


シアンが強い画像	レッドが強い画像

[ページの先頭へ▲](#)

明るさ・コントラストの調整のしかた

ScanGear (スキャナードライバー) の [拡張モード] シートで  (明るさ・コントラスト) をクリックします。



参考

-  (下矢印) をクリックすると、詳細な画面に切り替わります。  (上矢印) をクリックすると元に戻ります。
- [標準に戻す] をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

チャンネルとは

画像の各ドットの色は、レッド、グリーン、ブルーをさまざまな割合 (階調) で調整することにより表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャンネル」です。

- **[マスター]**
レッド、グリーン、ブルーを統合した状態での調整/設定を行います。
- **[レッド]**
画像のうち、赤の要素だけの調整/設定を行います。
- **[グリーン]**
画像のうち、緑の要素だけの調整/設定を行います。

• 【ブルー】

画像のうち、青の要素だけの調整／設定を行います。

参考

- 【カラーモード】が【グレースケール】または【グレースケール(16ビット)】のときは、【チャンネル】は【グレイ】のみになります。

明るさの調整

画像の明るさを調整します。【明るさ】の▲（スライダー）を左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値（-127～127）を直接入力して指定することもできます。



暗くした画像	未調整の画像	明るくした画像

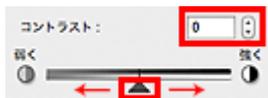
参考

- 明るさの値を大きくしすぎるとハイライト部分が飛んでしまい、明るさの値を小さくしすぎるとシャドウ部分がつぶれてしまうことがあります。

コントラストの調整

「コントラスト」とは、画像の明暗差のことです。コントラストの値を大きくすると、画像の明暗の差が大きくなり、はっきりとした画像になります。コントラストの値を小さくすると、画像の明暗の差が小さくなり、ぼんやりとした画像になります。

【コントラスト】の▲（スライダー）を左に動かすとコントラストの値が小さくなり、右に動かすとコントラストの値が大きくなります。数値（-127～127）を直接入力して指定することもできます。



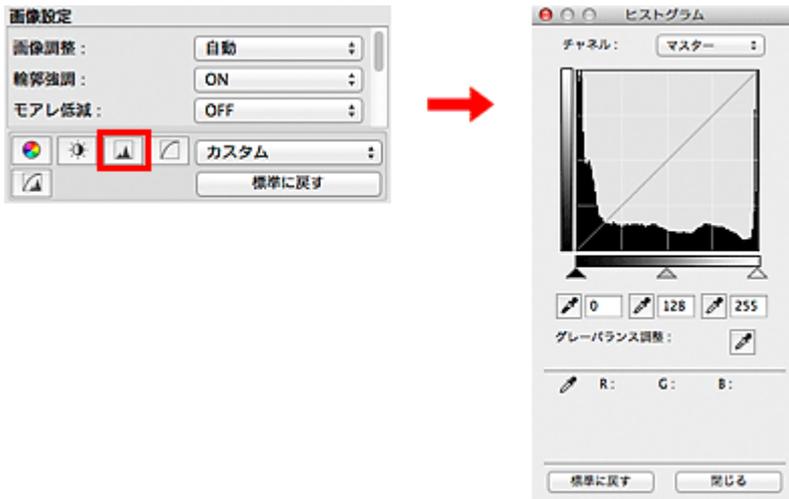
コントラストを弱くした画像	未調整の画像	コントラストを強くした画像

参考

- 画像が薄くぼんやりしているときにコントラストの値を大きくすると、画像にメリハリが出て効果的です。ただし、コントラストの値を大きくしすぎると、シャドウ部分がつぶれてしまったり、ハイライトの部分が飛んでしまったりします。

ヒストグラムの調整のしかた

ScanGear (スキャナードライバー) の [拡張モード] シートで  (ヒストグラム) をクリックします。



参考

- [標準に戻す] をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

チャンネルとは

画像の各ドットの色は、レッド、グリーン、ブルーをさまざまな割合 (階調) で調整することにより表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャンネル」です。

- **[マスター]**
レッド、グリーン、ブルーを統合した状態での調整/設定を行います。
- **[レッド]**
画像のうち、赤の要素だけの調整/設定を行います。
- **[グリーン]**
画像のうち、緑の要素だけの調整/設定を行います。
- **[ブルー]**
画像のうち、青の要素だけの調整/設定を行います。

参考

- [カラーモード] が [グレースケール] または [グレースケール(16ビット)] のときは、[チャンネル] は [グレー] のみになります。

ヒストグラムの見かた

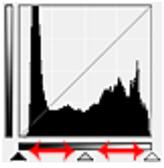
[チャンネル] ごとに、指定した範囲のヒストグラムを見ることができます。ヒストグラムの山が高いほど、そのレベルにデータがたくさん分布しています。



(1) 明るい部分	(2) 暗い部分	(3) 全体
ハイライト寄りに多くのデータが分布	シャドウ寄りに多くのデータが分布	シャドウとハイライトの間に広くデータが分布

ヒストグラムの調整 (スライダーを使用)

[チャンネル] を選び、ヒストグラムの下にある ▲ (暗点スライダー) と △ (明点スライダー) の位置を移動して、どのレベルをシャドウまたはハイライトにするかを調整します。



- ・ ▲ (暗点スライダー) より左に指定した部分は、すべて黒 (レベル0) になります。
- ・ △ (中間点スライダー) に指定した部分が、暗点と明点のちょうど中間の色になります。
- ・ △ (明点スライダー) より右の部分は、すべて白 (レベル255) になります。

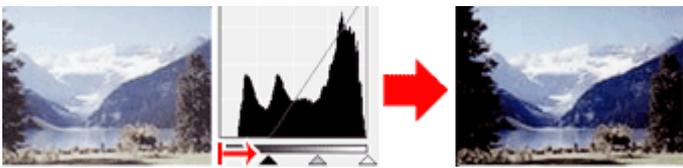
[画像調整] が [OFF] 以外の場合、下図のような調整が自動的に行われます。

暗点・明点スライダーを移動させる

暗点スライダーまたは明点スライダーを移動させて、明るさを調整します。

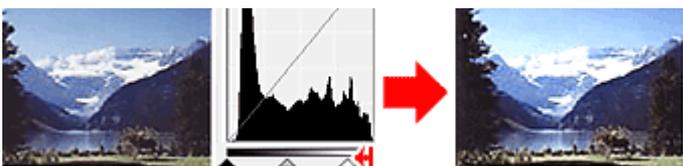
ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

暗点スライダーの位置をハイライト寄りに移動



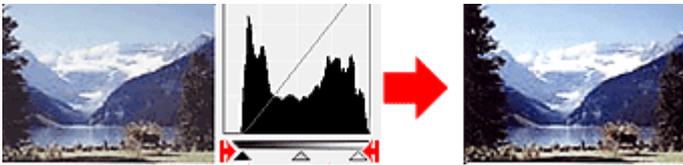
シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

明点スライダーの位置をシャドウ寄りに移動



広くデータが分布している画像

暗点スライダーの位置をハイライト寄りに、明点スライダーの位置をシャドウ寄りに移動

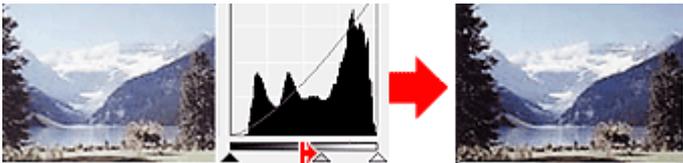


中間点スライダーを移動させる

中間点スライダーを移動させて、どのくらいの明るさを中間の明るさとするかを設定することもできます。

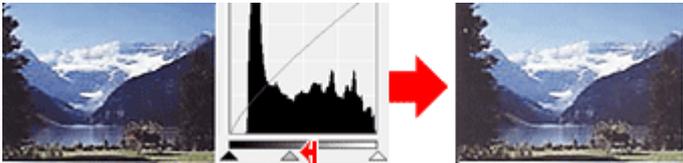
ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

中間点スライダーの位置をハイライト寄りに移動



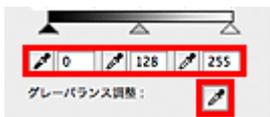
シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

中間点スライダーの位置をシャドウ寄りに移動



ヒストグラムの調整（ピッカー使用）

〔チャンネル〕を選び、暗点ピッカー、中間点ピッカー、または明点ピッカーをクリックすると、プレビュー画像上のカーソルの形状がスポイトになります。ヒストグラムの下にあるスポイトをクリックし、設定を変更します。

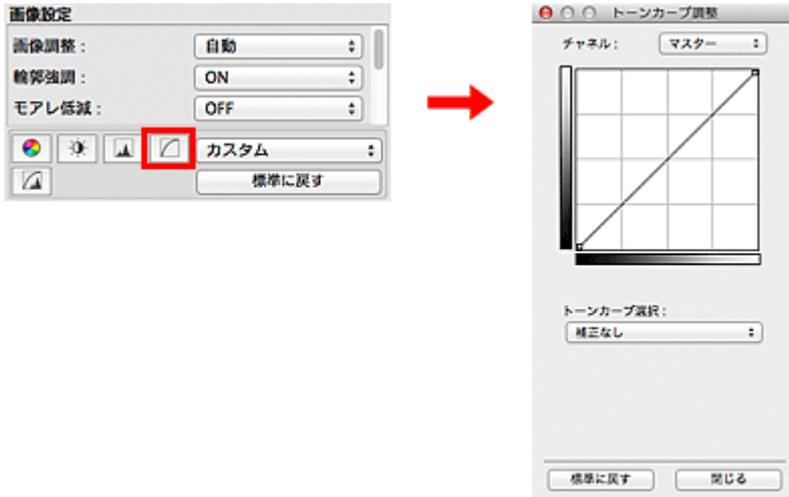


- ・ （暗点ピッカー）をクリックしたところが、いちばん暗くなります。数値（0～245）を入力して設定することもできます。
- ・ （中間点ピッカー）をクリックしたところが、白と黒の中間の色になります。数値（5～250）を入力して設定することもできます。
- ・ （明点ピッカー）をクリックしたところが、いちばん明るくなります。数値（10～255）を入力して設定することもできます。
- ・ [グレーバランス調整] の （ピッカー）をクリックし、プレビュー画像で色を調整したい部分をクリックします。

クリックした点を無彩色にし、それに応じて画像全体に色調整を行います。たとえば、雪に青みがかかっている写真などで青みをとりたい部分をクリックすると、画像全体の調整を行い自然の色調に近づけることができます。

トーンカーブの調整のしかた

ScanGear (スキャナードライバー) の [拡張モード] シートで  (トーンカーブ調整) をクリックします。



参考

- [標準に戻す] をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

チャンネルとは

画像の各ドットの色は、レッド、グリーン、ブルーをさまざまな割合（階調）で調整することにより表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャンネル」です。

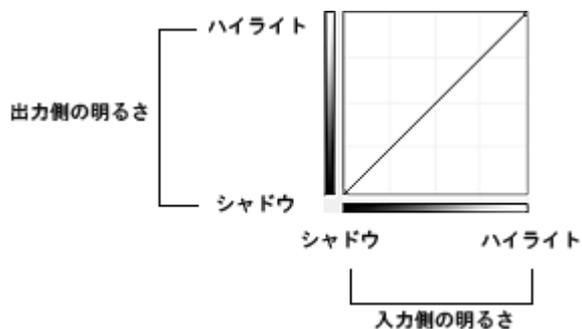
- **【マスター】**
レッド、グリーン、ブルーを統合した状態での調整/設定を行います。
- **【レッド】**
画像のうち、赤の要素だけの調整/設定を行います。
- **【グリーン】**
画像のうち、緑の要素だけの調整/設定を行います。
- **【ブルー】**
画像のうち、青の要素だけの調整/設定を行います。

参考

- [カラーモード] が [グレースケール] または [グレースケール(16ビット)] のときは、[チャンネル] は [グレー] のみになります。

トーンカーブの見かた

ScanGearでは、スキャナーからの画像の読み取りが入力、モニターへの表示が出力となります。この入力と出力の明暗のバランスを [チャンネル] ごとに示したものが、「トーンカーブ」です。



トーンカーブの調整

【トーンカーブ選択】でトーンカーブを【補正なし】、【露出オーバーにする】、【露出アンダーにする】、【ハイコントラストにする】、【ネガポジを反転する】、【カスタムカーブを作成】から選びます。

【補正なし】を選択（未調整）



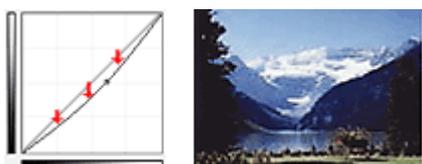
【露出オーバーにする】を選択（上膨らみの曲線）

入力側の中間長のデータが出力側のハイライト寄りの形になるので、モニターの表示は明るい感じの色調に調整されます。



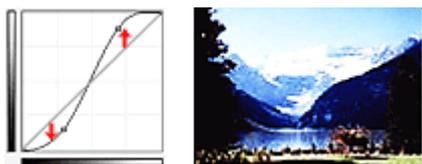
【露出アンダーにする】を選択（下膨らみの曲線）

入力側の中間長のデータが出力側のシャドウ寄りの形になるので、モニターの表示は暗い感じの色調に調整されます。



【ハイコントラストにする】を選択（S字形の曲線）

入力側のハイライトとシャドウが強調されるため、コントラストが強調された画像になります。



【ネガポジを反転する】を選択（右下がりの曲線）

入力側と出力側が反転するので、ネガポジの反転した画像になります。



【カスタムカーブを作成】を選択

トーンカーブの任意の点をドラッグして、特定の領域の明るさをきめ細かく調整することができます。

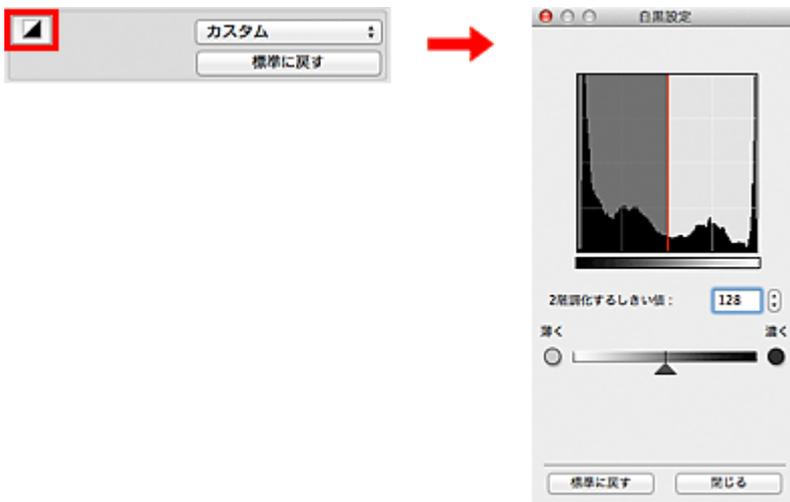
[ページの先頭へ▲](#)

白黒設定のしかた

カラーやグレースケールの画像は、明るさを0~255の数値で表現しますが、白黒の場合は、中間色の部分も白 (255) と黒 (0) のどちらかに分けます。このときの白と黒の境目が「しきい値」です。このしきい値を調整して、原稿の文字をくっきりさせたり、新聞の裏写りを軽減させたりすることができます。

【カラーモード】が【白黒】のときに有効です。

ScanGear (スキャナードライバー) の【拡張モード】シートで  (白黒設定) をクリックします。



参考

- 【標準に戻す】をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

しきい値の調整

しきい値の  (スライダー) を右に動かして数値を大きくすると、黒になる部分が多くなり、左に動かして数値を小さくすると、白になる部分が多くなります。数値 (0~255) を直接入力して指定することもできます。



S923

ScanGear

ScanGear (スキャナードライバー) の画面説明

➡ [基本モード] シート

➡ [拡張モード] シート

- [入力設定]
- [出力設定]
- [画像設定]
- 色調整ボタン

➡ [詳細設定] ダイアログ

- [スキャナー] シート
- [プレビュー] シート
- [スキャン] シート
- [色の設定] シート

ページの先頭へ ▲

[基本モード] シート

画面に表示される手順に従って操作するだけで、簡単にスキャンできるモードです。

[基本モード] シートの各項目や、機能を説明します。



(1) 設定項目と操作ボタン

(2) ツールバー

(3) プレビュー領域

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。

(1) 設定項目と操作ボタン

● [原稿を選択する]

● [写真(カラー)]

カラー写真をスキャンします。

● [雑誌(カラー)]

カラーの印刷物をスキャンします。

● [文書(カラー)]

原稿をカラーでスキャンします。

● [文書(グレー)]

原稿をモノクロでスキャンします。

● [ネガフィルム(カラー)]

35 mmのカラーネガフィルムをカラーでスキャンします。

● [ポジフィルム(カラー)]

35 mmのカラーポジフィルムをカラーでスキャンします。

参考

- モノクロフィルム、ブローニーフィルムをスキャンする場合は、[拡張モード] シートでスキャンしてください。
 - ➡ 「拡張モード」でフィルムをスキャンする
- 原稿の種類を選ぶと、輪郭強調機能や原稿の種類に合わせた画像調整機能がはたります。
- [雑誌(カラー)] を選ぶと、モアレ低減機能がはたります。

● [試しの画像を表示する]

● [プレビュー]

試しで原稿をスキャンします。



参考

- 本製品をはじめて使う場合、自動的にスキャナーの補正（キャリブレーション）が行われます。続いてプレビュー画像が表示されるまでしばらくお待ちください。

● [用途を選択する]

スキャンした画像の用途に合わせて選びます。

● [印刷]

スキャンした画像をプリンターで印刷するときに選びます。

● [画面表示]

スキャンした画像をモニターで見るときに選びます。

● [OCR]

スキャンした画像をOCRソフトウェアなどで使用するときを選びます。

「OCRソフトウェア」とは、画像として読み込んだ活字を、ワープロソフトなどで編集可能なテキスト（文字）データに変換するアプリケーションソフトです。

重要

- [原稿を選択する] でフィルムを選択しているときは、表示されません。

● [出力サイズを選択する]

スキャンする画像の出力サイズを選びます。

[用途を選択する] で選択した項目によって、選べる出力サイズが異なります。

● [フリーサイズ]

クロップ枠（スキャンする範囲）を自由に変更できます。

サムネイル表示の場合

サムネイルの中でマウスをドラッグすると、クロップ枠が表示されます。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠が表示されていないときは、1コマずつサムネイル全体をスキャンします。

全体表示の場合

クロップ枠が表示されていないときは、プレビュー領域全体をスキャンします。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。

● 用紙のサイズ (L判、A4など)

出力サイズを用紙サイズで選びます。クロップ枠の範囲を、選んだ用紙サイズと同じ大きさになるように、自動的に拡大／縮小してスキャンします。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。

● モニターのサイズ (1024 x 768 pixelsなど)

出力サイズを縦横のピクセル数で選びます。

選んだモニターサイズのクロップ枠が表示され、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。

● [追加/削除...]

[出力サイズの追加/削除] ダイアログが表示され、任意の出力サイズを設定することができます。[用途を選択する] が [印刷] または [画面表示] のときに選択できます。

[出力サイズの追加/削除] ダイアログでは、複数の出力サイズを設定し、一度に保存することができます。保存した出力サイズは、[出力サイズを選択する] の選択項目に登録され、既存の項目と同様に選択できます。

追加

追加するときは、[出力サイズ名]、[幅]、[高さ]を入力し、[追加]をクリックします。[単位]は、[用途を選択する]が[印刷]のときは[mm]または[inches]、[画面表示]のときは[pixels]のみとなります。追加した出力サイズは[出力サイズ一覧]に表示されます。[保存]をクリックして、[出力サイズ一覧]に表示されている出力サイズに登録します。

削除

削除するときは、[出力サイズ一覧]で削除したい出力サイズを選び、[削除]をクリックします。[保存]をクリックして、[出力サイズ一覧]に表示されている出力サイズに登録します。

重要

- [A4]、[1024 x 768 pixels] など、はじめから用意されている出力サイズを削除することはできません。

参考

- 最大10個まで設定を保存できます。
- 設定範囲外の数値を入力すると、エラーメッセージが表示されます。設定範囲内の数値を入力してください。

参考

- プレビュー直後のクロップ枠の表示については、[詳細設定] ダイアログにある「[プレビュー] シート」の「プレビュー後のクロップ枠の設定」をご覧ください。



【読取枠の縦横を入れ替える】

【出力サイズを選択する】が、【フリーサイズ】以外のときに使用できる機能です。このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

【読取枠(クロップ枠)を調整する】

読み取り範囲をプレビュー上で調整することができます。範囲を指定しない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）またはフィルムサイズで読み込まれます。範囲を指定した場合は、クロップ枠の範囲だけが読み込まれます。

➡ [クロップ枠の調整のしかた](#)

【画像を補正する】

スキャンする画像を補正します。

重要

- 【自動文書補正をかける】、【褪色(色あせ)を補正する】、【逆光を補正する】は、【詳細設定] ダイアログの【色の設定] シートで【推奨] が選ばれているときに、設定できます。

参考

- 露光量を変更したい場合は、【拡張モード] シートで「【手動露光調整]」のチェックボックスにチェックマークを付けて調整を行い、スキャンしてください。
- 【原稿を選択する] で選択した原稿の種類によって、設定できる機能が異なります。

【ごみ傷を除去(FARE)する】

フィルムをスキャンするときに、フィルム上の小さなごみや傷を自動的に除去してスキャンします。

重要

- フィルムをスキャンしたときのみ、この機能を使用できます。

【自動文書補正をかける】

文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正してスキャンします。

重要

- この補正機能をオンにすると、スキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。
- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。
- スキャンする範囲が小さすぎると、【自動文書補正をかける】できない場合があります。

【褪色(色あせ)を補正する】

経年変化などで褪色したり、色かぶりしたりした写真やフィルムを色補正してスキャンします。

【逆光を補正する】

逆光で撮影された写真やフィルムを補正してスキャンします。

【とじ部の影を補正する】

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を補正してスキャンします。

重要

- この機能をご使用になるときの注意事項などがありますので、かならず「【とじ部の影補正]」をご覧ください。
- フィルムをスキャンしたときは、この機能は使用できません。

【色調整のパターン表示...】

画像全体の色調整をします。この色調整では、色の变化をプレビューで確認しながら、色かぶりなどによって損なわれた色を補正して、自然な色に近づけることができます。

➡色調整パターンを使った色調整のしかた

重要

- [詳細設定] ダイアログの [色の設定] シートで [カラーマッチング] を選択しているときは、設定できません。

• [画像を読み取る]

• [スキャン]

スキャンを開始します。

参考

- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

• [詳細設定...]

[詳細設定] ダイアログが表示され、スキャンやプレビュー時の動作などが設定できます。

➡ [詳細設定] ダイアログ

• [閉じる]

ScanGear (スキャナードライバー) を閉じます。

(2) ツールバー

• ツールバー

プレビューした画像を調整したり、回転したりすることができます。ツールバーに表示されるボタンは、表示方法によって異なります。

[原稿を選択する] がフィルム以外で、サムネイル表示の場合



[原稿を選択する] がフィルム以外で、全体表示の場合



[原稿を選択する] がフィルムで、サムネイル表示の場合



[原稿を選択する] がフィルムで、全体表示の場合



-  (サムネイル) /  (全体表示)

原稿の種類がフィルム以外のときにプレビュー領域の表示方法を切り替えます。

➡プレビュー領域

-  (フィルムサムネイル) /  (フィルム全体表示)

原稿の種類がフィルムのときにプレビュー領域の表示方法を切り替えます。

➡ プレビュー領域



• (鏡像)

プレビュー領域の画像の左右を反転します。

- ・実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- ・変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。



• (左回転)

プレビュー領域の画像が左に90度回転します。

- ・実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- ・変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。



• (右回転)

プレビュー領域の画像が右に90度回転します。

- ・実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- ・変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。



• (オートクロップ)

プレビュー領域に表示された原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠が表示されます。クロップ枠内にさらにクロップできる領域がある場合、クリックするたびに、クロップ枠がだんだん狭くなります。



• (全コマチェック)

2コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークを付けます。



• (全コマチェック解除)

2コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークが付いている場合は、解除します。



• (全コマ選択)

2コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像を、選択状態（周りが青い枠で囲まれた状態）にします。



• (全クロップ枠選択)

クロップ枠が2つ以上指定されているときに使用できます。

クロップ枠が太い点線になり、設定がすべてに反映されます。



• (クロップ枠削除)

選択されているクロップ枠を削除します。



• (情報)

ScanGearのバージョンや原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定が表示されます。



• (操作説明表示)

このページが表示されます。

(3) プレビュー領域

• プレビュー領域

「プレビュー」をクリックしたときに、試しでスキャンされた画像を表示します。「設定項目と操作ボタン」で設定した内容（画像の補正や色調整など）を確認することもできます。

ツールバーのアイコンが （サムネイル） / （フィルムサムネイル）の場合

原稿のサイズに合わせてクロップ枠を指定してスキャンし、サムネイル（縮小版）表示します。チェックボックスにチェックマークが付いている画像が読み込まれます。

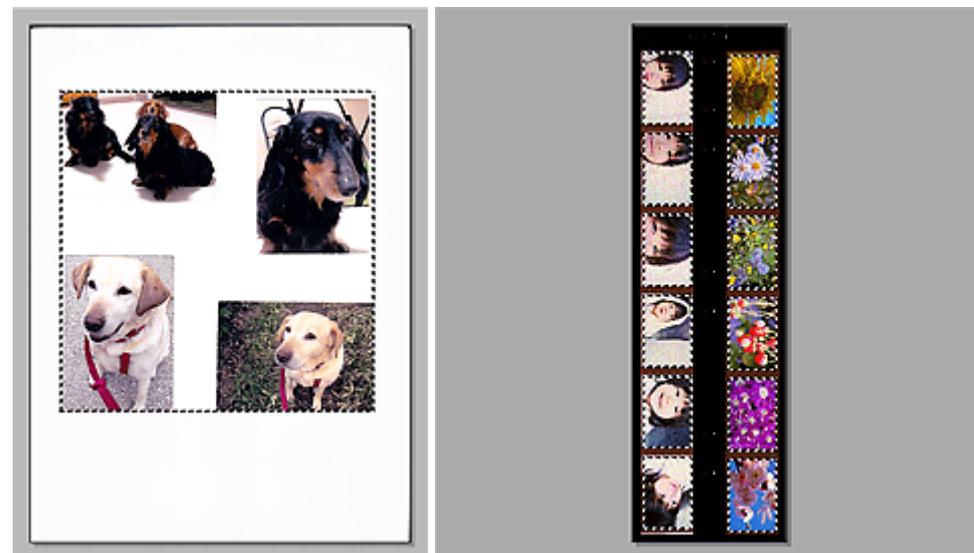


参考

- 複数の画像をプレビューした場合、枠の種類によって選択状態が異なります。
 - ・フォーカス枠（太い青枠）：設定項目の設定が反映されます。
 - ・選択枠（細い青枠）：フォーカス枠と同じ設定が反映されます。commandキーを押しながらコマをクリックすると、複数のコマを同時に選択することができます。
 - ・非選択（枠なし）：設定が反映されません。
- コマをダブルクリックすると拡大表示されます。画面下にある （コマ送り）をクリックすると、前後のコマを表示することができます。拡大表示されたコマをもう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

ツールバーのアイコンが （全体表示） / （フィルム全体表示）の場合

原稿の種類がフィルム以外のときは、原稿台全面をスキャンし、表示します。原稿の種類がフィルムのときは、フィルム全体をスキャンし、表示します。クロップ枠で指定された範囲をすべてスキャンします。



全体表示（原稿台全面）

フィルム全体表示

参考

- (12コマ中8コマしか画像が表示されないなど) フィルムの画像色などによりコマを認識できない場合は、全体表示にしてスキャンを行ってください。

参考

- 表示された画像に対してクロップ枠を作成できます。サムネイル表示の場合、作成できるクロップ枠は1コマにつき1個です。全体表示の場合、複数のクロップ枠を作成することができます。

➡ [クロップ枠の調整のしかた](#)

関連項目

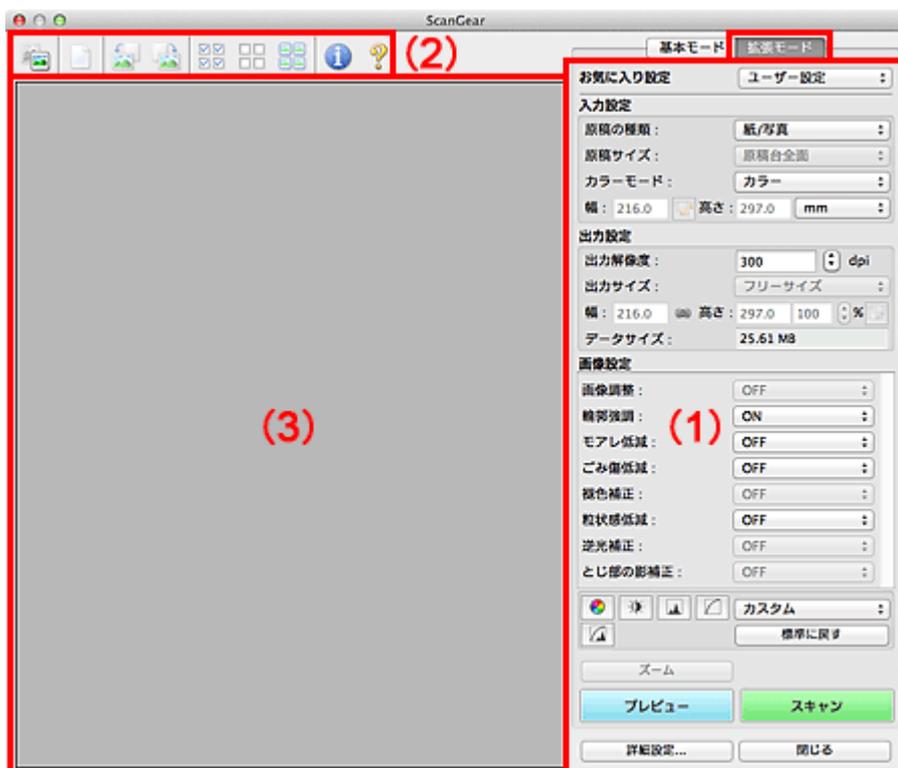
- [「基本モード」でスキャンする](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[拡張モード] シート

カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンできるモードです。

[拡張モード] シートの各項目や、機能を説明します。



(1) 設定項目と操作ボタン

(2) ツールバー

(3) プレビュー領域

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。

(1) 設定項目と操作ボタン

• 【お気に入り設定】

[拡張モード] シートの設定内容（入力設定、出力設定、画像設定、色調整ボタン）に名前を付けて保存したり、保存してある設定内容呼び出したりして使用することができます。同じ設定を使う場合は、保存しておくとお操作が簡単になります。設定内容を初期状態に戻すこともできます。

ポップアップメニューから [追加/削除...] を選ぶと、【お気に入り設定の追加/削除】ダイアログが表示されます。



〔設定名〕を入力し〔追加〕をクリックすると、〔お気に入り設定一覧〕に設定名が表示されます。
〔保存〕をクリックすると、〔お気に入り設定〕の選択項目に表示され、既存の項目と同様に選択できます。

設定を削除するには、〔お気に入り設定一覧〕で削除したい設定名を選び、〔削除〕をクリックします。
〔保存〕をクリックして、〔お気に入り設定一覧〕に表示されている設定を保存します。

参考

- 〔お気に入り設定〕の〔追加/削除...〕はプレビュー後に設定できます。
- 最大10個まで設定を保存できます。

• 【入力設定】

原稿の種類やサイズなどの入力条件を設定します。

➡ [【入力設定】](#)

• 【出力設定】

出力解像度、出力サイズなどの出力条件を設定します。

➡ [【出力設定】](#)

• 【画像設定】

各種画像補正のオン/オフなどを設定します。

➡ [【画像設定】](#)

• 色調整ボタン

画像全体の明るさや画像の明暗差（コントラスト）の調整、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色あいにかかわる詳細な設定ができます。

➡ [色調整ボタン](#)

• 【ズーム】

コマを拡大表示したり、クロップ枠（スキャンする範囲）で指定した範囲の画像を拡大表示したりします。拡大表示されると、〔ズーム〕が〔戻す〕に変わります。拡大表示を元に戻すには、〔戻す〕をクリックします。

サムネイル表示の場合

複数の画像がサムネイル表示されているときにクリックすると、選択した画像の1コマを拡大表示し

ます。画面下にある （コマ送り）をクリックすると、前後のコマを表示できます。

参考

- コマをダブルクリックしても拡大表示できます。拡大表示されたコマをもう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

全体表示の場合

クロップ枠で指定した範囲の画像を再度スキャンして拡大表示します。

参考

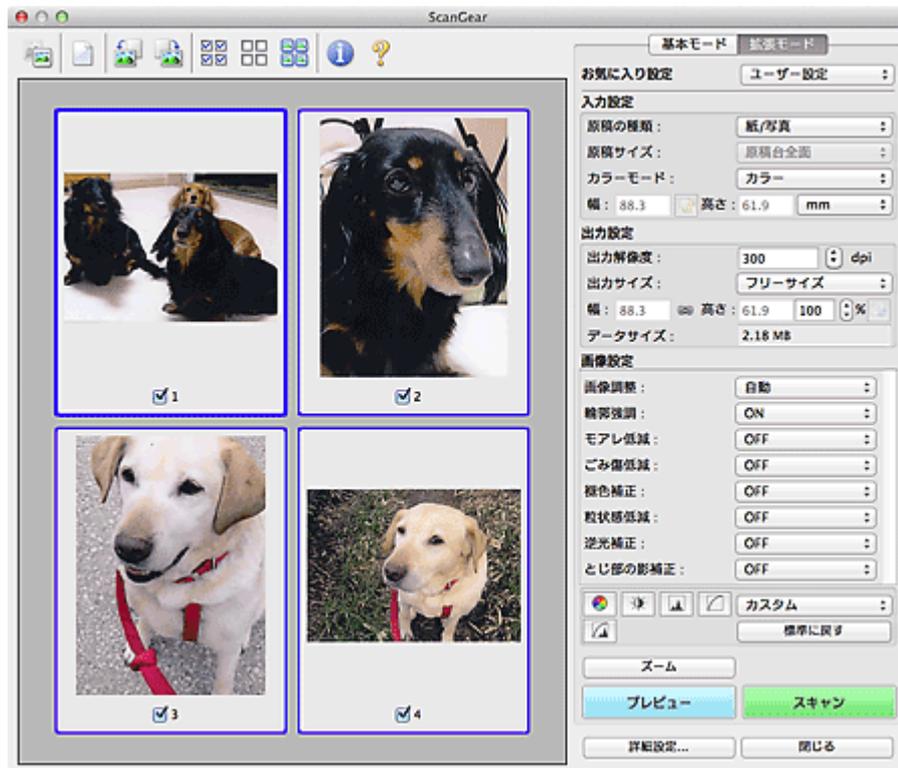
- [ズーム] で拡大すると、原稿からプレビューし直すので、高解像度のプレビュー画像が表示できます。



- ツールバーの (拡大/縮小) で拡大すると、すでにプレビューされた画像をそのまま拡大するので、すぐに拡大画像が表示できます。ただし、表示される画像の解像度は粗くなります。

• [プレビュー]

試しで原稿をスキャンします。



• [スキャン]

スキャンを開始します。

参考

- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。
- スキャンが終了すると、「スキャンが終了しました」のメッセージ（動作選択画面）が表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。詳細については、[詳細設定] ダイアログにある「[スキャン] シート」の [スキャン終了後の ScanGear の画面] をご覧ください。
- スキャンする画像の合計が一定の大きさを超える場合、スキャンすると画像処理に時間がかかります。注意を促すメッセージが表示されるので、画像のサイズを小さくすることをお勧めします。スキャンを続ける場合は全体表示でスキャンしてください。

• [詳細設定...]

[詳細設定] ダイアログが表示され、スキャンやプレビュー時の動作などが設定できます。

➡ [詳細設定] ダイアログ

• [閉じる]

ScanGear (スキャナードライバー) を閉じます。

(2) ツールバー

• ツールバー

プレビューした画像を調整したり、回転したりすることができます。ツールバーに表示されるボタンは、表示方法によって異なります。

[原稿の種類] が [紙/写真] で、サムネイル表示の場合



【原稿の種類】が【紙/写真】で、全体表示の場合



【原稿の種類】がフィルムで、サムネイル表示の場合



【原稿の種類】がフィルムで、全体表示の場合



-  (サムネイル) /  (全体表示)

原稿の種類が【紙/写真】のときにプレビュー領域の表示方法を切り替えます。

➡プレビュー領域

-  (フィルムサムネイル) /  (フィルム全体表示)

原稿の種類がフィルムのときにプレビュー領域の表示方法を切り替えます。

➡プレビュー領域

-  (プレビュー画像クリア)

プレビュー領域からプレビュー画像を消去します。

また、ツールバーの設定、色調整の設定がリセットされます。

-  (クロップ)

スキャン範囲をマウスでドラッグして指定することができます。

-  (画像移動)

プレビュー領域に拡大した画像が画面に入りきらないうち、見たい部分が表示されるように画像をドラッグします。スクロールバーでも同じように移動できます。

-  (拡大/縮小)

プレビュー領域を拡大するときは、画像上でクリックします。縮小するときは、画像上でoptionキーを押しながらクリックします。

-  (鏡像)

プレビュー領域の画像の左右を反転します。

・実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

・変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

-  (左回転)

プレビュー領域の画像が左に90度回転します。

・実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。

・変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

-  (右回転)

- プレビュー領域の画像が右に90度回転します。
- ・実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
 - ・変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。



• **(オートクロップ)**

プレビュー領域に表示された原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠が表示されます。クロップ枠内にさらにクロップできる領域がある場合、クリックするたびに、クロップ枠がどんどん狭くなります。



• **(全コマチェック)**

2コマ以上表示されているときに使用できます。
サムネイル表示された画像にチェックマークを付けます。



• **(全コマチェック解除)**

2コマ以上表示されているときに使用できます。
サムネイル表示された画像にチェックマークが付いている場合は、解除します。



• **(全コマ選択)**

2コマ以上表示されているときに使用できます。
サムネイル表示された画像を、選択状態（周りが青い枠で囲まれた状態）にします。



• **(フィルムクロップ枠表示)**

[スキャン領域] で選ばれているフィルムのサイズに応じて、クロップ枠を表示します。



• **(全クロップ枠選択)**

クロップ枠が2つ以上指定されているときに使用できます。
クロップ枠が太い点線になり、設定がすべてに反映されます。



• **(クロップ枠削除)**

選択されているクロップ枠を削除します。



• **(情報)**

ScanGearのバージョンや原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定が表示されます。



• **(操作説明表示)**

このページが表示されます。

(3) プレビュー領域

• **プレビュー領域**

[プレビュー] をクリックしたときに、試しでスキャンされた画像を表示します。「[設定項目と操作ボタン](#)」で設定した内容（画像の補正や色調整など）を確認することもできます。

ツールバーのアイコンが  **(サムネイル)** /  **(フィルムサムネイル)** の場合

原稿のサイズに合わせてクロップ枠を指定してスキャンし、サムネイル（縮小版）表示します。チェックボックスにチェックマークが付いている画像が読み込まれます。

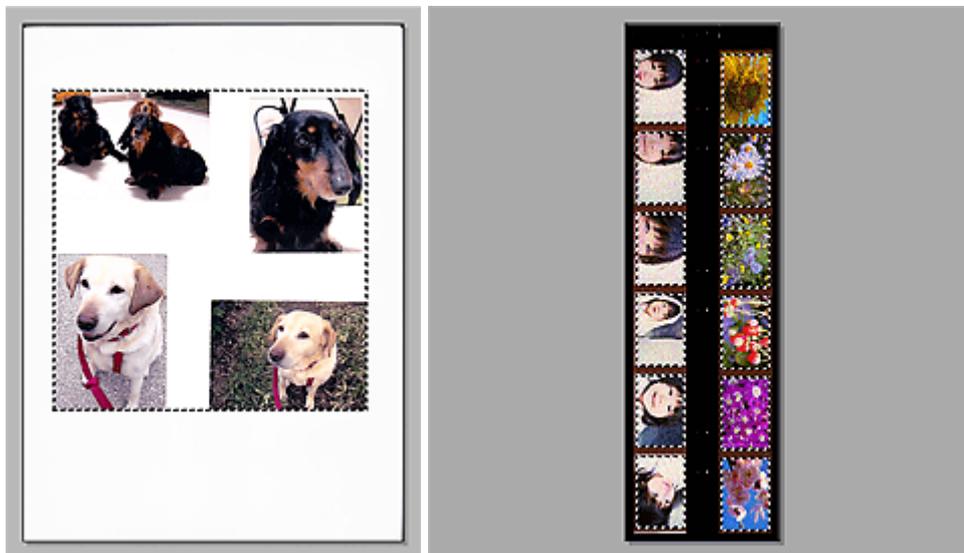


参考

- 複数の画像をプレビューした場合、枠の種類によって選択状態が異なります。
 - ・フォーカス枠（太い青枠）：設定項目の設定が反映されます。
 - ・選択枠（細い青枠）：フォーカス枠と同じ設定が反映されます。commandキーを押しながらコマをクリックすると、複数のコマを同時に選択することができます。
 - ・非選択（枠なし）：設定が反映されません。

ツールバーのアイコンが （全体表示） / （フィルム全体表示）の場合

原稿の種類が〔紙/写真〕のときは、原稿台全面をスキャンし、表示します。原稿の種類がフィルムのときは、フィルム全体をスキャンし、表示します。クロップ枠で指定された範囲をすべてスキャンします。



全体表示（原稿台全面）

フィルム全体表示

参考

- （12コマ中8コマしか画像が表示されないなど）フィルムの画像色などによりコマを認識できない場合は、全体表示にしてスキャンを行ってください。

参考

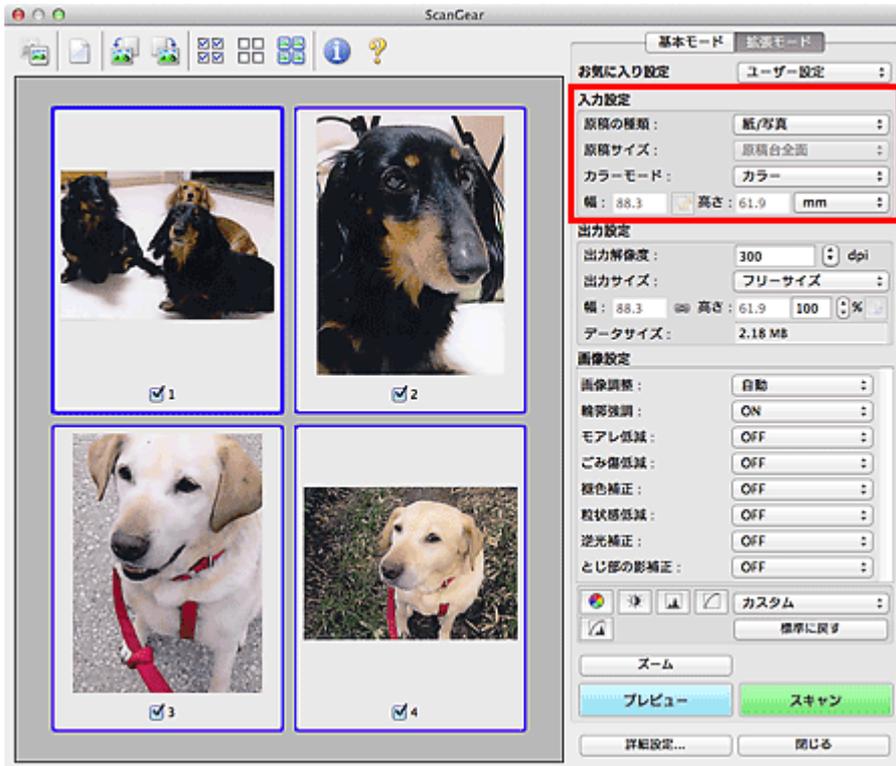
- 表示された画像に対してクロップ枠を作成できます。サムネイル表示の場合、作成できるクロップ枠は1コマにつき1個です。全体表示の場合、複数のクロップ枠を作成することができます。

関連項目

- 「拡張モード」でスキャンする
- 「拡張モード」でフィルムをスキャンする

ページの先頭へ ▲

[入力設定]



[入力設定] では、次の項目を設定できます。

- **【原稿の種類】**

スキャンする原稿の種類が表示されます。

- **【原稿サイズ】**

スキャンする原稿のサイズを選びます。全体表示のときのみ選ぶことができます。

原稿サイズを選ぶと、選んだ原稿サイズに合わせてプレビュー領域の大きさが変わります。

重要

- アプリケーションソフトによっては、受け取れるスキャンデータの容量に制限があります。スキャン可能な範囲は以下のとおりです。IJ Scan Utilityの [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログにある [大容量の画像のスキャンを有効にする] の設定によって、範囲が変わります。
 - ・ [大容量の画像のスキャンを有効にする] にチェックマークが付いていないとき：10208 pixels x 14032 pixels以下
 - ・ [大容量の画像のスキャンを有効にする] にチェックマークが付いているとき：50000 pixels x 50000 pixels以下 (データサイズは4.0 GB以下)
- ➡ [【スキャン設定\(ScanGear\) ダイアログ](#)
- プレビュー後に [原稿サイズ] を変更すると、プレビュー画像が消去されます。

参考

- [原稿サイズ] からどの項目を選択すればよいかわからない場合は、[原稿サイズ] を [原稿台全面] に設定し、実際の原稿のサイズをはかり、[幅] と [高さ] を入力してください。

- **【フィルムサイズ】 / 【スキャン領域】**

スキャンするフィルムのサイズを選びます。

• 【フィルムサイズ】

サムネイル表示のときに表示されます。フィルムのサイズは自動で検出されます。

• 【スキャン領域】

全体表示のときに表示されます。フィルムのサイズを自動で検出したり、スキャンするフィルムのサイズを選んだりすることができます。

参考

- ツールバーの  (フィルムサムネイル) /  (フィルム全体表示) をクリックすると表示が切り替わります。

• 【カラーモード】

原稿の種類により、どのようにスキャンするかを選びます。

• 【カラー】

カラー原稿やカラーフィルムなどのスキャンやカラー画像が必要なときに選びます。画像をR、G、B各色256段階（8ビット）で表現します。

• 【カラー(48ビット)】

カラー写真やカラーフィルムをスキャンするときに選びます。画像をR、G、B各色65536段階（16ビット）で表現します。

• 【グレースケール】

白黒写真やモノクロフィルムなどのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選びます。画像を白黒256段階（8ビット）で表現します。

• 【グレースケール(16ビット)】

フィルムを白黒でスキャンするときに選びます。画像を白黒65536段階（16ビット）で表現します。

• 【白黒】

写真や文書を白黒でスキャンするときに選びます。画像を白と黒の2色で表現します。画像の明暗をあるレベル（2階調化するしきい値）で白と黒に分割し、2色で表現します。2階調化するしきい値は （白黒設定）で設定します。

重要

- 【カラー(48ビット)】と【グレースケール(16ビット)】でスキャンされた画像を表示できないアプリケーションソフトもあります。
- 【カラー(48ビット)】、【グレースケール(16ビット)】は、【詳細設定】ダイアログの【スキャン】シートにある【48/16ビット出力を有効にする】にチェックマークが付いているときのみ表示されます。
➡ [【スキャン】シート](#)

• 入力サイズ

サムネイル表示の場合、プレビュー後にクロップした原稿やフィルムのサイズが表示されます。

全体表示の場合、プレビュー前には【原稿サイズ】が、プレビュー後にはクロップ枠（スキャンする範囲）やフィルムのサイズが表示されます。

【幅】と【高さ】に数値を入れ、クロップ枠の大きさを厳密に設定することもできます。

（縦横比解除）をクリックして （縦横比固定）に変えると、クロップ枠の大きさを数値で指定するとき、幅と高さの比率が保たれます。

重要

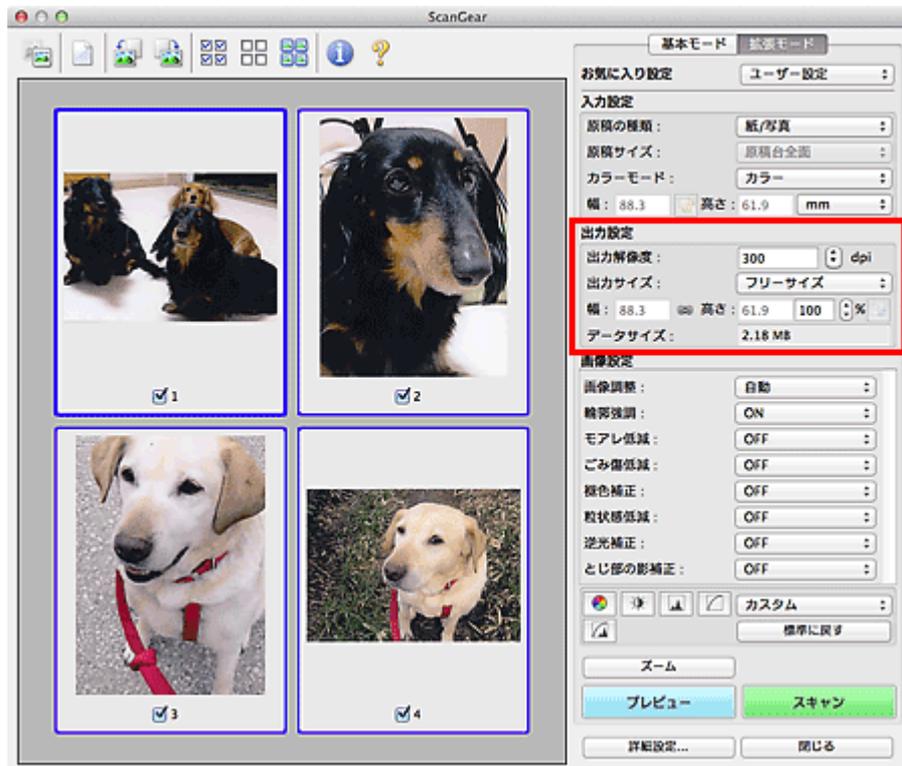
- 入力サイズの表示や設定は、[出力設定] の [出力サイズ] が [フリーサイズ] の場合にしか行えません。[フリーサイズ] 以外を選ぶと、[出力サイズ] と [出力解像度] から算出されたクロップ枠が表示され、この枠の縦横の比率は固定されます。

参考

- 入力できる数値は、選択されている原稿サイズの範囲内です。ただし、最小選択範囲は、[出力解像度] が 600 dpi、拡大/縮小率が100 %に設定されている状態で、96 pixels x 96 pixelsです。
- 全体表示の場合、オートクロップを実行すると、選択範囲のサイズを優先するため、縦横比の固定は無効になります。
- クロップ枠の詳細については、「[クロップ枠の調整のしかた](#)」をご覧ください。

[ページの先頭へ ▲](#)

[出力設定]



[出力設定] では、次の項目を設定できます。

● 【出力解像度】

スキャンする画像の解像度を選びます。

解像度を高く（数字を大きく）するほど、きめ細かい画像になります。

クリックして表示される選択肢から選ぶか、25 dpi～19200 dpiの範囲の数値（1 dpi単位）を入力します。

➡ [解像度について](#)

● 【出力サイズ】

スキャンする画像の出力サイズを選びます。

選択項目は、幅や高さ、倍率を自由に指定できる [フリーサイズ] と、印刷目的の項目、画面表示目的の項目に分かれています。また、[追加/削除...] を選ぶと、用途や幅、高さを自由に設定し、その設定を新しい選択項目として登録できます。

● 【フリーサイズ】

出力解像度や倍率を設定でき、クロップ枠（スキャンする範囲）も自由に変更できます。

サムネイル表示の場合

サムネイルの中でマウスをドラッグすると、クロップ枠が表示されます。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠が表示されていないときは、1コマずつサムネイル全体をスキャンします。

全体表示の場合

クロップ枠が表示されていないときは、プレビュー領域全体をスキャンします。クロップ枠が表示

されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。

参考

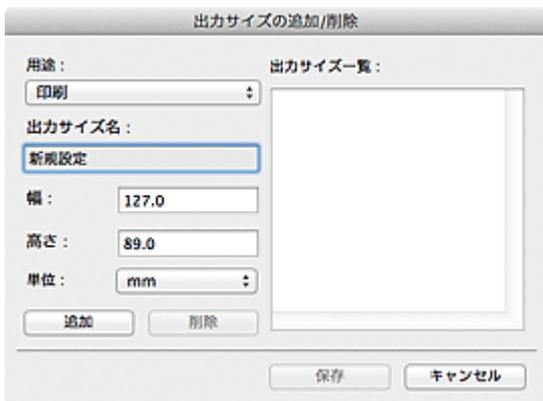
- スキャンした画像を拡大／縮小するには、[出力設定] の [幅] と [高さ] に数値を入力するか、 [%] に1 %単位で指定します。 [%] に指定できる最大値は [出力解像度] によって異なりますが、出力解像度の設定可能最大値19200 dpiまで設定可能です。

● 用紙のサイズ (L判、A4など) 、モニターのサイズ (1024 x 768 pixelsなど)

[幅]、[高さ]、倍率は指定できません。選択した出力サイズと出力解像度に応じて、プレビュー画像が自動的にクロップされます。クロップ枠の範囲を、選択した用紙サイズ／モニターサイズと同じ大きさになるように、自動的に拡大／縮小して読み込みます。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小、移動することができます。

● [追加/削除...]

[出力サイズの追加/削除] ダイアログが表示され、任意の出力サイズを設定することができます。



[出力サイズの追加/削除] ダイアログでは、複数の出力サイズを設定し、一度に保存することができます。保存した出力サイズは、[出力サイズ] の選択項目に登録され、既存の項目と同様に選択できます。

追加

追加するときは、[用途] を [印刷]、[画面表示] から選び、[出力サイズ名]、[幅]、[高さ] を入力し、[追加] をクリックします。[単位] は、[用途] が [印刷] のときは [mm] または [inches]、[画面表示] のときは [pixels] のみとなります。追加した出力サイズは [出力サイズ一覧] に表示されます。

[保存] をクリックして、[出力サイズ一覧] に表示されている出力サイズを登録します。

削除

削除するときは、[出力サイズ一覧] で削除したい出力サイズを選び、[削除] をクリックします。[保存] をクリックして、[出力サイズ一覧] に表示されている出力サイズを登録します。

重要

- [A4]、[1024 x 768 pixels] など、はじめから用意されている出力サイズを削除することはできません。

参考

- 各用途に最大10個まで設定を保存できます。
- 設定範囲外の数値を入力すると、エラーメッセージが表示されます。表示される範囲内の数値を入力してください。

参考

- クロップ枠の詳細については、「[クロップ枠の調整のしかた](#)」をご覧ください。
- プレビュー直後のクロップ枠の表示については、[詳細設定] ダイアログにある「[\[プレビュー\] シート](#)」の [プレビュー後のクロップ枠の設定] をご覧ください。

-  (縦横比切り替え)

[出力サイズ] が、[フリーサイズ] 以外のときに使用できる機能です。

このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

- **【データサイズ】**

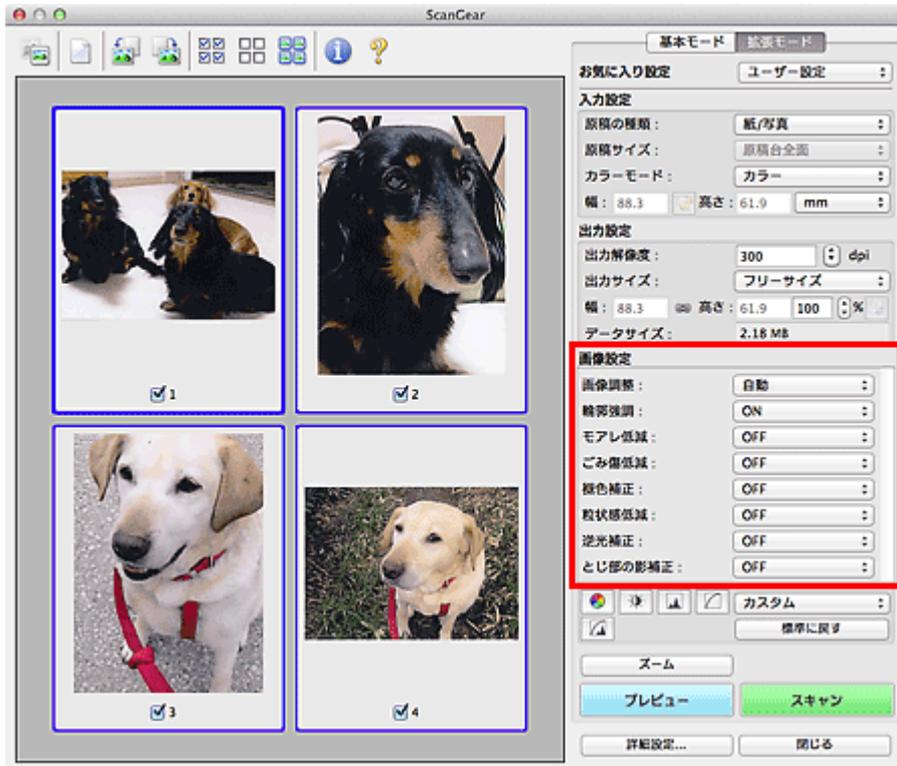
プレビュー画像を非圧縮のTIFF形式で保存した場合の画像サイズが表示されます。

参考

- データサイズが一定の大きさを超えると、文字が赤く表示されます。このときに [スキャン] をクリックすると、警告メッセージが表示されます。各設定を変更し、[データサイズ] を小さくすることをお勧めします。スキャンを続ける場合は全体表示でスキャンしてください。

[ページの先頭へ▲](#)

[画像設定]



重要

- モアレ、ごみ傷、色褪せなどが発生していない原稿に対して、これらの機能を使用しないでください。色あいがおかしくなることがあります。
- 画像補正の処理結果は、プレビュー画面では確認できない場合があります。

参考

- [カラーモード] の設定によっては、設定できる機能が異なります。
- [画像設定] をするとスキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。

[画像設定] では、次の項目を設定できます。

参考

- [原稿の種類] が [紙/写真] のときとフィルムるときでは、設定できる項目が異なります。

● [画像調整]

画像調整を設定すると、指定した範囲の画像の明るさが最適な状態になるように調整されます。原稿の種類を自動で判別して調整したり、原稿の種類を指定して調整したりすることもできます。調整の結果は画像全体に反映されます。

● [OFF]

画像調整を行いません。

● [自動]

原稿の種類を自動で判別し、画像調整を行います。通常は、この設定をお勧めします。

● [写真]

写真やフィルムに合った画像調整を行います。

- **【雑誌】**

雑誌に合った画像調整を行います。

- **【文書】**

文書に合った画像調整を行います。

重要

- [画像調整] はプレビュー後に設定できます。
- [詳細設定] ダイアログの [色の設定] シートで [推奨] が選ばれているときに、設定できます。

参考

- [原稿の種類] がフィルムの場合、[写真] / [OFF] のみ設定できます。
- [自動] で適切に画像調整されなかった場合、原稿の種類を指定してください。
- 画像調整によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、[画像調整] を [OFF] にしてください。

- **【裏写り低減】**

原稿をスキャンするときに、両面原稿の裏写り、再生紙などの下地の色を低減します。

- **【OFF】**

裏写り低減を行いません。

- **【ON】**

両面原稿の裏写りや、下地の色を低減します。通常は、この設定をお勧めします。

重要

- [裏写り低減] は [詳細設定] ダイアログの [色の設定] シートで [推奨] が選ばれており、かつ、[画像調整] で [文書]、[雑誌] が選ばれているときに設定できます。

- **【輪郭強調】**

[ON] にすると、画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

- **【モアレ低減】**

印刷された写真や絵は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象です。[モアレ低減] は、このモアレを少なくする機能です。

参考

- [モアレ低減] が [ON] になっていても、[輪郭強調] が [ON] になっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、[輪郭強調] を [OFF] にしてください。
- [基本モード] シートの [原稿を選択する] で [雑誌(カラー)] を選ぶと、[拡張モード] シートの [モアレ低減] を [ON] にしたときと同じ効果があります。

- **【ごみ傷低減】**

写真をスキャンすると、ごみや傷が原因で白い点が出る場合があります。このごみや傷をできるだけ少なくします。

- **【OFF】**

ごみ傷低減を行いません。

- **【弱】**

小さなごみや傷を減らします。大きいごみや傷は残ることがあります。

- **【標準】**

通常は、この設定をお勧めします。

- **【強】**

大きいごみや傷を減らすことができますが、処理をした跡が残ったり、画像の微妙な部分を消去してしまったりすることがあります。

重要

- 写真の種類によっては、この機能を使わないほうがよい場合があります。

参考

- 印刷物をスキャンするときは、[OFF]をお勧めします。

● 【ごみ傷除去(FARE)】（フィルムの場合）

フィルムをスキャンするときに、フィルム上の小さなごみや傷を自動的に除去してスキャンします。

- 【OFF】
ごみ傷除去を行いません。
- 【弱】
はっきりと目立ったごみや傷を除去します。大きいごみや傷は残ることがあります。
- 【標準】
通常は、この設定をお勧めします。
- 【強】
あまり目立たないごみや傷も除去します。大きなごみや傷も除去しますが、処理をした跡が残ることがあります。

重要

- モノクロフィルムをスキャンするときは、設定できません。
- スキャン範囲が小さすぎたり、画像の上下端にごみや傷があったりすると、除去されない場合があります。

参考

- 解像度を4801 dpi以上に設定して【ごみ傷除去(FARE)】をオンにした場合、スキャンの時間が長くなります。また、ハードディスクドライブの空き容量を確保してからスキャンしてください。

● 【褪色補正】

経年変化などで褪色したり、色かぶりしたりした写真やフィルムを色補正してスキャンします。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

- 【OFF】
褪色補正を行いません。
- 【弱】
わずかに褪色または色かぶりしたときに指定します。
- 【標準】
通常は、この設定をお勧めします。
- 【強】
かなり強く褪色または色かぶりしたときに指定します。画像の色あいに影響を与える場合があります。

重要

- 【褪色補正】はプレビュー後に設定できます。
- 【詳細設定】ダイアログの【色の設定】シートで【推奨】が選ばれているときに、設定できます。
- スキャンする範囲が小さすぎると、【褪色補正】できない場合があります。

● 【粒状感低減】

高感度フィルムや増感撮影したフィルムから作成された写真で感じられる粒状感（ざらつき）を低減します。

- **【OFF】**

粒状感低減を行いません。

- **【弱】**

わずかに粒状感が目立つ写真のときに指定します。

- **【標準】**

通常は、この設定をお勧めします。

- **【強】**

かなり強く粒状感が目立つ写真のときに指定します。画像の階調性やシャープネスに影響を与える場合があります。

重要

- スキャンする範囲が小さすぎると、【粒状感低減】できない場合があります。

- **【逆光補正】**

逆光で撮影された写真やフィルムを補正します。

プレビュー画像を表示した状態で【逆光補正】の設定を変更すると、変更結果がプレビュー画像に反映されます。

- **【OFF】**

逆光補正を行いません。

- **【弱】**

わずかに逆光が目立つ写真のときに指定します。画像のコントラストに影響を与えない設定です。

- **【標準】**

通常は、この設定をお勧めします。

- **【強】**

かなり強く逆光が目立つ写真のときに指定します。画像のコントラストに影響を与える場合があります。

重要

- 【逆光補正】はプレビュー後に設定できます。
- 【詳細設定】ダイアログの【色の設定】シートで【推奨】が選ばれているとき、設定できます。
- IJ Scan Utilityの【スキャン設定(ScanGear)】ダイアログで【大容量の画像のスキャンを有効にする】が選ばれているときは、設定できません。
- スキャンする範囲が小さすぎると、【逆光補正】できない場合があります。

参考

- 【逆光補正】を行うとノイズが目立つことがあります。ノイズを目立たなくするために、【粒状感低減】を有効にし、【輪郭強調】を【OFF】にすると、効果のある場合があります。

- **【とじ部の影補正】**

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を補正してスキャンします。

プレビュー画像を表示したあと【とじ部の影補正】の設定をすると、結果がプレビュー画像に反映されます。原稿の種類や原稿の押さえかたなどによって補正結果が違ってきますので、プレビューで効果を確認したあとスキャンしてください。

とじ部の浮きによる文字や線画のボケ、にじみなどは補正されません。

- **【OFF】**

とじ部の影補正を行いません。

- **【弱】**

標準設定では補正が強すぎる場合に指定します。

- **【標準】**

通常は、この設定をお勧めします。

- **【強】**

標準設定では補正が弱すぎる場合に指定します。

重要

- 原稿台に2 kg以上の物をのせないでください。また、原稿を強く（2 kgを超える力で）押さえたり、重みをかけたりしないでください。強く押さえすぎるとスキャナーが正しく動作しなかったり、ガラスが破損したりするなどの危険があります。
- 原稿が傾かないように原稿台の端に合わせてセットしてください。斜めに置くと、正しく補正されません。



- 原稿によっては、正しく補正できない場合があります。下地が白色以外の原稿では、影の位置を検知できなかったり、誤って検知したりする場合があります。
- 読み込み中は背表紙中央部分をプレビュー時と同じ力加減で押さえてください。とじ部が均等になるように置かないと、正しく補正されません。



- 原稿のセット方法は、ご使用の機種やスキャンする原稿によって異なります。

参考

- 原稿と原稿台の間に外の光が入って画像が白く欠けたり、筋状や色のついた模様が現れたりするときは、原稿の上から黒い布などで覆ってください。
- 適切に補正が行われない場合は、プレビュー画像上のク롭枠（スキャンする範囲）を微調整してください。
➡ク롭枠の調整のしかた

- **【露光・色調整設定】（フィルムの場合）**

- **【手動露光調整】**

フィルムに応じて露光データを任意に調整します。

設定がオフの状態では、ク롭範囲のフィルムの濃度に応じて自動的に露光データ（RGBそれぞれの露光量やレベル補正）が設定され、最適なスキャン画像が得られます。

スキャン後にアプリケーションソフトで画像調整をする場合や、露光量をオーバー気味またはアンダー気味にスキャンしたい場合には、チェックボックスにチェックマークを付けてください。

この項目をオンにすると、50 %～200 %の範囲で1 %刻みの露光調整ができます。

重要

- **【選択範囲の色調整データを全コマに適用】 / 【選択範囲の色調整データを全ク롭に適用】** を実行しているときは、設定できません。

- 基本モードでは、[手動露光調整] が行われなくなっています。露光量を変更したい場合は、[拡張モード] シートで [手動露光調整] のチェックボックスにチェックマークを付けて調整を行い、スキャンしてください。
- 設定をオフにすると、フィルムに合わせて露光量を自動最適化するため、スキャンするフィルムによってスキャンにかかる時間が異なります。

- **【選択範囲の色調整データを全コマに適用】 / 【選択範囲の色調整データを全クロップに適用】**

サムネイル表示のときは「全コマ」に、全体表示のときは「全クロップ」になります。

[実行] をクリックすると、選択されているコマまたはクロップ枠の範囲の色調整データを取得し、他のコマに反映させます。以後のスキャンには、その色調整データが使用されます。[解除] をクリックするまで有効です。

同じ日に、同じ場所で撮影したフィルムを同じ色あいでスキャンしたい場合などに有効です。

- **【高画質モード】**

フィルムをスキャンするときに [ON] にすると、より高画質、低ノイズの画像になります。

- フィルムの種類によっては、画質が変化しない場合もあります。
- 【選択範囲の色調整データを全コマに適用】 / 【選択範囲の色調整データを全クロップに適用】 を実行しているときは、設定できません。

色調整ボタン

色調整ボタンでは、画像全体の明るさや画像の明暗差（コントラスト）の調整、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色あいにかかわる詳細な設定ができます。



重要

- [詳細設定] ダイアログの [色の設定] シートで [カラーマッチング] を選択しているときは、色調整ボタンを設定できません。

参考

- [原稿の種類] がフィルムの場合、色調整ボタンはプレビュー後に設定できます。
- [カラーモード] の設定によっては、設定できる機能が異なります。
- 色調整ボタンで画像を調整すると、その結果はすぐにプレビュー画像に反映されます。

色調整ボタンをクリックして、次の項目を設定します。

(彩度・カラーバランス)

画像の彩度（色の鮮やかさ）や、色あいを調整します。色かぶりや褪色により損なわれた色彩を、鮮やかにしたいときに調整します。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

➡ 彩度・カラーバランスの調整のしかた

(明るさ・コントラスト)

画像の明るさや明暗度（コントラスト）を調整します。画像が暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。

➡ 明るさ・コントラストの調整のしかた

-  **(ヒストグラム)**

どの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。画像の中のもっとも明るいレベル（ハイライト）ともっとも暗いレベル（シャドウ）を指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。

⇒ヒストグラムの調整のしかた

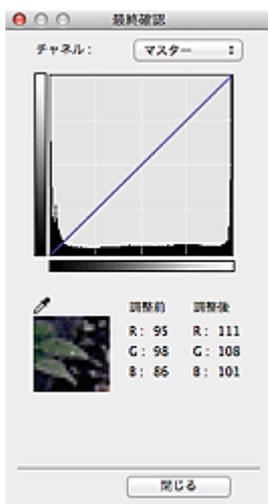
-  **(トーンカーブ調整)**

明暗の入力と出力のバランスを示したグラフ（トーンカーブ）の種類を選び、画像の明るさを調整します。特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。

⇒トーンカーブの調整のしかた

-  **(最終確認)**

色調整の最終確認をします。最終の合成トーンカーブと、そのあとの画像処理で得られるヒストグラムが表示されます。この画面では設定する項目はありません。



- カラー画像のときは、[チャンネル] で、[レッド]、[グリーン]、[ブルー] のいずれかの色の要素だけを選び確認するか、[マスター] を選び3つの色の要素をまとめて確認するかを選びます。
- プレビュー画像上にカーソルを置くと、その位置の拡大表示と画像の調整前後のRGB値（[カラーモード] が[グレースケール] のときはL値のみ）が表示されます。

-  **(白黒設定)**

白と黒を2階調化するしきい値の設定を行います。しきい値を調節すると、原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

⇒白黒設定のしかた

- **[カスタム]**

色調整ボタンのトーンカーブ／白黒設定の設定内容に名前を付けて保存することができます。

ポップアップメニューから [追加/削除...] を選ぶと、[カラーモード] が [白黒] 以外の場合は [トーンカーブ設定の追加/削除] ダイアログ、[カラーモード] が [白黒] のときは [しきい値設定の追加/削除] ダイアログが表示されます。



【設定名】を入力し【追加】をクリックすると、【トーンカーブ設定一覧】 / 【しきい値設定一覧】に設定名が表示されます。

【保存】をクリックして、登録します。

登録済みのトーンカーブ／白黒設定を呼び出して、プレビュー画像に反映させることもできます。呼び出すときは、ポップアップメニューから登録した設定名を選びます。

設定を削除するには、【トーンカーブ設定一覧】 / 【しきい値設定一覧】で削除したい設定名を選び、【削除】をクリックします。【保存】をクリックして、【トーンカーブ設定一覧】 / 【しきい値設定一覧】に表示されている設定を保存します。

参考

- 最大20個まで設定を保存できます。

• 【標準に戻す】

彩度・カラーバランス、明るさ・コントラスト、ヒストグラム、トーンカーブ、すべての調整が初期状態に戻ります。

[ページの先頭へ▲](#)

[詳細設定] ダイアログ

ScanGear (スキャナードライバー) の画面にある [詳細設定...] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログが表示されます。

[詳細設定] ダイアログでは、[スキャナー]、[プレビュー]、[スキャン]、[色の設定] の4つのシートで、ScanGearの機能についての詳細な設定をすることができます。



[スキャナー] シート

サイレントモードの設定や、自動電源の設定、画像を一時的に保存するフォルダーの指定、スキャン終了時の音楽を設定することができます。

➡ [スキャナー] シート

[プレビュー] シート

ScanGearを起動したときのプレビューの動作や、プレビューしたときのクロップの動作、原稿やフィルムの読み込み時に表示されるサムネイルの切り出しサイズを設定することができます。

➡ [プレビュー] シート

[スキャン] シート

スキャン終了後のScanGearの動作や、フィルム読み込み時にScanGearの画面を表示しないアプリケーションソフトを使用するときの設定、[拡張モード] シートの [カラーモード] (48/16ビット出力) を設定することができます。

➡ [スキャン] シート

[色の設定] シート

色の調整方法の指定や、モニターガンマ値を設定することができます。

➡ [色の設定] シート

S933

ScanGear

[スキャナー] シート

[スキャナー] シートでは、次の設定ができます。



• [自動電源設定]

本製品の電源を自動的にオフにすることができます。

[設定...] をクリックすると、[自動電源設定] ダイアログが表示されます。

参考

- 本製品の電源が入っていないと、パソコンは本製品の情報を取得できず、メッセージが表示されることがあります。この場合、[OK] をクリックすると、ScanGear (スキャナードライバー) が終了します。



• [自動電源オフ]

[有効] を選ぶと、240分間ScanGearまたはEZボタンからの操作がない場合に、本製品の電源が切れるようになります。

• [サイレント設定]

本製品の動作音を抑えることができます。夜間にスキャンをする場合など、動作音が気になるときに使用してください。

[設定...] をクリックして、サイレントモードの設定を行います。

参考

- この機能を使用すると、スキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。



- **【サイレントモードで使しない】**

本製品の動作音を通常の状態を使用するときに選びます。

- **【常にサイレントモードで使用する】**

本製品の動作音を抑えるときに選びます。

- **【テンポラリファイルの保存先フォルダー】**

画像を一時的に保存するフォルダーを表示します。【参照...】をクリックして、保存先のフォルダーを指定します。

- **【サウンド設定】**

スキャン終了時に音楽を流すことができます。

【スキャン終了を音で通知する】にチェックマークを付け、【参照...】をクリックして、サウンドファイルを指定します。

次のファイルを指定できます。

- ・ MIDIファイル (*.mid、*.midi)
- ・ オーディオファイル (*.wav、*.aif、*.aiff)
- ・ MP3ファイル (*.mp3)

- **【キャリブレーション設定】**

【スキャン前に毎回実行】を【ON】にすると、プレビューとスキャンの前に毎回キャリブレーションを実行し、スキャンした画像が正しい色あいになるように調整します。フィルムの場合は、プレビューの前に毎回キャリブレーションを実行します。

参考

- 【スキャン前に毎回実行】を【OFF】にしていた場合でも、電源を入れた直後など、キャリブレーションが自動で行われる場合があります。
- ご使用のパソコンによっては、キャリブレーションに時間がかかる場合があります。

[ページの先頭へ▲](#)

[プレビュー] シート

[プレビュー] シートでは、次の設定ができます。



• [ScanGear 起動時のプレビュー]

ScanGear (スキャナードライバー) を起動したときのプレビューの動作を選びます。

• [自動的にプレビューを実行する]

ScanGearが起動すると、自動的にプレビューを開始します。

• [保存されたプレビューイメージを表示する]

前回プレビューしたときの画像を表示します。

色調整ボタンの設定項目、ツールバーの設定や [拡張モード] シートの設定も保存されます。

• [なし]

起動時はプレビュー画像を表示しません。

参考

- プレビュー画像を保存したくない場合は、[なし] を選択してください。

• [プレビュー後のクロップ枠の設定]

プレビューしたあとのクロップの動作を選びます。

• [オートクロップを実行する]

プレビュー後、自動的に原稿サイズに合わせてクロップ枠 (スキャンする範囲) を表示します。

• [前回使用したクロップ枠を表示する]

プレビュー後、前回使用したクロップ枠と同じサイズのクロップ枠を表示します。

• [なし]

プレビュー後、クロップ枠を表示しません。

- **【サムネイル表示時の切り出しサイズ】**

原稿やフィルムの読み込み時に表示されるサムネイルの切り出しサイズを選びます。

- **【大きめ】**

標準サイズを基準に、幅・高さともに105 %の範囲を表示します。

- **【標準】**

基本の大きさです。

- **【小さめ】**

標準サイズを基準に、幅・高さともに95 %の範囲を表示します。

参考

- 【サムネイル表示時の切り出しサイズ】 を変更した場合、切り出しサイズに合わせて、再度プレビュー画像の切り出しを行います。その際、プレビュー画像に対して行った色調整などの設定はすべてリセットされます。

[ページの先頭へ▲](#)

[スキャン] シート

[スキャン] シートでは、次の設定ができます。



• [スキャン終了後の ScanGear の画面]

スキャン終了後の動作を選びます。

• [ScanGear を自動的に閉じる]

スキャン終了後、ScanGear (スキャナードライバー) の画面を閉じ、起動したアプリケーションソフトに戻ります。

• [ScanGear を自動的に閉じない]

スキャン終了後、ScanGearの画面に戻り、続けてスキャンすることができます。

• [動作選択画面を表示する]

スキャン終了後、動作選択画面が表示されます。



参考

- [ScanGear を自動的に閉じない]、[動作選択画面を表示する] を設定しても、アプリケーションソフトによっては動作しない場合があります。

• [メインウィンドウを表示しないスキャン]

フィルムの読み込み時に、ScanGearの画面を表示しないアプリケーションソフトを使用するときの設定を行います。

- **【フィルム切り出しのサイズを小さめにする】**

標準のフィルムサイズを基準に、幅・高さともに95%の範囲を表示します。

重要

- この設定は、ScanGearの画面を表示してスキャンを行う場合には無効です。

- **【拡張モード設定】**

- **【48/16ビット出力を有効にする】**

チェックマークを付けると、【拡張モード】シートの【カラーモード】に、【カラー(48ビット)】が表示されます。【原稿の種類】がフィルムの場合は、【グレースケール(16ビット)】も表示されます。

重要

- アプリケーションソフトによっては、【カラー(48ビット)】、【グレースケール(16ビット)】でスキャンされた画像を受け取れなかったり、終了したりする場合があります。

参考

- 【カラーモード】で【カラー(48ビット)】や【グレースケール(16ビット)】を選択している状態で、本チェックボックスをオフに設定した場合、【カラー(48ビット)】は【カラー】に、【グレースケール(16ビット)】は【グレースケール】に設定されます。
- 【48/16ビット出力を有効にする】にチェックマークが付いている状態で保存ファイル形式にJPEGもしくはPDFを選択したままScanGearでスキャンすると、24 bit/8 bitに変換されて保存されます。

- **【大容量の画像のスキャンを有効にする】**

このシートから【大容量の画像のスキャンを有効にする】を設定することはできません。大容量の画像をスキャンしたい場合は、IJ Scan Utilityから設定してください。

➡ [【スキャン設定\(ScanGear\)】ダイアログ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[色の設定] シート

[色の設定] シートでは、次の設定ができます。



色の調整方法

次のうち、いずれかを選びます。

[カラーモード] が [カラー]、[カラー(48ビット)]、[グレースケール] または [グレースケール(16ビット)] のときに選択できます。

【推奨】

原稿の色あいを、画面上で鮮やかに再現します。通常は、この設定をお勧めします。

【カラーマッチング】

スキャナー、モニター、カラープリンター間の色調が合うように自動調整し、モニターやプリンターの色合わせなどの手間を軽減します。

色調整ボタンは使えなくなります。

[カラーモード] が [カラー] または [カラー(48ビット)] のときに有効です。

- ・ [入力プロファイル] : スキャナープロファイルを選びます。
- ・ [出力プロファイル] : ターゲットプロファイルを選びます。
- ・ [モニター補正表示] : モニターに最適な補正を行ったプレビュー画像を表示します。
- ・ [標準に戻す] : [カラーマッチング] の設定を初期値に戻します。

【色補正なし】

ScanGear (スキャナードライバー) が行っている色補正を行いません。

参考

- カラーマッチングは、ScanGear、モニター、Adobe Photoshopなどのカラーマネジメント対応のアプリケーションソフト、プリンターが正しく設定されている場合に使用できます。モニターやプリンターの設定、アプリケーションソフトの設定方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

- **【モニターガンマ】**

モニターのガンマ値を設定することで、そのモニターの特性に合った明るさに調整します。ガンマ値がScanGearの初期値でないモニターを使用していて、元の画像の色調と、モニターに表示された画像の色調が違う場合に設定します。

【標準に戻す】をクリックすると、モニターガンマを初期値（1.80）に戻します。

参考

- ご使用のモニターのガンマ値については、モニターに付属の取扱説明書を参照してください。記載されていない場合は、製造メーカーの相談窓口などにお問い合わせください。

[ページの先頭へ▲](#)

S942

使用上の注意 (スキャナードライバー)

本ScanGear (スキャナードライバー) の使用およびスキャンに際しては、以下のような制限事項があります。ScanGearの使用にあたっては、あらかじめこれらの点に注意してください。

スキャナードライバーの制限事項

- 1台のパソコンを複数のユーザーで使用しているときや、ログアウト後再度ログインをしたときに、ScanGearを使用中のメッセージが表示されることがあります。そのような場合は、USBケーブルをパソコンから外し、接続し直してください。
- ScanGearが起動中にパソコンがスリープ状態から復帰した場合、正常にスキャンできないことがあります。そのような場合は、以下の手順を行ったあと、スキャンしてください。
 1. 本製品の電源を切る
 2. ScanGearを終了したあと、USBケーブルをパソコンから外し、再度パソコンへ接続
 3. 本製品の電源を入れる
- スキャナーおよびスキャナー機能を持つ複合機を同じパソコンに2台以上接続しないでください。2台以上接続されている場合には、本製品の操作ボタン (EZボタン) からスキャンできないほか、デバイスへのアクセスでエラーが発生することがあります。
- 大きなイメージを高解像度で読み込むとき (スキャンするとき) は、ハードディスクに十分な空きがあるかどうか確認してください。たとえば、A4判の文書をフルカラー600 dpiでスキャンするとき、最低300 MBの空き容量が必要です。
- 厚みのある原稿をスキャンした場合、正しくクロップできないことがあります。そのような場合は、1枚ずつクロップするか、手動でクロップしてください。
- スキャン中に、パソコンをスリープ状態や休止状態にしないでください。
- USB1.1で接続している場合、キャリブレーションに時間がかかる場合があります。
- 本製品の操作ボタン (EZボタン) を連続して押した場合、スキャン終了後に続けてスキャンを開始することがあります。

[ページの先頭へ ▲](#)

スキャンの役立つ情報

- クロップ枠の調整のしかた
- 解像度について
- データ形式について（ファイルの種類／フォーマット）
- カラーマッチングについて

[ページの先頭へ ▲](#)

S307

クロップ枠の調整のしかた

画像の必要な範囲だけを選び、スキャンするときに不要な部分を取り除くことを「クロップ」といいます。

➡ IJ Scan Utilityの場合

➡ ScanGear（スキャナードライバー）の場合

IJ Scan Utilityの場合

〔画像貼り合わせ〕ウィンドウでは、プレビュー領域に表示された画像に対してクロップ枠を指定できます。

クロップ枠の初期状態

クロップ枠は指定されていません。〔クロップ枠を調整する〕にチェックマークを付けると、プレビュー領域内の画像の周囲にアクティブなクロップ枠が自動で指定されます。クロップ枠をドラッグして、範囲を指定することもできます。

スキャンを実行すると、クロップ枠で指定された範囲の画像が読み込まれます。

クロップ枠の調整

カーソルをクロップ枠上に合わせると、形状が （矢印）に変わります。そのまま矢印の方向へマウスをドラッグすると、クロップ枠が拡大/縮小します。



カーソルをクロップ枠の内側に合わせると、形状が （手のひら）に変わります。そのままマウスをドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。



クロップ枠の削除

クロップ枠を削除するには、〔クロップ枠を調整する〕のチェックマークを外します。

ScanGear（スキャナードライバー）の場合

〔基本モード〕シートや〔拡張モード〕シートでは、画面のプレビュー領域に表示された画像に対してクロップ枠（スキャンする範囲）を指定できます。

スキャンを実行すると、クロップ枠で指定された範囲ごとに画像が読み込まれます。

参考

- 全体表示のときは、プレビュー画像に複数のクロップ枠を指定できます。

クロップ枠の初期状態

サムネイル表示の場合

クロップ枠は指定されていません。サムネイルをマウスでドラッグして、クロップ枠を指定することができます。

全体表示の場合

プレビュー内の画像の周囲にアクティブなクロップ枠が自動で指定されています。プレビュー領域でクロップ枠をドラッグして、範囲を指定することもできます。

参考

- オートクロップ設定は〔詳細設定〕ダイアログで変更できます。詳細については、「〔プレビュー〕シート」の〔プレビュー後のクロップ枠の設定〕をご覧ください。

クロップ枠の種類



(1) 太いクロップ枠（回転／静止）

選択中のクロップ枠です。全体表示の場合にのみ表示されます。commandキーを押しながらクロップ枠をクリックすると、複数の枠を選べます。選択中のすべてのクロップ枠に、〔基本モード〕シートや〔拡張モード〕シートでの出力サイズや画像の補正内容などが反映されます。

(2) 細いクロップ枠

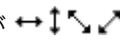
- ・サムネイル表示の場合

〔基本モード〕シートや〔拡張モード〕シートでの出力サイズや画像の補正内容などが反映されます。

- ・全体表示の場合

選択されていないクロップ枠です。〔基本モード〕シートや〔拡張モード〕シートでの設定は反映されません。

クロップ枠の調整

カーソルをクロップ枠上に合わせると、形状が （矢印）に変わります。そのまま矢印の方向へマウスをドラッグすると、クロップ枠が拡大／縮小します。



カーソルをクロップ枠の内側に合わせると、形状が （プラスの矢印）に変わります。そのままマウス

をドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。



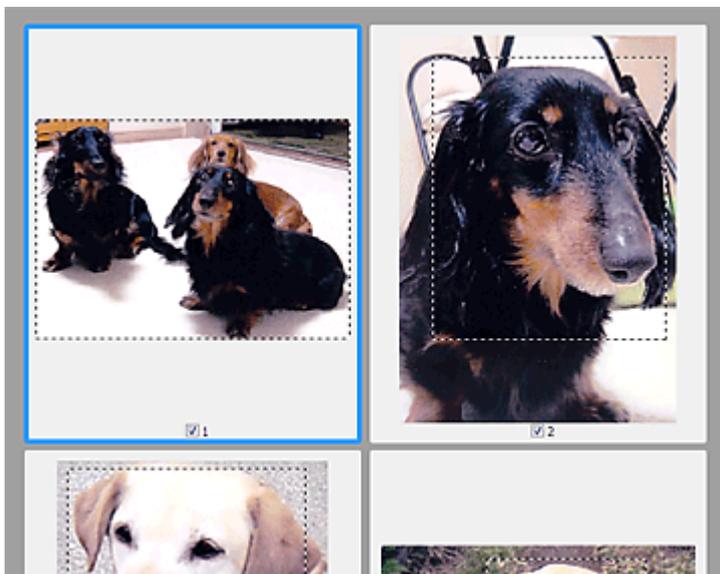
参考

- [拡張モード] シートでは、[入力設定] の [幅] と [高さ] に数値を入れることで、クロップ枠の大きさを細かく指定することができます。
➡ [入力設定]
-  (縦横比切り替え) をクリックして、クロップ枠を90度回転させることもできます。ただし、[出力サイズ] が [フリーサイズ] のときは、 (縦横比切り替え) を使用できません。

複数のクロップ枠の作成

サムネイル表示の場合

作成できるクロップ枠は、1コマにつき1個です。



全体表示の場合

プレビューエリアにクロップ枠がある状態で、すでにあるクロップ枠以外のスペースでドラッグすると、その範囲に新しくクロップ枠が作成されます。このとき新しく作成されたクロップ枠がアクティブなクロップ枠となり、それまでのアクティブなクロップ枠は、非選択クロップ枠となります。



複数のクロップ枠を作成しているときには、それぞれのクロップ枠に対して別々にスキャンの設定を行うことができます。

また、commandキーを押しながらクロップ枠をクリックすると、複数のクロップ枠を同時に選択状

態にすることができます。

複数のクロップ枠を選択しているときに、ScanGearの右側のシートで設定を変更すると、選択しているすべてのクロップ枠に対して、同じ設定を適用させることができます。

クロップ枠を新規に作成した場合は、作成する直前に設定したクロップ枠の設定が引き継がれます。

参考

- 作成できるクロップ枠の最大数は、次のとおりです。
 - 原稿の種類が紙や写真の場合：12個
 - 原稿の種類がフィルムの場合：30個
 - 複数のクロップ枠をスキャンした場合、スキャンの時間が長くなります。
-

クロップ枠の削除

サムネイル表示の場合

クロップ枠を削除するには、同じコマの画像の中で、クロップ枠の外をクリックします。

全体表示の場合

クロップ枠を削除するには、クロップ枠を選び、ツールバーの  (クロップ枠削除) をクリックします。またdeleteキーを押しても削除できます。

クロップ枠を複数作成しているときは、選択状態にあるクロップ枠（アクティブなクロップ枠と、選択クロップ枠）が同時にすべて削除されます。

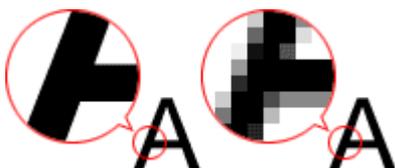
[ページの先頭へ ▲](#)

S308

解像度について

スキャナーで読み込まれた画像のデータは、明るさや色の情報を持った点（ドット）の集まりから成り立っています。この点の密度を「解像度」といい、画像のきめ細やかさや粗さは、この解像度によって決まります。解像度の単位は、dpi (dots per inch) です。dpiは1インチ（約2.5 cm）あたりにどれだけ点が集まっているかを示す単位です。

解像度が高い（数値が大きい）ときめ細かい画像になり、解像度が低い（数値が小さい）と粗い画像になります。



解像度の設定方法

解像度は、下記の画面で設定することができます。

• IJ Scan Utilityの場合

スキャン設定ダイアログの （パソコンからスキャン）シートにある [解像度] または （EZ ボタンからスキャン）シートにある [解像度]

• ScanGear（スキャナードライバー）の場合

[拡張モード] シートの [出力設定] にある [出力解像度]

解像度設定の目安

スキャン後のデータの用途に合わせて、解像度を設定してください。

原稿の種類	使用目的	カラーモード	解像度設定
フィルム	焼き増しをする (プリンターで印刷する)	カラー	1200 dpi
カラー写真	焼き増しをする (プリンターで印刷する)	カラー	300 dpi
	絵はがきを作る	カラー	300 dpi
	パソコンに保存する	カラー	300 dpi
	ホームページで使う/Eメールに添付する	カラー	150 dpi
モノクロ写真	パソコンに保存する	グレースケール	300 dpi
	ホームページで使う/Eメールに添付する	グレースケール	150 dpi
文字原稿（文書、雑	コピーする	カラー/グレースケール/	300 dpi

誌)		白黒	
	Eメールに添付する	カラー／グレースケール／ 白黒	150 dpi
	OCRで文字列を読み取る	カラー／グレースケール	300 dpi

重要

- 解像度を2倍にすると、スキャンした画像データのサイズは4倍になります。サイズが増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリーが不足したりするなどの不都合が生じます。解像度は、使用目的に合わせて、必要最小限に設定してください。

参考

- スキャンした画像を拡大して印刷する場合は、上記の目安よりも高い解像度に設定してスキャンしてください。

[ページの先頭へ▲](#)

S309

データ形式について (ファイルの種類/フォーマット)

スキャンした画像を保存するとき、画像のデータ形式を選ぶことができます。スキャンした画像を何に、どのアプリケーションソフトで使用するのかによって、条件に適したデータ形式を指定する必要があります。

アプリケーションソフトや使用するOS (Windows、Mac OS) によっても、扱うことのできるデータ形式が異なります。

ここでは、画像のデータ形式の特徴を紹介します。

PNG (一般的な拡張子は「.png」)

ウェブ (ホームページ) 上でよく使われるデータ形式です。

保存した画像データを加工する場合に適しています。

JPEG (一般的な拡張子は「.jpg」)

ウェブ (ホームページ) 上や、デジタルカメラの画像でよく使われるデータ形式です。

この形式は、圧縮率が高いのが特徴です。保存のたびに画像が少しだけ劣化し、元の画像に戻すことはできません。

画像タイプが白黒のときは選ぶことはできません。

TIFF (一般的な拡張子は「.tif」)

さまざまなパソコンやアプリケーションソフト上で、比較的互換性の高いデータ形式です。

保存した画像データを加工する場合に適しています。

参考

- 互換性のないデータも存在します。
- IJ Scan Utility に対応しているTIFF形式のファイルは、以下のとおりです。
 - ・非圧縮、白黒2値
 - ・非圧縮、RGB各8 bit
 - ・非圧縮、RGB各16 bit
 - ・非圧縮、グレースケール

PDF (一般的な拡張子は「.pdf」)

アドビ システムズ社が開発した電子文書用のデータ形式です。

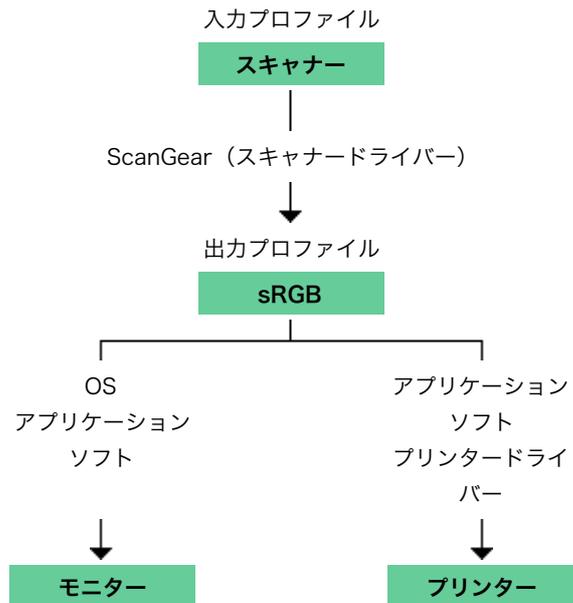
さまざまなパソコンやOSで使用することができ、フォントも埋め込めるため、使用環境の異なる人同士でも、違いを意識することなくファイルをやり取りできます。

S310

カラーマッチングについて

原稿、モニター表示、カラープリント間の色調が近づくように調整することを「カラーマッチング」といいます。ご使用のスキャナーまたはプリンターでは、以下のような流れで色調が調整されます。

例) 出カプロファイルとして、sRGBを選んだ場合



スキャンした画像は、ScanGearによってスキャナーの色空間からsRGBの色空間へ変換されます。

モニターに表示するときは、OSでのモニターの設定と、アプリケーションソフトでの作業スペースの設定を行うことで、sRGBの色空間からモニターの色空間へ変換して表示します。

プリンターに出力するときは、アプリケーションソフトのプリント設定と、プリンタードライバーの設定を行うことで、sRGBの色空間からプリンターの色空間へ変換してプリントします。

[ページの先頭へ ▲](#)

S403

原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)

ご使用のスキナーの原稿台に原稿をセットする方法について説明します。スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

重要

- 原稿台に2 kg以上の物をのせないでください。また、原稿を強く (2 kgを超える力で) 押さえないでください。強く押さえすぎると、スキナーが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損したりするなどの危険があります。
- 原稿台カバーはきちんと閉じてスキャンしてください。
- フィルム以外の原稿をスキャンするときは、原稿台カバーの内側にFAU保護シート (フィルムアダプターユニット保護シート) が取り付けられていることを確認してください。FAU保護シートが取り付けられていないと、原稿の種類を正しく判別できない場合があります。

● 写真や文書などをスキャンしたい場合

⇒ 原稿のセットのしかた

● フィルムをスキャンしたい場合

⇒ フィルムのセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)

原稿のセットのしかた

原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンする場合は、以下の原稿のセットのしかたに従って原稿を置いてください。

重要

- IJ Scan UtilityまたはScanGear (スキナードライバー) で原稿のサイズを指定してスキャンする場合は、原稿の上端を原稿台にある矢印 (原稿位置合わせマーク) に合わせて置いてください。
- いろいろな形に切り抜いた写真や3 cm (1.2 inches) 四方より小さい原稿は、正しく切り抜いてスキャンすることができません。
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。

写真、はがき、名刺、BD/DVD/CDの場合



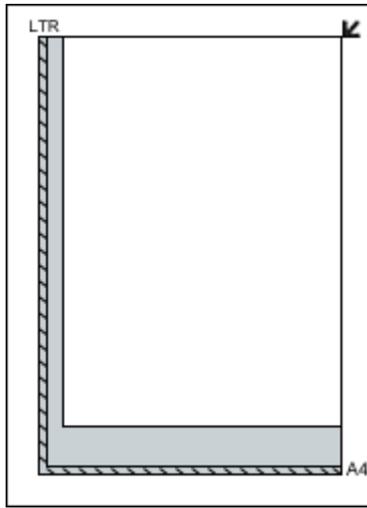
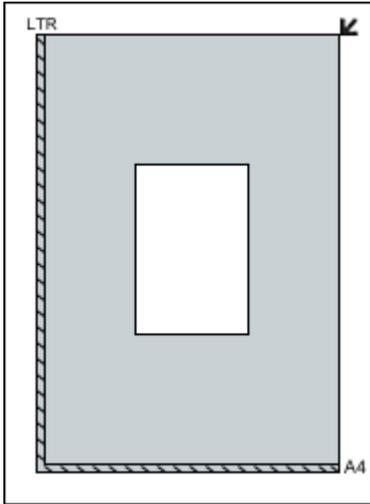
原稿が1枚の場合

原稿台の端の斜線部分から1 cm (0.4 inch) 以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。

雑誌、新聞、文書の場合

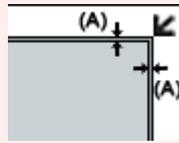


原稿の上端を原稿台にある矢印 (原稿位置合わせマーク) に合わせ、スキャンする面を下にして置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



重要

- 原稿位置合わせマークから内側に2 mm (0.08 inch) の範囲はスキャンできません。



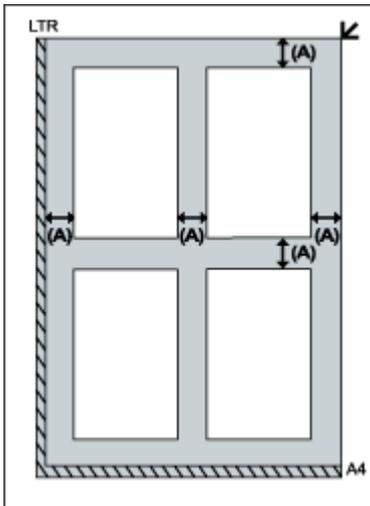
(A) 2 mm (0.08 inch)

重要

- A4サイズの写真など原稿のサイズが大きく原稿台の端や矢印（原稿位置合わせマーク）から離して置けない原稿は、PDFファイルで保存されることがあります。PDF以外の形式で保存したい場合は、データ形式を指定してスキャンしてください。

原稿が複数の場合

原稿が2枚以上ある場合は、原稿台の端の斜線部分から1 cm (0.4 inch) 以上離し、原稿と原稿の間も1 cm (0.4 inch) 以上離して置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



(A) 1 cm (0.4 inch) 以上

参考

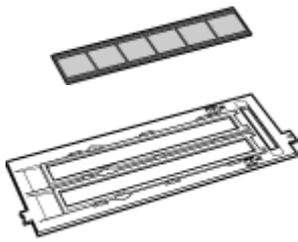
- 原稿は12枚まで置くことができます。
- 原稿の傾きが10度以内のときは、傾きが自動的に補正されます。

S406

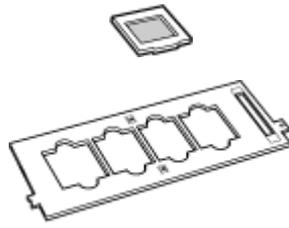
フィルムのセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

スキャナーの原稿台にフィルムをセットする方法について説明します。ご使用のスキャナーでは、35 mmフィルム（スリーブフィルムまたはマウントフィルム）とブローニーフィルムをスキャンすることができます。

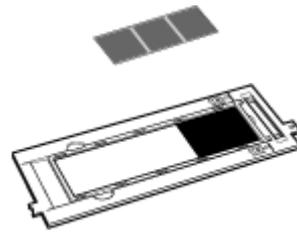
付属のフィルムガイドとスキャンするフィルムを用意してください。



35 mmスリーブフィルム用
フィルムガイド



35 mmマウントフィルム用
フィルムガイド
(スライド用ポジフィルム)

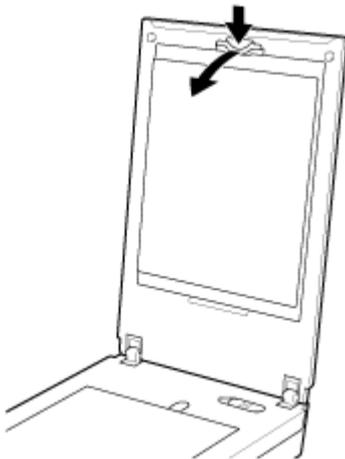


ブローニーフィルム用
フィルムガイド

フィルムをセットする前に

原稿台カバーのFAU保護シート（フィルムアダプターユニット保護シート）を取り外します。

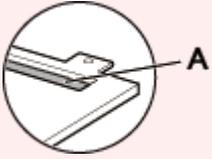
1. 原稿台カバーを開く
2. FAU保護シート上部のレバーを押して手前に引き、取り外す



重要

- FAU保護シートを取り付けた状態ではフィルムをスキャンできません。
- 取り外したFAU保護シートは、なくさないよう大切に保管してください。
- フィルムをスキャンしないときは、光源部を傷つけないためにならずFAU保護シートを取り付けておいてください。

- フィルムは汚れや指紋が付かないように、縁を指先ではさむようにして持ってください。
- フィルムや原稿台にほこりが付いていると、スキャンした画像に現れます。フィルムや原稿台のほこりは取り除いてください。
- スキャンする場合は、フィルムガイドのキャリブレーション用窓 (A) をふさがないでください。この窓がふさがっていると、フィルムを正しい色でスキャンできなくなります。



- フィルムの画像のない箇所に管理用のシールが貼られていると、それを画像と判断する場合があります。
- 原稿台カバーは静かに閉じてください。

➡ 35 mmフィルム (スリーブフィルム) の場合

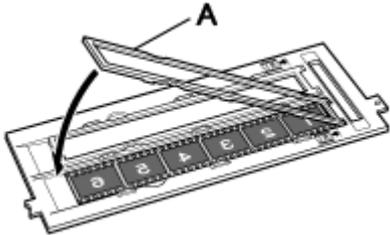
➡ マウントフィルムの場合

➡ ブローニーフィルム (スリーブフィルム) の場合

35 mmフィルム (スリーブフィルム) の場合

1. フィルムガイドにフィルムをセット

フィルムホルダー (A) を開き、フィルムのおもて面 (画像が正しく見える面) を下にし、フィルムガイドに置きます。

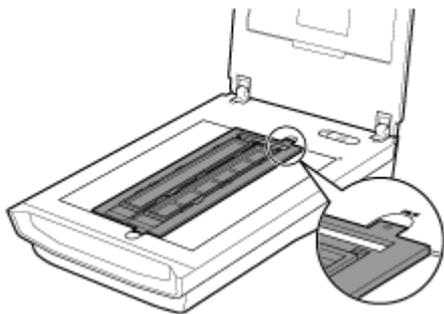


参考

- ホルダー上の白線マークと、フィルムのコマとコマの境が合っているかを確認してください。

2. フィルムガイドを原稿台にセット

フィルムガイドの突起を、原稿台のFILMマークに合わせてセットします。

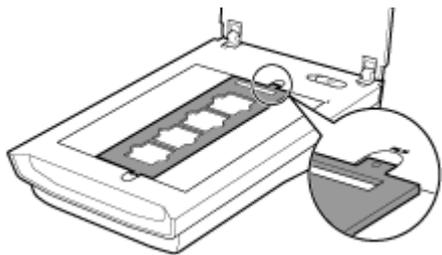


3. 原稿台カバーをゆっくり閉じる

マウントフィルムの場合

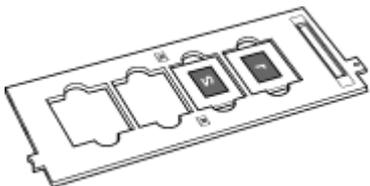
1. フィルムガイドを原稿台にセット

フィルムガイドの突起を、原稿台のFILMマークに合わせてセットします。



2. フィルムガイドにフィルムをセット

フィルムのおもて面（画像が正しく見える面）を下にし、フィルムガイドに置きます。



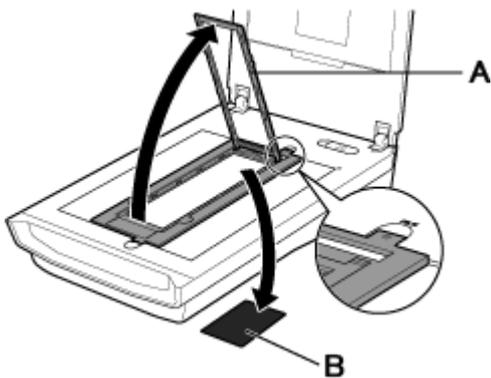
3. 原稿台カバーをゆっくり閉じる

ブローニーフィルム（スリーブフィルム）の場合

1. フィルムガイドを原稿台にセット

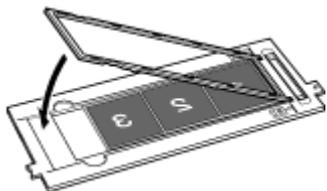
フィルムガイドの突起を、原稿台のFILMマークに合わせてセットします。

2. フィルムホルダー (A) を開いて、フィルム押さえシート (B) を取り除く



3. フィルムガイドにフィルムをセット

フィルムのおもて面（画像が正しく見える面）を下にしてセットします。



重要

- フィルムの先端側（**F** マークに近い側）に隙間ができないようにしてください。
- 2枚以上のブローニーフィルムをセットするときは、フィルムとフィルムの間を5 mm (0.2 inch) 以上

離してセットしてください。

4. 原稿台カバーをゆっくり閉じる

ブローニーフィルムがカールしている場合（フィルム押さえシートの使いかた）

フィルムがカールしていて、フィルムが原稿台に密着すると、スキャンした画像にリング状の縞模様（ニュートンリング）が現れることがあります。

縁がカールしているブローニーフィルムをスキャンする場合は、付属のフィルム押さえシートを使って、フィルムを平らにする必要があります。

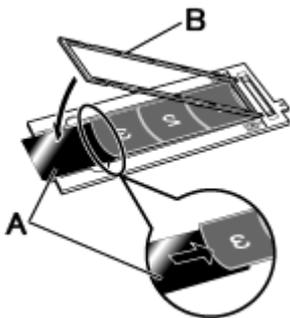
重要

- フィルム押さえシートでスキャンするコマをふさがないようにしてください。
- フィルム押さえシートは、かならず光沢面（イラストが印刷されていない面）をフィルムに接するようにセットしてください。逆にセットするとフィルムを傷つけることがあります。
- フィルム押さえシートでフィルムをこすらないでください。フィルムを傷つけるおそれがあります。

1. フィルムのおもて面（画像が正しく見える面）を下にし、フィルムガイドに正しくセット

フィルムの長辺部の縁が上に反っている状態です。

2. フィルム押さえシート（A）の光沢面（イラストが印刷されていない面）を上に向け、フィルムの端の下から差し入れる



3. フィルムホルダー（B）を閉じ、フィルムガイドにきちんとセット

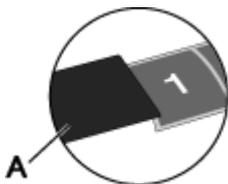
フィルムホルダーで押さえることにより、フィルム全体が押さえられ、フィルムが平らにセットされます。

参考

- 上記の方法でスキャンしてもまだ、ニュートンリングが現れるときは、フィルムの反りが大きい場合です。

次の方法をお試しください。

1. フィルムの裏表を返して、おもて面（画像が正しく見える面）を上にし、フィルムガイドにセット
フィルムの中央部が浮いている状態です。
2. フィルム押さえシート（A）のざらついた面（イラスト面）を上に向け、フィルムの上から重ねて置く



3. フィルムホルダーを閉じ、フィルムガイドにきちんとセット

4. プレビューのあと、ScanGear（スキャナードライバー）のツールバーの （鏡像）で左右を反転してから [スキャン] をクリック

[ページの先頭へ▲](#)

A002

便利なソフトウェアについて

本製品では、下記のような便利なソフトウェアをご使用いただけます。

- My Image Garden (マイ・イメージ・ガーデン)
- Quick Menu (クイック・メニュー)

My Image Gardenについて

My Image Gardenは、パソコンに保存されているデジタルカメラで撮影した写真などの画像を、さまざまな用途で幅広く活用するためのアプリケーションソフトです。膨大な画像をかたんに整理したり、お気に入りの写真からコラージュやカードなどを作成して印刷したりできます。さらに、ワンクリックでいろいろなスキャンができます。



➡ My Image Gardenガイド

重要

- 画像や作品を印刷するには、My Image Gardenに対応したキヤノン製プリンターが必要となります。

Quick Menuについて

Quick Menuは、本製品に付属のアプリケーションソフトや取扱説明書をかたんに起動したり、お役立ちサイトにすぐアクセスしたりできるソフトウェアです。また、同時にインストールされるImage Display (イメージ・ディスプレイ) では、My Image Gardenのおすすめの作品機能で自動作成されたコラージュなどの作品イメージや、パソコンに保存されている画像のスライドショーを楽しむことができます。



参考

- 初期設定では、ご使用のパソコンを起動すると、Quick Menuが自動的に起動します。
- [Finder] の [移動] メニューから [アプリケーション] を選び、[Canon Utilities] フォルダ、[Quick Menu] フォルダ、[Canon Quick Menu] アイコンの順にダブルクリックすると、Quick Menuが起動します。
- Quick Menuを起動してもImage Displayが表示されない場合は、 (Image Display起動) アイコンをクリックしてください。My Image Gardenがインストールされていない場合は、アプリケーションソフトをダウンロードしてインストールします。ソフトウェアをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- お役立ち情報などが記載されたホームページへアクセスするには、インターネットへの接続が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- Quick Menuの詳細については、Quick Menuのヘルプをご覧ください。ヘルプを表示するには、controlキーを押しながらQuick Menuをクリックして表示されるメニューから [ヘルプ] を選びます。
- My Image Gardenのおすすめの作品機能を使用するには、事前に情報を登録しておく必要があります。詳細については、My Image Gardenのマニュアルをご覧ください。

[ページの先頭へ ▲](#)



My Image Gardenガイド

MA-8767-V1.00

| 使用上の注意 (My Image Garden) |

My Image Gardenとは

- ▶▶ My Image Gardenでできること
- ▶▶ My Image Gardenを起動しよう

おすすめの作品機能を活用しよう

- ▶▶ My Image Gardenが提案する作品を楽しもう
- ▶▶ 写真にいろいろな情報を登録しよう

印刷してみよう

- ▶▶ 写真や文書を印刷しよう
- ▶▶ 作品を作って印刷しよう
- ▶▶ 動画から静止画を切り出して印刷しよう
- ▶▶ スライドショーに表示されたおすすめの作品や画像を印刷しよう
- ▶▶ プレミアムコンテンツをダウンロードして印刷しよう

いろいろな使い方をしてみよう

- ▶▶ 写真や文書をスキャンしよう
- ▶▶ 写真を補正/加工して仕上げよう
- ▶▶ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
- ▶▶ 画像から文字を抜きだそう (OCR機能)
- ▶▶ 作品を編集しよう
- ▶▶ 写真をトリミングしよう
- ▶▶ PDFファイルを作成/編集しよう
- ▶▶ 写真共有サイトから画像をダウンロードしよう

My Image Gardenの画面説明

- ▶▶ メイン画面
- ▶▶ [画像の特殊フィルター] ウィンドウ
- ▶▶ 印刷設定ダイアログ
- ▶▶ [画像の補正/加工] ウィンドウ
- ▶▶ [PDFの作成/編集] ビュー
- ▶▶ [環境設定] ダイアログ

困ったときには

My Image Gardenとは

- My Image Gardenでできること
- My Image Gardenを起動しよう

[ページの先頭へ▲](#)

My Image Gardenでできること

My Image Garden（マイ・イメージ・ガーデン）は、パソコンに保存されているデジタルカメラで撮影した写真などの画像を、さまざまな用途で幅広く活用するためのアプリケーションソフトです。

こんなことができます

- 作品作りはMy Image Gardenにおまかせ
- 写真をかんたんに整理
- 写真や文書をかんたんに印刷
- オリジナルの作品を印刷
- 動画から静止画を切り出して印刷
- 写真や文書をかんたんにスキャン
- 写真を補正／加工

作品作りはMy Image Gardenにおまかせ

My Image Gardenには、以下の機能を持つ「Image Assorting Technology（イメージ・アソーティング・テクノロジー）」と呼ばれる技術が搭載されています。

- 写真から顔の部分を検出して同一人物ごとに画像をまとめたり、画像や動画から撮影日時などを検出してカレンダーに自動で登録したりする画像解析機能
 - 解析した画像を最適な状態にレイアウトした作品イメージを、自動で提案するおすすめの作品機能
- この技術を活用し、コラージュやカードなどの多彩な作品をかんたんに印刷して手にすることができます。

➡ おすすめの作品機能を活用しよう



写真をかんたんに整理

My Image Gardenで解析された画像は、[未登録人物] / [人物] ビューに同一人物ごとにまとめて表示されたり、撮影日時をもとに[カレンダー] ビューに表示されたりします。人物のプロフィールやイベント情報を登録しておくことで、膨大な画像をかんたんに整理したり、見たい写真をすぐに探したりできます。

➡ 人物を登録する

➡ イベントを登録する



写真や文書をかたんに印刷

お気に入りの写真を、プレビューで確認しながらかたんに印刷できます。

また、PDFファイルとして保存した文書も印刷できます。

➡ 写真や文書を印刷しよう



オリジナルの作品を印刷

お気に入りの写真と用意されているテーマを組み合わせ、オリジナルのコラージュやカードなどの作品を作成して、印刷できます。

➡ 作品を作って印刷しよう



動画から静止画を切り出して印刷

動画からお気に入りのシーンを静止画に切り出して、印刷できます。

➡動画から静止画を切り出して印刷しよう



写真や文書をかんたんにスキャン

原稿の種類を自動で判別させて、写真や文書をかんたんにスキャンできます。

➡おまかせスキャンでかんたんにスキャンする



写真を補正／加工

画像の赤目を補正したり、明るさやコントラストを調整したりできます。

➡写真を補正／加工して仕上げよう



参考

- My Image Gardenには、画像やPDFファイル、動画を選ぶための、いろいろな画面があります。
詳しくは「[画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)」をご覧ください。
- My Image Gardenで扱えるデータのファイル形式は、機能によって異なります。
詳しくは「[ファイル形式について](#)」をご覧ください。

ファイル形式について

My Image Gardenの各機能で使用または保存できるデータのファイル形式は、以下のとおりです。

- ➡印刷できるファイル形式
- ➡作品の素材として使用できるファイル形式
- ➡【動画切り出し】で使用できるファイル形式
- ➡スキャンしたときに保存できるファイル形式
- ➡Exif Printについて

印刷できるファイル形式

- JPEG (.jpg、.jpeg)
- TIFF (.tif、.tiff)
- PNG (.png)
- PDF (.pdf)

重要

- PDFファイルは、My Image GardenまたはIJ Scan Utilityで作成したファイルにのみ対応しています。ほかのアプリケーションソフトで作成または編集されたPDFファイルには対応していません。

作品の素材として使用できるファイル形式

- JPEG (.jpg、.jpeg)
- TIFF (.tif、.tiff)
- PNG (.png)

【動画切り出し】で使用できるファイル形式

- MOV (.mov)
- MP4 (.mp4)

重要

- キヤノン製のデジタルカメラ/デジタルビデオカメラで撮影した動画ファイルのみ使用できます。また、デジタルカメラ/デジタルビデオカメラに付属のImageBrowser Ver.6.5以降/ImageBrowser EX Ver.1.0以降がインストールされている必要があります。

ImageBrowserをご利用の場合は、MOV形式の動画ファイルのみ使用できます。

ImageBrowser EXをご利用の場合は、MOV、MP4形式の動画ファイルを使用できます。

スキャンしたときに保存できるファイル形式

- JPEG/Exif (.jpg、.jpeg)

- TIFF (.tif、.tiff)
- PNG (.png)
- PDF (.pdf)

参考

- TIFFファイルは、以下の形式に対応しています。
 - ・非圧縮、白黒2値
 - ・非圧縮、RGB各8 bit
 - ・非圧縮、YCC各8 bit
 - ・非圧縮、RGB各16 bit
 - ・非圧縮、YCC各16 bit
 - ・非圧縮、グレースケール
-

Exif Printについて

My Image Gardenは、「Exif Print」に対応しています。

Exif Printとは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報をもとに、撮影条件や撮影シーンなどに適したプリント結果を得ることができます。

[ページの先頭へ▲](#)

画像やPDFファイル、動画の選択方法について

My Image Gardenには、画像やPDFファイル、動画を選ぶための、いろいろな画面があります。画面に表示されたサムネイルをクリックすると、画像やPDFファイル、動画などが選べます。選んだファイルには、白い外枠がつかます。

- ➡ 撮影日や作成日で探したい（[カレンダー] ビュー）
- ➡ 登録したイベントごとのファイルを選びたい（[イベント] ビュー）
- ➡ 登録した人物ごとのファイルを選びたい（[人物] ビュー）
- ➡ 人物が写っている写真を探したい（[未登録人物] ビュー）
- ➡ 特定のフォルダーに保存されているファイルを選びたい（フォルダービュー）

重要

- PDFファイルは、My Image GardenまたはIJ Scan Utilityで作成したファイルにのみ対応しています。ほかのアプリケーションソフトで作成または編集されたPDFファイルには対応していません。
- 画像とPDFファイルを同時に印刷することはできません。画像とPDFファイルは別々に印刷してください。
- 同じフォルダー内の複数のファイルを同時に選びたいときは、commandキーまたはshiftキーを押しながら、画像やPDFファイル、動画のサムネイルをクリックしてください。異なるフォルダーやビュー内の画像を同時に選ぶことはできません。

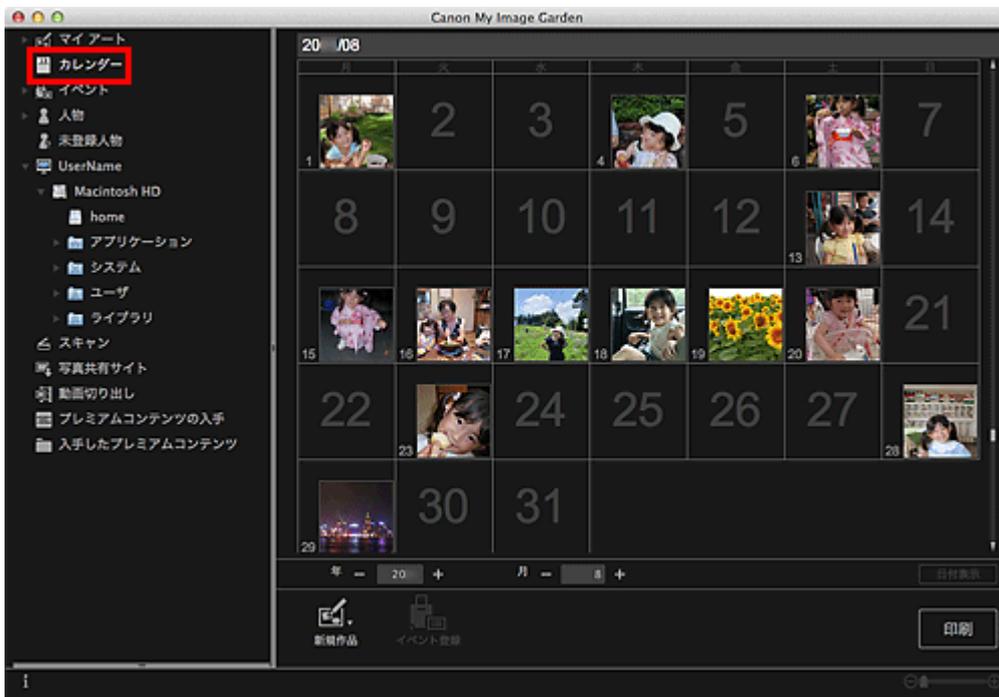
参考

- 動画から静止画を切り出して選ぶこともできます。
 - ➡ 動画から静止画を切り出して印刷しよう
- インターネット上の写真共有サイトからダウンロードした画像を選ぶこともできます。
 - ➡ 写真共有サイトから画像をダウンロードしよう
- 動画は、キヤノン製デジタルカメラ/デジタルビデオカメラで撮影されたMOV、MP4形式のみ表示されません。

【カレンダー】ビュー（画像/PDFファイル/動画）

【月表示】の場合

【カレンダー】をクリックすると、月表示の【カレンダー】ビューに切り替わり、日付に登録されている画像やPDFファイルのサムネイルが1枚表示されます。サムネイルをクリックすると、その日付に含まれる画像やPDFファイル、動画がすべて選ばれた状態になります。

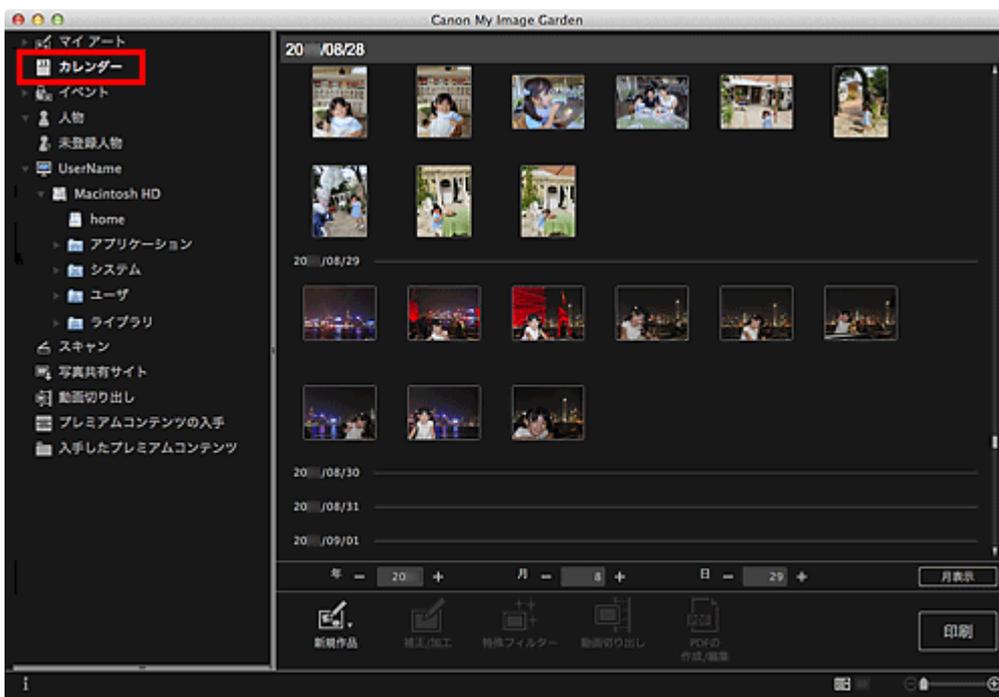


参考

- 日付をクリックし、[編集]メニューから[すべて選択]を選ぶと、その月のすべての日付が選べます。

【日付表示】の場合

月表示の[カレンダー]ビューで[日付表示]をクリックすると、日付表示の[カレンダー]ビューに切り替わり、日付ごとに画像やPDFファイル、動画がサムネイル表示されます。

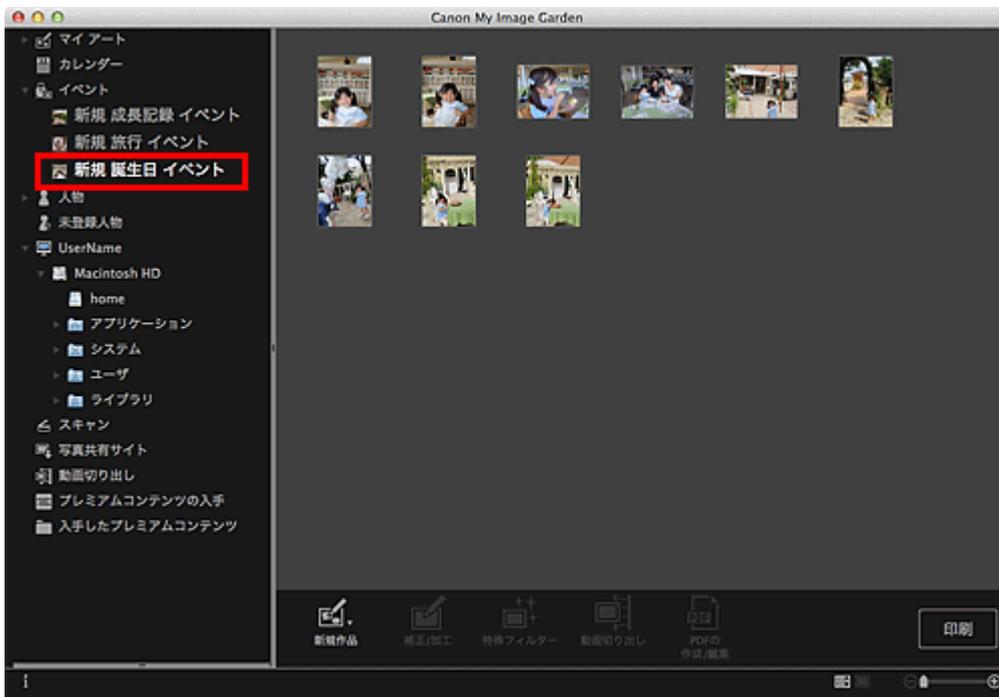


参考

- 画像やPDFファイルのサムネイルをクリックし、[編集]メニューから[すべて選択]を選ぶと、その日付のすべての画像やPDFファイル、動画が選べます。

【イベント】ビュー（画像/PDFファイル/動画）

【イベント】の下に表示されるイベント名をクリックすると、イベントに含まれる画像やPDFファイル、動画がサムネイル表示されます。

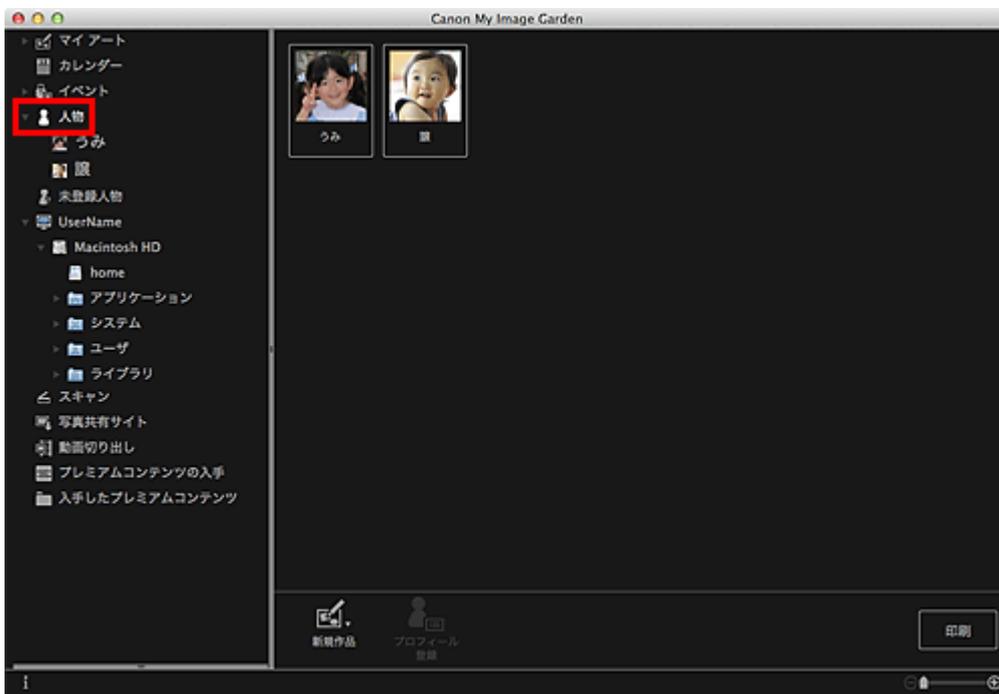


参考

- [編集] メニューから [すべて選択] を選ぶと、すべての画像やPDFファイル、動画が選べます。

【人物】ビュー（画像）

【人物】をクリックすると【人物】ビューに切り替わり、登録されている人物の画像がサムネイル表示されます。サムネイルをクリックすると、その人物に含まれる画像がすべて選ばれた状態になります。

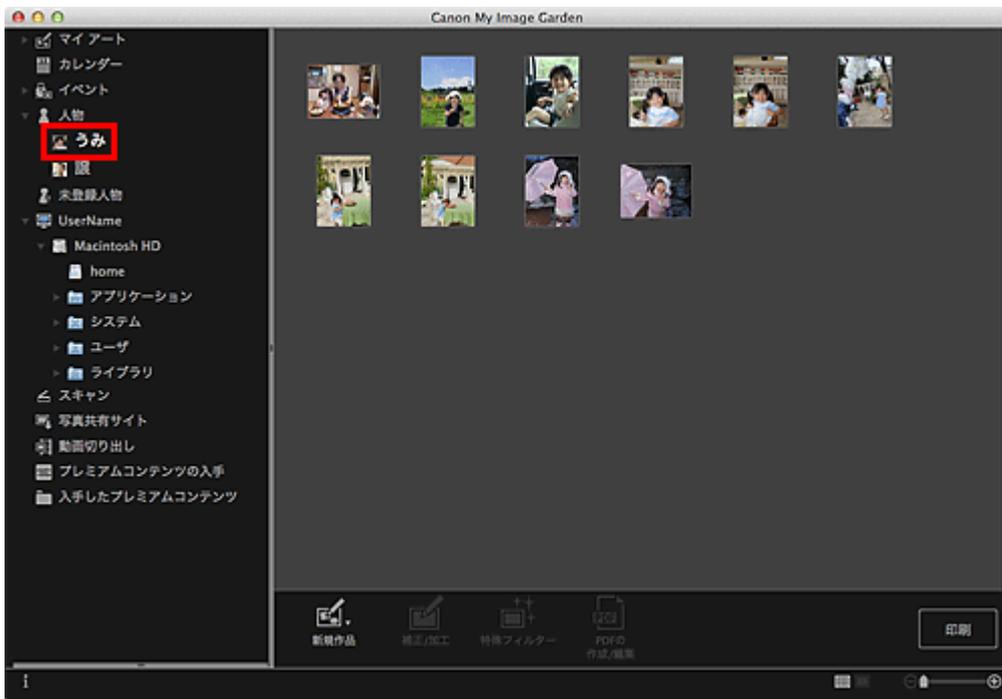


参考

- [編集] メニューから [すべて選択] を選ぶと、すべての人物が選べます。

展開表示の場合

【人物】の下に表示される人物名をクリックすると、展開表示の【人物】ビューに切り替わり、その人物に登録されている画像がサムネイル表示されます。



参考

- [編集] メニューから [すべて選択] を選ぶと、すべての画像が選べます。

【未登録人物】ビュー（画像）

【未登録人物】をクリックすると【未登録人物】ビューに切り替わり、画像解析によって検出された画像がサムネイル表示されます。



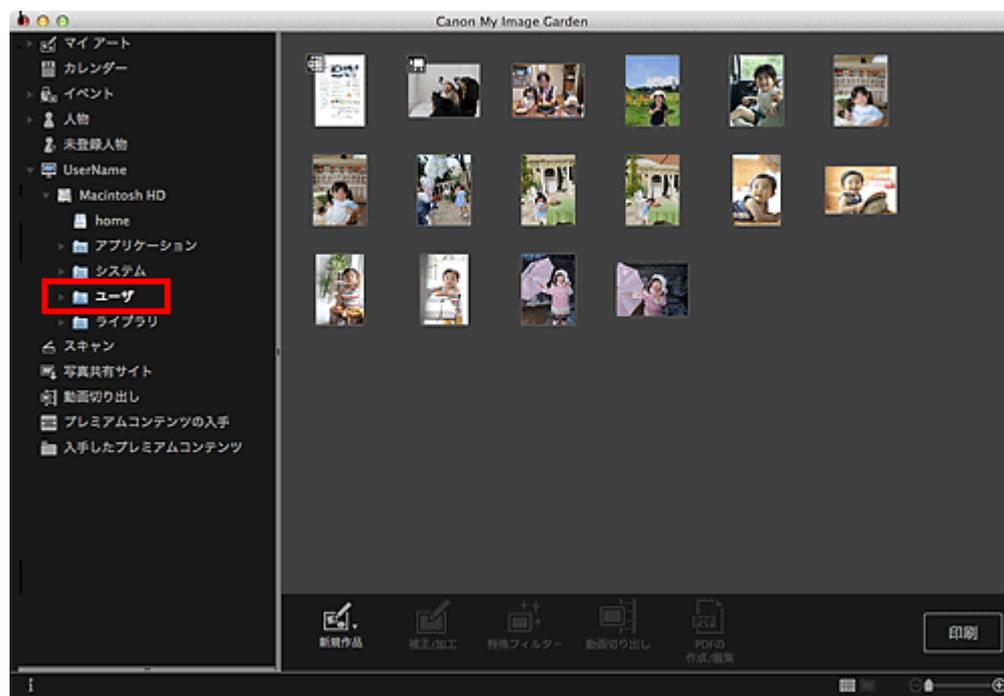
参考

- 小さいサムネイルをクリックすると、同一人物として自動的にまとめられたすべての画像が選べます。
- [編集] メニューから [すべて選択] を選ぶと、同一人物として自動的にまとめられたすべての画像が選べます。
- 画像解析中は、グローバルメニューの【未登録人物】が、【人物を確認中...】と表示されます。

フォルダービュー（画像/PDFファイル/動画）

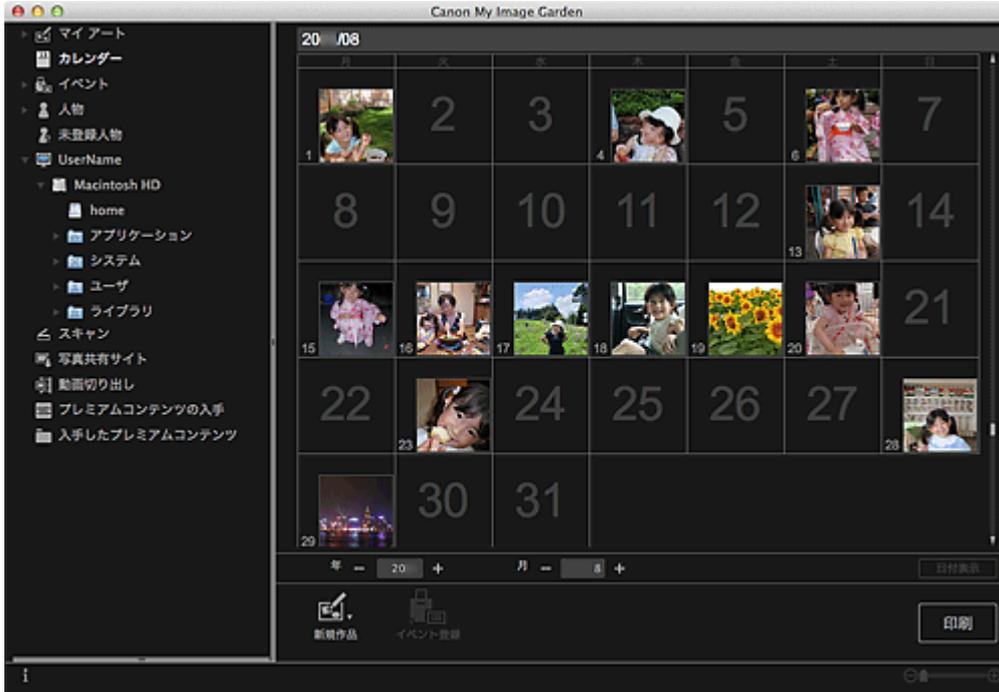
フォルダーツリーでフォルダーを選ぶと、フォルダー内の画像やPDFファイル、動画がサムネイル表

示されます。



ページの先頭へ ▲

My Image Gardenを起動しよう



参考

- My Image Gardenは、下記の2通りの方法で起動できます。
 - Finderの [移動] メニューから [アプリケーション] を選択し、 [Canon Utilities] フォルダ、 [My Image Garden] フォルダ、 [My Image Garden] アイコンの順にダブルクリック
 - Quick Menuの  (My Image Gardenの起動) をクリック

おすすめの作品機能を活用しよう

- My Image Gardenが提案する作品を楽しもう
- 写真にいろいろな情報を登録しよう

[ページの先頭へ▲](#)

My Image Gardenが提案する作品を楽しもう

パソコンに保存されている写真を使ってコラージュやカレンダーなどを作成するには、大量の画像の中からお気に入りの写真を選んだりレイアウト枠に合わせて写真を拡大／縮小したりと手間がかかります。

My Image Gardenのおすすめの作品機能を使うと、写真を自動で選択／配置したコラージュやカレンダーなどの作品イメージがQuick MenuのImage Displayにスライドショーで表示されるようになり、気に入った作品をクリック操作だけで作成することができます。

また、人物のプロフィールやイベント情報を登録しておくことで、人物やイベントに適した作品イメージも表示されるようになり、子どもの成長記録や家族の思い出が詰まったカレンダーなどの作品を、かんたんに印刷して手にすることができます。

子どもの成長過程を記録しよう（成長記録）

子どものプロフィールに生年月日と続柄を登録しておくことで・・・

1歳の誕生日後



1歳の誕生日までに撮影した1ヶ月ごとの写真が自動レイアウトされたコラージュ

- 顔部分を中心としたレイアウトになります。



3歳の誕生日後



3歳の誕生日までに撮影した3ヶ月ごとの写真が自動レイアウトされたコラージュ

- 顔部分を中心としたレイアウトになります。

成長記録のコラージュは、6歳の誕生日までお楽しみいただけます。

子どもの成長に合わせてテーマもいろいろ

My Image Gardenは、さまざまなシーンに合わせて素敵な作品を提案していきます。

誕生日をお祝いしよう

[カレンダー] ビューで誕生日イベントを登録すると・・・



カード

晴れ姿をかたちに残そう

[カレンダー] ビューで発表会イベントを登録すると・・・



発表会当日に撮影した写真が自動レイアウトされたコラージュ/カード/カレンダー

家族旅行の思い出を記録にとどめよう

[カレンダー] ビューで旅行イベントを登録すると・・・



旅行期間中に撮影した写真が自動レイアウトされたコラージュ/カード/カレンダー

- 人物写真と風景写真がバランスよくレイアウトされます。
- 行った場所がわかるように、スナップショット感覚でレイアウトされます。

人生の門出を祝福しよう

[カレンダー] ビューで結婚式イベントを登録すると・・・



結婚式当日に撮影した写真が自動レイアウトされたコラージュ/カード/カレンダー

このほかにも、以下のような数多くの作品が用意されています。楽しかった行事や式典など、さまざまなイベントを登録して、My Image Gardenのおすすめの作品機能をお楽しみください。

- 1カ月、半年、1年に1度表示される季節に合った写真が配置されたカレンダー
- 趣味の写真が配置された作品
- 1カ月、3カ月、半年、1年間の家族の思い出の写真が配置された作品

など

- おすすめの作品機能を活用する方法については、「[写真にいろいろな情報を登録しよう](#)」をご覧ください。
- スライドショーに表示された作品イメージを印刷する方法については、「[スライドショーに表示されたおすすめの作品や画像を印刷しよう](#)」をご覧ください。

[ページの先頭へ▲](#)

写真にいろいろな情報を登録しよう

My Image Gardenで解析された画像は、[未登録人物] / [人物] ビューに同一人物ごとにまとめて表示されたり、撮影日時をもとに[カレンダー] ビューに表示されたりします。これだけでも、写真を自動で選択/配置したコラージュやカレンダーなどの作品イメージがImage Displayにスライドショーで表示されるようになり、いろいろな作品を楽しめますが、人物のプロフィールやイベントの情報を登録しておく、さらにおすすめの作品機能を活用することができます。情報を登録すればするほど、人物やイベントに適した作品イメージが表示されるようになります。

また、情報を登録することで写真を探すときに目的の写真が見つけやすくなったり、お好みの作品をかんたんに作成して印刷しやすくなったりします。

- ➡ 人物やプロフィールを登録しよう
- ➡ イベント情報を登録しよう
- ➡ お気に入り度を登録しよう

人物やプロフィールを登録しよう

写真を人物ごとに整理したり、閲覧したりしやすくなります。自動的に同一人物と認識された画像をまとめて登録したり、画像ごとに顔の範囲を指定したりして登録できます。

- ➡ 人物を登録する



また、[未登録人物] ビューで人物を登録したあと、人物に生年月日や続柄などのプロフィールが登録できます。

生年月日を登録しておく、誕生日翌日から次の誕生日まで前の歳の成長記録が自動で表示されます。

また、続柄を登録しておく、作品イメージ内にその人物が優先的に配置されます。たとえば、続柄に[娘]を設定しておく、[娘]を中心にレイアウトされた作品イメージが表示されます。



続柄を登録していない場合

続柄を登録している場合



娘が小さく表示されたり、友人が中心のレイアウトになったりする可能性があります。

娘が中心のレイアウトとなります。

さらに、親子の続柄が登録されていると家族の思い出を彩る作品イメージも表示されるようになります。

➡人物のプロフィールを登録する

イベント情報を登録しよう

【カレンダー】ビューに表示される写真を、イベントごとに整理したり、閲覧したりしやすくなります。カレンダー上に表示される画像を確認しながら、かんたんにイベントを登録できます。イベント情報を登録しておくことで、カテゴリに応じてイベント期間中に撮影された画像を使用した多彩な作品イメージが表示されます。

➡イベントを登録する



カテゴリごとに表示される作品イメージ

カテゴリ		表示される作品イメージ
子供	成長記録	男女共通の成長過程コラージュ、カード、カレンダーなど
	入学式、卒業式、発表会、運動会、誕生日、その他	男女共通の各イベント専用コラージュ、カード、カレンダーなど
記念日	結婚式	写真館のような結婚式のコラージュ、結婚カード、カレンダーなど
	誕生日、その他	各イベント専用コラージュ、カード、カレンダーなど
レジャー	旅行、その他	家族／祖父母／友達との思い出コラージュ、カード、カレンダーなど
趣味	-	お気に入りの作品コラージュ、カード、カレンダーなど

お気に入り度を登録しよう

作品イメージに自動レイアウトされる画像は、以下の順で優先的に配置されます。

1. お気に入り度が設定されている画像の星の多い順
2. 印刷回数が多い順
3. 閲覧回数が多い順
4. 撮影日付が新しい順

お気に入りの写真を配置されやすくしたいときは、画像にお気に入り度を登録することをおすすめします。お気に入り度は写真ごとに登録したり、複数の写真にまとめて登録したりできます。

➡お気に入り度を登録する



ページの先頭へ ▲

人物を登録する

画像に人物の情報を登録すると、人物ごとに画像をまとめて閲覧できます。

➡ [未登録人物] ビューから人物を登録する

➡ 画像の詳細表示から人物を登録する

重要

- 人物の情報を登録できるのは [画像解析対象フォルダー] に保存されている画像のみです。 [画像解析対象フォルダー] の設定方法については、「 [画像解析設定] シート」をご覧ください。

[未登録人物] ビューから人物を登録する

[未登録人物] ビューには、画像解析によって人物が含まれる写真が自動的に表示されます。同一人物と認識された画像をまとめて登録したり、画像ごとに登録したりすることができます。

1. [未登録人物] をクリック

[未登録人物] ビューに切り替わります。



重要

- [未登録人物] ビューに表示されている画像を、削除したり非表示にしたりすることはできません。

参考

- 画像解析中は [人物を確認中...] と表示されます。
- 人物の顔の状態（表情、メガネ、向きなど）によっては、同一人物として正しく認識されない場合があります。
- 写真内の人物以外の部分が、人物として認識される場合があります。

- [画像解析対象フォルダー] に保存されている画像のみ画像解析の対象となります。画像解析の詳細については、「[環境設定] ダイアログ」をご覧ください。

2. [名前を登録] をクリックし、名前を入力

同一人物と認識された画像を一括して登録する場合

小さいサムネイルの横に表示される [名前を登録] をクリックし、名前を入力します。



画像の人物を一人ずつ登録する場合

大きいサムネイルを選び、サムネイルの下に表示されている [名前を登録] をクリックし、名前を入力します。



[人物] ビューに画像が登録されます。

参考

- 登録済みの名前を入力すると、ポップアップメニューに画像と名前が表示されます。登録済みの人物と同じ人物として登録したい場合は、ポップアップメニュー内の名前を選びます。別の人物として登録したいときは、白枠の外をクリックして名前の入力を確認してください。
- 登録済みの人物の場合は、画面左側の [人物] の下に表示されている人物名に、サムネイルをドラッグ&ドロップして登録することもできます。
- 同一人物が別の人物として認識されているときは、名前を個別に登録するか、画面左側の [人物] の下に表示されている人物名に、サムネイルをドラッグ&ドロップして登録してください。
- 登録した人物を削除したいときは、[人物] ビューでcontrolキーを押しながら人物をクリックして表示されるメニューから [削除] を選ぶと、削除を確認する画面が表示されます。[はい] をクリックすると、[人物] ビューから人物名が削除されます。また、人物名が削除された画像は、未登録の人物として [未登録人物] ビューに表示されます。
- 登録した人物には、続柄や誕生日などのプロフィールを設定することもできます。

➡ 人物のプロフィールを登録する

画像の詳細表示から人物を登録する

画像のプレビューで顔の範囲を指定して、人物を登録できます。1枚の写真に複数の登場人物がいる場合でも、1人ずつ人物を登録できます。

1. 画像を詳細表示に切り替え

[カレンダー] ビューの [日付表示]、[イベント] ビュー、[人物] ビューの展開表示、[未登録人物] ビュー、フォルダービューのいずれかで画像を選び、画面右下の  (詳細表示) をクリックすると、詳細表示に切り替わります。

2. [登録する人物を指定] をクリック



画像上に、登録範囲を指定するための白枠が表示されます。

3. 登録したい人物の範囲を指定

画像上の白枠をドラッグして、登録する範囲を指定します。ここで指定した範囲が、[人物] ビューにサムネイル表示されます。



参考

- 白枠を解除したいときは、 (閉じる) をクリックします。

4. 白枠の下にある [名前を登録] をクリックし、登録する人物の名前を入力

5. 白枠の外をクリック

[人物] ビューに画像が登録されます。

参考

- 登録済みの名前を入力すると、ポップアップメニューに画像と名前が表示されます。登録済みの人物と同じ人物として登録したい場合は、ポップアップメニュー内の名前を選びます。別の人物として登録したいときは、白枠の外をクリックして名前の入力を確定してください。
- 登録した人物を削除したいときは、[人物] ビューでcontrolキーを押しながら人物をクリックして表示されるメニューから[削除]を選ぶと、削除を確認する画面が表示されます。[はい]をクリックすると、[人物] ビューから人物名が削除されます。また、人物名が削除された画像は、未登録の人物として[未登録人物] ビューに表示されます。
- 登録した人物には、続柄や誕生日などのプロフィールを設定することもできます。

➡ [人物のプロフィールを登録する](#)

重要

- 画像のファイル名を変更したり、画像を移動したりすると、登録した人物の情報が失われることがあります。
- 人物の情報を登録した画像を複製しても、登録した人物の情報は引き継がれません。

関連項目

- [\[未登録人物\] ビュー](#)
- [\[人物\] ビュー](#)
- [展開表示](#)

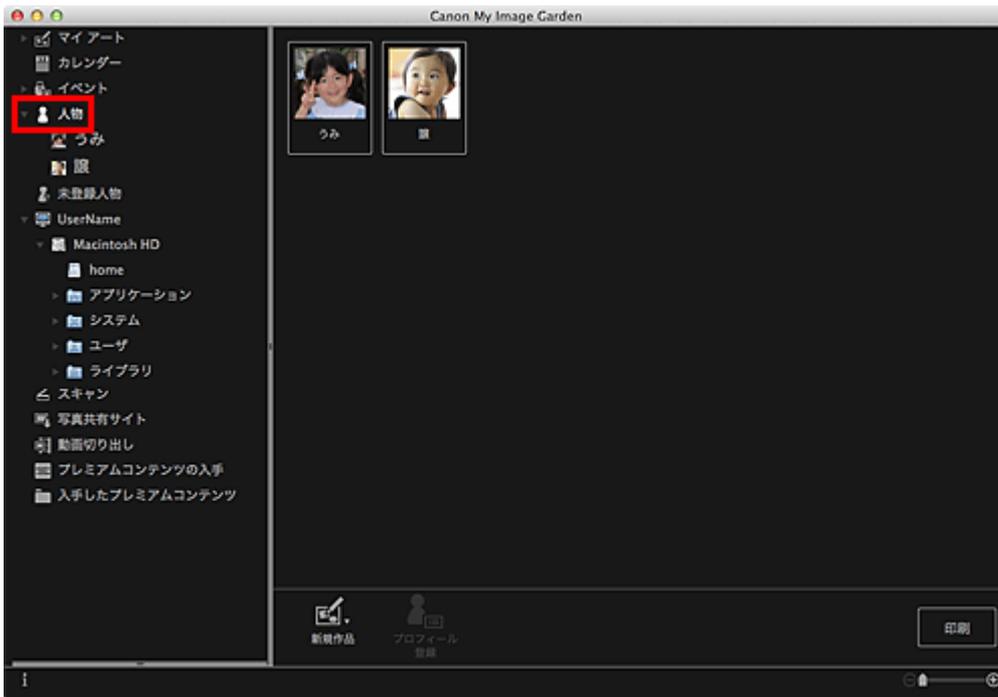
[ページの先頭へ▲](#)

人物のプロフィールを登録する

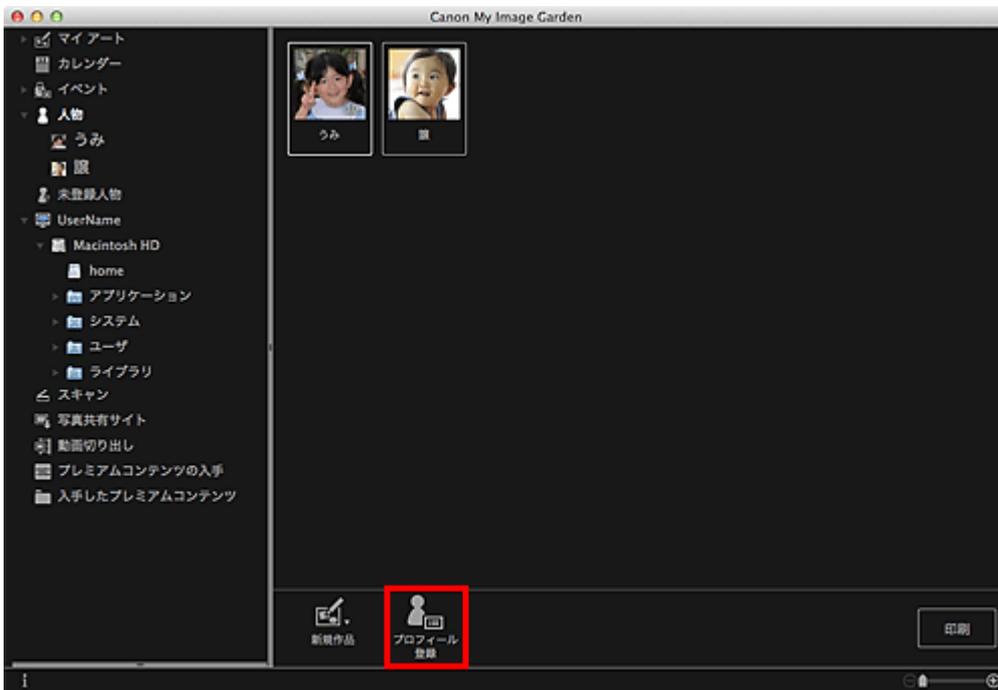
登録した人物に、続柄と誕生日を設定できます。また、名前を変更することもできます。

1. 【人物】をクリック

【人物】ビューに切り替わります。



2. プロフィールを設定したい人物を選び、【プロフィール登録】をクリック



[プロフィール登録] ダイアログが表示されます。

➡ [プロフィール登録] ダイアログ

3. [名前]、[続柄]、[生年月日] を設定



プロフィール登録

名前：
うみ

続柄：
娘

生年月日：
年 月 日
20 10 29

OK キャンセル

4. [OK] をクリック

プロフィールが保存されます。

関連項目

● [人物] ビュー

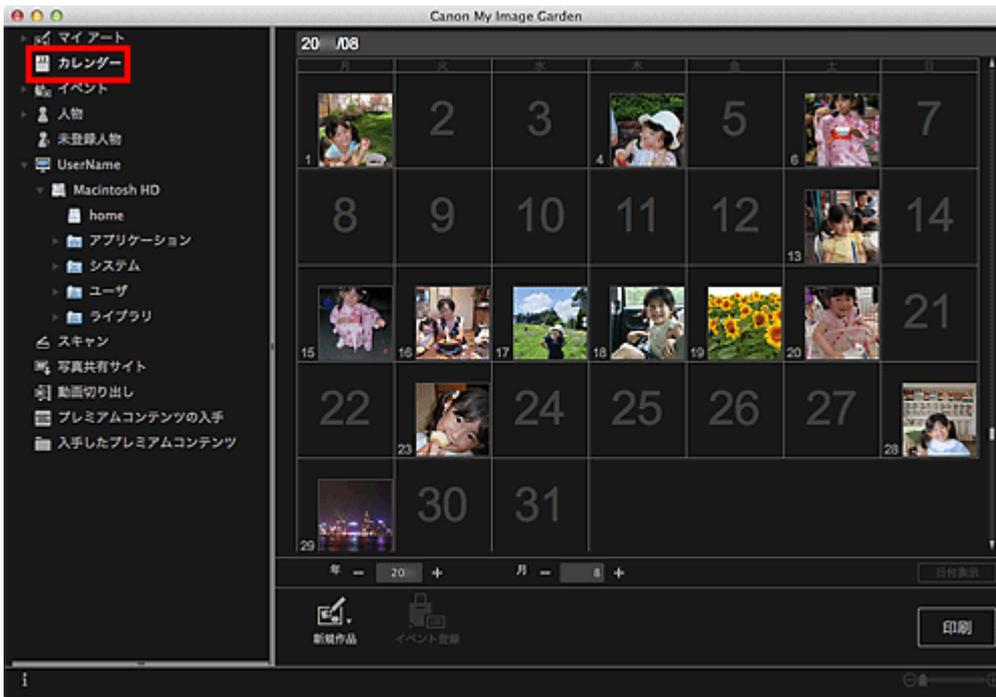
ページの先頭へ ▲

イベントを登録する

画像にイベントの情報を登録すると、イベントごとに画像をまとめて閲覧できます。

1. [カレンダー] をクリック

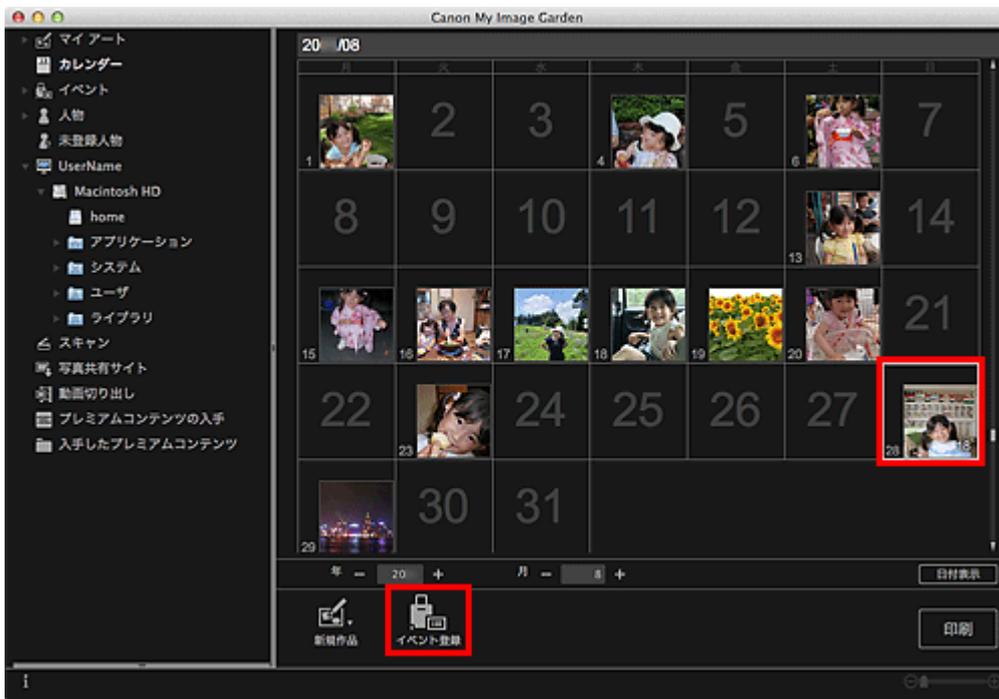
[カレンダー] ビューに切り替わります。



参考

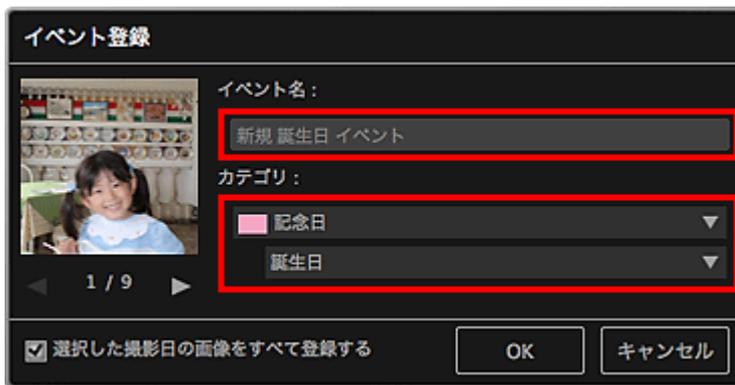
- [カレンダー] ビューが月表示のときのみ、イベントが登録できます。日付表示になっている場合は、画面右下の [月表示] をクリックして月表示に切り替えてください。

2. イベントを登録したい日付を選び、[イベント登録] をクリック



【イベント登録】ダイアログが表示されます。

3. 【イベント名】、【カテゴリ】を設定



参考

- 【イベント登録】ダイアログについては、「【イベント登録】ダイアログ」をご覧ください。

4. 【OK】をクリック

【カレンダー】ビュー上にイベント名ラベルが表示され、画面左側の【イベント】の下に、登録したイベント名が表示されます。

参考

- イベント名ラベルの端部にカーソルを合わせると、カーソルの形状が $\leftarrow\rightarrow$ （左右矢印）に変わります。この状態でラベルをドラッグして、イベントの期間を長くしたり、短くしたりすることができます。
- 登録したイベントを削除したいときは、画面左側の【イベント】の下に表示されているイベントをcontrolキーを押しながらクリックして表示されるメニューから【削除】を選ぶと、削除を確認する画面が表示されます。【はい】をクリックすると、【イベント】ビューからイベント名が削除されます。

重要

- 画像のファイル名を変更したり、画像を移動したりすると、登録したイベントの情報が失われることがあります。
- イベントの情報を登録した画像を複製しても、登録したイベントの情報は引き継がれません。

関連項目

- [\[カレンダー\] ビュー](#)
- [\[イベント\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

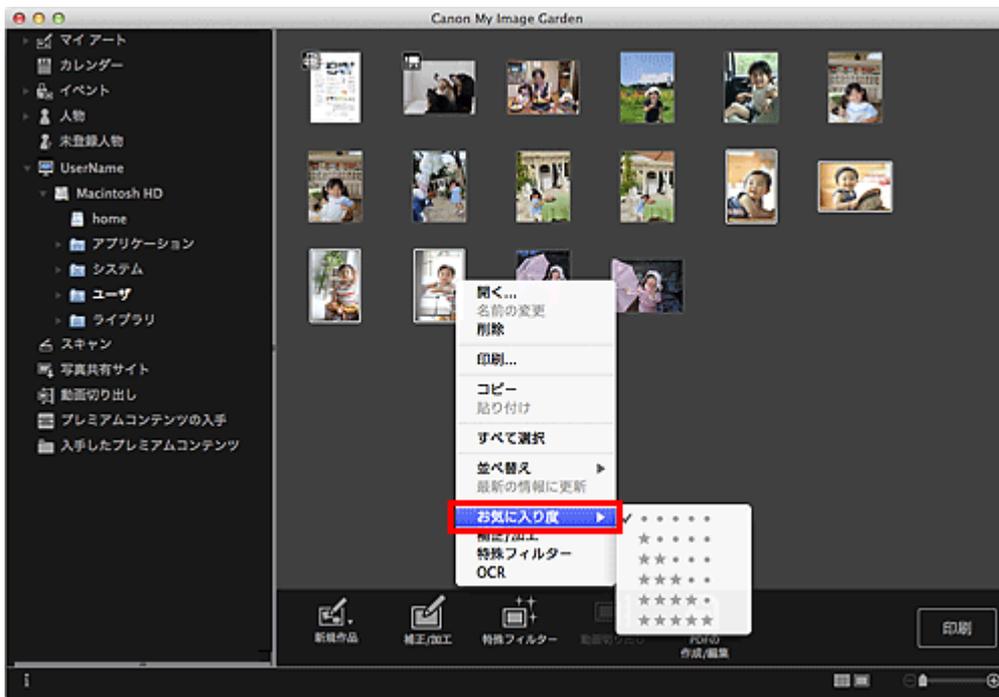
お気に入り度を登録する

画像にお気に入り度を登録すると、お気に入り度が高いほど、おすすめの作品に自動でレイアウトされやすくなります。

重要

- お気に入り度を登録できるのは [画像解析対象フォルダー] に保存されている画像のみです。 [画像解析対象フォルダー] の設定方法については、「 [画像解析設定] シート」をご覧ください。
- お気に入り度を設定しても、画像の解析結果によっては、優先して作品内に配置されない場合があります。

1. controlキーを押しながらお気に入り度を登録したい画像のサムネイルをクリックし、 [お気に入り度] を選択



参考

- 複数の画像を選んだ状態でcontrolキーを押しながらクリックすると、お気に入り度をまとめて指定できます。
- [人物] ビューで人物、または [カレンダー] ビューの [月表示] で日付を選んだときは、選んでいる人物や日付に登録されているすべての画像に、お気に入り度をまとめて指定できます。

2. お気に入り度を登録

画像のお気に入り度に合わせて、★（星）の数を指定します。

お気に入り度は6段階で指定できます。星の数を多くすると、お気に入り度も高くなります。

参考

- 画像を選び、 [画像] メニューから [お気に入り度] を選んでも、お気に入り度が登録できます。

重要

- 画像のファイル名を変更したり、画像を移動したりすると、登録したお気に入り度が失われることがあります。
- お気に入り度を設定した画像を複製しても、設定したお気に入り度は引き継がれません。

[ページの先頭へ▲](#)

印刷してみよう

- 写真や文書を印刷しよう
- スライドショーに表示されたおすすめの商品や画像を印刷しよう
- 作品を作って印刷しよう
- プレミアムコンテンツをダウンロードして印刷しよう
- 動画から静止画を切り出して印刷しよう

[ページの先頭へ▲](#)

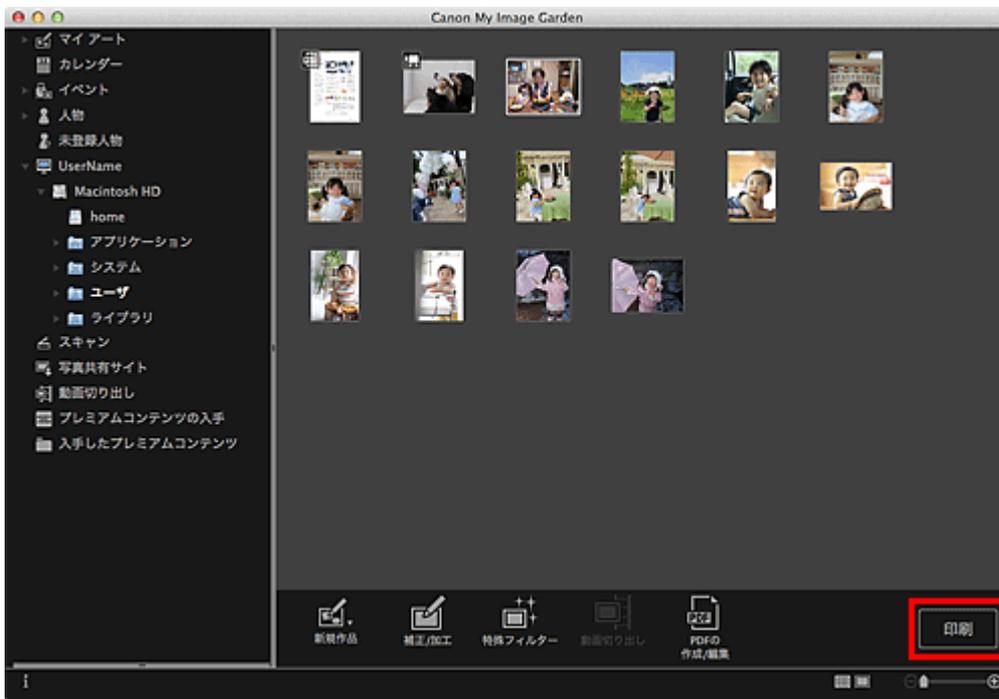
写真や文書を印刷しよう

お気に入りの写真を、かんたんに印刷できます。

また、My Image Gardenで作成した文書（PDFファイル）を印刷することもできます。



1. ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認
2. My Image Gardenを起動
 - ➡ My Image Gardenを起動しよう
3. 印刷したい画像やPDFファイルを選択
 - ➡ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について
4. 【印刷】をクリック



印刷設定ダイアログが表示されます。

5. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

6. 用紙をセット

7. 【印刷】 をクリック

メッセージが表示されます。

8. 【OK】 をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

9. 【プリント】 をクリック

重要

- 画素数が多い画像をまとめて大量に印刷すると、印刷が途中で終わることがあります。
- フチありのレイアウトで印刷した場合、上下や左右の余白が大きくなる場合があります。

参考

- 画像を補正／加工してから印刷することもできます。
 - ➡ 写真を補正／加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう

[ページの先頭へ ▲](#)

スライドショーに表示されたおすすめの作品や画像を印刷しよう

Image Displayに表示されたおすすめの作品イメージや画像を、かんたんな手順で印刷できます。

重要

- Image Displayを利用するには、Quick Menuのインストールが必要です。Quick Menuは、キヤノンのホームページからダウンロードすることができます。
ソフトウェアをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要です。また、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

参考

- おすすめの作品をスライドショーに表示させる方法については、「[おすすめの作品機能を活用しよう](#)」をご覧ください。
- Quick MenuとImage Displayの操作方法については、Quick Menuのヘルプをご覧ください。



(1) Image Display

(2) Quick Menu

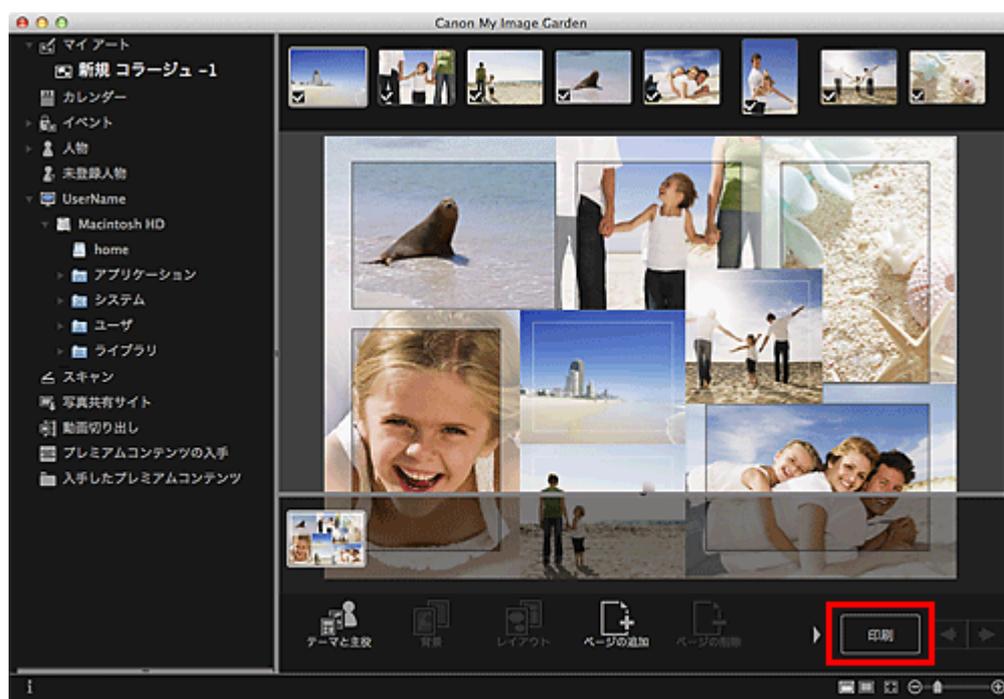
1. Image Displayに表示されている作品イメージまたは画像をクリック



My Image Gardenが起動します。作品イメージをクリックした場合は、[マイ アート] ビューに作

品が表示されます。また、画像をクリックした場合は、[カレンダー] ビューが日付表示で表示されます。

2. [印刷] をクリック



印刷設定ダイアログが表示されます。

3. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

4. [印刷] をクリック

メッセージが表示されます。

5. [OK] をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

6. [プリント] をクリック

参考

- 画像を補正／加工してから印刷することもできます。
 - ➡ 写真を補正／加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
- 作品イメージ内の画像は入れ替えることができます。
 - ➡ 画像を挿入／調整する

関連項目

- [マイ アート] ビュー
- [カレンダー] ビュー

[ページの先頭へ ▲](#)

作品を作って印刷しよう

お気に入りの写真を使って、オリジナルの作品をかたんに作成し、印刷できます。

[カレンダー] ビュー、[イベント] ビュー、[人物] ビュー、[未登録人物] ビュー、フォルダービューで画像を選び、画面下側の [新規作品] をクリックして、作成したい作品を選びます。

下記のような作品を作成して印刷できます。

写真をいろいろなレイアウトで印刷する

お気に入りの写真を、日付入りの写真にしたり、いろいろなレイアウトにしたりして印刷できます。

➡ 写真をいろいろなレイアウトで印刷する



コラージュを印刷する

お気に入りの写真を使って、コラージュを作成して印刷できます。

➡ コラージュを印刷する



カードを印刷する

お気に入りの写真を使って、記念日や年中行事のカードを作成して印刷できます。

➡ カードを印刷する



カレンダーを印刷する

思い出の写真を使って、オリジナルのカレンダーを作成して印刷できます。

➡ カレンダーを印刷する



シールを印刷する

お気に入りの写真をシール用紙に印刷して、オリジナルのシールを作成できます。

➡ シールを印刷する



ディスクレーベルを印刷する

お気に入りの写真を使って、オリジナルのディスクレーベルを作成して印刷できます。

➡ ディスクレーベルを印刷する



動画風のレイアウトで印刷する

お気に入りの写真を、フィルムや映画館をイメージしたレイアウトにして印刷できます。

➡動画風のレイアウトで印刷する



クラフトを印刷する

ダウンロードしたプレミアムコンテンツ（クラフト）を印刷し、立体的な作品を作成できます。

➡クラフトを印刷する



ページの先頭へ ▲

写真をいろいろなレイアウトで印刷する

お気に入りの写真を、日付入りの写真にしたり、いろいろなレイアウトにしたりして印刷できます。



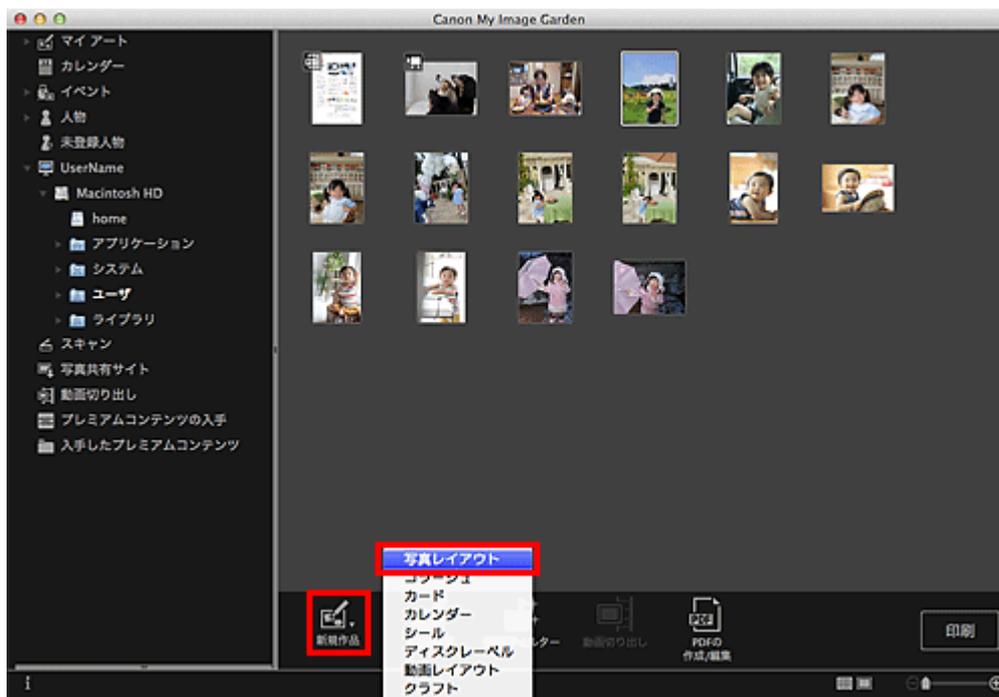
1. My Image Gardenを起動

⇒ My Image Gardenを起動しよう

2. 印刷したい画像を選択

⇒ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

3. [新規作品] から [写真レイアウト] をクリック



[テーマと主役の選択] ダイアログが表示されます。

4. テーマや [用紙サイズ]などを設定し、[OK] をクリック

➡ テーマや主役を設定する



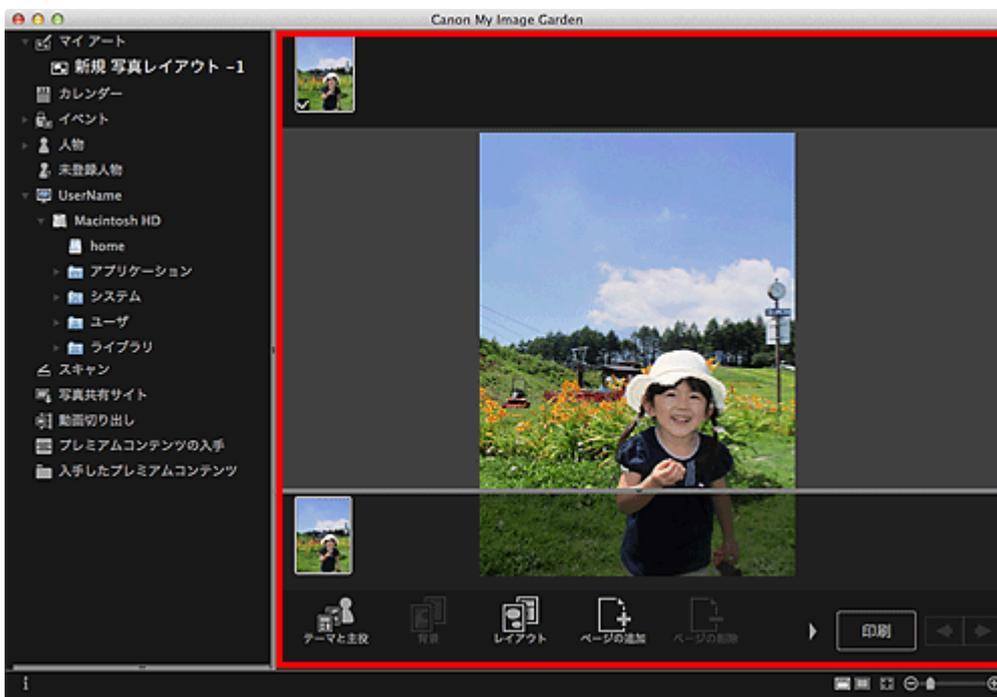
[マイ アート] ビューに、選んだテーマにあわせて画像を配置した作品が表示されます。

参考

- 選んだテーマによっては、人物の優先度を高く設定しても作品に配置されない場合があります。
- 選んだ画像の撮影情報や解析結果によっては、期待したレイアウトにならない場合があります。

5. お好みに合わせて作品を編集

➡ 作品を編集しよう



参考

- グローバルメニューの [未登録人物] が [人物を確認中...] と表示されているときは、解析が終わっていない画像が自動配置の対象外になるため、思ったような結果が得られないことがあります。
- 自動で配置された画像を入れ替えたいときは、「[画像を挿入／調整する](#)」を参照してください。

6. お好みに合わせて日付を挿入

日付を入れたい画像を選び、画像編集ツールを表示させます。[日付を付ける]をクリックしてチェックマークを付けると、画像に日付が入ります。



参考

- 画面下側にある [詳細設定...] をクリックして表示される [詳細設定] ダイアログで、すべての画像に日付を入れることができます。[詳細設定...] が表示されていない場合は、 (右スクロール) をクリックしてください。

➡ [詳細設定] ダイアログ (写真レイアウト)

7. 画面右下の [印刷] をクリック

印刷設定ダイアログが表示されます。

8. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

9. [印刷] をクリック

メッセージが表示されます。

10. [OK] をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

11. [プリント] をクリック

参考

- 画像を補正／加工してから印刷することもできます。
 - ➡ 写真を補正／加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
- 作品内の画像は入れ替えることができます。
 - ➡ 画像を挿入／調整する

関連項目

- [\[マイアート\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

コラージュを印刷する

お気に入りの写真を使って、コラージュを作成して印刷できます。



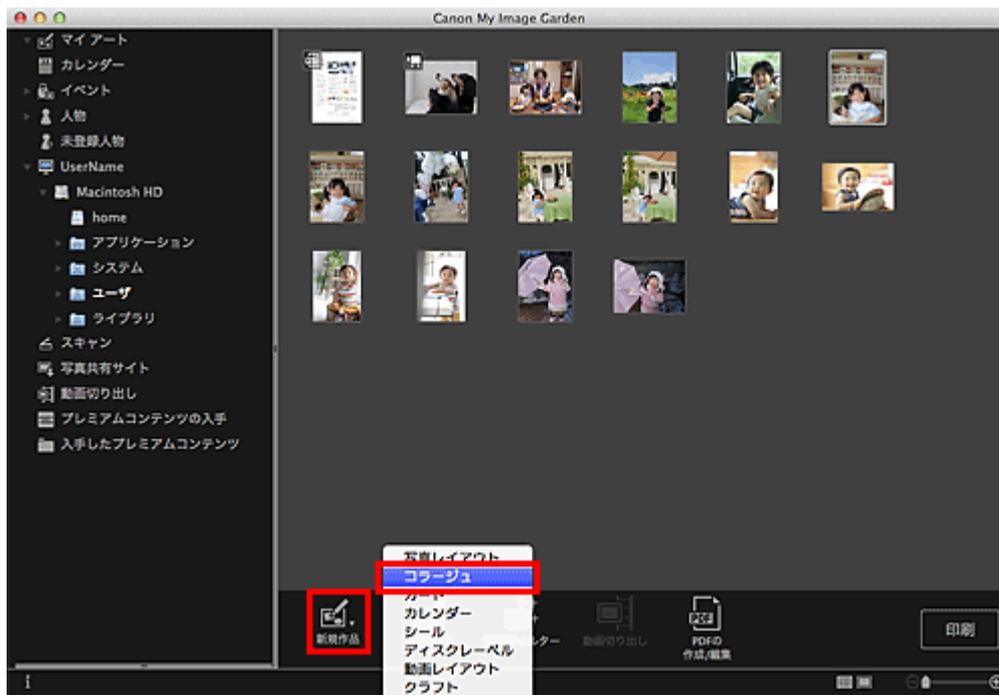
1. My Image Gardenを起動

⇒ My Image Gardenを起動しよう

2. コラージュにしたい画像を選択

⇒ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

3. [新規作品] から [コラージュ] をクリック



[テーマと主役の選択] ダイアログが表示されます。

4. テーマや【主役】にする人物の優先度、【用紙サイズ】などを設定し、【OK】をクリック

➡ テーマや主役を設定する



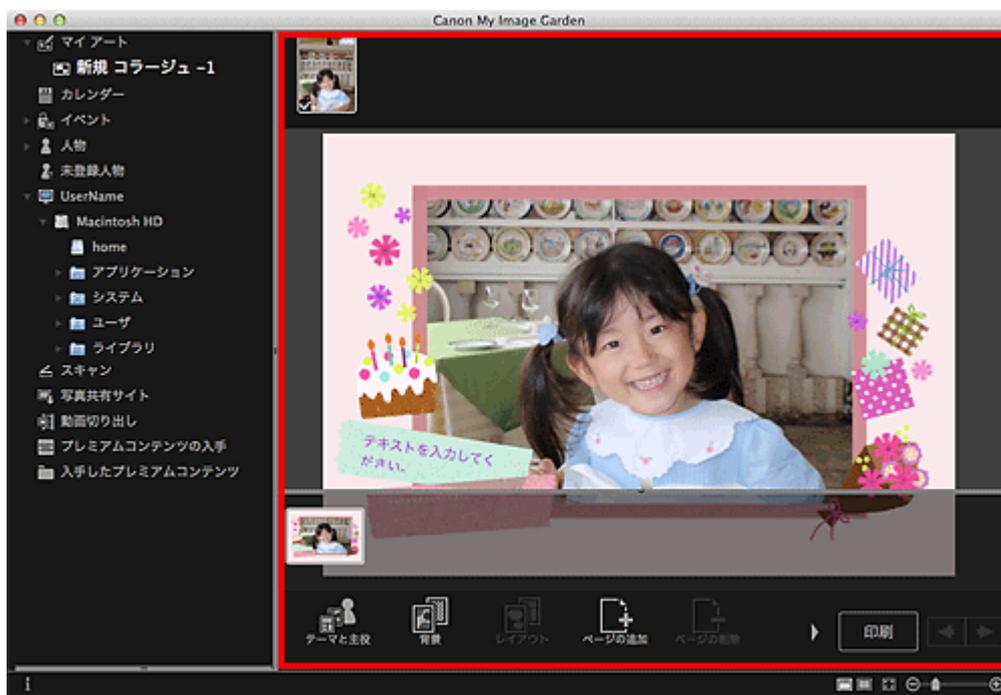
【マイ アート】ビューにコラージュが表示されます。

参考

- 選んだテーマによっては、人物の優先度を高く設定しても作品に配置されない場合があります。
- 選んだ画像の撮影情報や解析結果によっては、期待したレイアウトにならない場合があります。

5. お好みに合わせて作品を編集

➡ 作品を編集しよう



参考

- グローバルメニューの【未登録人物】が【人物を確認中...】と表示されているときは、解析が終わっていない画像が自動配置の対象外になるため、思ったような結果が得られないことがあります。
- 自動で配置された画像を入れ替えたいときは、「[画像を挿入／調整する](#)」を参照してください。

6. 画面右下の【印刷】をクリック

印刷設定ダイアログが表示されます。

7. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

8. 【印刷】をクリック

メッセージが表示されます。

9. 【OK】をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

10. 【プリント】をクリック

参考

- 画像を補正／加工してから印刷することもできます。
 - ➡ 写真を補正／加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう

- 作品内の画像は入れ替えることができます。

➡ [画像を挿入／調整する](#)

関連項目

- [\[マイアート\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

カードを印刷する

お気に入りの写真を使って、記念日や年中行事のカードを作成して印刷できます。



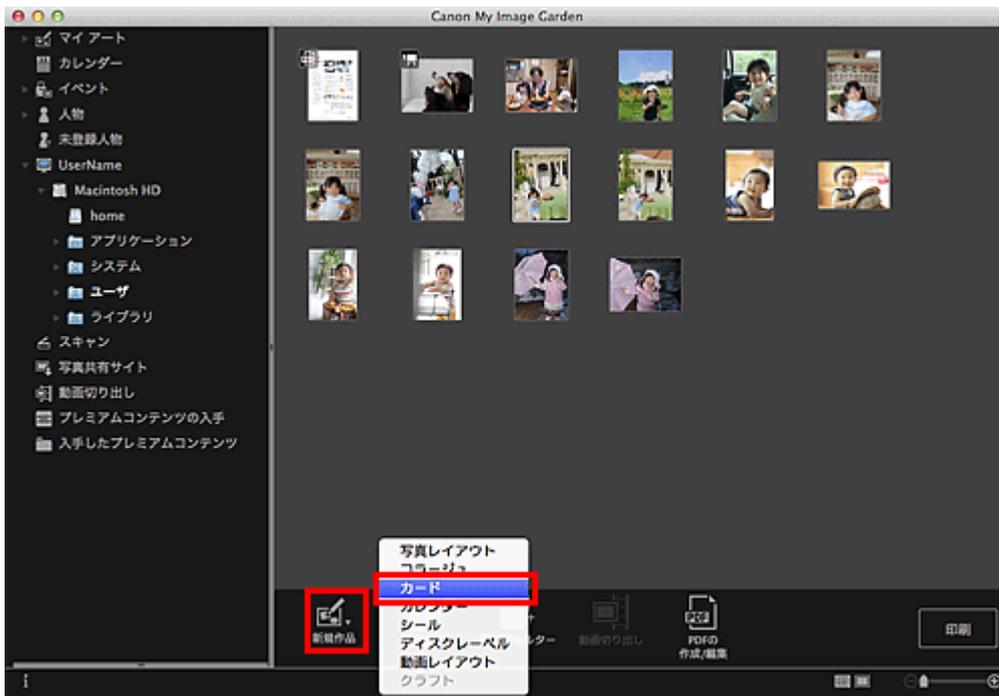
1. My Image Gardenを起動

➡ My Image Gardenを起動しよう

2. カードにしたい画像を選択

➡ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

3. [新規作品] から [カード] をクリック



[テーマと主役の選択] ダイアログが表示されます。

4. テーマや [主役] にする人物の優先度、 [用紙サイズ]などを設定し、 [OK] をクリック

➡ テーマや主役を設定する



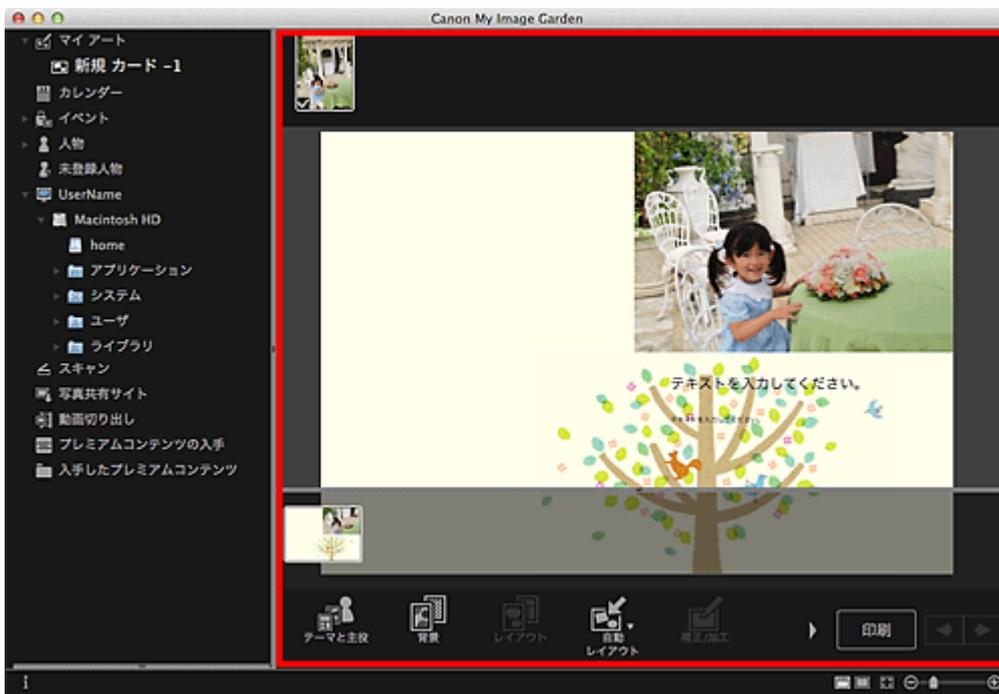
[マイ アート] ビューにカードが表示されます。

参考

- 選んだテーマによっては、人物の優先度を高く設定しても作品に配置されない場合があります。
- 選んだ画像の撮影情報や解析結果によっては、期待したレイアウトにならない場合があります。

5. お好みに合わせて作品を編集

➡ 作品を編集しよう



参考

- グローバルメニューの [未登録人物] が [人物を確認中...] と表示されているときは、解析が終わっていない画像が自動配置の対象外になるため、思ったような結果が得られないことがあります。
- 自動で配置された画像を入れ替えたいときは、「[画像を挿入／調整する](#)」を参照してください。

6. 画面右下の [印刷] をクリック

印刷設定ダイアログが表示されます。

7. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

8. [印刷] をクリック

メッセージが表示されます。

9. [OK] をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

10. [プリント] をクリック

参考

- 画像を補正/加工してから印刷することもできます。
 - ➡ 写真を補正/加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
- 作品内の画像は入れ替えることができます。
 - ➡ 画像を挿入/調整する

関連項目

- [マイ アート] ビュー

[ページの先頭へ▲](#)

カレンダーを印刷する

思い出の写真を使って、オリジナルのカレンダーを作成して印刷できます。



1. My Image Gardenを起動

➡ My Image Gardenを起動しよう

2. カレンダーに使用したい画像を選択

➡ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

3. [新規作品] から [カレンダー] をクリック



[テーマと主役の選択] ダイアログが表示されます。

4. テーマや [主役] にする人物の優先度、 [用紙サイズ]などを設定し、 [OK] をクリック

→ テーマや主役を設定する

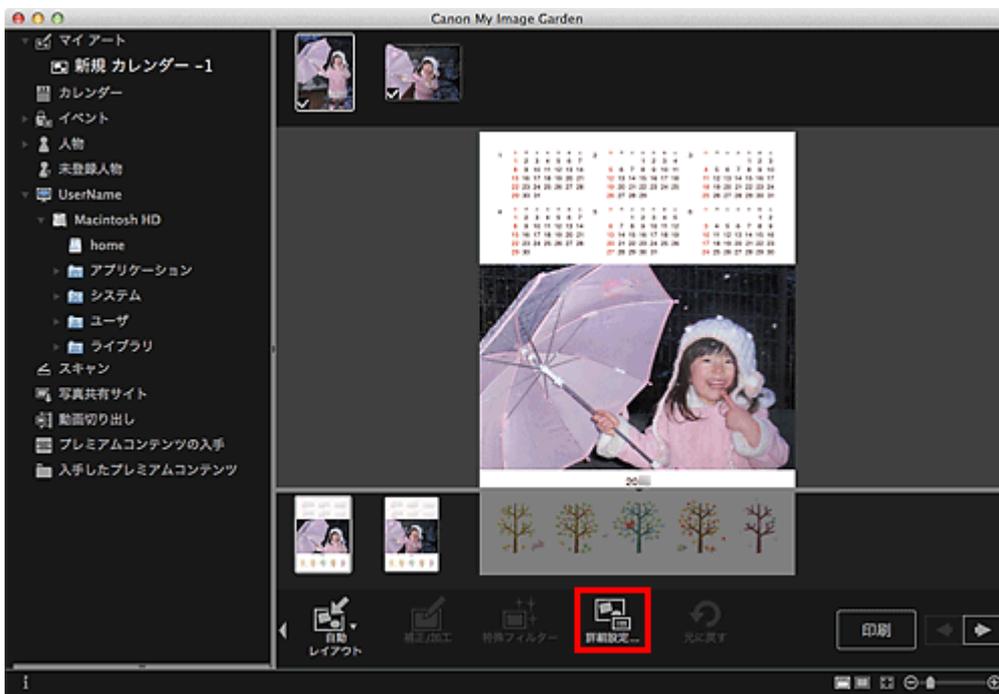


[マイ アート] ビューにカレンダーが表示されます。

参考

- 選んだテーマによっては、人物の優先度を高く設定しても作品に配置されない場合があります。
- 選んだ画像の撮影情報や解析結果によっては、期待したレイアウトにならない場合があります。

5. [詳細設定...] をクリック



[詳細設定] ダイアログが表示されます。

参考

- [詳細設定...] が表示されていない場合は、 (右スクロール) をクリックしてください。

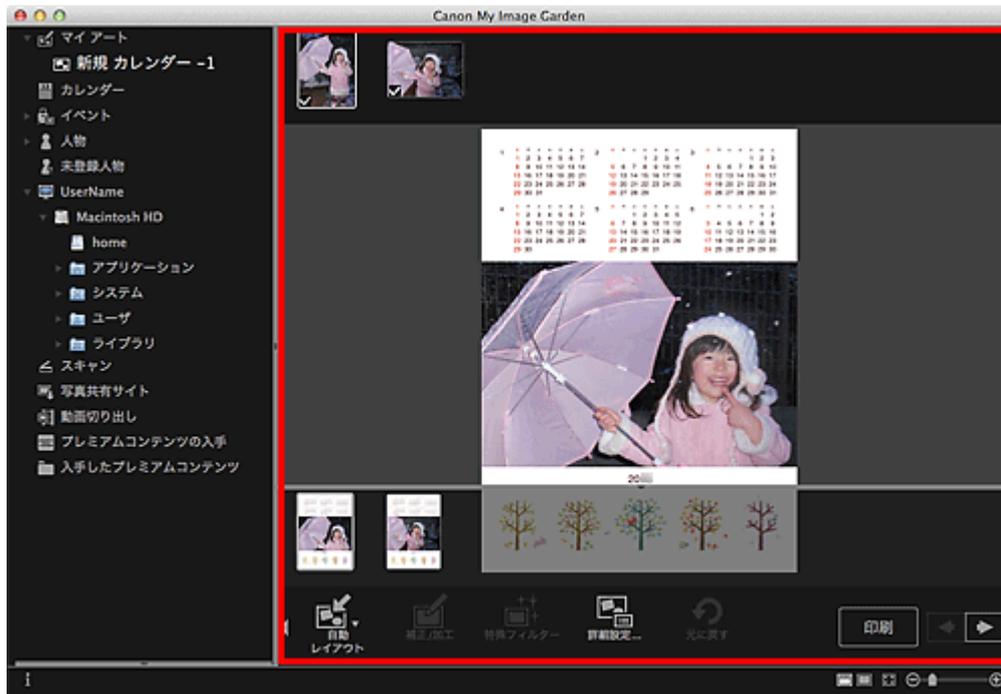
6. カレンダーの表示形式や休日を設定し、[OK] をクリック

➡ [詳細設定] ダイアログ (カレンダー)

[OK] をクリックすると、[マイ アート] ビューに戻ります。

7. お好みに合わせて作品を編集

➡ 作品を編集しよう



参考

- グローバルメニューの [未登録人物] が [人物を確認中...] と表示されているときは、解析が終わっていない画像が自動配置の対象外になるため、思ったような結果が得られないことがあります。
- 自動で配置された画像を入れ替えたいときは、「[画像を挿入/調整する](#)」を参照してください。

8. 画面右下の [印刷] をクリック

印刷設定ダイアログが表示されます。

9. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

10. 【印刷】 をクリック

メッセージが表示されます。

11. 【OK】 をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

12. 【プリント】 をクリック

参考

- 画像を補正／加工してから印刷することもできます。
 - ➡ 写真を補正／加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
- 作品内の画像は入れ替えることができます。
 - ➡ 画像を挿入／調整する

関連項目

- [【マイアート】ビュー](#)

シールを印刷する

お気に入りの写真をシール用紙に印刷して、オリジナルのシールを作成できます。



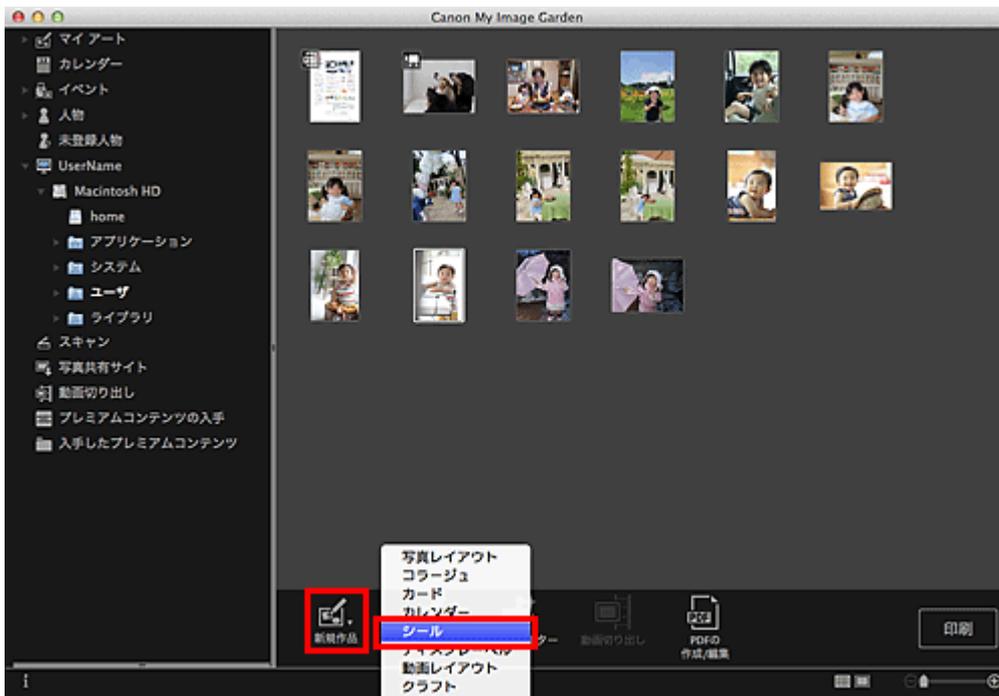
1. My Image Gardenを起動

➡ My Image Gardenを起動しよう

2. シールにしたい画像を選択

➡ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

3. [新規作品] から [シール] をクリック



[テーマと主役の選択] ダイアログが表示されます。

4. テーマや [用紙サイズ]などを設定し、[OK] をクリック

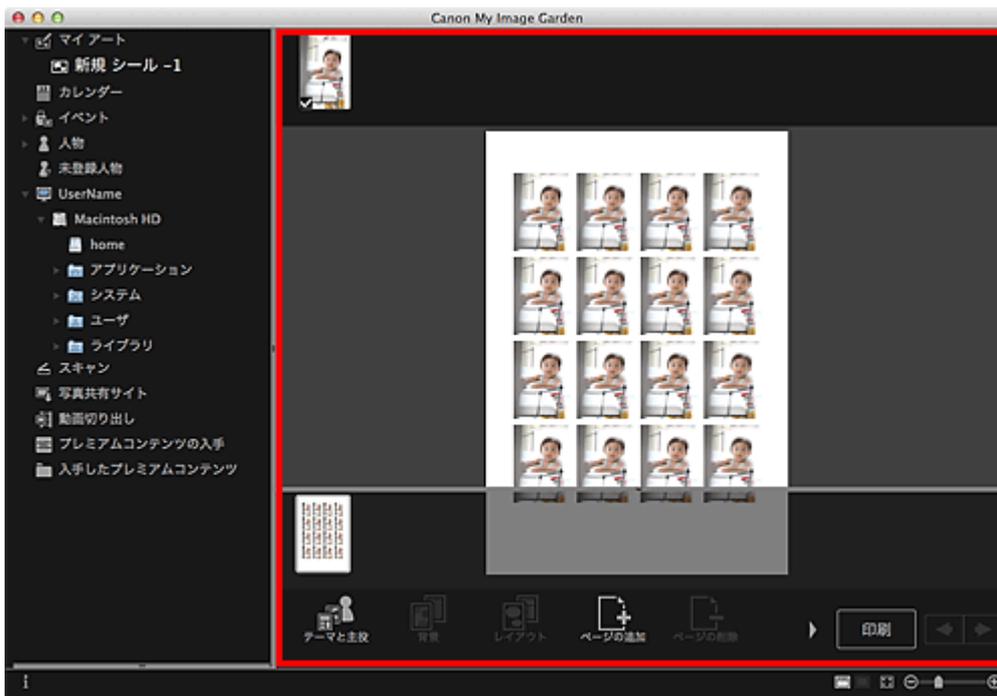
➡ テーマや主役を設定する



[マイ アート] ビューにシールが表示されます。

5. お好みに合わせて作品を編集

➡ 作品を編集しよう



参考

- 画面下側にある [詳細設定...] をクリックして表示される [詳細設定] ダイアログで、ページ内のすべての枠に同じ画像を入れることができます。[詳細設定...] が表示されていない場合は、 (右スクロール) をクリックしてください。
➡ [詳細設定] ダイアログ (シール)
- グローバルメニューの [未登録人物] が [人物を確認中...] と表示されているときは、解析が終わっていない画像が自動配置の対象外になるため、思ったような結果が得られないことがあります。
- 自動で配置された画像を入れ替えたいときは、「[画像を挿入/調整する](#)」を参照してください。

6. 画面右下の【印刷】をクリック

印刷設定ダイアログが表示されます。

7. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

8. 【印刷】をクリック

メッセージが表示されます。

9. 【OK】をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

10. 【プリント】をクリック

参考

- 画像を補正／加工してから印刷することもできます。
 - ➡ 写真を補正／加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
- 作品内の画像は入れ替えることができます。
 - ➡ 画像を挿入／調整する

関連項目

- [\[マイアート\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

ディスクレーベルを印刷する

お気に入りの写真を使って、オリジナルのディスクレーベルを作成して印刷できます。



重要

- プリントブルディスクのセットを促すメッセージが表示されるまでは、ディスクトレイはセットしないでください。動作中にプリントブルディスクをセットするとスキャナーまたはプリンターを損傷するおそれがあります。

1. My Image Gardenを起動

➡ My Image Gardenを起動しよう

2. ディスクレーベルに使用したい画像を選択

➡ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

3. [新規作品] から [ディスクレーベル] をクリック



[テーマと主役の選択] ダイアログが表示されます。

4. テーマや [用紙サイズ] などを設定し、 [OK] をクリック

➡ テーマや主役を設定する



[マイ アート] ビューにディスクレーベルが表示されます。

参考

- 選んだテーマによっては、人物の優先度を高く設定しても作品に配置されない場合があります。
- 選んだ画像の撮影情報や解析結果によっては、期待したレイアウトにならない場合があります。

5. お好みに合わせて作品を編集

➡ 作品を編集しよう



参考

画面下側にある [詳細設定...] をクリックして表示される [詳細設定] ダイアログで、印刷範囲を設定で

きます。[詳細設定...]が表示されていない場合は、 (右スクロール) をクリックしてください。

➡ [詳細設定] ダイアログ (ディスクレーベル)

- グローバルメニューの [未登録人物] が [人物を確認中...] と表示されているときは、解析が終わっていない画像が自動配置の対象外になるため、思ったような結果が得られないことがあります。
- 自動で配置された画像を入れ替えたいときは、「[画像を挿入／調整する](#)」を参照してください。

6. 画面右下の【印刷】をクリック

印刷設定ダイアログが表示されます。

7. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については「[印刷設定ダイアログ](#)」をご覧ください。

8. 【印刷】をクリック

メッセージが表示されます。

9. 【OK】をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

10. 【プリント】をクリック

参考

- 画像を補正／加工してから印刷することもできます。

- ➡ 写真を補正／加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
 - 作品内の画像は入れ替えることができます。
 - ➡ 画像を挿入／調整する
-

関連項目

- [\[マイアート\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

動画風のレイアウトで印刷する

お気に入りの写真を、フィルムや映画館をイメージしたレイアウトにして印刷できます。



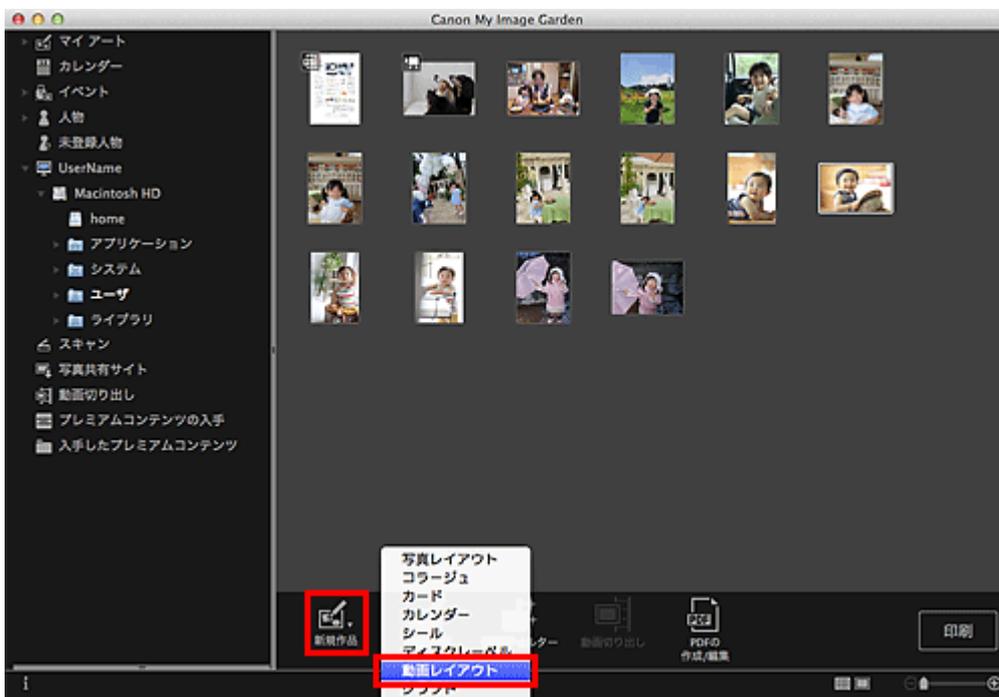
1. My Image Gardenを起動

⇒ My Image Gardenを起動しよう

2. 動画風のレイアウトにしたい画像を選択

⇒ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

3. [新規作品] から [動画レイアウト] をクリック



[テーマと主役の選択] ダイアログが表示されます。

4. テーマや [用紙サイズ]などを設定し、[OK] をクリック

⇒ テーマや主役を設定する



[マイ アート] ビューに、選んだテーマにあわせて画像を配置した作品が表示されます。

参考

- 選んだテーマによっては、人物の優先度を高く設定しても作品に配置されない場合があります。
- 選んだ画像の撮影情報や解析結果によっては、期待したレイアウトにならない場合があります。

5. お好みに合わせて作品を編集

⇒ 作品を編集しよう



参考

- グローバルメニューの [未登録人物] が [人物を確認中...] と表示されているときは、解析が終わっていない画像が自動配置の対象外になるため、思ったような結果が得られないことがあります。
- 自動で配置された画像を入れ替えたいときは、「[画像を挿入／調整する](#)」を参照してください。

6. 画面右下の [印刷] をクリック

印刷設定ダイアログが表示されます。

7. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については、「[印刷設定ダイアログ](#)」をご覧ください。

8. 【印刷】 をクリック

メッセージが表示されます。

9. 【OK】 をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

10. 【プリント】 をクリック

参考

- 画像を補正/加工してから印刷することもできます。
 - ➡ 写真を補正/加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
- 作品内の画像は入れ替えることができます。
 - ➡ 画像を挿入/調整する

関連項目

- [\[マイアート\] ビュー](#)

クラフトを印刷する

ダウンロードしたプレミアムコンテンツ（クラフト）を印刷し、立体的な作品を作成できます。



重要

- クラフトを印刷する場合は、以下の点にご注意ください。
 - プレミアムコンテンツをダウンロードする方法については、「[プレミアムコンテンツをダウンロードする](#)」をご覧ください。
 - ダウンロードまたは印刷したプレミアムコンテンツは、個人利用の目的でのみ利用することができます。商用目的では利用しないでください。

1. My Image Gardenを起動

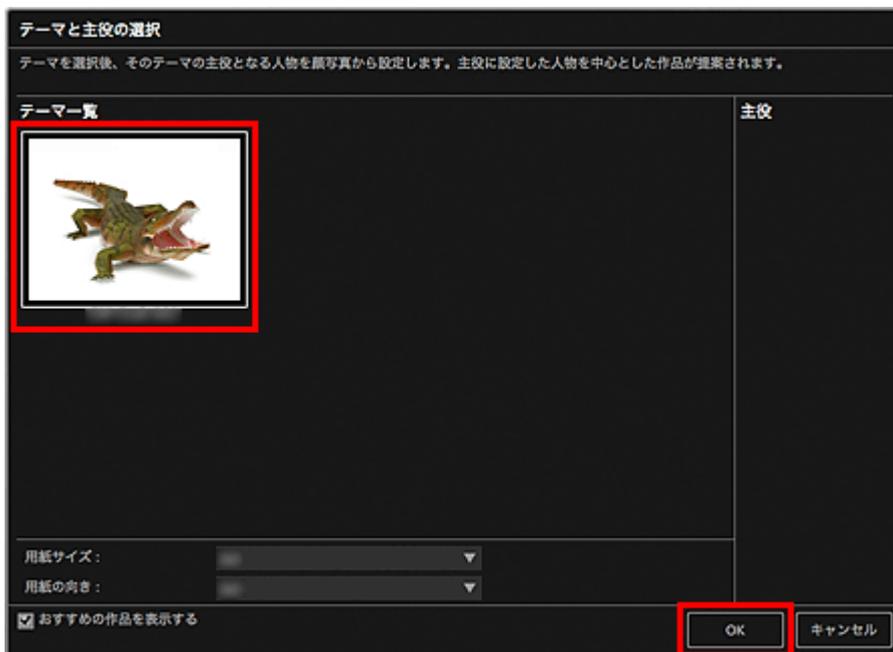
➡ My Image Gardenを起動しよう

2. [新規作品] から [クラフト] をクリック



[テーマと主役の選択] ダイアログが表示されます。

3. テーマを選び、[OK] をクリック



➡ [テーマと主役の選択] ダイアログ

[マイアート] ビューにクラフトが表示されます。

4. 画面右下の [印刷] をクリック

印刷設定ダイアログが表示されます。

5. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

6. [印刷] をクリック

メッセージが表示されます。

7. [OK] をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更したり、[PDF]（Mac OS X 10.6/Mac OS X 10.5をご使用の場合は、[PDF] や [プレビュー]）をクリックしたりすると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

8. [プリント] をクリック

関連項目

- [\[マイアート\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

プレミアムコンテンツをダウンロードして印刷しよう

【プレミアムコンテンツの入手】ビューで、著名なアーティストの作品をダウンロードできます。
ダウンロードしたプレミアムコンテンツを印刷したり、お気に入りの写真や文字を入れてオリジナルの作品を作成したりすることもできます。



重要

- プレミアムコンテンツを使用する場合は、以下の点にご注意ください。
 - プレミアムコンテンツを印刷するには、対応プリンターの全色にキヤノン純正インクタンク/インクカートリッジが取り付けられている必要があります。
 - ダウンロードまたは印刷したプレミアムコンテンツは、個人利用の目的でのみ利用することができます。商用目的では利用しないでください。
- ご使用のプリンターがプレミアムコンテンツに対応していない場合、【プレミアムコンテンツの入手】をクリックするとエラーメッセージが表示されます。

プレミアムコンテンツをダウンロードする

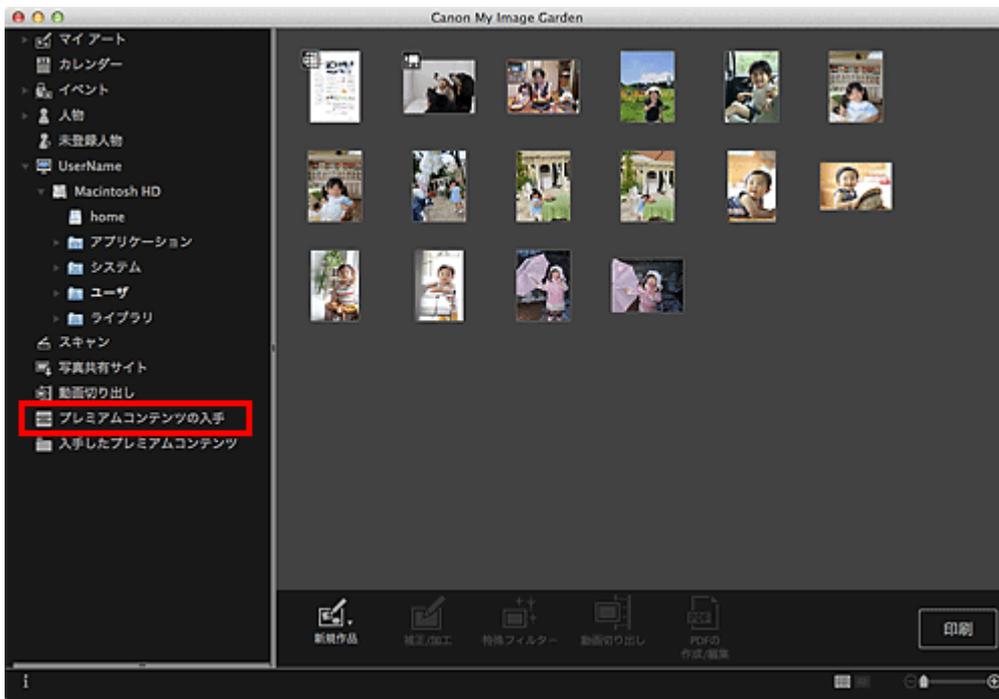
ダウンロードできるプレミアムコンテンツは以下のとおりです。

- カード
- カレンダー
- コラージュ
- クラフト

1. My Image Gardenを起動

➡ My Image Gardenを起動しよう

2. 【プレミアムコンテンツの入手】をクリック



[プレミアムコンテンツの入手] ビューに切り替わります。

重要

- この機能を利用するには、インターネットへの接続が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

参考

- [プレミアムコンテンツの入手] をクリックすると、メッセージ画面が表示されます。画面の説明に従って操作を進めてください。

3. お好みのカテゴリを選択

4. 印刷するプレミアムコンテンツを選び、ダウンロード

プレミアムコンテンツを印刷する

ダウンロードしたプレミアムコンテンツを編集し、印刷することができます。

ダウンロード済みのプレミアムコンテンツは、以下の画面に表示されます。

- [テーマと主役の選択] ダイアログ
- [入手したプレミアムコンテンツ] ビュー

ここでは、[入手したプレミアムコンテンツ] ビューから編集/印刷する方法を説明します。

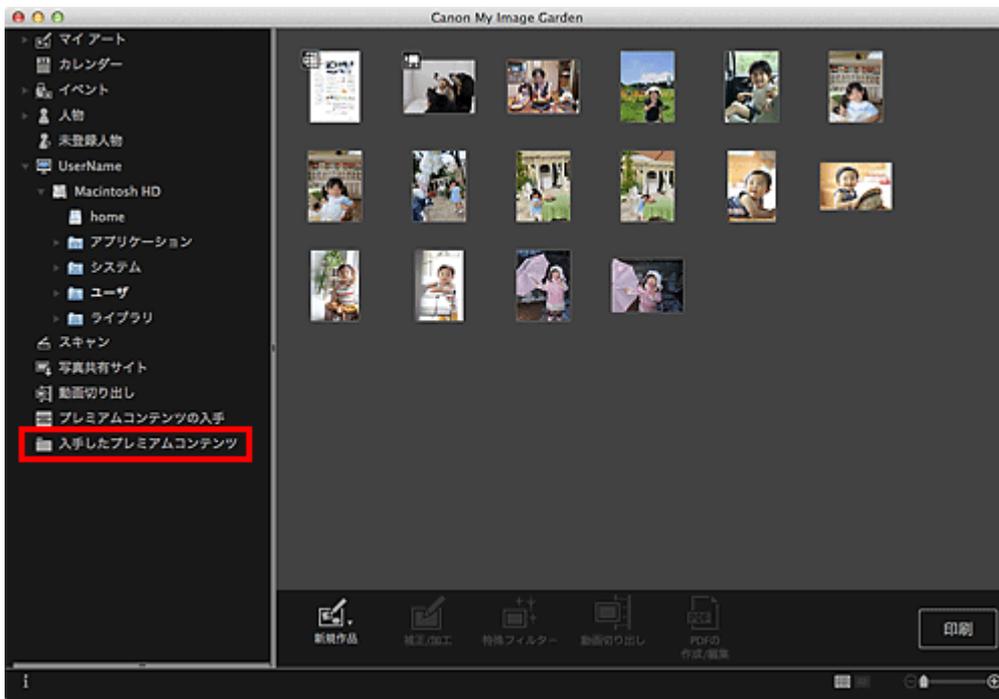
重要

- プレミアムコンテンツには、印刷可能枚数や有効期限が設定されているものがあります。設定された枚数や期限を超えたプレミアムコンテンツは、削除されます。

1. My Image Gardenを起動

⇒ My Image Gardenを起動しよう

2. [入手したプレミアムコンテンツ] をクリック

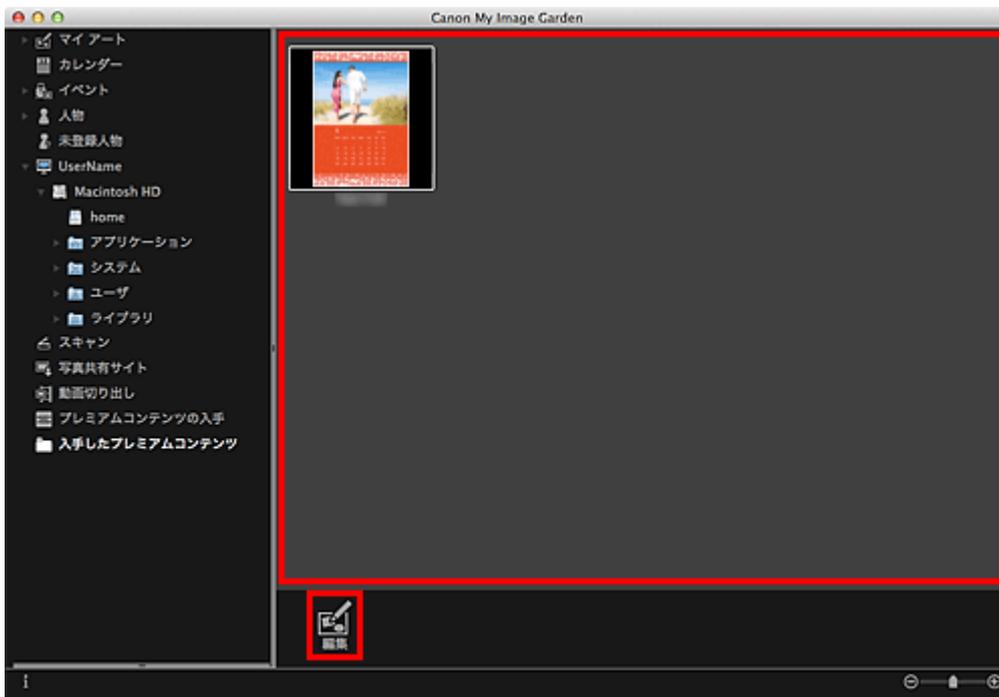


ダウンロードしてあるプレミアムコンテンツがサムネイル表示されます。

参考

- [入手したプレミアムコンテンツ] をクリックすると、メッセージ画面が表示されます。画面の説明に従って操作を進めてください。

3. 印刷したいプレミアムコンテンツを選び、[編集] をクリック



[マイ アート] ビューにプレミアムコンテンツが表示されます。

4. [テーマと主役] をクリックし、[用紙サイズ] と [用紙の向き] を設定

[テーマと主役の選択] ダイアログで、[用紙サイズ] と [用紙の向き] を設定し、[OK] をクリックしてください。

参考

- [入手したプレミアムコンテンツ] ビューで、プレミアムコンテンツのサムネイル上にカーソルを移動す

ると、対応する用紙サイズなどの情報を確認することができます。

5. お好みに合わせて作品を編集

➡ 作品を編集しよう

参考

- 編集できる内容は、プレミアムコンテンツによって異なります。

6. 画面右下の【印刷】をクリック

印刷設定ダイアログが表示されます。

7. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

8. 【印刷】をクリック

メッセージが表示されます。

9. 【OK】をクリック

プリントダイアログが表示されます。

重要

- プリントダイアログでプリンターを変更したり、[PDF] (Mac OS X 10.6/Mac OS X 10.5をご使用の場合は、[PDF] や [プレビュー]) をクリックしたりすると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

10. 【プリント】をクリック

参考

- プレミアムコンテンツによっては挿入された画像を補正／加工してから印刷することもできます。
 - ➡ 写真を補正／加工して仕上げよう
 - ➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
- プレミアムコンテンツによっては作品内の画像を入れ替えることができます。
 - ➡ 画像を挿入／調整する

関連項目

- [\[プレミアムコンテンツの入手\] ビュー](#)
- [\[入手したプレミアムコンテンツ\] ビュー](#)
- [\[マイ アート\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

動画から静止画を切り出して印刷しよう

動画の一部を切り出して、静止画を作成し、印刷することができます。

重要

- 動画が表示されない場合は、動作環境やファイル形式を確認してください。詳しくは、「[ファイル形式について](#)」をご覧ください。
- ご使用の環境によっては、動画がなめらかに再生されない場合があります。
- 切り出した静止画に、グラフィックドライバー（ビデオカード）やそれに付属するユーティリティの設定によって変更された動画の色味は反映されません。そのため、動画と切り出した静止画の色味が異なる場合があります。

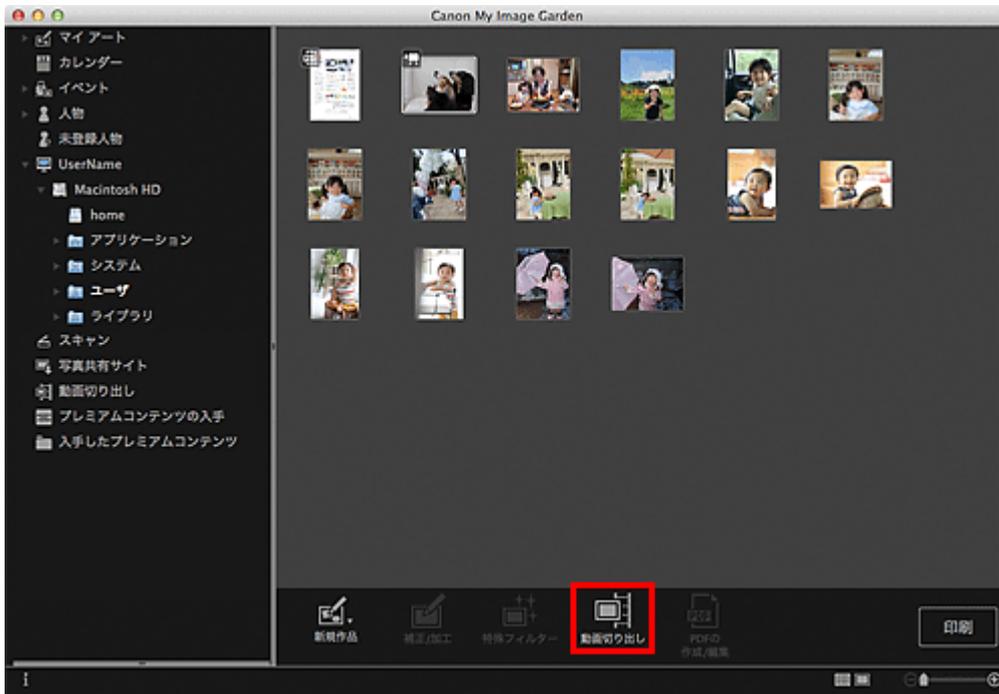
1. My Image Gardenを起動

➡ My Image Gardenを起動しよう

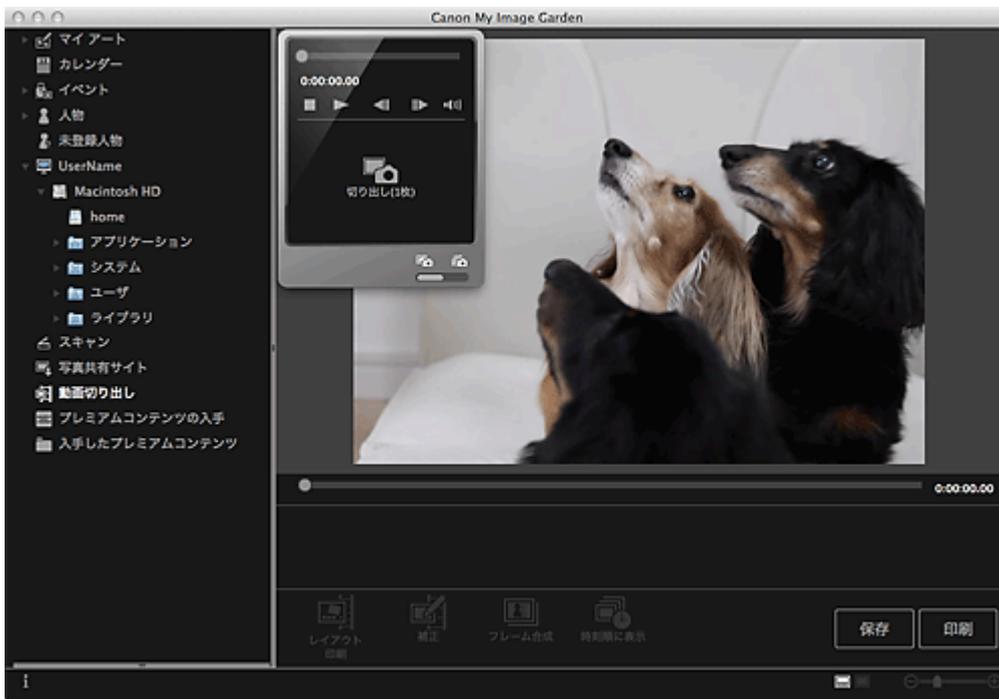
2. 静止画を切り出したい動画を選択

➡ [画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)

3. 【動画切り出し】をクリック

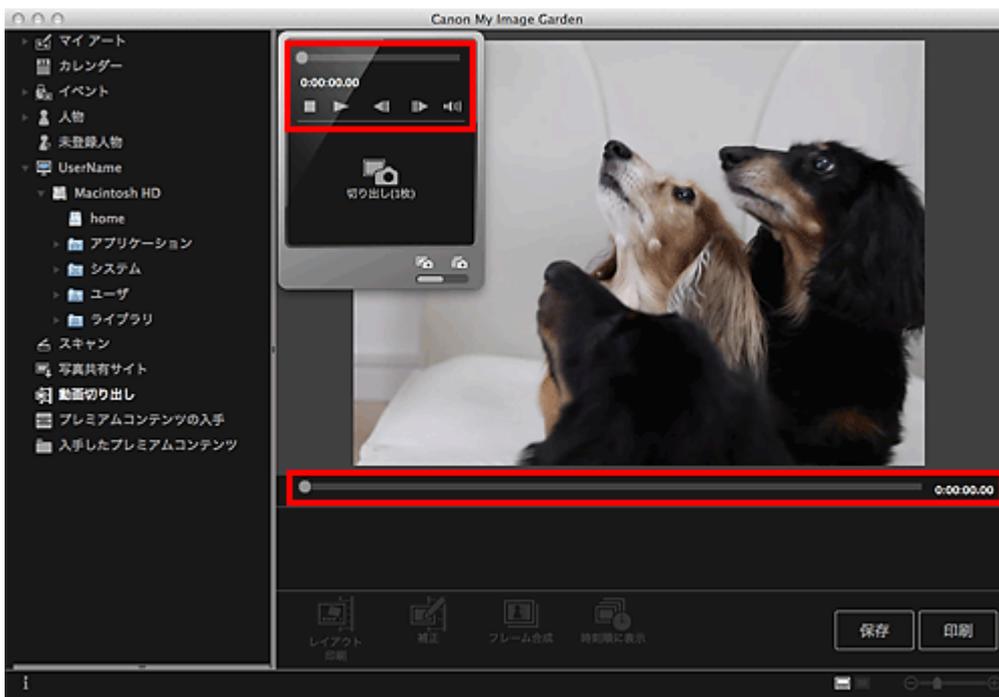


【動画切り出し】ビューに切り替わり、動画と静止画切り出しリモコンが表示されます。



4. 静止画を切り出したいフレームを表示

【動画切り出し】ビューのスライドバーをドラッグしたり、静止画切り出しリモコンを使用したりして切り出したいフレームを表示させます。



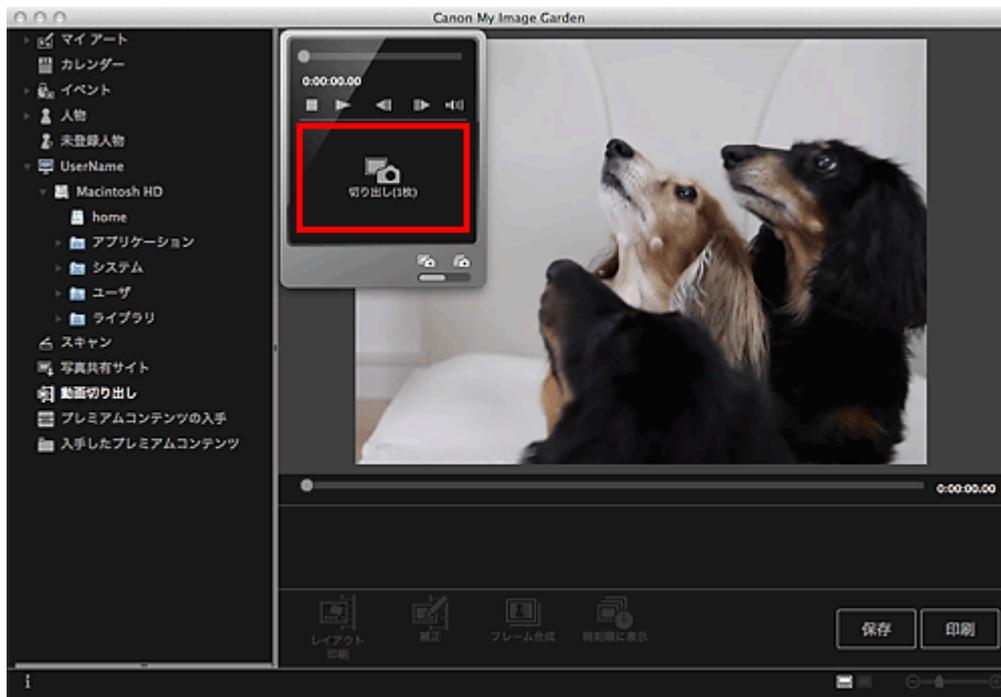
参考

- 動画再生中／停止中によって、静止画切り出しリモコンの⏸（一時停止）と▶（再生）の表示が切り替わります。
- 静止画切り出しリモコンの⏸（一時停止）や◀◀（コマ戻し）／▶▶（コマ送り）を使用すると、切り出したいフレームが表示しやすくなります。

5. 静止画を切り出したいフレームが表示されたら、静止画切り出しリモコンの【切り出し(1枚)】をクリック

参考

- [切り出し(1枚)] と [切り出し(複数枚)] の切り替え方法については、「[\[動画切り出し\] ビュー](#)」をご覧ください。
- [切り出し(複数枚)] では、切り出す枚数などを指定して、動画から複数枚の静止画をまとめて切り出すことができます。
- [ブレの小さい画像を優先する] にチェックマークを付けると、画像を切り出す際にブレの小さいフレームが自動で判定されます。ご使用の環境によっては、切り出しに時間がかかることがあります。



画像の切り出しが終わると、切り出された画像が切り出し画像表示エリアに表示されます。

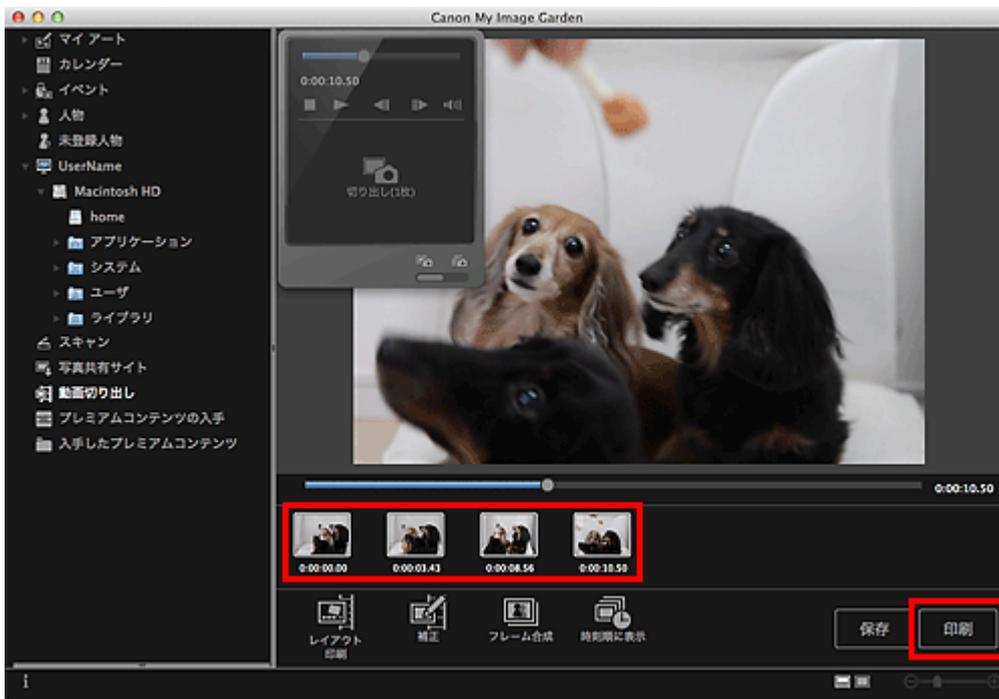
重要

- 1つの動画から切り出せる静止画は、最大150枚です。

参考

- 切り出し画像表示エリアの静止画を撮影した時刻順に並べ替えたいときは、画面下側の [時刻順に表示] をクリックしてください。

6. 印刷したい画像を選び、[印刷] をクリック



7. 印刷部数や使用するプリンター、用紙などを設定



参考

- 印刷設定ダイアログの詳細については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

8. 【印刷】をクリック

メッセージが表示されます。

9. 【OK】をクリック

プリントダイアログが表示されます。

- プリントダイアログでプリンターを変更すると、メッセージが表示され、印刷が中止されます。

10. 【プリント】をクリック

参考

- 切り出し画像表示エリアで保存したい静止画を選び、【保存】をクリックすることで、動画から切り出した静止画を保存することもできます。
- 画面下側の【レイアウト印刷】をクリックすると、切り出した静止画を素材にした動画風レイアウトの作品を編集／印刷できます。
 - ➡ 動画風のレイアウトで印刷する
- 切り出した静止画を補正したいときは、切り出し画像表示エリアで補正したい静止画を選び、画面下側の【補正】をクリックしてください。
 - ➡ 動画から切り出した静止画を補正する
- 切り出した複数枚の静止画を、時刻順に1枚の画像に重ねて合成し、流れるような動きのある画像にできます。
 - ➡ 動画からフレーム合成した画像を作成する

関連項目

- 【動画切り出し】ビュー

[ページの先頭へ▲](#)

動画からフレーム合成した画像を作成する

動画から切り出した複数枚の静止画を、時刻順に1枚の画像に重ねて合成し、流れるような動きのある画像を作成することができます。

重要

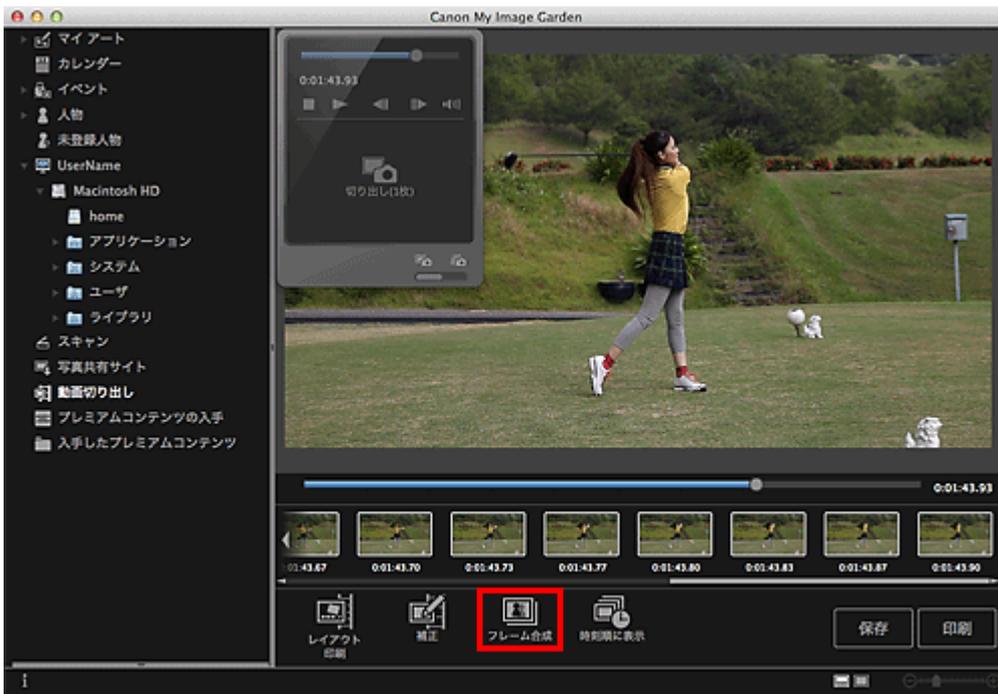
- 合成できる静止画の枚数は5枚から30枚までです。
- [補正] ビューで補正した静止画は使用できません。補正する前の静止画が使用されます。

参考

- 三脚などでカメラを固定して撮影した動画や、撮影中にズーム操作やピントの調整（フォーカス）をしていない動画から切り出した静止画を使用することをお勧めします。
- 静止画を切り出す方法については、「[動画から静止画を切り出して印刷しよう](#)」をご覧ください。

1. [動画切り出し] ビューの切り出し画像表示エリアで、合成したい静止画を選択

2. [フレーム合成] をクリック

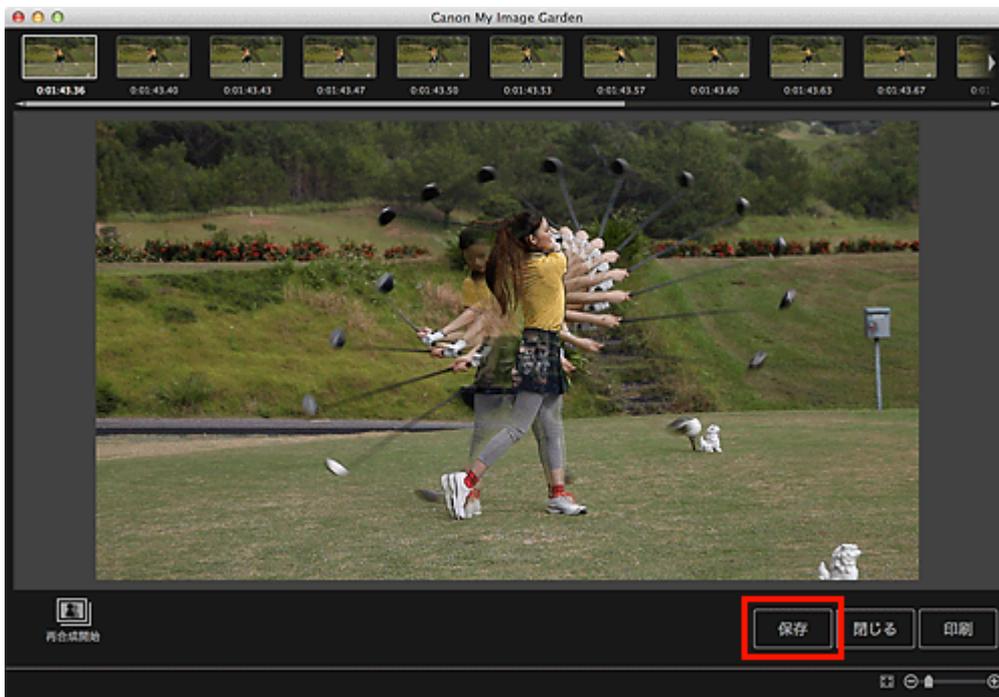


[フレーム合成] ビューに切り替わり、プレビューエリアに合成した画像が表示されます。

参考

- [フレーム合成] をクリックすると、メッセージ画面が表示されます。画面の説明に従って操作を進めてください。
- 合成に使用する画像を変更したいときは、選択画像表示エリアから画像を選び、[再合成開始] をクリックします。

3. [保存] をクリック



【保存】ダイアログが表示されます。

4. 保存の詳細を設定

➡ 【保存】ダイアログ（【動画切り出し】ビュー）

参考

- 作成した画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

5. 【保存】をクリック

作成した画像が保存され、【フレーム合成】ビューに戻ります。

6. 【閉じる】をクリック

【動画切り出し】ビューに戻ります。

重要

- 作成した画像を保存していない場合、合成した内容は削除されます。

関連項目

- 【フレーム合成】ビュー

ページの先頭へ ▲

動画から切り出した静止画を補正する

動画から切り出した静止画のノイズを低減したり、ギザギザ感を低減したりできます。

重要

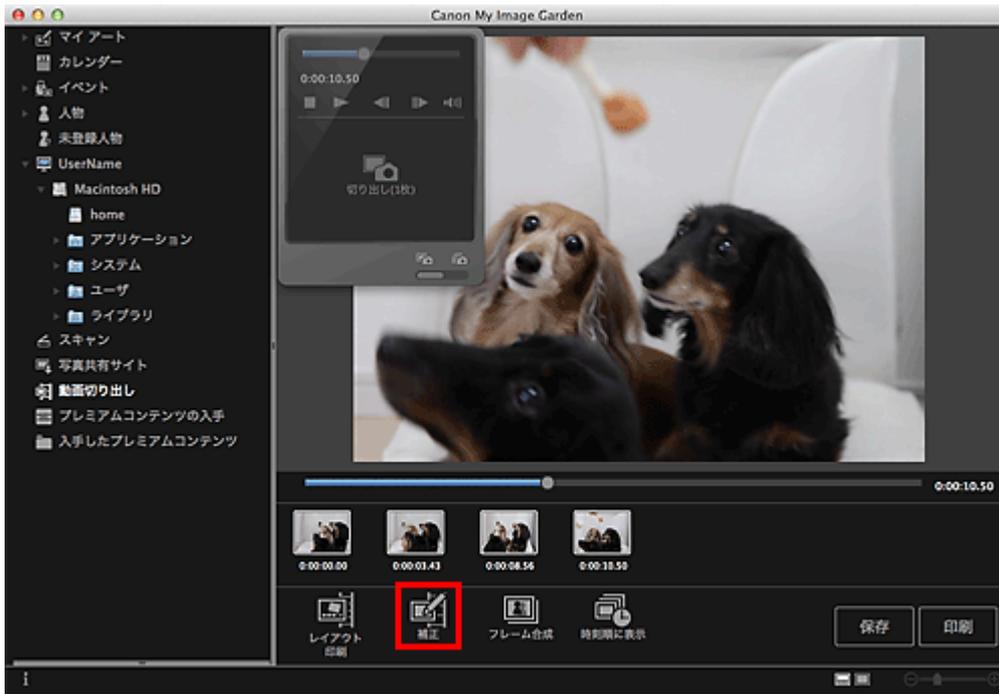
- 被写体が大きく動いたフレームや、撮影中にカメラが大きく動いたフレームなどを切り出した場合は、静止画が正しく補正されないことがあります。

参考

- 静止画を切り出す方法については、「[動画から静止画を切り出して印刷しよう](#)」をご覧ください。

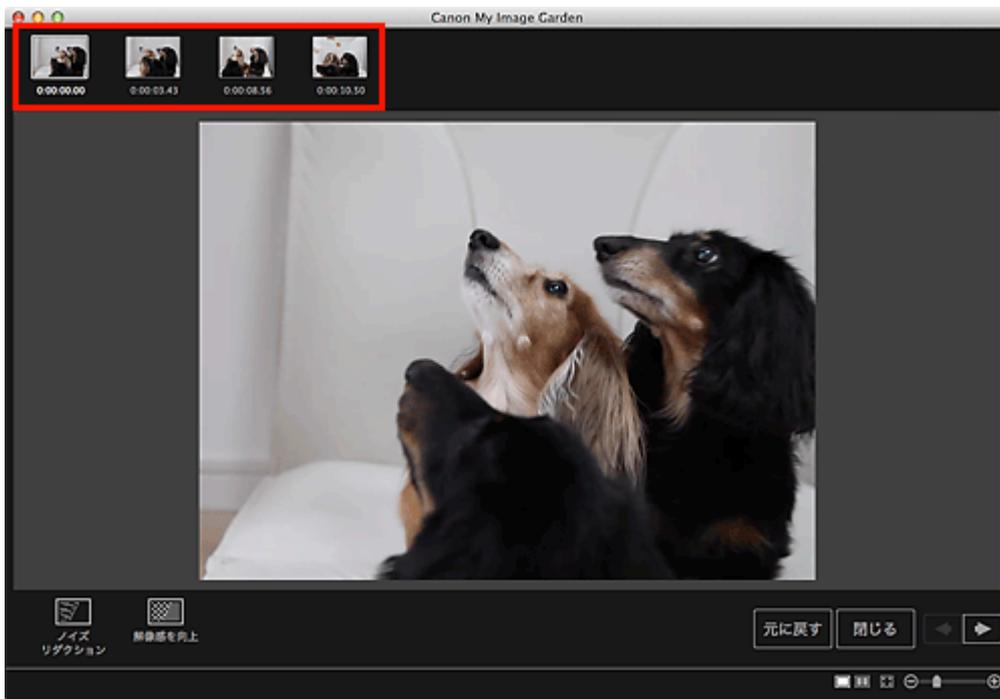
1. 【動画切り出し】ビューの切り出し画像表示エリアで、補正したい静止画を選択

2. 【補正】をクリック



【補正】ビューに切り替わり、プレビューエリアに画像が表示されます。

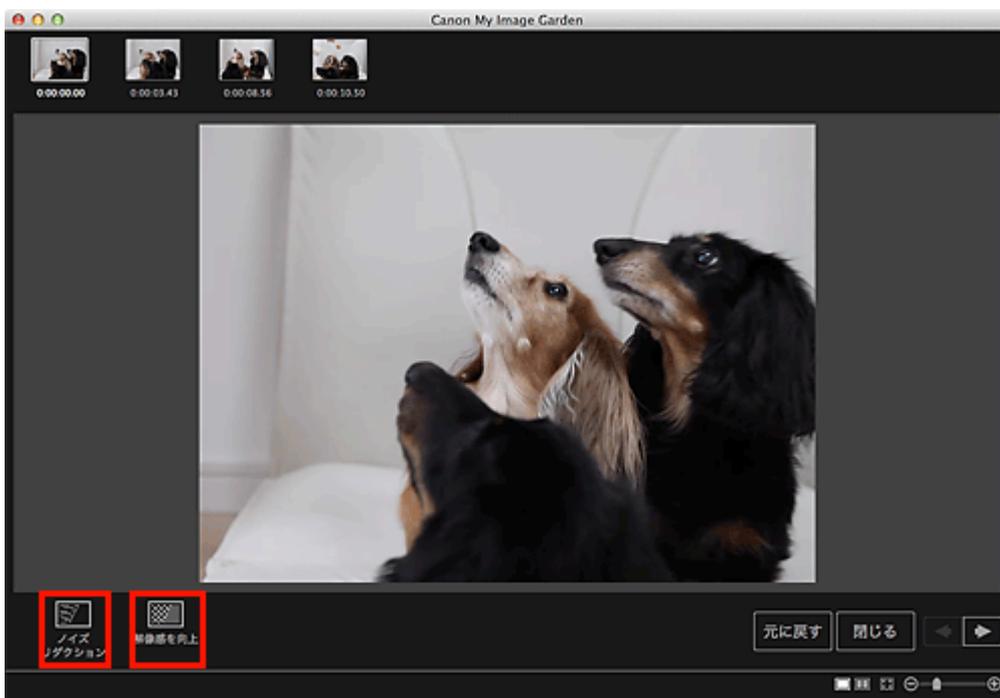
3. 選択画像表示エリアから、補正したい画像を選択



参考

- 複数の画像を選んで補正することもできます。

4. 目的に応じて、【ノイズリダクション】や【解像感を向上】をクリック



画像が補正され、画像の右上に（補正）マークが表示されます。

参考

- 補正した内容を取り消したいときは、【元に戻す】をクリックします。

5. 【閉じる】をクリック

【動画切り出し】ビューに戻ります。

関連項目

- [\[補正\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

いろいろな使い方をしてみよう

- 写真や文書をスキャンしよう
- 作品を編集しよう
- 写真を補正／加工して仕上げよう
- 写真をトリミングしよう
- 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう
- PDFファイルを作成／編集しよう
- 画像から文字を抜きだそう（OCR機能）
- 写真共有サイトから画像をダウンロードしよう

[ページの先頭へ▲](#)

写真や文書をスキャンしよう

- おまかせスキャンでかんたんにスキャンする
- 写真をスキャンする
- 文書をスキャンする
- お気に入りの設定でスキャンする
- スキャンした画像の一部を切り出す（トリミング）

参考

- [スキャン] ビューで、[貼り合わせ] をクリックすることで、原稿台よりも大きなサイズの原稿を左右に分けてスキャンし、画像を貼り合わせて1つの画像に仕上げるすることができます。画像を貼り合わせてスキャンする方法については、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。
- [スキャン] ビューで、[ScanGear] をクリックすることで、ScanGear（スキャナードライバー）が起動し、出力サイズや画像補正などを細かく設定してスキャンすることができます。ScanGearを使用したスキャン方法については、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。

[ページの先頭へ▲](#)

おまかせスキャンでかんたんにスキャンする

原稿の種類を自動で判別させて、かんたんにスキャンできます。

1. ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認
2. ご使用のスキャナーまたはプリンターの原稿台に原稿をセット

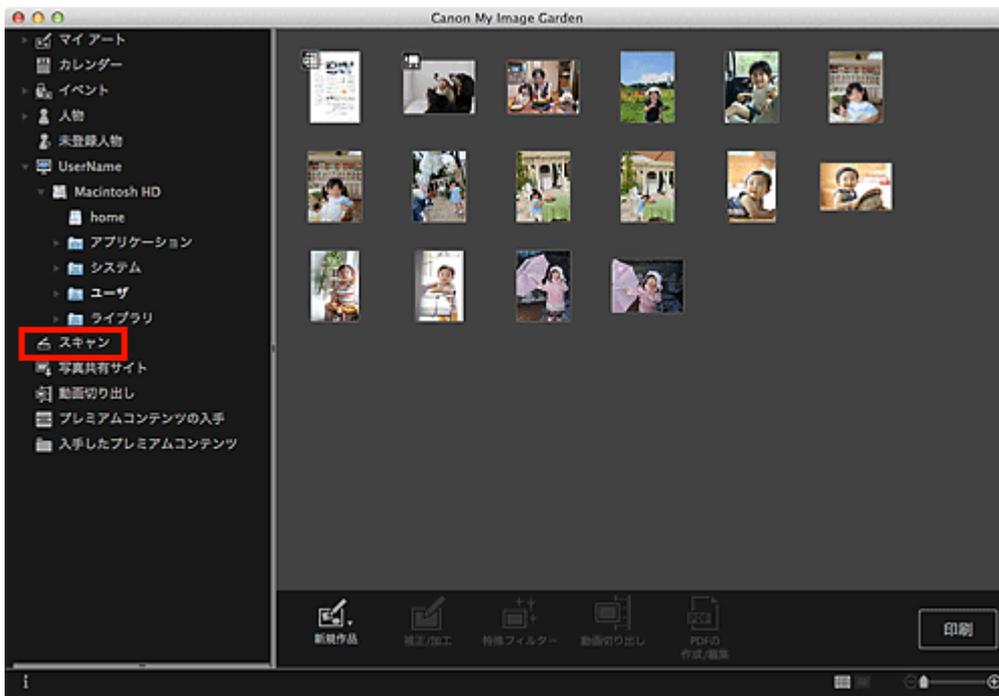
参考

- 原稿のセットのしかたについては、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。

3. My Image Gardenを起動

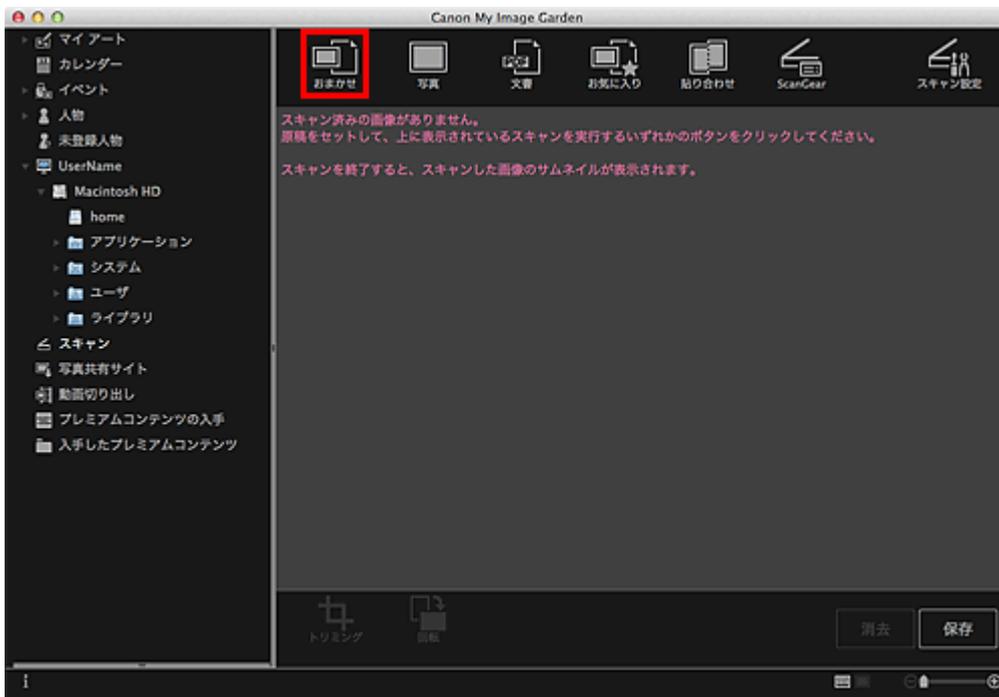
➡ My Image Gardenを起動しよう

4. 【スキャン】をクリック



【スキャン】ビューに切り替わります。

5. 【おまかせ】をクリック

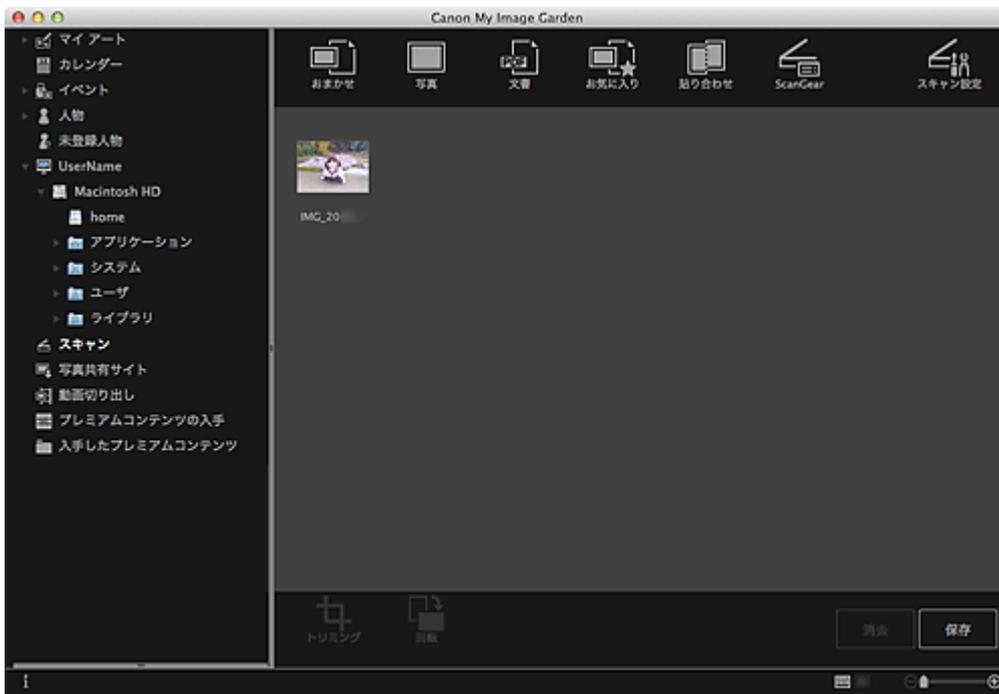


スキャンが開始されます。

参考

- スキャンの詳細を設定したいときは、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページを参照してください。
- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

スキャンが完了すると画像がサムネイル表示されます。



参考

- [回転] をクリックするたびに、選んでいる画像を右に90度回転できます。
- 画像の一部を切り出すこともできます。
 - ➡ スキャンした画像の一部を切り出す（トリミング）
- 回転したり、トリミングしたりしたスキャン画像を保存したいときは、[保存] をクリックしてください。
 - ➡

[保存] ダイアログ ([スキャン] ビュー)

- スキャン画像の保存場所は、 [My Image Garden] メニューから [環境設定...] を選んで表示される [環境設定] ダイアログの [詳細設定] シートで設定できます。詳しい設定方法については、「 [環境設定] ダイアログ」をご覧ください。
-

参考

- スキャンした画像を印刷することもできます。controlキーを押しながらサムネイルをクリックして表示されるメニューから [印刷...] を選ぶと、印刷設定ダイアログが表示されます。使用するプリンターや用紙を選択し、 [印刷] をクリックしてください。
➡印刷設定ダイアログ
-

関連項目

- [スキャン] ビュー

[ページの先頭へ▲](#)

写真をスキャンする

写真原稿に適した設定でスキャンできます。

参考

- 2枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を、一度にまとめてスキャンすることもできます。スキャンの詳細を設定したいときは、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページを参照してください。

1. 原稿台に原稿をセット

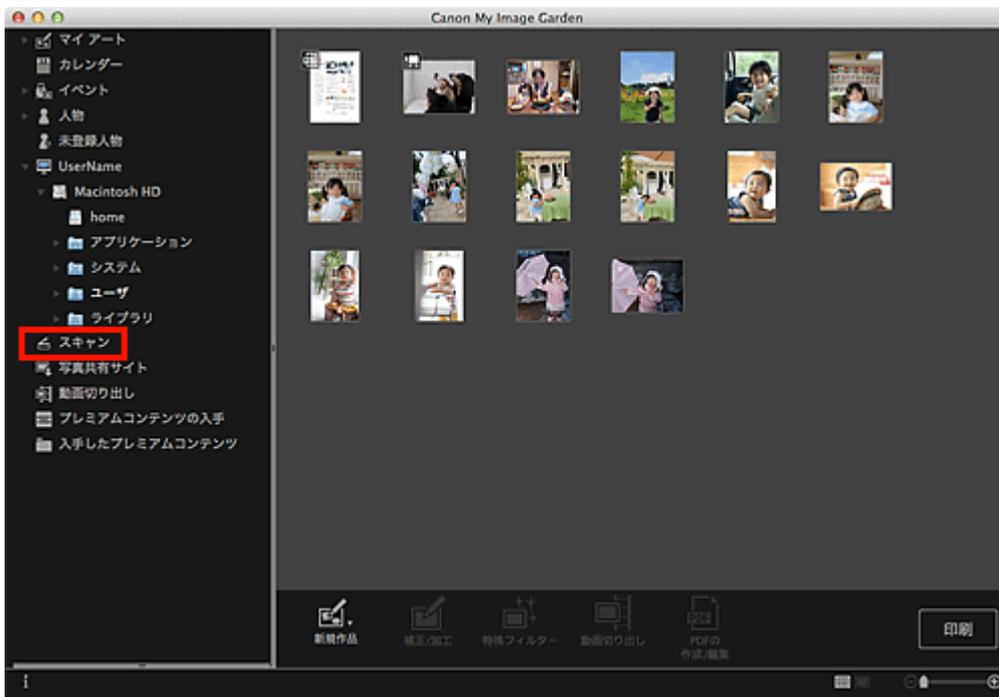
参考

- 原稿のセットのしかたについては、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。

2. My Image Gardenを起動

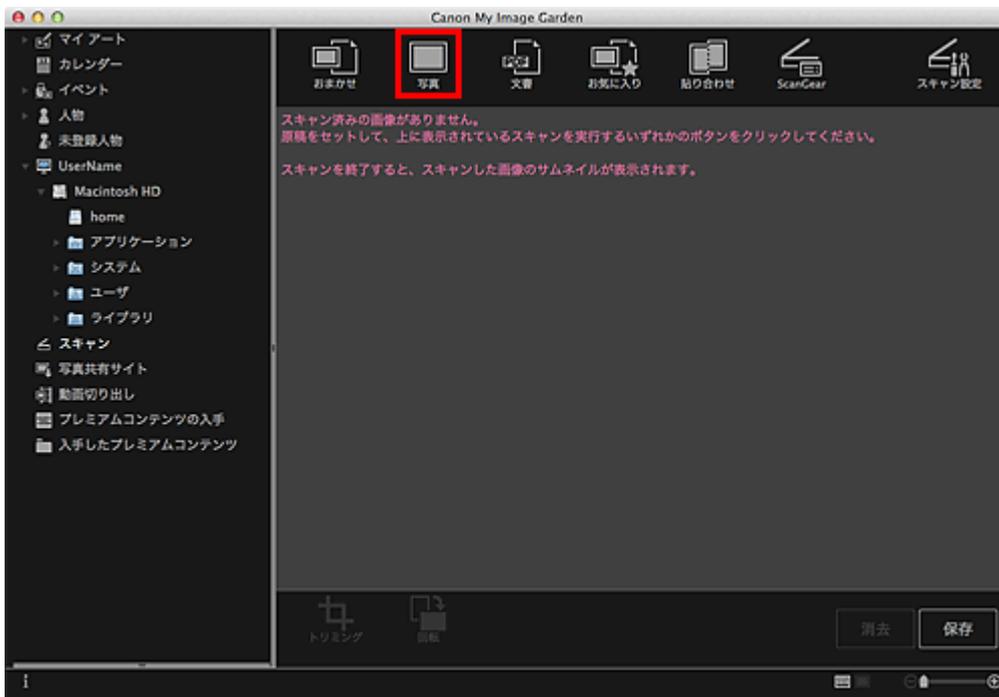
➡ My Image Gardenを起動しよう

3. [スキャン] をクリック



[スキャン] ビューに切り替わります。

4. [写真] をクリック

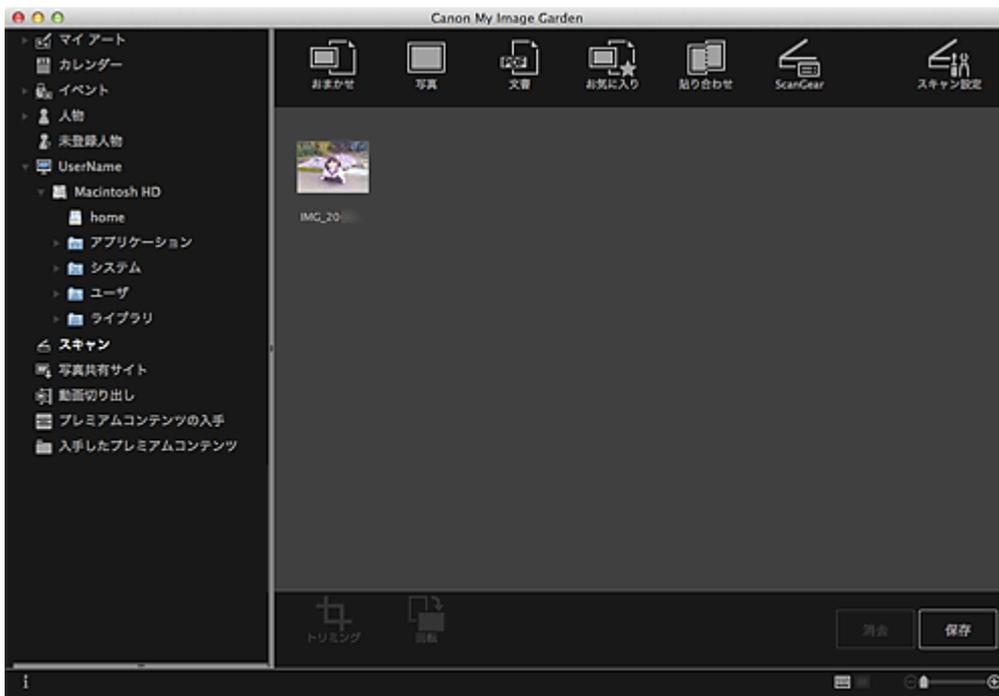


スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

スキャンが完了すると画像がサムネイル表示されます。



参考

- [回転] をクリックするたびに、選んでいる画像を右に90度回転できます。
- 画像の一部を切り出すこともできます。
 - ➡ スキャンした画像の一部を切り出す (トリミング)
- 回転したり、トリミングしたりしたスキャン画像を保存したいときは、[保存] をクリックしてください。
 - ➡ [保存] ダイアログ ([スキャン] ビュー)
- スキャン画像の保存場所は、[My Image Garden] メニューから [環境設定...] を選んで表示される

[環境設定] ダイアログの [詳細設定] シートで設定できます。詳しい設定方法については、「[\[環境設定\] ダイアログ](#)」をご覧ください。

参考

- スキャンした画像を印刷することもできます。controlキーを押しながらサムネイルをクリックして表示されるメニューから [印刷...] を選ぶと、印刷設定ダイアログが表示されます。使用するプリンターや用紙を選択し、[印刷] をクリックしてください。

➡ [印刷設定ダイアログ](#)

関連項目

- [\[スキャン\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

文書をスキャンする

文書原稿に適した設定でスキャンできます。

参考

- 2枚以上の小さいサイズの原稿を、一度にまとめてスキャンすることもできます。スキャンの詳細を設定したいときは、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページを参照してください。

1. 原稿台に原稿をセット

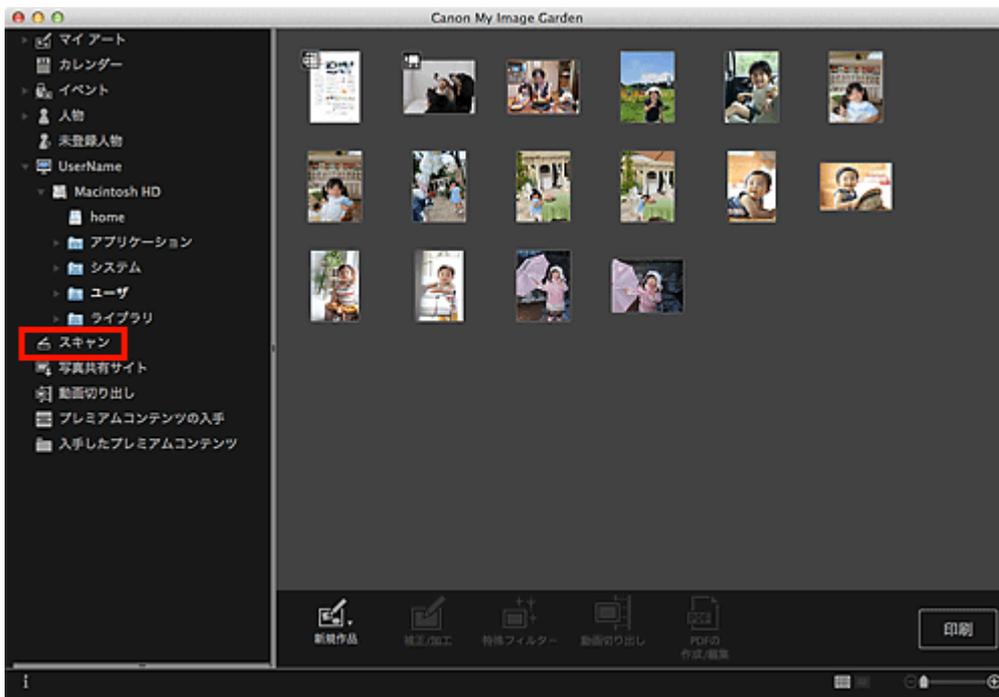
参考

- 原稿のセットのしかたについては、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。

2. My Image Gardenを起動

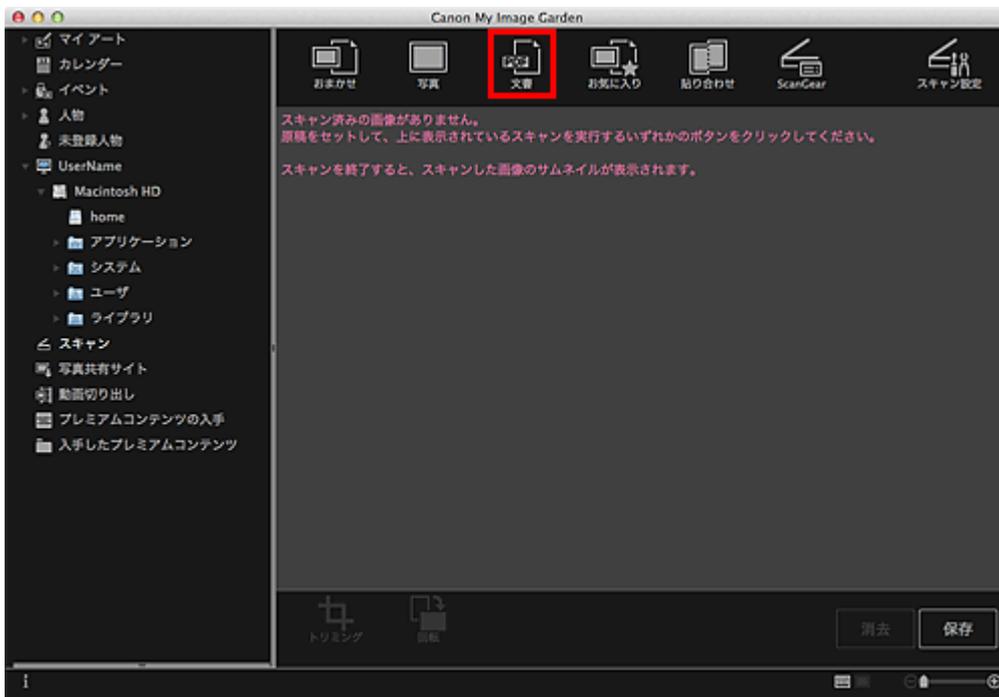
➡ My Image Gardenを起動しよう

3. [スキャン] をクリック



[スキャン] ビューに切り替わります。

4. [文書] をクリック

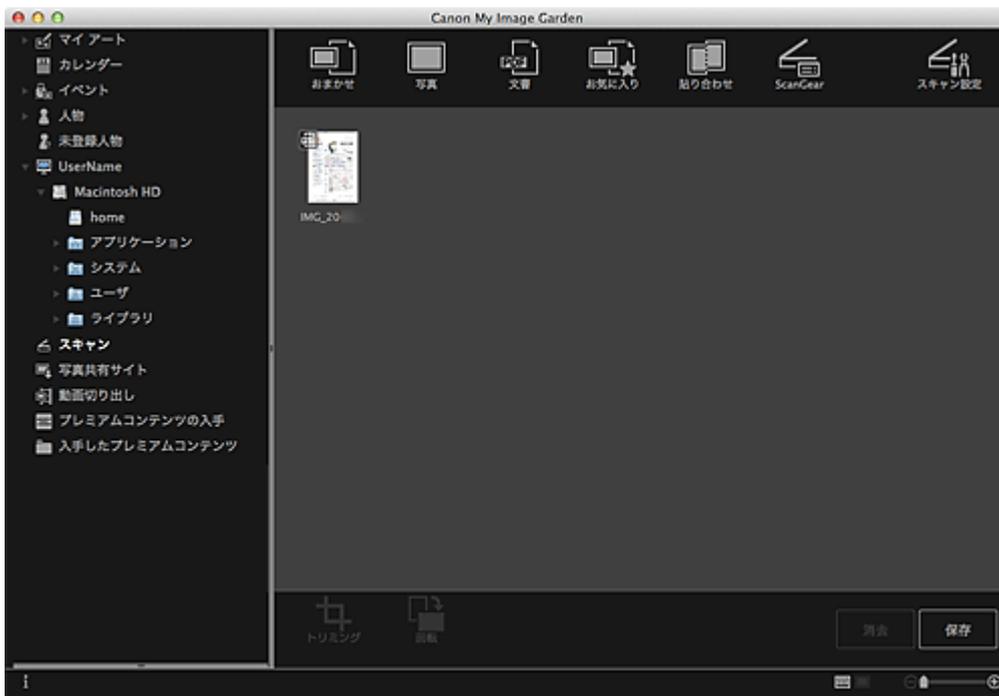


スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

スキャンが完了すると画像がサムネイル表示されます。



参考

- スキャンした画像を保存したいときは、[保存] をクリックしてください。
➡ [保存] ダイアログ ([スキャン] ビュー)
- スキャン画像の保存場所は、[My Image Garden] メニューから [環境設定...] を選んで表示される [環境設定] ダイアログの [詳細設定] シートで設定できます。詳しい設定方法については、「[環境設定] ダイアログ」をご覧ください。

参考

- スキャンした画像を印刷することもできます。controlキーを押しながらサムネイルをクリックして表示されるメニューから [印刷...] を選ぶと、印刷設定ダイアログが表示されます。使用するプリンターや用紙を選択

し、[印刷] をクリックしてください。

➡印刷設定ダイアログ

関連項目

● [スキャン] ビュー

ページの先頭へ ▲

お気に入りの設定でスキャンする

あらかじめ登録しておいた、よく使用するお好みの設定でスキャンできます。

参考

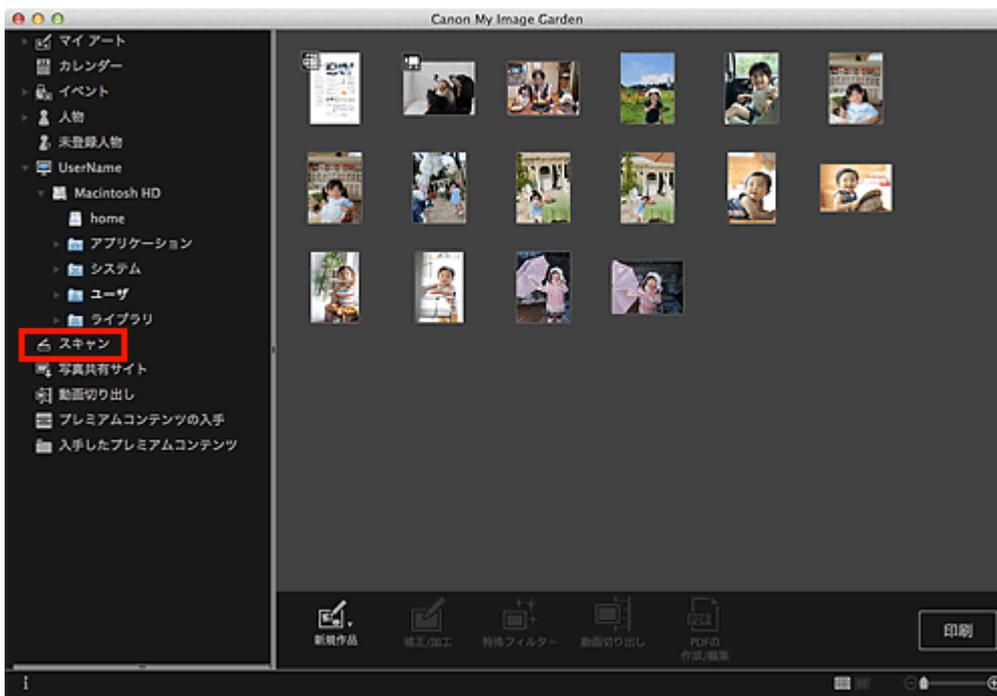
- お気に入りの設定は、[スキャン設定] をクリックして表示されるダイアログで登録しておくことができます。詳しい設定方法については、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。

1. 原稿台に原稿をセット

2. My Image Gardenを起動

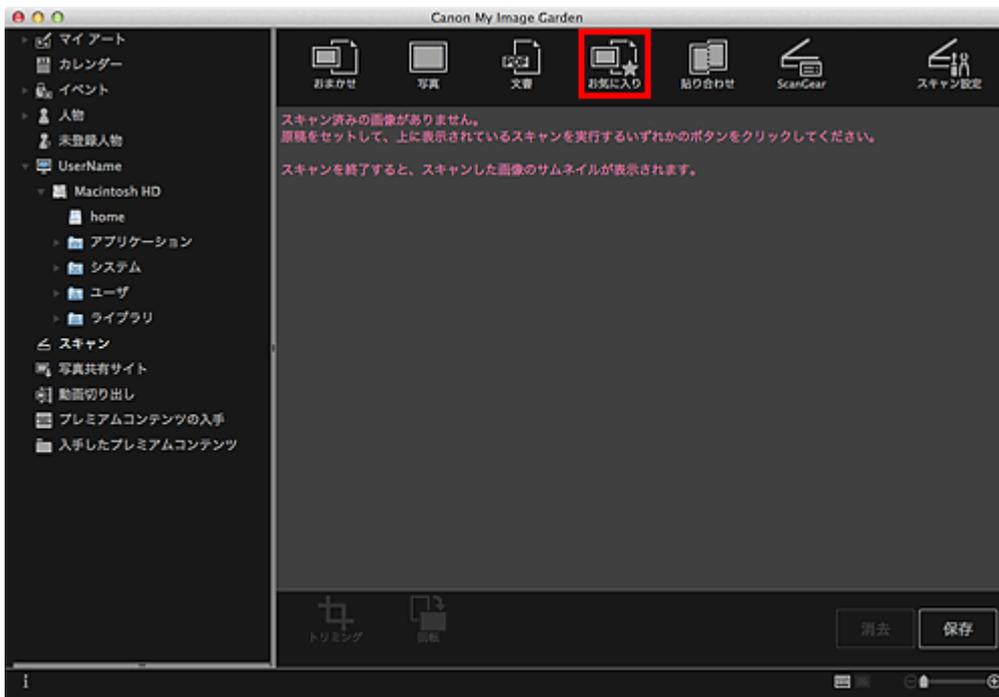
➡ My Image Gardenを起動しよう

3. [スキャン] をクリック



[スキャン] ビューに切り替わります。

4. [お気に入り] をクリック

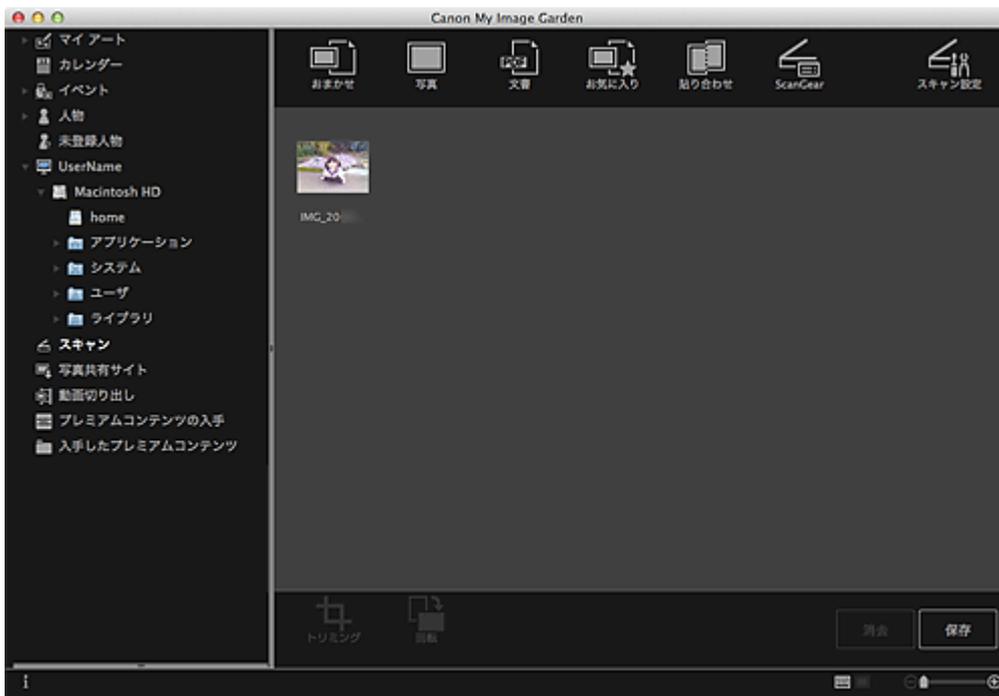


スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

スキャンが完了すると画像がサムネイル表示されます。



参考

- [回転] をクリックするたびに、選んでいる画像を右に90度回転できます。
- 画像の一部を切り出すこともできます。
 - ➡ スキャンした画像の一部を切り出す (トリミング)
- 回転したり、トリミングしたりしたスキャン画像を保存したいときは、[保存] をクリックしてください。
 - ➡ [保存] ダイアログ ([スキャン] ビュー)
- スキャン画像の保存場所は、[My Image Garden] メニューから [環境設定...] を選んで表示される

[環境設定] ダイアログの [詳細設定] シートで設定できます。詳しい設定方法については、「[\[環境設定\] ダイアログ](#)」をご覧ください。

参考

- スキャンした画像を印刷することもできます。controlキーを押しながらサムネイルをクリックして表示されるメニューから [印刷...] を選ぶと、印刷設定ダイアログが表示されます。使用するプリンターや用紙を選択し、[印刷] をクリックしてください。

➡ [印刷設定ダイアログ](#)

関連項目

- [\[スキャン\] ビュー](#)

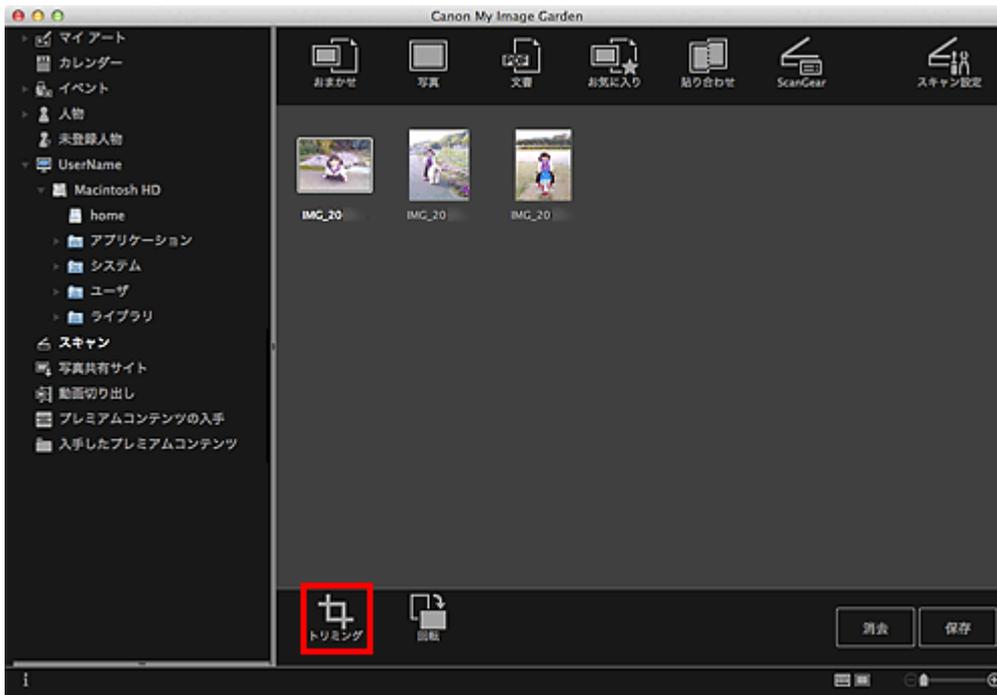
[ページの先頭へ▲](#)

スキャンした画像の一部を切り出す (トリミング)

スキャンした画像をトリミングできます。「トリミング」とは、画像の必要な部分だけを選び、不要な部分を取り除くことをいいます。



1. [スキャン] ビューで画像を選び、画面下側の [トリミング] をクリック



[トリミング] ビューに切り替わり、画像のふちに白枠が表示されます。

参考

- 画像をスキャンする手順については、「[写真をスキャンする](#)」をご覧ください。

2. 画像上の白枠をドラッグして、トリミング範囲を調整し、[適用] をクリック



参考

- 白枠の内側にカーソルを合わせてドラッグすると、トリミング範囲を移動できます。
- [回転] をクリックするたびに、選んでいる画像を右に90度回転できます。

3. [閉じる] をクリック

[スキャン] ビューに切り替わります。

4. [保存] をクリック

➡ [保存] ダイアログ ([スキャン] ビュー)

関連項目

- [トリミング] ビュー ([スキャン] ビュー)

ページの先頭へ ▲

作品を編集しよう

- テーマや主役を設定する
- 背景を変更する
- レイアウトを変更する
- 自動的に写真を並べる
- ページを追加／削除／並べ替えする
- 画像を挿入／調整する
- 文字を入れる

[ページの先頭へ▲](#)

テーマや主役を設定する

【マイ アート】ビューでは、作品のテーマや主役を設定できます。

参考

- 【マイ アート】ビューに切り替える方法については、「【マイ アート】ビュー」をご覧ください。
- コラージュを編集する場合を例に説明しています。作成する作品によって、画面が異なることがあります。

1. 【マイ アート】ビューで【テーマと主役】をクリック



【テーマと主役の選択】ダイアログが表示されます。

2. お好みのテーマを選択



3. 人物の優先順位を設定

〔優先度1〕、〔優先度2〕 を選べます。

優先度を設定しない場合には空欄のままとしてください。



4. 〔用紙サイズ〕、〔用紙の向き〕 を選択

参考

- 選べる〔用紙サイズ〕や〔用紙の向き〕は、テーマによって異なります。

5. 〔おすすめの商品を表示する〕にチェックマークが付いていることを確認

画像に登録されている情報をもとに、作品のレイアウト枠に画像が自動で挿入されます。

画像に情報を登録する方法については、「写真にいろいろな情報を登録しよう」をご覧ください。

参考

- お気に入り度が高い画像やよく閲覧されている画像が、優先的に使用されます。

- 作品に挿入する画像を指定したいときは、チェックを外してください。画像の挿入方法については、「[画像を挿入／調整する](#)」をご覧ください。
 - グローバルメニューの [未登録人物] が [人物を確認中...] と表示されているときは、解析が終わっていない画像が自動配置の対象外になるため、思ったような結果が得られないことがあります。
 - 画像の解析結果によっては、主役に設定した人物とは別の人物が配置されることがあります。
-

6. [OK] をクリック

テーマと主役が設定され、作品が表示されます。

関連項目

- [\[テーマと主役の選択\] ダイアログ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

背景を変更する

[マイ アート] ビューでは、作品の背景をページごとに変更できます。

重要

- プレミアムコンテンツを利用しているときは、この機能を使用できません。
- 作品の種類やテーマによっては、この機能を使用できない場合があります。

参考

- [マイ アート] ビューに切り替える方法については、「[マイ アート] ビュー」をご覧ください。
- ディスクレーベルを編集する場合を例に説明しています。作成する作品によって、画面が異なることがあります。

1. ページサムネイル表示エリアで背景を変更したいページを選択



参考

- ページサムネイル表示エリアが表示されていないときは、操作ボタンの上にあるラインをクリックしてください。

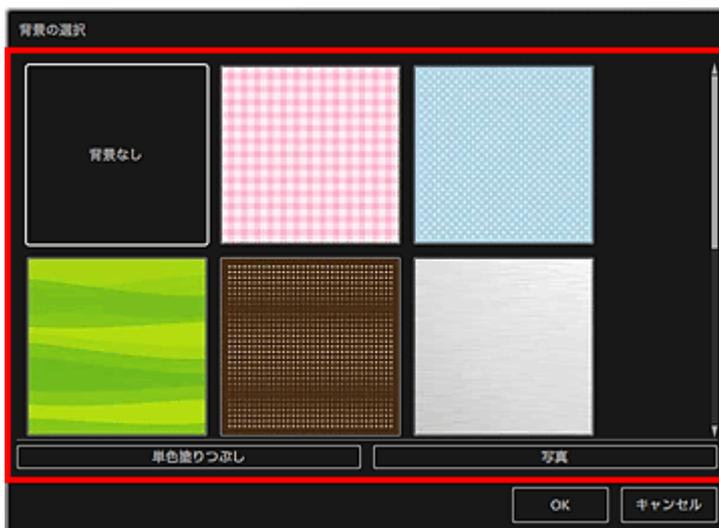
2. [背景] をクリック



「背景の選択」ダイアログが表示されます。

3. 背景を選択

「背景の選択」ダイアログで背景の種類を選びます。



【背景なし】を選んだ場合

背景は無地（白紙）になります。

サンプル画像を選んだ場合

選んだ画像が背景に設定されます。

【単色塗りつぶし】を選んだ場合

【カラー】ダイアログが表示されます。設定したい色を選びます。

【写真】を選んだ場合

お好みの画像を背景に挿入できます。

参考

- 作品の種類や選んでいるテーマによっては、【単色塗りつぶし】や【写真】が表示されません。

4. 【OK】をクリック

選択中のページに、選んだ背景が設定されます。

〔写真〕を選んだ場合は、素材置き場から画像をドラッグ&ドロップして背景に挿入できるようになります。また、写真などの原稿をスキャンして背景に挿入することもできます。編集エリアでcontrolキーを押しながらページの背景部分をクリックし、表示されたメニューから〔スキャン画像を使う〕を選んでください。

背景を挿入すると、画像の右下に背景編集ツールが表示され、背景画像の位置や透明度、サイズを調整できます。



 (位置調整)

カーソルを (移動) と通常のカーソルに切り替えられます。 (移動) のときに画像をドラッグすると、位置が変更できます。通常のカーソルにすると画像の位置が固定されます。

 (透明度調整)

スライダーをドラッグして画像の透明度を自由に調整できます。また、 (透明度0%)、 (透明度100%) をクリックして、透明度を変更することもできます。

  (縮小／拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、背景画像の表示サイズを縮小／拡大できます。また、スライダーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

- プレビューの表示サイズによっては、背景編集ツールがページサムネイル表示エリアに隠れて操作できないことがあります。この場合は、ページサムネイル表示エリアの上部にあるバーをクリックして非表示にしてください。
- 背景にスキャンした画像を挿入する手順については、「[画像を挿入／調整する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [● \[背景の選択\] ダイアログ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

レイアウトを変更する

[マイ アート] ビューでは、作品のレイアウトをページごとに変更できます。

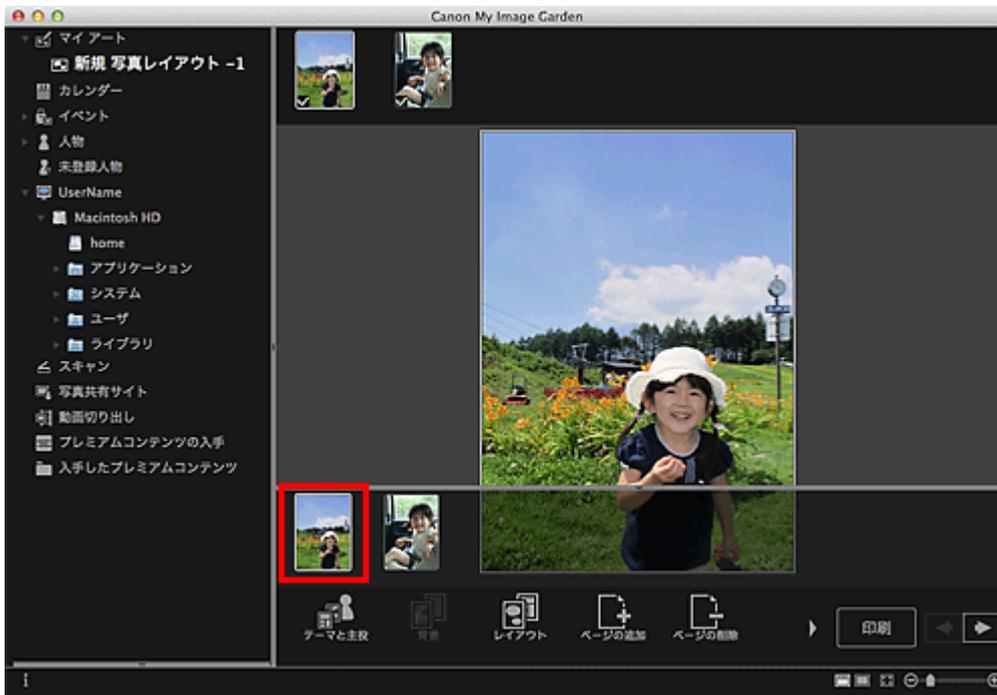
重要

- プレミアムコンテンツを利用しているときは、この機能を使用できません。
- 作品の種類やテーマによっては、この機能を使用できない場合があります。

参考

- [マイ アート] ビューに切り替える方法については、「[\[マイ アート\] ビュー](#)」をご覧ください。
- 写真レイアウトを編集する場合を例に説明しています。作成する作品によって、画面が異なることがあります。

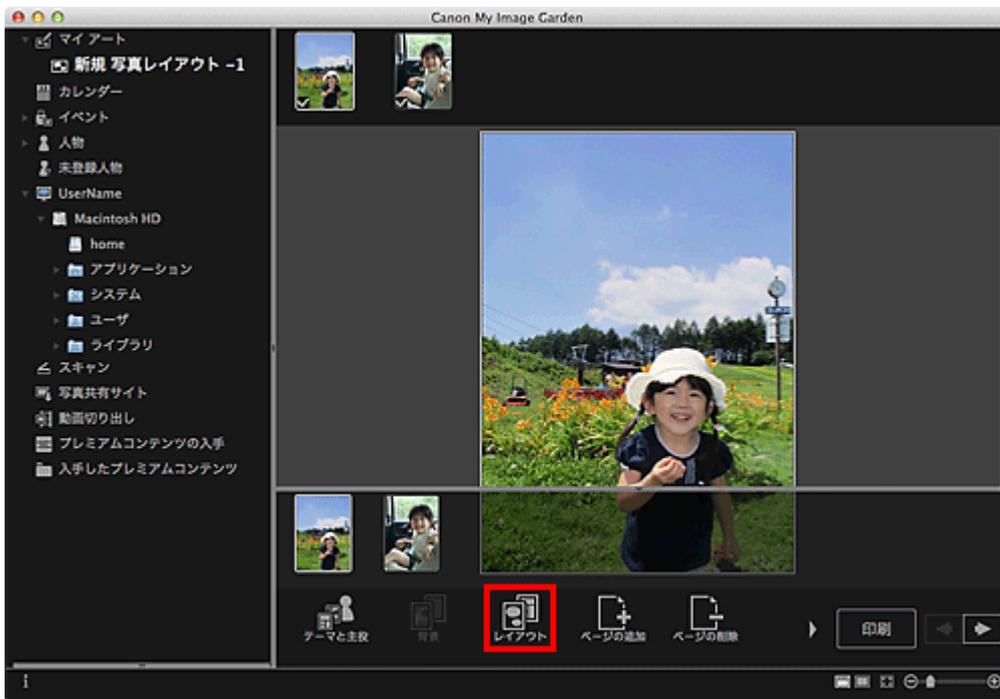
1. ページサムネイル表示エリアでページを選択



参考

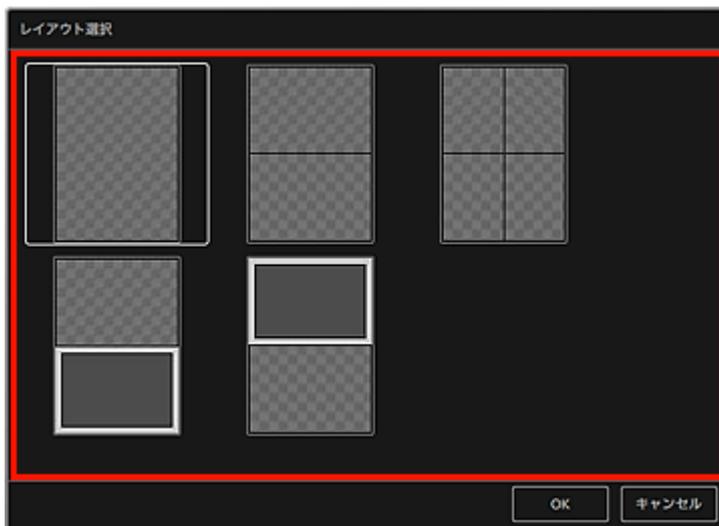
- ページサムネイル表示エリアが表示されていないときは、操作ボタンの上にあるラインをクリックしてください。

2. [レイアウト] をクリック



[レイアウト選択] ダイアログが表示されます。

3. お好みのレイアウトを選択



4. [OK] をクリック

選択中のページが、選んだレイアウトに変更されます。

関連項目

- [レイアウト選択] ダイアログ

ページの先頭へ▲

自動的に写真を並べる

[マイ アート] ビューでは、作品のレイアウト枠に画像を自動で配置できます。

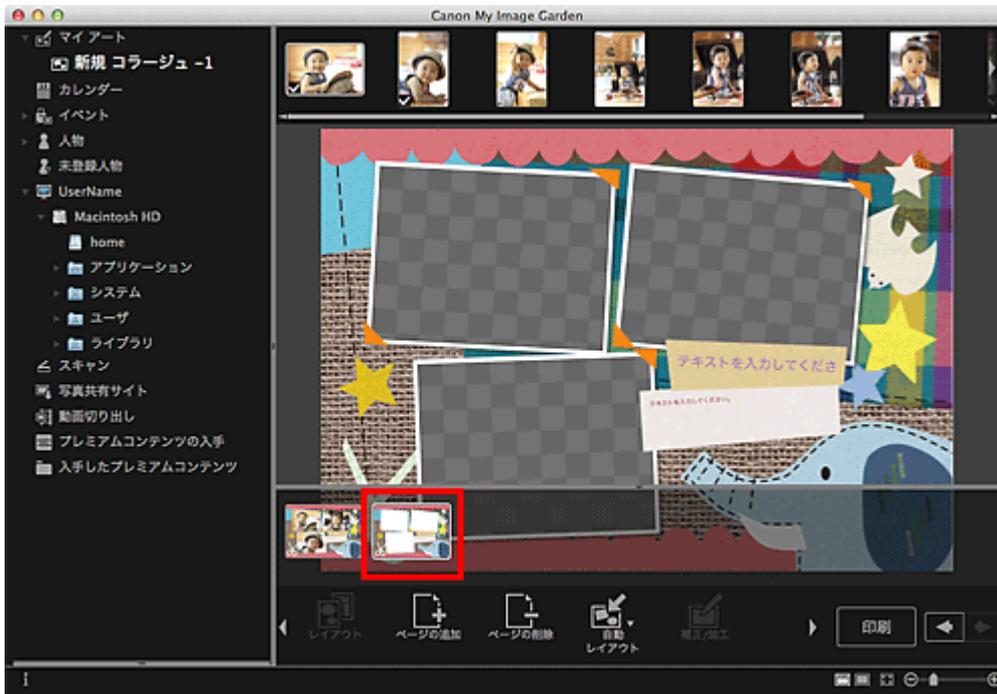
重要

- プレミアムコンテンツを利用しているときは、この機能が使用できないことがあります。

参考

- [マイ アート] ビューに切り替える方法については、「[マイ アート] ビュー」をご覧ください。
- コラージュを編集する場合を例に説明しています。作成する作品によって、画面が異なることがあります。

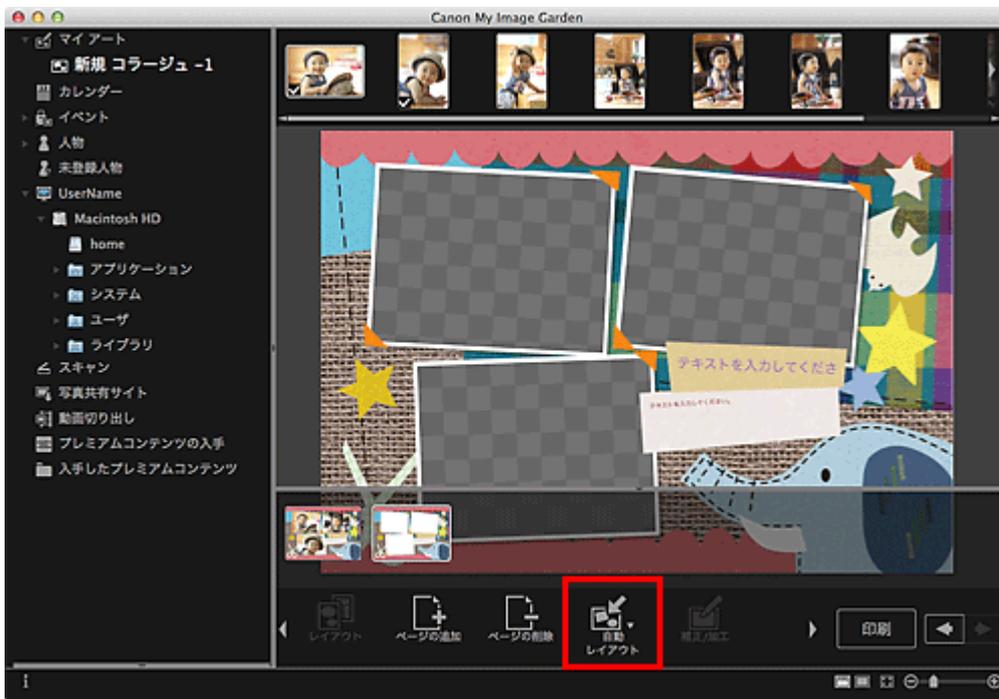
1. ページサムネイル表示エリアで画像を配置したいページを選択



参考

- ページサムネイル表示エリアが表示されていないときは、操作ボタンの上にあるラインをクリックしてください。

2. [自動レイアウト] をクリック



3. 表示されたメニューからレイアウトの種類を選択

選んだレイアウトの種類によって、素材置き場の画像が自動で配置されます。

【おすすめの作品を表示する】を選んだ場合

画像に登録されているお気に入り度や人物の情報をもとに、最適な画像が選ばれてレイアウト枠に配置されます。この項目を選ぶたびに画像の配置が切り替わり、さまざまなパターンの作品が表示されます。

重要

- 素材置き場に画像解析が終了していない画像があると、期待したレイアウトにならない場合があります。画像解析の設定方法については、「[\[画像解析設定\] シート](#)」をご覧ください。

【素材の配置順】を選んだ場合

素材置き場の表示順に、画像がレイアウト枠に配置されます。

【日付順】を選んだ場合

撮影日や日付の古いものから順に、画像がレイアウト枠に配置されます。

参考

- 編集エリアの画像をドラッグ&ドロップして、配置された画像を並べ替えることもできます。

ページの先頭へ ▲

ページを追加／削除／並べ替える

【マイ アート】ビューでは、作品にページを追加したり、削除したりできます。また、ページの順番を並べ替えることもできます。

➡ ページを追加する

➡ ページを削除する

➡ ページを並べ替える

重要

- カレンダーやカードのときは、この機能が使用できません。
- プレミアムコンテンツを利用しているときは、この機能を使用できません。

参考

- 【マイ アート】ビューに切り替える方法については、「【マイ アート】ビュー」をご覧ください。
- コラージュを編集する場合を例に説明しています。作成する作品によって、画面が異なることがあります。

ページを追加する

編集エリアに表示されているページと同じレイアウトのページを追加できます。

1. ページサムネイル表示エリアでページを選択



参考

- ページサムネイル表示エリアが表示されていないときは、操作ボタンの上にあるラインをクリックしてください。

【ページの追加】をクリック

2.



選択中のページの後ろに、新しいページが追加されます。

ページを削除する

不要なページを削除できます。

参考

- ページが複数あるときにのみ削除できます。

1. ページサムネイル表示エリアで不要なページを選択



参考

- ページサムネイル表示エリアが表示されていないときは、操作ボタンの上にあるラインをクリックしてください。

2. [ページの削除] をクリック



ページが削除されます。

ページを並べ替える

ページサムネイル表示エリアで、選んだページをドラッグ&ドロップすると、ページの順番を並べ替えることができます。



ページの先頭へ▲

画像を挿入／調整する

【マイアート】ビューでは、素材をドラッグ&ドロップするか、写真などの原稿をスキャンして、作品に画像を挿入できます。また、画像の角度や位置、サイズを変更できます。画像を補正／加工することもできます。

- ➡ 素材置き場から画像を挿入する
- ➡ 画像をスキャンして挿入する
- ➡ 画像を調整する
- ➡ 画像を補正／加工する

重要

- プレミアムコンテンツを利用しているときは、この機能が使用できないことがあります。

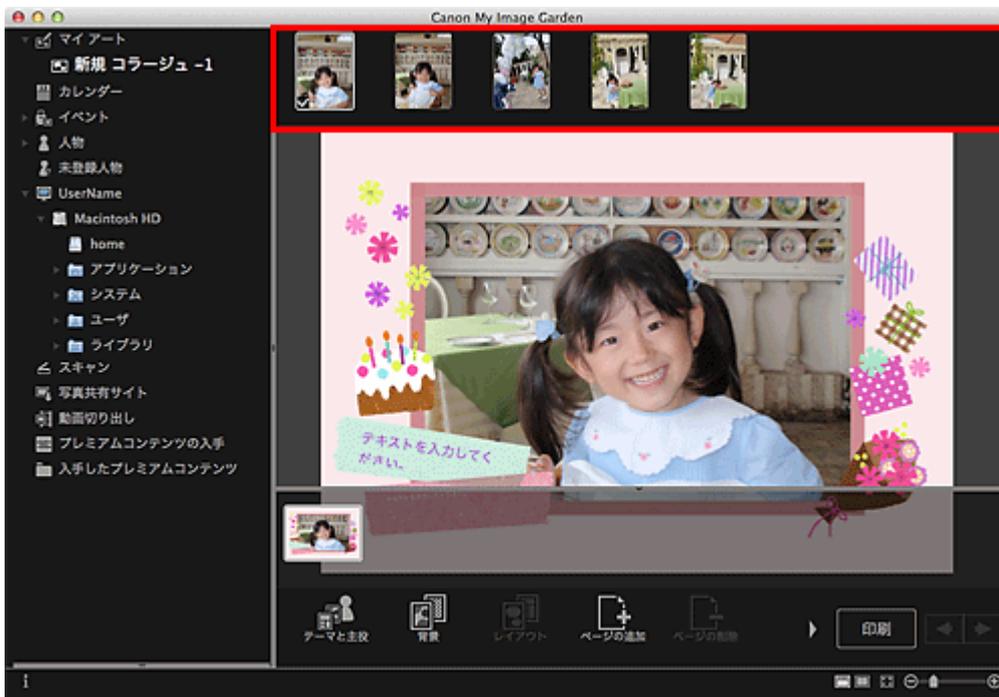
参考

- 【マイアート】ビューに切り替える方法については、「【マイアート】ビュー」をご覧ください。
- コラージュを編集する場合を例に説明しています。作成する作品によって、画面が異なることがあります。

素材置き場から画像を挿入する

作品のレイアウト枠に素材置き場の画像を挿入したり、入れ替えたりできます。

1. 【マイアート】ビューで素材置き場の画像を選択



2. 作品のレイアウト枠にドラッグ&ドロップ

画像をレイアウト枠に移動すると、画像上にプラスアイコンが表示されます。

画像をスキャンして挿入する

お気に入りの写真などをスキャンして作品に挿入できます。かんたんな操作でスキャンしたり、ScanGear（スキャナードライバー）を使ってスキャンしたりできます。

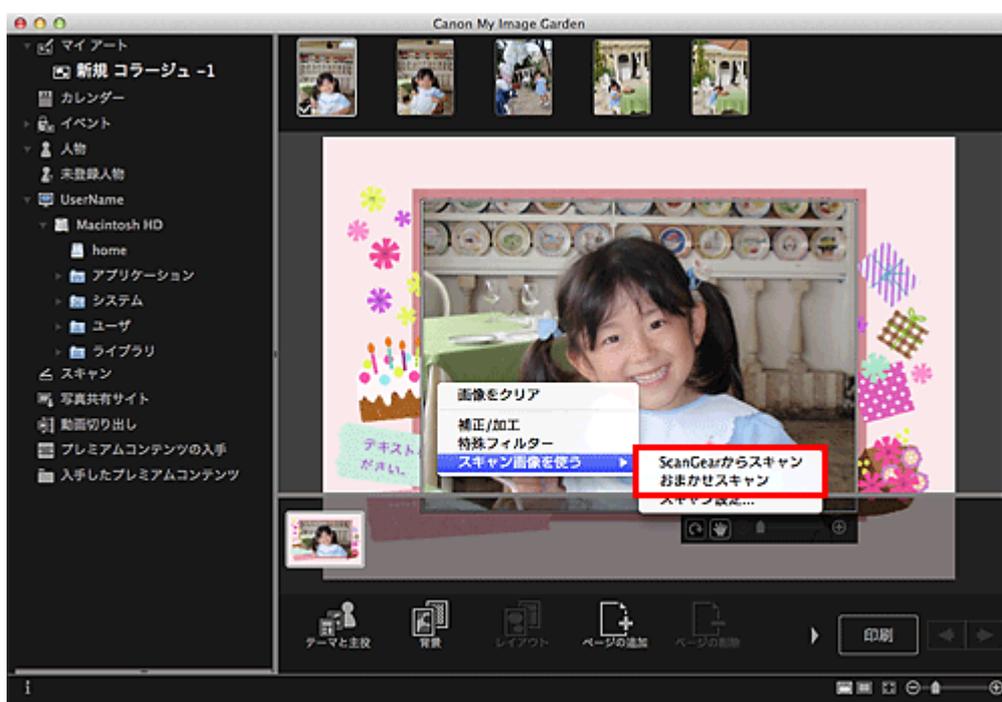
1. 原稿台に原稿をセット

2. 【マイ アート】ビューの編集エリアでcontrolキーを押しながら画像やレイアウト枠、背景をクリックし、表示されたメニューから【スキャン画像を使う】を選択

参考

- 背景にスキャンした画像を挿入する場合は、【背景の選択】ダイアログで【写真】にチェックマークを付けてください。

3. 【スキャン画像を使う】メニューから【ScanGearからスキャン】または【おまかせスキャン】をクリック



【ScanGearからスキャン】を選んだ場合

ScanGearの画面が表示されます。お好みのモードでスキャンできます。

スキャンの詳細については、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。

【おまかせスキャン】を選んだ場合

スキャンが開始されます。原稿が自動で判別されます。

参考

- スキャンや保存の詳細を設定したい場合は、【スキャン画像を使う】メニューから【スキャン設定...】をクリックしてください。設定方法については、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。

画像を調整する

作品に挿入した画像の角度や位置、サイズを変更できます。また、画像の明るさやコントラストの調整、特殊なフィルターを使って画像を加工することもできます。

画像の角度、位置、サイズを変更する

1. 【マイ アート】ビューの編集エリアで画像を選択

選んだ画像の下に画像編集ツールが表示されます。



2. 編集ツールを使用して角度や位置、サイズを変更

 (90度回転)

クリックするたびに、画像を右に90度回転できます。

 (位置調整)

カーソルを  (移動) と通常のカーソルに切り替えられます。  (移動) のときに画像をドラッグすると、位置が変更できます。通常のカーソルにすると画像の位置が固定されます。

 (縮小/拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、画像の表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライダーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

- 作品が写真レイアウトの場合は、【日付を付ける】が表示されます。クリックすると、写真に日付を挿入できます。

画像を補正/加工する

1. 編集エリアでcontrolキーを押しながら画像をクリックし、表示されたメニューから【補正/加工】または【特殊フィルター】を選択



【補正/加工】を選んだ場合

〔画像の補正/加工〕ウィンドウが表示されます。赤目を補正したり、画像の明るさやコントラストを調整したりできます。

➡ 写真を補正/加工して仕上げよう

【特殊フィルター】を選んだ場合

〔画像の特殊フィルター〕ウィンドウが表示されます。お好みのフィルターを使って、写真を楽しく加工できます。

➡ 特殊なフィルターを使って写真を加工しよう

ページの先頭へ ▲

文字を入れる

【マイ アート】ビューでは、カードやコラージュ、ディスクレーベルなどテキストボックスがある作品に文字を入れることができます。

重要

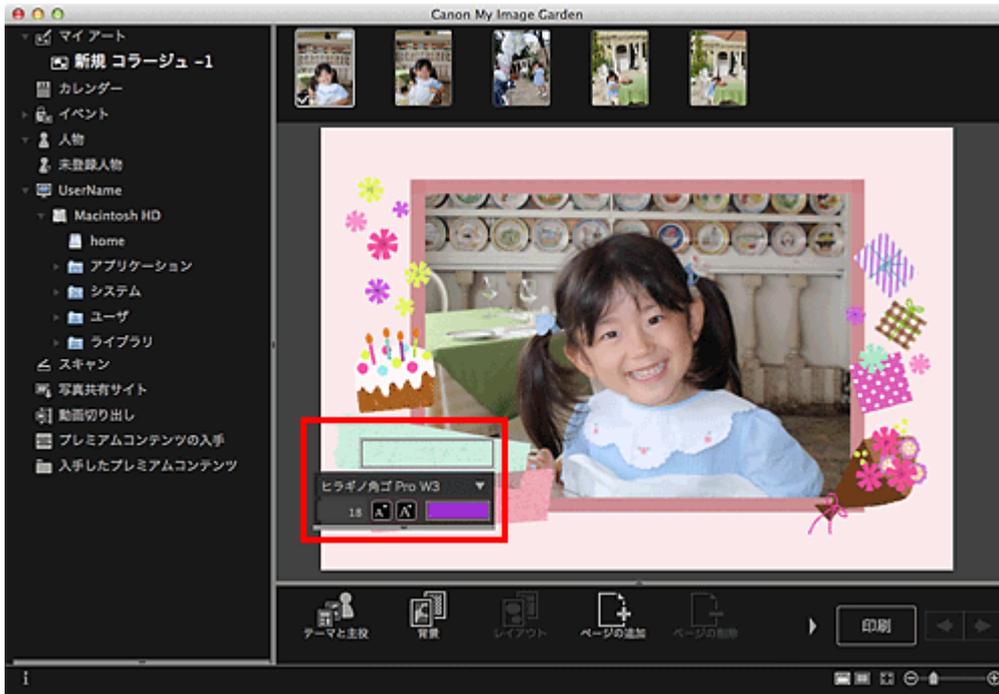
- 作品の種類やテーマによっては、この機能を使用できない場合があります。

参考

- 【マイ アート】ビューに切り替える方法については、「【マイ アート】ビュー」をご覧ください。
- コラージュを編集する場合を例に説明しています。作成する作品によって、画面が異なることがあります。

1. 【マイ アート】ビューで作品のテキストボックスをクリック

テキストボックスの下にテキスト入力設定パレットが表示されます。



2. テキストボックスに文字を入力

3. テキスト入力設定パレットで、フォントの種類やサイズ、色、テキストの位置を変更



(1) フォント

フォントの種類を選びます。

(2) サイズ

文字の大きさは、5～100ポイントの範囲で設定できます。



(サイズ小)

クリックするたびに、文字サイズが1ポイント小さくなります。



(サイズ大)

クリックするたびに、文字サイズが1ポイント大きくなります。

(3) 色

文字の色を選べます。



(色の設定)

クリックすると、[カラー] ダイアログが表示されます。設定したい色を選んでください。

(4) 文字揃え

文字を揃える基準を設定できます。

文字揃えは、左揃え、中央揃え、右揃えのいずれかを選べます。

(5) 文字スタイル

文字の書体を設定できます。

書体の種類は、太字、斜体、袋文字、影文字のいずれかを選べます。

複数の書体を設定することもできます。

参考

- 文字揃えや文字スタイルは、テキスト入力設定パレットの下部にあるラインをクリックすると、表示/非表示されます。
- 選んでいるフォントによって、使用できる文字スタイルが異なります。

4. テキストボックスの外をクリック

入力したテキストが、作品に反映されます。

[ページの先頭へ▲](#)

写真を補正／加工して仕上げよう

赤目を補正したり、画像の明るさやコントラストを調整したりできます。

【マイアート】ビューの編集エリア、【カレンダー】ビューの【日付表示】、【イベント】ビュー、【人物】ビューの展開表示、【未登録人物】ビュー、フォルダービューで画像を選び、画面下側の【補正/加工】をクリックすると、【画像の補正/加工】ウィンドウが表示されます。【画像の補正/加工】ウィンドウでは、以下のような補正／加工を行うことができます。

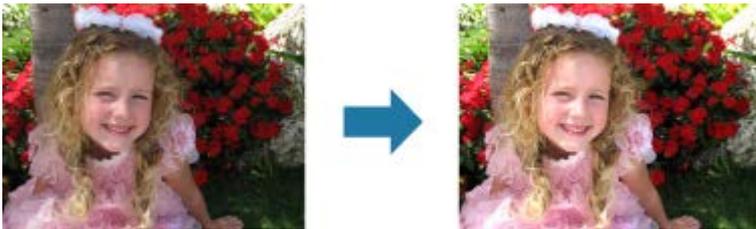
重要

- PDFファイルを選んでいる場合、この機能は使用できません。
- 選んだ画像のサイズによっては、メモリーが不足し、補正／加工できない場合があります。

自動写真補正

撮影したシーンを解析し、自動で写真に最適な補正が行えます。

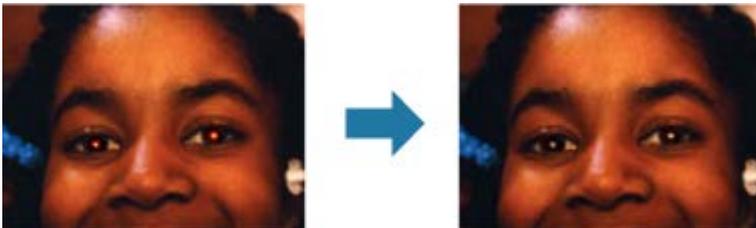
➡自動写真補正を行う



赤目補正

フラッシュによって赤く写ってしまった目の色を、目立たなくすることができます。

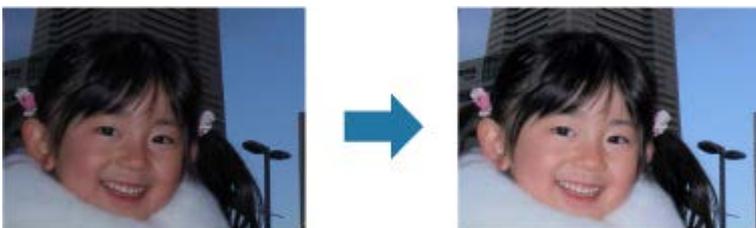
➡赤目補正を行う



顔明るく補正

逆光で暗くなってしまった顔を、明るくすることができます。

➡顔明るく補正を行う



顔くっきり補正

ぼやけた人物の顔を、くっきりさせることができます。

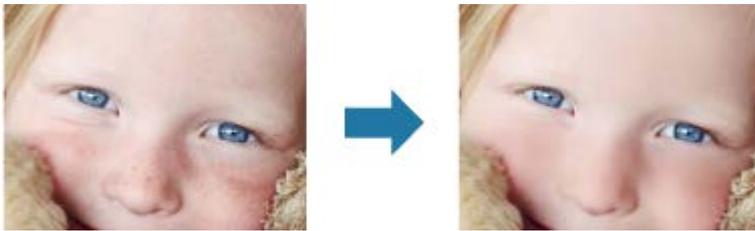
➡ 顔くっきり補正を行う



美肌加工

肌のしみやしわを目立たなくさせ、肌を美しく加工することができます。

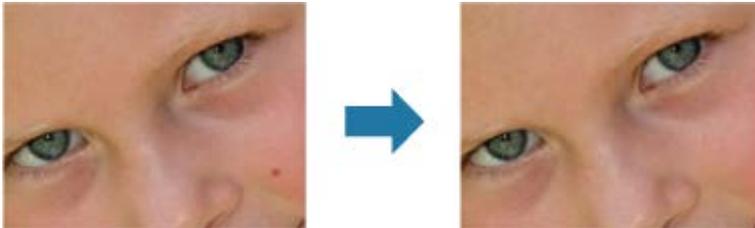
➡ 美肌加工を行う



ほくろ除去

ほくろを目立たなくすることができます。

➡ ほくろ除去を行う

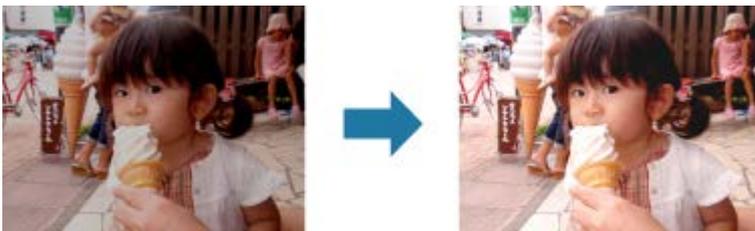


画像調整

明るさやコントラスト、画像全体をはっきりさせるなどの調整をすることができます。

また、画像の輪郭をぼかしたり、下地の写り込みを除去したりすることもできます。

➡ 画像調整を行う



トリミング

画像の必要な部分だけを選び、不要な部分を取り除くことができます。

➡ 写真をトリミングしよう



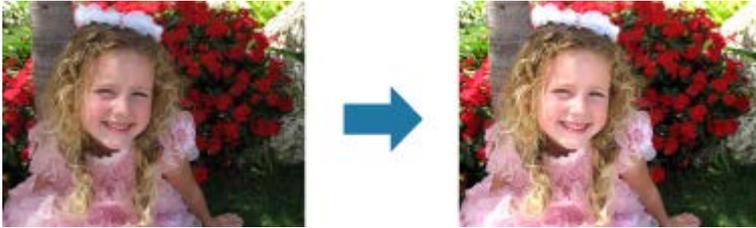
関連項目

- [\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

自動写真補正を行う

撮影したシーンを解析し、自動で写真に最適な補正を行うことができます。



重要

- 自動写真補正して保存した画像には、自動写真補正を行うことができません。また、他社のアプリケーションソフトやデジタルカメラなどで編集した画像も、自動写真補正ができない場合があります。

参考

- 印刷時に自動で写真補正を行うことができます。設定方法については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

1. 補正したい画像を選択

➡ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

2. 画面下側の【補正/加工】をクリック

[画像の補正/加工] ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、補正したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

4. 【自動】が選択されていることを確認

5. 【自動写真補正】をクリックし、【実行】をクリック

写真全体が自動で補正され、画像の左上に（補正/加工）マークが表示されます。

- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに補正前と補正後の画像が並んで表示され、補正効果を確認できます。
- 補正した内容をすべて取り消したいときは、【選択画像を初期状態に戻す】をクリックします。
- 選択画像表示エリアに表示されている画像をまとめて補正したいときは、【すべての画像に適用する】にチェックマークを付けます。
- 【Exif情報を優先する】は、チェックを外しておくことをお勧めします。
チェックマークを外すと、画像の解析結果を元に補正を行います。
チェックマークを付けると、画像撮影時の設定を優先して補正されます。
- 画像によっては期待した補正結果が得られない場合があります。

6. 【選択画像を保存】または【補正画像をすべて保存】をクリック

補正した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、【選択画像を保存】をクリックします。補正した画像をまとめて保存したいときは、【補正画像をすべて保存】をクリックします。
- 補正済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

7. 【終了】をクリック

- 補正した画像を保存していない場合、補正した内容は消去されます。

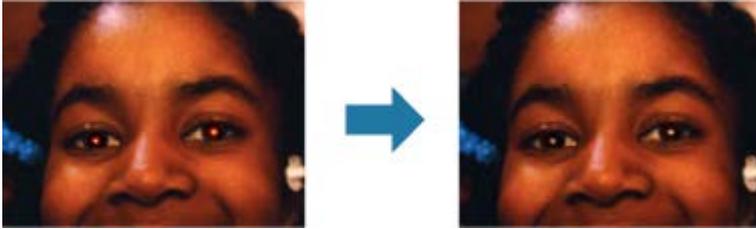
関連項目

- [【画像の補正/加工】ウィンドウ](#)

赤目補正を行う

フラッシュによって赤く写ってしまった目の色を、目立たなくすることができます。

赤目補正には、自動と手動の2つの方法があります。



参考

- 印刷時に自動で赤目補正ができます。設定方法については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

1. 補正したい画像を選択

➡ [画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)

2. 画面下側の【補正/加工】をクリック

「画像の補正/加工」ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、補正したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

自動で補正する場合

4. [自動] が選択されていることを確認
5. [赤目補正] をクリック
6. [実行] をクリック

赤目が補正され、画像の左上に (補正/加工) マークが表示されます。

重要

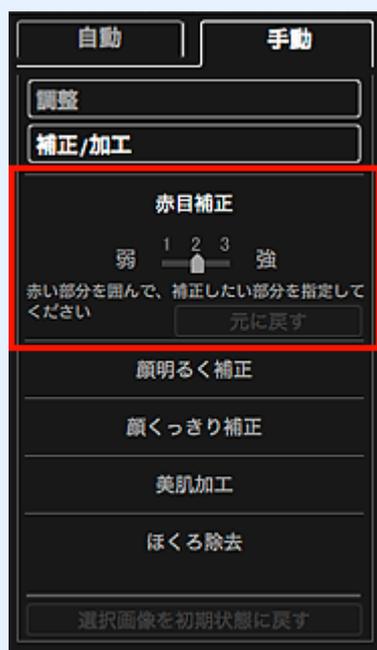
- 画像によっては、目以外の箇所が補正されることがあります。

参考

-  (比較画面表示) をクリックすると、別ウィンドウに補正前と補正後の画像が並んで表示され、補正効果を確認できます。
- 補正した内容をすべて取り消したいときは、[選択画像を初期状態に戻す] をクリックします。
- 選択画像表示エリアに表示されている画像をまとめて補正したいときは、[すべての画像に適用する] にチェックマークを付けます。

手動で補正する場合

4. [手動] をクリックし、[補正/加工] をクリック
5. [赤目補正] をクリック



参考

- 補正の度合いは、[赤目補正] の下に表示されるスライダーを動かして、変更できます。

- 画像上にカーソルを移動すると、カーソルの形状が十（プラス）に変わります。

6. 補正したい赤い部分をドラッグして範囲を指定し、画像内の【実行】をクリック



赤目が補正され、画像の左上に（補正／加工）マークが表示されます。

参考

- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに補正前と補正後の画像が並んで表示され、補正効果を確認できます。
- 直前の操作を取り消したいときは、【元に戻す】をクリックします。

7. 【選択画像を保存】または【補正画像をすべて保存】をクリック

補正した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、【選択画像を保存】をクリックします。補正した画像をまとめて保存したいときは、【補正画像をすべて保存】をクリックします。
- 補正済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

8. 【終了】をクリック

重要

- 補正した画像を保存していない場合、補正した内容は消去されます。

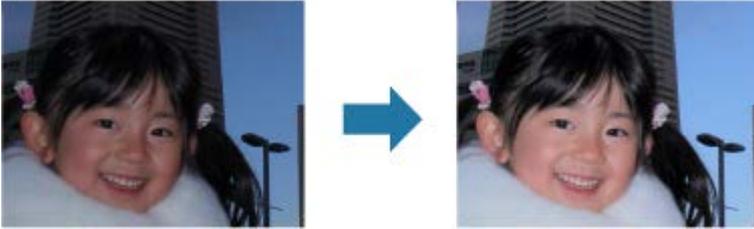
関連項目

- [\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

顔明るく補正を行う

逆光で暗くなってしまった顔を、明るくすることができます。



参考

- 顔明るく補正は、自動写真補正で十分に補正されなかったときに行うことをお勧めします。自動写真補正でも、逆光で暗くなってしまった写真を補正することができます。

➡ [自動写真補正を行う](#)

1. 補正したい画像を選択

➡ [画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)

2. 画面下側の【補正/加工】をクリック

[画像の補正/加工] ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、補正したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

4. [手動] をクリックし、[補正/加工] をクリック

5. [顔明るく補正] をクリック



参考

- 補正の度合いは、[顔明るく補正] の下に表示されるスライダーを動かして、変更できます。
- 画像上にカーソルを移動すると、カーソルの形状が+（プラス）に変わります。

6. 補正したい箇所をドラッグして範囲を指定し、画像内の [実行] をクリック



指定した顔の範囲が明るくなるよう画像全体が補正され、画像の左上に（補正/加工）マークが表示されます。

参考

- ドラッグしながら選択範囲を回転することもできます。
- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに補正前と補正後の画像が並んで表示され、補正効果を確認できます。
- 直前の操作を取り消したいときは、[元に戻す] をクリックします。

7. [選択画像を保存] または [補正画像をすべて保存] をクリック

補正した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、[選択画像を保存] をクリックします。補正した画像をまとめて保存したいときは、[補正画像をすべて保存] をクリックします。
- 補正済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

8. [終了] をクリック

重要

- 補正した画像を保存していない場合、補正した内容は消去されます。

関連項目

- [\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

顔くっきり補正を行う

ぼやけた人物の顔を、くっきりと補正できます。

顔くっきり補正には、自動と手動の2つの方法があります。

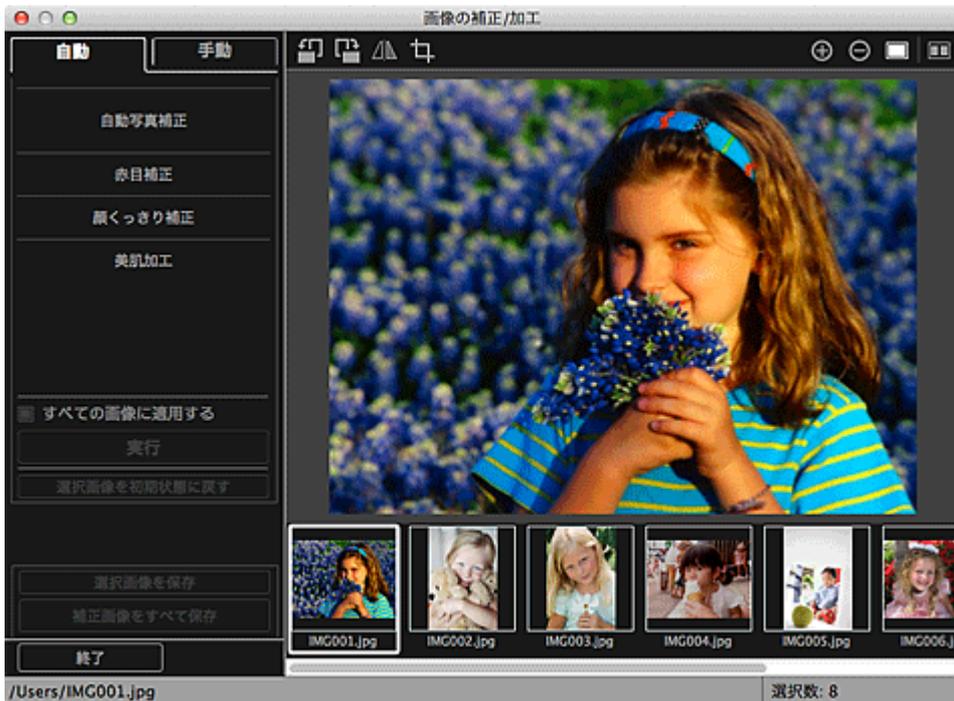


1. 補正したい画像を選択

⇒ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

2. 画面下側の【補正/加工】をクリック

「画像の補正/加工」ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、補正したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

自動で補正する場合

4. 【自動】が選択されていることを確認
5. 【顔くっきり補正】をクリック

参考

- 補正の度合いは、【顔くっきり補正】の下に表示されるスライダーを動かして、変更できます。

6. 【実行】をクリック

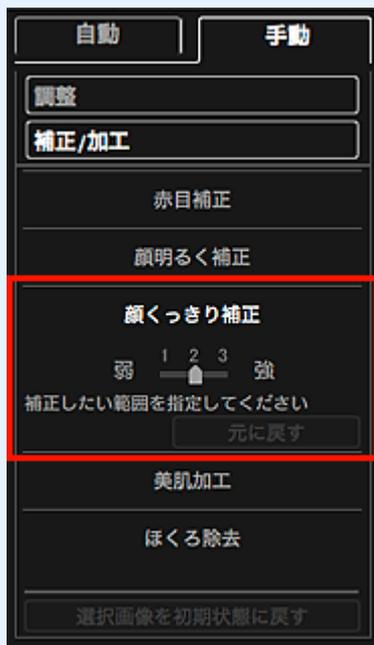
顔がくっきりと補正され、画像の左上に（補正/加工）マークが表示されます。

参考

- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに補正前と補正後の画像が並んで表示され、補正効果を確認できます。
- 補正した内容をすべて取り消したいときは、【選択画像を初期状態に戻す】をクリックします。
- 選択画像表示エリアに表示されている画像をまとめて補正したいときは、【すべての画像に適用する】にチェックマークを付けます。

手動で補正する場合

4. 【手動】をクリックし、【補正/加工】をクリック
5. 【顔くっきり補正】をクリック



参考

- 補正の度合いは、【顔くっきり補正】の下に表示されるスライダーを動かして、変更できます。
- 画像上にカーソルを移動すると、カーソルの形状が+（プラス）に変わります。

6. 補正したい箇所をドラッグして範囲を指定し、画像内の【実行】をクリック



選択した範囲を中心に顔がくっきりと補正され、画像の左上に（補正／加工）マークが表示されます。

参考

- ドラッグしながら選択範囲を回転することもできます。
- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに補正前と補正後の画像が並んで表示され、補正効果を確認できます。
- 直前の操作を取り消したいときは、【元に戻す】をクリックします。

7. 【選択画像を保存】または【補正画像をすべて保存】をクリック

補正した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、【選択画像を保存】をクリックします。補正した画像をまとめて保存したいときは、【補正画像をすべて保存】をクリックします。
- 補正済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

8. 【終了】をクリック

重要

- 補正した画像を保存していない場合、補正した内容は消去されます。

関連項目

- [【画像の補正/加工】ウィンドウ](#)

美肌加工を行う

肌のしみやしわを目立たなくさせ、肌を美しく加工することができます。

美肌加工には、自動と手動の2つの方法があります。



1. 加工したい画像を選択

➡ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

2. 画面下側の【補正/加工】をクリック

[画像の補正/加工] ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、加工したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

自動で加工する場合

4. 【自動】が選択されていることを確認

5. 【美肌加工】をクリック

参考

- 加工の度合いは、【美肌加工】の下に表示されるスライダーを動かして、変更できます。

6. 【実行】をクリック

肌が美しく加工され、画像の左上に（補正/加工）マークが表示されます。

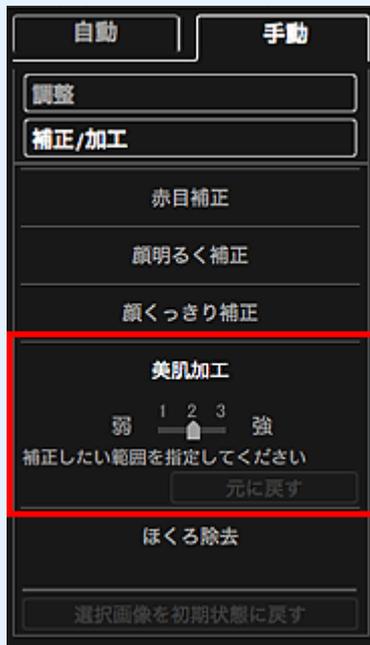
参考

- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに加工前と加工後の画像が並んで表示され、美肌効果を確認できます。
- 加工した内容をすべて取り消したいときは、【選択画像を初期状態に戻す】をクリックします。
- 選んだ画像をまとめて加工したいときは、【すべての画像に適用する】にチェックマークを付けます。

手動で加工する場合

4. 【手動】をクリックし、【補正/加工】をクリック

5. 【美肌加工】をクリック



参考

- 加工の度合いは、【美肌加工】の下に表示されるスライダーを動かして、変更できます。
- 画像上にカーソルを移動すると、カーソルの形状が（プラス）に変わります。

6. 補正したい箇所をドラッグして範囲を指定し、画像内の【実行】をクリック



指定した範囲を中心に肌が美しく加工され、画像の左上に（補正／加工）マークが表示されます。

参考

- ドラッグしながら選択範囲を回転することもできます。
- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに加工前と加工後の画像が並んで表示され、美肌効果を確認できます。
- 直前の操作を取り消したいときは、【元に戻す】をクリックします。

7. 【選択画像を保存】または【補正画像をすべて保存】をクリック

加工した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、【選択画像を保存】をクリックします。加工した画像をまとめて保存したいときは、【補正画像をすべて保存】をクリックします。
- 加工済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

8. 【終了】をクリック

重要

- 加工した画像を保存していない場合、加工した内容は消去されます。

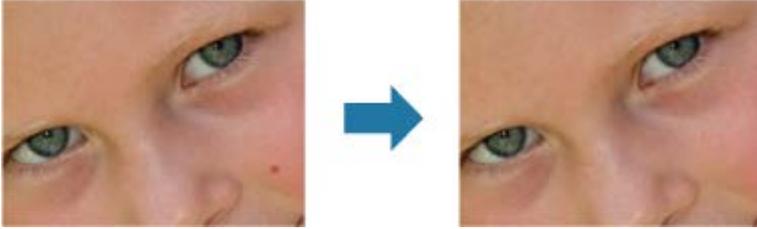
関連項目

- [\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

ほくろ除去を行う

ほくろを目立たなくすることができます。



1. 加工したい画像を選択

⇒ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

2. 画面下側の【補正/加工】をクリック

「画像の補正/加工」ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、加工したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

4. 【手動】をクリックし、【補正/加工】をクリック

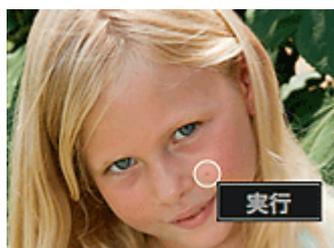
5. 【ほくる除去】をクリック



参考

- 画像上にカーソルを移動すると、カーソルの形状が十（プラス）に変わります。

6. 加工したい箇所をドラッグして範囲を指定し、画像内の【実行】をクリック



指定した範囲を中心にほくるが目立たなくなり、画像の左上に（補正／加工）マークが表示されます。

参考

- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに加工前と加工後の画像が並んで表示され、効果を確認できます。
- 直前の操作を取り消したいときは、【元に戻す】をクリックします。

7. 【選択画像を保存】または【補正画像をすべて保存】をクリック

加工した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、【選択画像を保存】をクリックします。加工した画像をまとめて保存したいときは、【補正画像をすべて保存】をクリックします。
- 加工済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

8. 【終了】をクリック

重要

- 加工した画像を保存していない場合、加工した内容は消去されます。

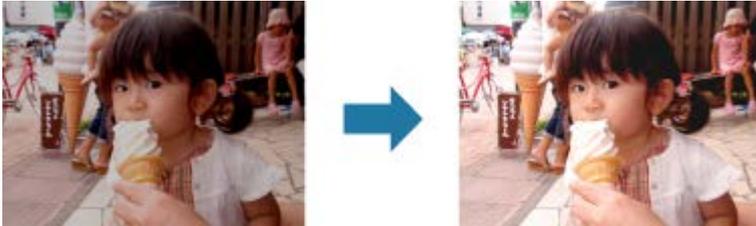
関連項目

- [\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

画像調整を行う

画像全体の明るさや明暗差（コントラスト）の調整など、詳細な設定ができます。



1. 調整したい画像を選択

⇒ [画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)

2. 画面下側の【補正/加工】をクリック

[画像の補正/加工] ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、調整したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

4. 【手動】をクリックし、【調整】をクリック

5. 各項目のスライダーを動かして度合いを調整

以下の調整を行うことができます。

[明るさ]

[コントラスト]

[シャープネス]

[ぼかし]

[下地除去]



画像が調整され、画像の左上に (補正/加工) マークが表示されます。

参考

-  (比較画面表示) をクリックすると、別ウィンドウに調整前と調整後の画像が並んで表示され、調整の効果を確認できます。
- [詳細調整] をクリックすると、画像の明るさや色あいを細かく調整することができます。詳細については、「[\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)」の[\[詳細調整\]](#)をご覧ください。
- 調整した内容をすべて取り消したいときは、[\[標準に戻す\]](#) をクリックします。

6. [選択画像を保存] または [補正画像をすべて保存] をクリック

調整した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、[\[選択画像を保存\]](#) をクリックします。調整した画像をまとめて保存したいときは、[\[補正画像をすべて保存\]](#) をクリックします。
- 調整済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

7. [終了] をクリック

重要

- 調整した画像を保存していない場合、調整した内容は消去されます。

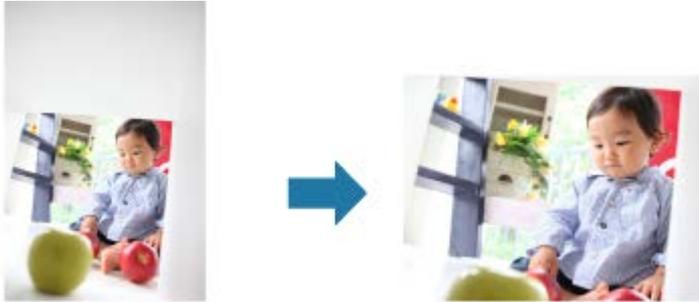
関連項目

- [\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

写真をトリミングしよう

画像の必要な部分だけを選び、不要部分を取り除くことをトリミングといいます。



重要

- プレミアムコンテンツを利用しているときは、この機能が使用できないことがあります。
- 作品の編集中は、画像をトリミングできません。

1. トリミングしたい画像を選択

➡ [画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)

2. 画面下側の【補正/加工】をクリック

[画像の補正/加工] ウィンドウが表示されます。



3. (トリミング) をクリック

[トリミング] ウィンドウが表示されます。



4. 画像上の白い四角をドラッグして、トリミングする範囲を指定し、【実行】をクリックします。

参考

- 加工した内容をすべて取り消したいときは、【画像の補正/加工】ウィンドウで【選択画像を初期状態に戻す】をクリックします。

関連項目

- [【トリミング】ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

特殊なフィルターを使って写真を加工しよう

特殊なフィルターを使って、ひとあじ違った魅力のある画像に加工することができます。

[マイアート] ビューの編集エリア、[カレンダー] ビューの [日付表示]、[イベント] ビュー、[人物] ビューの展開表示、[未登録人物] ビュー、フォルダービューで画像を選び、画面下側にある [特殊フィルター] をクリックすると、[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示されます。[画像の特殊フィルター] ウィンドウでは、以下のような補正/加工を行うことができます。

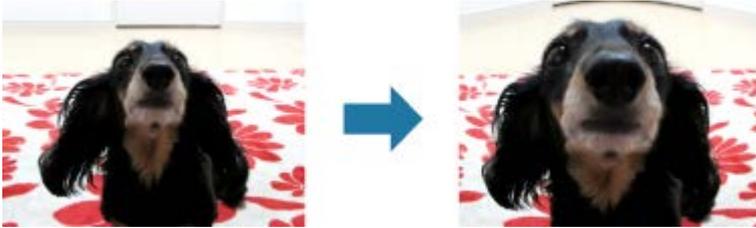
重要

- PDFファイルを選んでいる場合、この機能は使用できません。
- 選んだ画像のサイズによっては、メモリーが不足し、補正/加工できない場合があります。

魚眼風

魚眼レンズで撮影した写真のように加工できます。

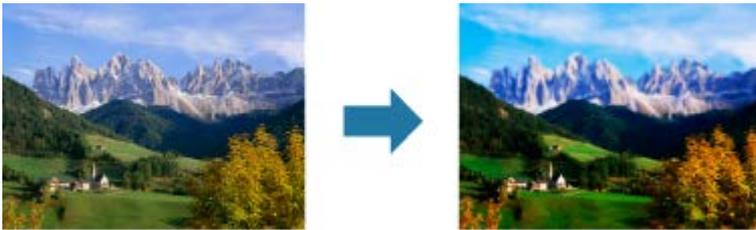
➡ 魚眼風加工する



ジオラマ風

風景などの写真を、ジオラマ模型を撮影したような写真に加工できます。

➡ ジオラマ風加工する



トイカメラ風

トイカメラで撮影した写真のような、レトロな雰囲気に加工ができます。

➡ トイカメラ風加工する



ソフトフォーカス

ソフトフォーカスレンズで撮影した写真のような、やわらかい雰囲気に加工ができます。

➡ やわらかい雰囲気に加工する (ソフトフォーカス)



背景ぼかし

背景をぼかして、人物など注目させたい部分を強調できます。

➡ 背景をぼかす



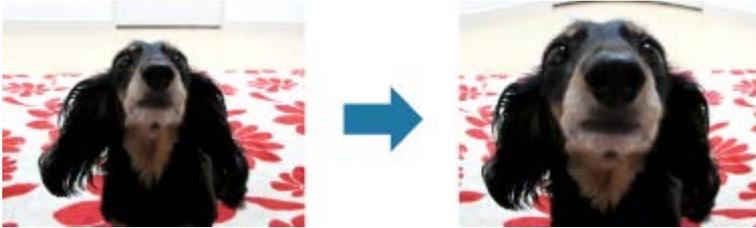
関連項目

● [画像の特殊フィルター] ウィンドウ

[ページの先頭へ ▲](#)

魚眼風に加工する

魚眼レンズで撮影した写真のように加工できます。



1. 加工したい画像を選択

⇒ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

2. 画面下側の【特殊フィルター】をクリック

[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、加工したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

4. 【魚眼風】をクリック



プレビューエリアに中心位置を決める✦（中心）マークが表示されます。

参考

- 効果の度合いは、【魚眼風】の下に表示されるスライダーを動かして、変更できます。

5. ✦（中心）マークをドラッグして中心位置を指定し、【実行】をクリック



指定した範囲を中心に画像の端がゆがみ、画像の左上に（加工）マークが表示されます。

参考

- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに加工前と加工後の画像が並んで表示され、効果を確認できます。
- 加工した内容を取り消したいときは、【元に戻す】をクリックします。ほかの機能で加工した内容は保持されます。

6. 【選択画像を保存】または【処理画像をすべて保存】をクリック

加工した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、【選択画像を保存】をクリックします。加工した画像をまとめて保存したいときは、【処理画像をすべて保存】をクリックします。
- 加工済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

7. 【終了】をクリック

重要

- 加工した画像を保存していない場合、加工した内容は消去されます。

関連項目

- [\[画像の特殊フィルター\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

ジオラマ風に加工する

風景などの写真を、ジオラマ模型を撮影したような写真に加工できます。



参考

- 少し高い位置から見下ろすように撮影した写真が適しています。

1. 加工したい画像を選択

➡ [画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)

2. 画面下側の【特殊フィルター】をクリック

[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、加工したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

4. [ジオラマ風] をクリック



参考

- プレビューエリアに白い枠（ぼかさない領域）が表示されます。
- 枠の大きさは、[ジオラマ風] の下に表示されるスライダーを動かして、変更できます。

5. 枠を上下にドラッグしてピントを合わせる位置を指定し、[実行] をクリック



指定した領域の上下がぼかされ、画像の左上に（加工）マークが表示されます。

参考

- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに加工前と加工後の画像が並んで表示され、効果を確認できます。
- 加工した内容を取り消したいときは、[元に戻す] をクリックします。ほかの機能で加工した内容は保持されます。

6. [選択画像を保存] または [処理画像をすべて保存] をクリック

加工した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、[選択画像を保存] をクリックします。加工した画像をまとめて保存したいときは、[処理画像をすべて保存] をクリックします。
- 加工済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

7. 【終了】をクリック

重要

- 加工した画像を保存していない場合、加工した内容は消去されます。

関連項目

- [\[画像の特殊フィルター\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

トイカメラ風に加工する

トイカメラで撮影した写真のように、レトロな雰囲気加工できます。



1. 加工したい画像を選択

➡画像やPDFファイル、動画の選択方法について

2. 画面下側の【特殊フィルター】をクリック

[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、加工したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

4. 【トイカメラ風】をクリック



5. スライダーを動かして強度を指定

トイカメラで撮影した写真のように画像全体が加工され、画像の左上に（加工）マークが表示されます。

参考

- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに加工前と加工後の画像が並んで表示され、効果を確認できます。

6. 【選択画像を保存】または【処理画像をすべて保存】をクリック

加工した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、【選択画像を保存】をクリックします。加工した画像をまとめて保存したいときは、【処理画像をすべて保存】をクリックします。
- 加工済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

7. 【終了】をクリック

重要

- 加工した画像を保存していない場合、加工した内容は消去されます。

参考

- トイカメラ風に加工した画像をフチなしで印刷する場合、印刷する用紙サイズとフチなし印刷時のみ出し量の設定によっては、暗く加工された四隅の部分が印刷されないことがあります。

関連項目

- [\[画像の特殊フィルター\] ウィンドウ](#)

やわらかい雰囲気加工する (ソフトフォーカス)

ソフトフォーカスレンズで撮影した写真のように、やわらかい雰囲気加工できます。



1. 加工したい画像を選択

⇒ 画像やPDFファイル、動画の選択方法について

2. 画面下側の【特殊フィルター】をクリック

[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示されます。



3. 選択画像表示エリアから、加工したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

4. 【ソフトフォーカス】をクリック



5. スライダーを動かして強度を指定

ソフトフォーカスレンズで撮影した写真のように画像全体が加工され、画像の左上に (加工) マークが表示されます。

参考

-  (比較画面表示) をクリックすると、別ウィンドウに加工前と加工後の画像が並んで表示され、効果を確認できます。

6. 【選択画像を保存】または【処理画像をすべて保存】をクリック

加工した画像が、元の画像とは別のファイルで保存されます。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、【選択画像を保存】をクリックします。加工した画像をまとめて保存したいときは、【処理画像をすべて保存】をクリックします。
- 加工済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

7. 【終了】をクリック

重要

- 加工した画像を保存していない場合、加工した内容は消去されます。

関連項目

- [\[画像の特殊フィルター\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

背景をぼかす

背景をぼかして、人物など注目させたい部分を強調できます。



参考

- 領域の囲みかたによっては、意図した領域を指定できない場合があります。
- 被写体と背景の区別がはっきりしている写真が適しています。

1. 加工したい画像を選択

➡ [画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)

2. 画像を選び、画面下側の【特殊フィルター】をクリック

[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示されます。



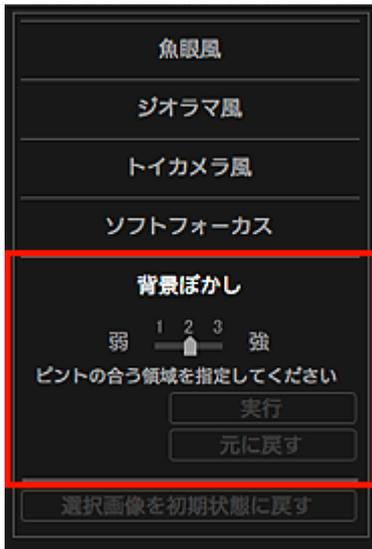
3. 選択画像表示エリアから、加工したい画像を選択

選んだ画像がプレビューエリアに表示されます。

参考

- 選んだ画像が1枚のときは、プレビューのみが表示され、選択画像表示エリアは表示されません。

4. 「背景ぼかし」をクリック



参考

- 効果の度合いは、「背景ぼかし」の下に表示されるスライダーを動かして、変更できます。
- プレビューエリア上にカーソルを移動すると、カーソルの形状が (ペン) に変わります。

5. ピントを合わせたい領域（ぼかさない領域）の輪郭上をクリックしながら線で指定



参考

- ツールバーにある（輪郭を認識して領域を選択）をクリックして、輪郭を認識させるかどうかを選択できます。
輪郭を認識して領域を選択するモードを選択すると、カーソルの近くの輪郭が自動的に認識されて、輪郭に沿った範囲を指定できます。
shiftキーを押しながら範囲を指定すると、一時的に輪郭を認識して領域を選択するモードが解除されます。
- 輪郭を認識して領域を選択するモードを解除すると、クリックした点から次の点までが直線になります。
- 設定した点を取り消したいときは、deleteキーを押してください。

6. 領域を囲み終わったら、最初の点をクリック

最初の点にカーソルを合わせると（領域の始点）になります。クリックすると、最初の点と最後の点がつながり、ピントを合わせる領域が指定されます。

重要

- 指定できる領域の数は30個までです。

参考

- 最後の点をダブルクリックすると、最初の点と最後の点が自動でつながります。
- （選択された領域を削除）をクリックすると、指定した領域を削除できます。
- 指定した領域を修正するときは、次の操作を行ってください。
点の移動：点を移動したい位置までドラッグ
点の追加：指定範囲の線上にカーソルを合わせると（点の追加）になるので、点を追加したい位置までドラッグ
点の削除：削除したい点をカーソルが（点の削除）になる隣の点までドラッグ
- 作成した領域内に別の領域を作成すると、内側の領域内もぼかされます。

7. 【実行】をクリック

設定した領域以外の背景がぼかされ、画像の左上に（加工）マークが表示されます。

参考

- （比較画面表示）をクリックすると、別ウィンドウに加工前と加工後の画像が並んで表示され、効果を確認できます。
- 加工した内容を取り消したいときは、【元に戻す】をクリックします。ほかの機能で加工した内容は保持されます。

8. 【選択画像を保存】または【処理画像をすべて保存】をクリック

加工した画像を、元の画像とは別のファイルとして保存します。

参考

- 気に入った画像のみを保存したい場合は、画像を選び、【選択画像を保存】をクリックします。加工した画像をまとめて保存したいときは、【処理画像をすべて保存】をクリックします。
- 加工済みの画像は、JPEG/Exif形式でのみ保存できます。

9. 【終了】をクリック

重要

- 加工した画像を保存していない場合、加工した内容は消去されます。

関連項目

- [\[画像の特殊フィルター\] ウィンドウ](#)

PDFファイルを作成／編集しよう

パソコンに保存されている画像からPDFファイルを作成できます。作成したPDFファイルのページの追加や削除、ページの並べ替えなどもできます。

重要

- 一度に99枚までPDFファイルの作成や編集ができます。
- PDFファイルは、My Image GardenまたはIJ Scan Utilityで作成したファイルにのみ対応しています。ほかのアプリケーションソフトで作成または編集されたPDFファイルには対応していません。

参考

- 選択できるファイル形式は、PDF、JPEG、TIFF、PNGです。

1. PDFファイルにしたい画像や編集したいPDFファイルを選択

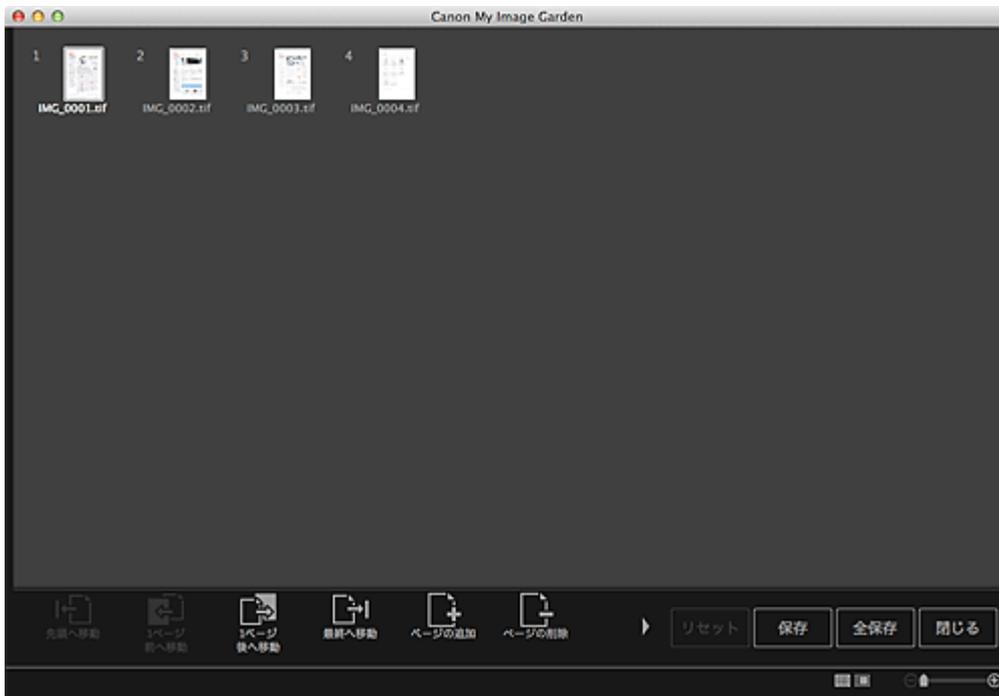
➡ [画像やPDFファイル、動画の選択方法について](#)

重要

- 縦方向または横方向のピクセル数が10501 pixel以上の画像は、使用できません。

2. 画面下側の【PDFの作成／編集】をクリック

【PDFの作成／編集】ビューに切り替わります。



3. 必要に応じて、ページを追加または削除

既存の画像やPDFファイルを追加したい場合

画面下側の【ページの追加】をクリックします。【開く】ダイアログが表示されるので、追加したい画像やPDFファイルを選び、【開く】をクリックします。

ページを削除したい場合

画像を選び、画面下側の [ページの削除] をクリックします。

4. 必要に応じて、ページ順を変更

ページをクリックし、画面左下の [先頭へ移動] や [1ページ前へ移動]、[1ページ後へ移動]、[最終へ移動] を使用してページ順を変更できます。

また、ページを移動したい場所にドラッグ&ドロップして、ページ順を変更することもできます。

5. [保存] または [全保存] をクリック

選んでいるページのみを保存したい場合

[保存] をクリックすると、[保存] ダイアログが表示されます。

すべてのページを保存したい場合

[全保存] をクリックすると、[保存] ダイアログが表示されます。

6. 保存の詳細を設定

➡ [保存] ダイアログ ([PDFの作成/編集] ビュー)

7. [保存] をクリック

PDFファイルが保存され、[PDFの作成/編集] ビューに切り替わります。

8. [閉じる] をクリック

[PDFの作成/編集] ビューが閉じます。

保存されたPDFファイルのサムネイルの左上に [PDF] アイコンが表示されます。

関連項目

● [PDFの作成/編集] ビュー

ページの先頭へ ▲

画像から文字を抜きだそう（OCR機能）

画像に含まれる文字列を、ワープロソフトなどで編集可能なテキスト（文字）データに変換できます。スキャンした文書原稿の活字を利用するときなどに便利です。

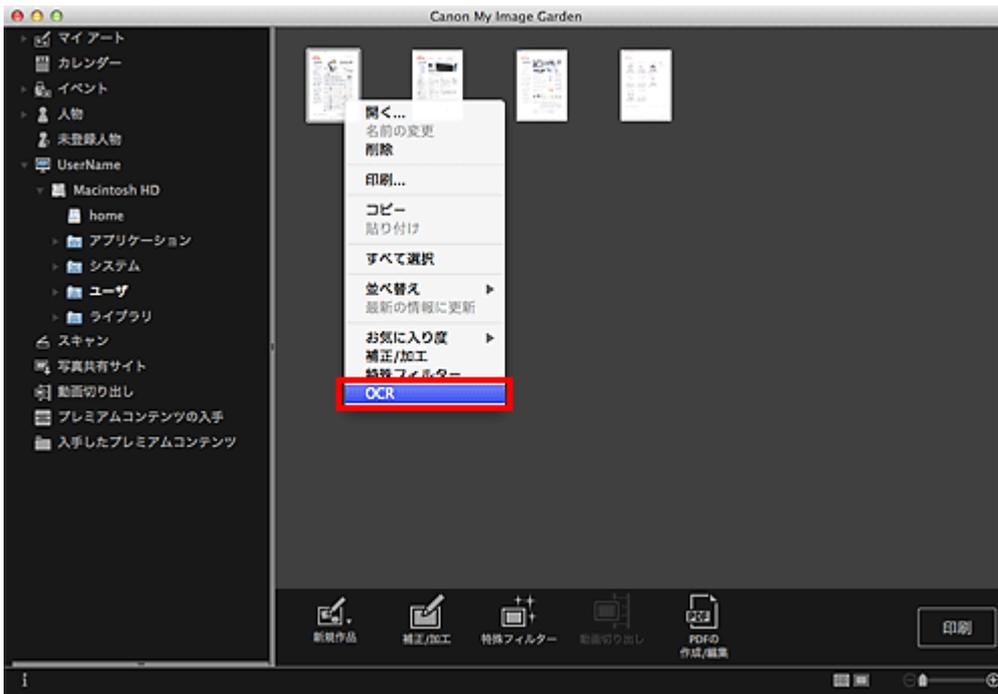
重要

- PDFファイルをテキストに変換することはできません。
- 選んだ画像のサイズによっては、テキストに変換できない場合があります。

1. テキストに変換したい画像を表示

➡画像やPDFファイル、動画の選択方法について

2. controlキーを押しながらテキストに変換したい画像をクリックして表示されるメニューから【OCR】をクリック



Mac OSに付属のテキストエディットが起動し、編集可能なテキストデータが表示されます。

参考

- Mac OSに付属のテキストエディットに抜き出される文字列は、[環境設定] ダイアログの[詳細設定] シートで選べる言語のみです。[詳細設定] シートで[設定...] をクリックし、スキャンする原稿の言語に合わせて言語を指定してください。
また、スキャンする原稿が複数枚ある場合は、抜き出した文字列を1つのファイルにまとめることもできます。

➡ [環境設定] ダイアログ

- Mac OSに付属のテキストエディットに表示される文字列は簡易的なものであり、次のような原稿は、画像内の文字列を正しく認識できない場合があります。
 - ・文字サイズが8ポイント～40ポイント（300 dpi時）の範囲外の文字を含む原稿
 - ・傾いた原稿

- ・上下が逆になっている原稿や文字が横になっているなど、文字の方向が正しくない原稿
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
 - ・文字の行間が狭い原稿
 - ・文字の背景に色がついた原稿
 - ・複数の言語を含む原稿
-

[ページの先頭へ▲](#)

写真共有サイトから画像をダウンロードしよう

インターネット上の写真共有サイトで画像を検索し、印刷したい画像をダウンロードできます。

重要

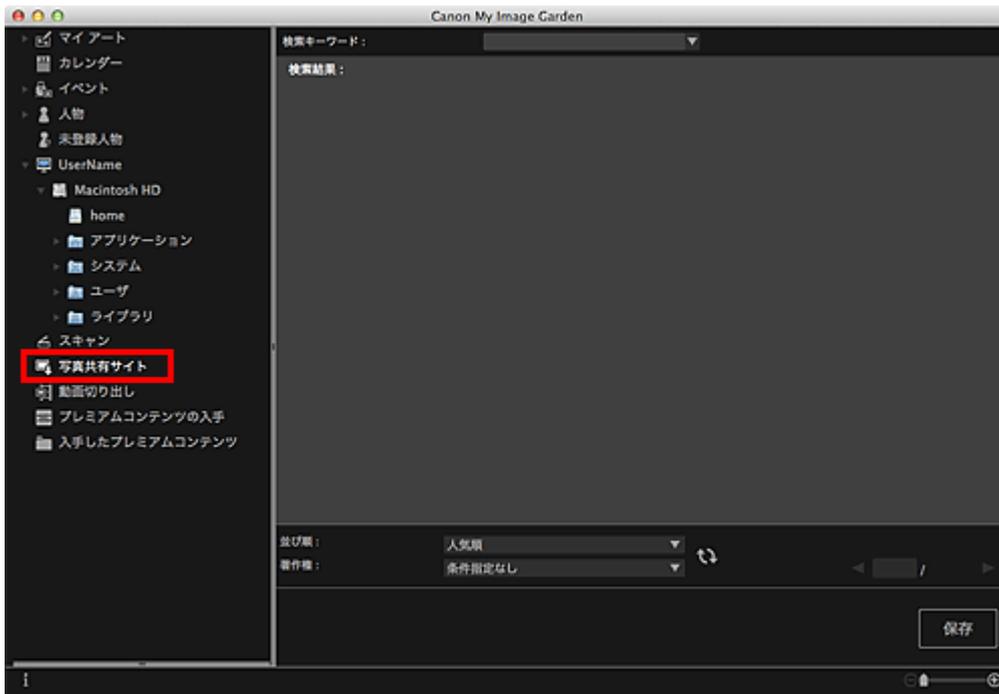
- この機能を利用するには、インターネットへの接続が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- ご使用の地域によっては、この機能が利用できない場合があります。
- 他人の著作物を権利者に無断で複製・編集などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき、違法となります。
また、人物の写真などを複製・編集などする場合には肖像権が問題になることがあります。
- 他人の著作物を個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲以外で利用する際は、著作者から利用形態に関する同意を得る必要がある場合がありますので、写真共有サイトの作品掲載ページの記載内容を十分にご確認ください。
他人の著作物を利用する前に、該当写真共有サイトの利用規約もご確認ください。
キヤノンはお客様が本機能を利用することで生じるいかなる著作権上の問題にも責任を負いません。
- このアプリケーションソフトはFlickr APIを利用していますが、Flickrによって推奨または認定されているわけではありません。

1. My Image Gardenを起動

⇒ My Image Gardenを起動しよう

2. 【写真共有サイト】をクリック

【写真共有サイト】ビューに切り替わります。



3. 【検索キーワード】に検索したいキーワードを入力し、returnキーを押す

画像の検索が開始され、検索キーワードに該当する画像が検索画像表示エリアに表示されます。

重要

- JPEG以外のデータ形式の画像など、一部の画像は表示されません。

参考

- 検索する言語によっては、検索キーワードに該当する画像が少ない場合があります。このようなときは、検索キーワードを英語で入力すると、検索結果が増えることがあります。

4. 必要に応じて、画面下側の【並び順】や【著作権】を選び、 (更新) をクリック

検索画像表示エリアの表示が更新されます。

参考

-  (前のページ) をクリックすると前のページ、 (次のページ) をクリックすると次のページが表示されます。
また、ページ番号入力ボックスに任意のページ番号を入力し、returnキーを押すことで、指定したページを表示することもできます。

5. ダウンロードしたい画像を選択

重要

- 一度に選べる画像は30枚までです。

6. 画面右下の【保存】をクリック

【保存】ダイアログが表示されます。

7. 保存の詳細を設定

➡ [【保存】ダイアログ \(【写真共有サイト】ビュー\)](#)

8. 【保存】をクリック

選んだ画像がパソコンに保存され、[【写真共有サイト】ビュー](#)に戻ります。

参考

- ダウンロードした画像は、JPEG形式でのみ保存できます。

参考

- ダウンロードした画像を印刷したり、カレンダーやコラージュを作成して印刷したりすることもできます。詳細については、「[作品を作って印刷しよう](#)」をご覧ください。

関連項目

- [【写真共有サイト】ビュー](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

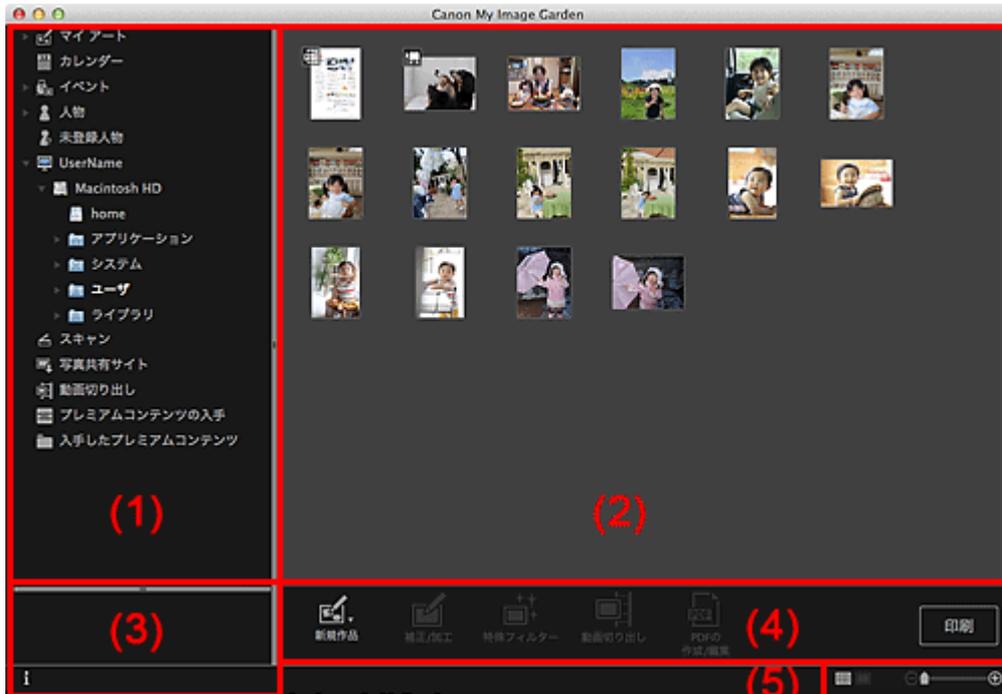
My Image Gardenの画面説明

- [メイン画面](#)
- [\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)
- [\[画像の特殊フィルター\] ウィンドウ](#)
- [\[PDFの作成/編集\] ビュー](#)
- [印刷設定ダイアログ](#)
- [\[環境設定\] ダイアログ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

メイン画面

My Image Gardenのいろいろな機能を取り扱う画面です。各エリアを操作して、画像や作品の整理や編集、印刷、原稿や写真のスキャンなどができます。



- (1) グローバルメニュー
- (2) 表示/操作エリア
- (3) インフォメーションエリア
- (4) 操作ボタン
- (5) 表示サイズ設定バー

(1) グローバルメニュー

My Image Gardenで使用できる機能やパソコン内のフォルダーなどが一覧で表示されます。

【マイ アート】

■ (右向き矢印) をクリックすると、作成したコラージュやカードなどの作品名が表示されます。作品名をクリックすると【マイ アート】ビューに切り替わり、作品を編集したり印刷したりできます。

➡ 【マイ アート】ビュー

【カレンダー】

【カレンダー】ビューに切り替わり、パソコンに保存されている画像や文書、動画などをカレンダー上で日付ごとに関連できます。また、イベントを登録することもできます。

➡ 【カレンダー】ビュー

【イベント】

■ (右向き矢印) をクリックすると、登録されているイベントが表示されます。

イベント名をクリックすると【イベント】ビューに切り替わり、そのイベントに登録されている画像

を閲覧できます。

➡ [\[イベント\] ビュー](#)

[人物]

[人物] ビューに切り替わり、登録されている人物がサムネイル表示されます。

➡ [\[人物\] ビュー](#)

■ (右向き矢印) をクリックすると、登録されている人物が表示されます。

人物名をクリックすると [人物] ビューの展開表示に切り替わり、その人物に登録されている画像を閲覧できます。

➡ [展開表示](#)

[未登録人物]

[未登録人物] ビューに切り替わり、自動的に顔の部分が検出された画像が表示されます。一度にたくさん的人物を登録できます。

➡ [\[未登録人物\] ビュー](#)

参考

- 新しい画像がパソコンに保存された場合など、画像解析中は [未登録人物] ではなく、[人物を確認中...] と表示されます。

コンピューター名

■ (右向き矢印) をクリックすると、パソコン内のフォルダーが表示されます。

フォルダーをクリックするとフォルダービューに切り替わり、フォルダーに入っている画像や文書を閲覧できます。

➡ [フォルダービュー](#)

[スキャン]

[スキャン] ビューに切り替わり、写真や文書を簡単にスキャンできます。

➡ [\[スキャン\] ビュー](#)

[写真共有サイト]

[写真共有サイト] ビューに切り替わり、インターネット上の写真共有サイトから画像をダウンロードできます。

➡ [\[写真共有サイト\] ビュー](#)

[動画切り出し]

動画から静止画を切り出し中のときに、[動画切り出し] ビューに切り替えることができます。

➡ [\[動画切り出し\] ビュー](#)

[プレミアムコンテンツの入手]

[プレミアムコンテンツの入手] ビューに切り替わり、プレミアムコンテンツをダウンロードできます。

➡ [\[プレミアムコンテンツの入手\] ビュー](#)

重要

- プレミアムコンテンツをダウンロードするには、インターネットへの接続が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

[入手したプレミアムコンテンツ]

[入手したプレミアムコンテンツ] ビューに切り替わり、ダウンロードしたプレミアムコンテンツを編集したり印刷したりできます。

➡ [\[入手したプレミアムコンテンツ\] ビュー](#)

重要

- ダウンロードまたは印刷したプレミアムコンテンツは、個人利用の目的でのみ利用することができます。商用目的では利用しないでください。

(2) 表示／操作エリア

グローバルメニューでクリックした機能やフォルダーに保存されている画像や文書、作品などが表示されます。

画像や文書、作品などを操作ボタンやcontrolキーを押しながらクリックして表示されるメニューから編集したり、ドラッグ&ドロップで編集したりできます。

(3) インフォメーションエリア

画像や文書、作品のファイル名や保存日時などの詳細情報が表示されます。

■ (インフォメーション)

インフォメーションエリアの表示／非表示を切り替えることができます。

(4) 操作ボタン

画像や文書、作品を編集したり印刷したりするときに使用するボタンが表示されます。グローバルメニューでクリックした機能によって、表示されるボタンは異なります。

(5) 表示サイズ設定バー

プレビューエリアに表示されている画像や文書、作品などの表示方法を切り替えたり、表示サイズを変更したりするときに使用するボタンが表示されます。

参考

- 表示方法には、サムネイル表示（縮小表示）と詳細表示（プレビュー表示）があります。
- 表示方法は、プレビューエリアに表示されるサムネイルやプレビューをダブルクリックして切り替えることもできます。

[ページの先頭へ▲](#)

[マイ アート] ビュー

コラージュやカードなどの作品を、編集したり印刷したりできます。

重要

- 作品の種類やテーマによっては、[背景] をクリックできない場合があります。

以下のいずれかの操作で、[マイ アート] ビューに切り替わります。

- 画面左側の [マイ アート] の下に表示されている作品名をクリック
- 各ビューの画面左下の [新規作品] をクリックして表示される [テーマと主役の選択] ダイアログで、[OK] をクリック
- [入手したプレミアムコンテンツ] ビューでプレミアムコンテンツを選び、[編集] をクリック
- Quick MenuのImage Displayに表示されている作品イメージをクリック



- (1) 素材置き場
- (2) 編集エリア
- (3) ページサムネイル表示エリア
- (4) 操作ボタン
- (5) 表示サイズ設定バー

(1) 素材置き場

作品に使用できる画像がサムネイル表示されます。使用中の画像にはチェックマークが付きます。

参考

- 編集エリアのレイアウト枠に画像をドラッグ&ドロップして、置き換えることができます。
- 画面左側の作品名に画像をドラッグ&ドロップして、使用できる画像を追加することもできます。

- controlキーを押しながらサムネイルをクリックして表示されるメニューから [削除] を選ぶと、素材置き場に表示されなくなります。

(2) 編集エリア

作品のプレビューが表示され、文字を入力したり画像の向きや位置、サイズを変更したりできます。また、controlキーを押しながら画像やレイアウト枠をクリックして表示されるメニューで、画像を補正/加工したり、画像をスキャンして挿入したりすることもできます。

(3) ページサムネイル表示エリア

作品内のページがサムネイル表示されます。サムネイルをクリックすると、ページのプレビューが編集エリアに表示されます。ページサムネイル表示エリアの上部にあるラインをクリックすると、エリアの表示/非表示が切り替わります。

(4) 操作ボタン

参考

- 表示されるボタンは、編集している作品によって異なります。
- [背景] は、編集エリアでページを選んでいるときのみクリックできます。
- [ページの削除] は、ページが複数あるときのみクリックできます。
- [補正/加工]、[特殊フィルター] は、画像を選んでいるときのみクリックできます。複数の画像を選んでいる場合は、最後に選んだ画像のみ補正/加工、調整できます。
-  (左スクロール) / (右スクロール) をクリックすると、隠れているボタンが表示されます。



【テーマと主役】

[テーマと主役の選択] ダイアログが表示され、作品のテーマや主役、用紙サイズや用紙の向きを設定できます。

➡ [テーマと主役の選択] ダイアログ



【背景】

[背景の選択] ダイアログが表示され、編集中のページの背景を変更できます。

➡ [背景の選択] ダイアログ



【レイアウト】

[レイアウト選択] ダイアログが表示され、編集中のページのレイアウトを変更できます。

➡ [レイアウト選択] ダイアログ



【ページの追加】

編集エリアに表示されているページの後ろに、新しいページを追加できます。



【ページの削除】

編集エリアに表示されているページを削除できます。



【自動レイアウト】

レイアウトパターンを選ぶと、編集エリアに表示されているページのレイアウト枠に画像が自動で配

置されます。

レイアウトパターンは、下記の3種類から選べます。

- ・おすすめの作品を表示する
- ・素材の配置順
- ・日付順

参考

- [おすすめの作品を表示する] を選ぶと、作品のレイアウト枠ごとに最適な画像が選ばれて配置されます。



【補正/加工】

〔画像の補正/加工〕ウィンドウが表示され、画像を補正/加工できます。

➡ [画像の補正/加工] ウィンドウ



【特殊フィルター】

〔画像の特殊フィルター〕ウィンドウが表示され、特殊なフィルターで画像を加工できます。

➡ [画像の特殊フィルター] ウィンドウ



【詳細設定...】

〔詳細設定〕ダイアログが表示され、シールや写真レイアウト、カレンダー、ディスクレーベルの詳細を設定できます。

写真レイアウトの場合

すべての画像に日付を入れるかどうかを設定したり、日付の位置や文字の大きさ、色などを指定したりできます。

➡ [詳細設定] ダイアログ (写真レイアウト)

カレンダーの場合

カレンダーの休日や表示形式を設定できます。

➡ [詳細設定] ダイアログ (カレンダー)

シールの場合

ページ内のすべてのレイアウト枠に、同じ画像を入れるかどうかを設定できます。

➡ [詳細設定] ダイアログ (シール)

ディスクレーベルの場合

印刷する範囲を設定できます。

➡ [詳細設定] ダイアログ (ディスクレーベル)



【元に戻す】

直前の操作を取り消せます。

クリックするたびに、ひとつ前の状態に戻ります。

【印刷】

印刷設定ダイアログが表示され、作品を印刷できます。

➡ 印刷設定ダイアログ



(前のファイル/次のファイル)

ページや画像が複数あるときに、表示する画像を切り替えられます。

(5) 表示サイズ設定バー

(サムネイル表示)

サムネイル表示に切り替わり、作品を編集できます。

(詳細表示)

画像がプレビュー表示に切り替わります。

(全体表示)

プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

(縮小/拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

- 作品の編集方法については、「[作品を編集しよう](#)」をご覧ください。
 - 作品を削除したいときは、controlキーを押しながら画面左側の [マイ アート] の下の作品名をクリックして表示されるメニューから、[削除] を選ぶと削除することができます。
-

関連項目

- [● 作品を作って印刷しよう](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[テーマと主役の選択] ダイアログ

作品のテーマや主役、用紙サイズなどを設定できます。

以下のいずれかの操作で、[テーマと主役の選択] ダイアログが表示されます。

- 画像を選び、画面下側の [新規作品] から作成したい項目をクリック
- [マイ アート] ビューの画面下側にある [テーマと主役] をクリック



- (1) テーマ設定エリア
- (2) 主役設定エリア
- (3) 用紙設定エリア
- (4) [おすすめの商品を表示する]

(1) テーマ設定エリア

[テーマ一覧]

テーマが一覧で表示されます。お好みのテーマを選べます。

参考

- 表示されるテーマは、作品によって異なります。

(2) 主役設定エリア

[主役]

画像解析された人物の画像を選んだときに、検出された顔の部分がサムネイル表示されます。サムネイルの下にある  (下向き矢印) をクリックして [優先度1] または [優先度2] を選ぶと、写真の優先度が設定できます。優先度を設定しない場合には空欄のままとしてください。優先度が高い写真を中心に配置した作品が、自動的に作成されます。

(3) 用紙設定エリア

【用紙サイズ】

用紙サイズが選べます。

【用紙の向き】

用紙の向きが選べます。

(4) 【おすすめの作品を表示する】

チェックマークを付けると、作品用に選んだ画像が、作品のレイアウト枠に最適な状態で配置されます。作品が写真レイアウトやシールの場合、作品用に選んだ画像や素材置き場に表示されている画像が1ページ内のレイアウト枠よりも多いときは、自動でページが追加されます。

参考

- グローバルメニューの「未登録人物」が「人物を確認中...」と表示されているときは、解析が終わっていない画像が自動配置の対象外になるため、思ったような結果が得られないことがあります。
- 新規作品を作成する方法については、「[作品を作って印刷しよう](#)」をご覧ください。

関連項目

- [テーマや主役を設定する](#)

[ページの先頭へ▲](#)

A098

My Image Garden

[背景の選択] ダイアログ

作品の背景を変更できます。

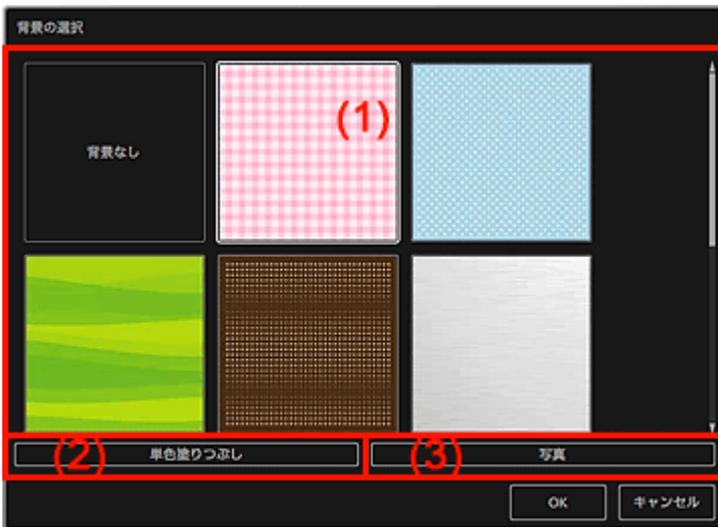
[マイ アート] ビューで、画面下側の [背景] をクリックすると、[背景の選択] ダイアログが表示されます。

重要

- 作品の種類やテーマによっては、[背景] をクリックできない場合があります。

参考

- 作品の種類や選んでいるテーマによっては、[単色塗りつぶし] や [写真] が表示されません。



(1) 背景パターン選択エリア

(2) [単色塗りつぶし]

(3) [写真]

(1) 背景パターン選択エリア

背景にしたい画像を選べます。

[背景なし] を選ぶと、背景は設定されません。

(2) [単色塗りつぶし]

[カラー] ダイアログが表示されます。背景にしたい色を選んでください。

(3) [写真]

チェックマークを付けると、画像を背景に使用できます。

[マイ アート] ビューの編集エリアで、背景にしたい画像を素材置き場からドラッグ&ドロップで挿入したり、写真などの原稿をスキャンして挿入したりできます。

A099

My Image Garden

【レイアウト選択】ダイアログ

作品のレイアウトを変更できます。

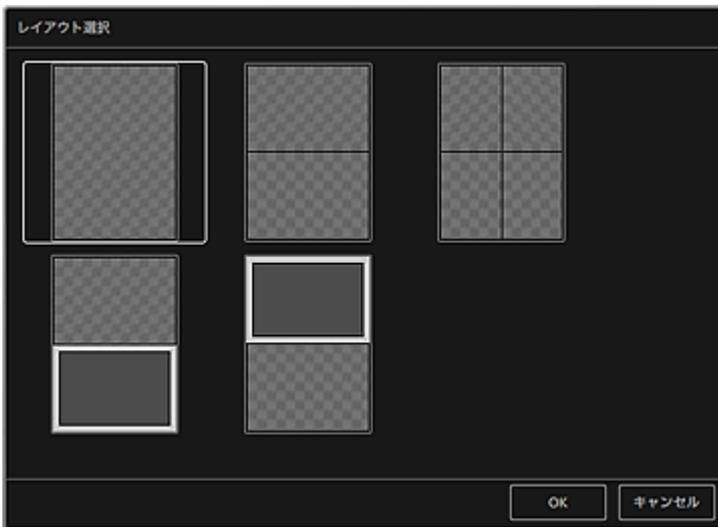
[マイ アート] ビューのページサムネイル表示エリアから変更したいページを選び、画面下側の [レイアウト] をクリックすると、[レイアウト選択] ダイアログが表示されます。

重要

- 作品の種類やテーマによっては、[レイアウト] をクリックできない場合があります。

参考

- 表示されるレイアウトの数や種類は、作品や選んでいるテーマによって異なります。



関連項目

- [レイアウトを変更する](#)

[ページの先頭へ▲](#)

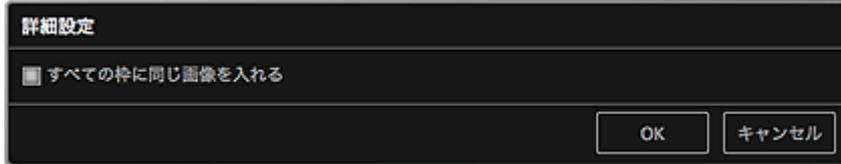
A100

My Image Garden

【詳細設定】ダイアログ (シール)

シールのすべての枠に同じ画像を入れることができます。

[マイ アート] ビューで、シールを表示し、画面下側の [詳細設定...] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログが表示されます。



【すべての枠に同じ画像を入れる】

チェックマークを付けると、ページ内のすべての枠に同じ画像が入れます。

関連項目

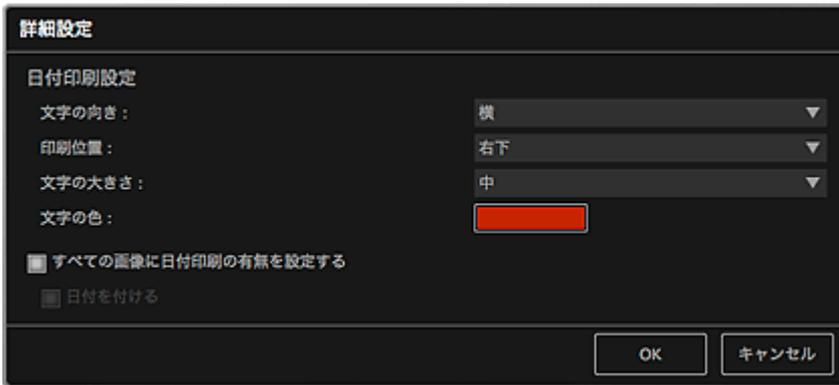
- シールを印刷する

[ページの先頭へ▲](#)

【詳細設定】ダイアログ (写真レイアウト)

レイアウト印刷する画像に日付を入れて印刷したい場合に、日付の位置や文字の大きさ、色などを設定したりできます。

[マイ アート] ビューで写真レイアウトを表示し、画面下側の [詳細設定...] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログが表示されます。



【日付印刷設定】

日付の印刷方法が設定できます。

【文字の向き】

日付の向きを選べます。

【印刷位置】

日付を印刷する位置を選べます。

画像を回転しても日付の印刷位置は変わりません。

【文字の大きさ】

日付の文字の大きさを選べます。

【文字の色】

日付の文字の色を設定できます。



(色の設定)

[カラー] ダイアログが表示されます。設定したい色を選んでください。

【すべての画像に日付印刷の有無を設定する】

【日付を付ける】

チェックマークを付けると、レイアウト枠に配置されているすべての画像に日付を入れられます。

参考

- 日付は、Exifデータとして記録されている画像の撮影日です。Exifデータがない場合は、画像の更新日が印刷されます。

関連項目

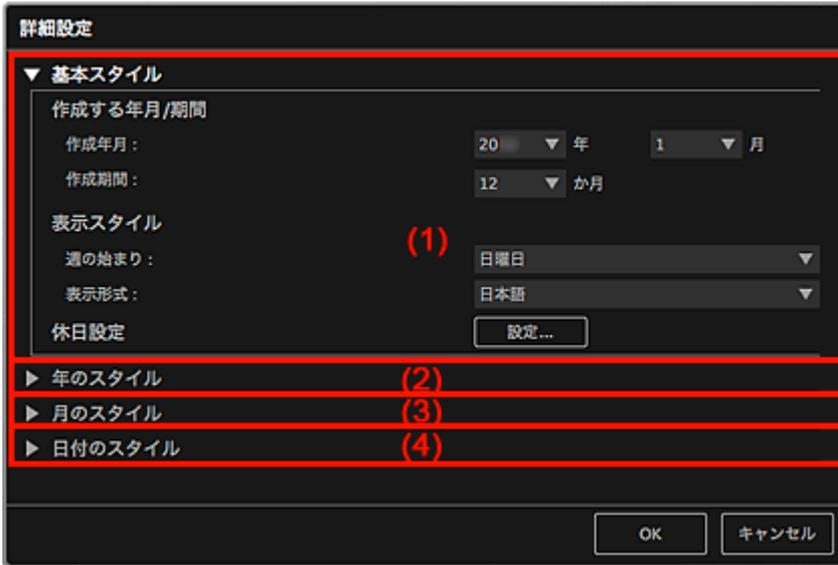
- 写真をいろいろなレイアウトで印刷する

[ページの先頭へ](#)

【詳細設定】ダイアログ (カレンダー)

カレンダーの基本的な設定やフォント、文字の色、表示形式などが設定できます。

[マイ アート] ビューでカレンダーを表示し、画面下側の [詳細設定...] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログが表示されます。



- (1) [基本スタイル]
- (2) [年のスタイル]
- (3) [月のスタイル]
- (4) [日付のスタイル]

(1) 【基本スタイル】

カレンダーの作成年月や週の表示形式、休日などを設定できます。



【作成する年月/期間】

【作成年月】

カレンダーの開始年月を選べます。

【作成期間】

カレンダーの月数を選べます。

【表示スタイル】

【週の始まり】

週の開始曜日を設定できます。【日曜日】または【月曜日】のどちらかを選べます。

【表示形式】

年月の表示形式を選べます。

【休日設定】

【設定...】をクリックすると【詳細設定】ダイアログ（カレンダーの休日設定）が表示され、カレンダーの休日を設定できます。

➡ [【詳細設定】ダイアログ（カレンダーの休日設定）](#)

(2) 【年のスタイル】

年号に適用するフォントや文字の色、表示形式が設定できます。



【フォント】

年号に適用するフォントの種類を選べます。

【文字の色】

年号に適用するフォントの種類を選べます。



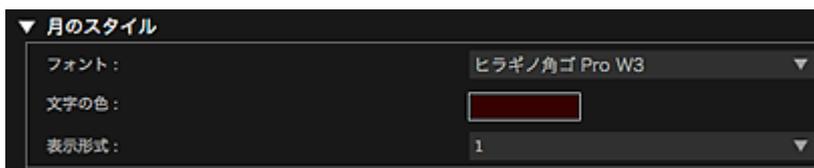
【カラー】ダイアログが表示されます。設定したい色を選んでください。

【表示形式】

年号の表示形式を選べます。

(3) 【月のスタイル】

月表記に適用するフォントや文字の色、表示形式が設定できます。



【フォント】

月表記に適用するフォントの種類を選べます。

【文字の色】

月表記の文字の色を選べます。



【カラー】ダイアログが表示されます。設定したい色を選んでください。

【表示形式】

月の表示形式を選べます。

(4) 【日付のスタイル】

曜日や日付で使用するフォントや、文字の色が設定できます。



【曜日のフォント】 / 【日付のフォント】

曜日や日付で使用するフォントを選べます。

【平日の文字色】 / 【土曜日の文字色】 / 【日曜日の文字色】 / 【休日の文字色】

曜日や日付の文字の色を選べます。



【カラー】ダイアログが表示されます。設定したい色を選んでください。

関連項目

- [カレンダーを印刷する](#)

[ページの先頭へ▲](#)

【詳細設定】 ダイアログ (カレンダーの休日設定)

カレンダーの休日を設定できます。

[マイ アート] ビューでカレンダーの [詳細設定] ダイアログを表示し、[基本スタイル] の [設定...] をクリックすると、休日設定画面が表示されます。

日付	休日名
----	-----

【指定する年/月】

カレンダーの作成期間が表示されます。休日を追加/修正する年月を選べます。

【休日指定】

休日として追加/修正する日を指定できます。

【日付で指定】

追加/修正する休日を日付で指定できます。

選んだ月によって、リストに表示される日付は異なります。

【曜日で指定】

追加/修正する休日を、「第〇週」の「x 曜日」で指定できます。

【休日名】

休日の名称を入力できます。

登録済みの休日を修正する場合は、休日に登録されている名称が表示されます。

【日付】

休日として登録されている日付が一覧で表示されます。

【休日名】

登録されている休日の名称が表示されます。

【追加】

設定した内容で新たに休日が追加されます。

【削除】

左側のリストで選んだ休日が削除されます。

関連項目

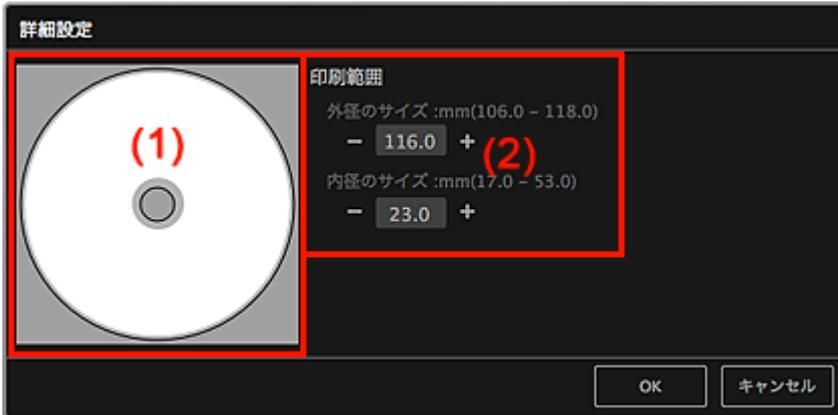
- [カレンダーを印刷する](#)
- [【詳細設定】ダイアログ \(カレンダー\)](#)

[ページの先頭へ▲](#)

【詳細設定】 ダイアログ (ディスクレーベル)

ディスクレーベルの印刷範囲を設定できます。

[マイ アート] ビューで、ディスクレーベルを表示し、画面下側の [詳細設定...] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログが表示されます。



(1) プレビュー

(2) 印刷範囲設定エリア

(1) プレビュー

設定した印刷範囲の結果を確認できます。

白い部分が印刷範囲です。

(2) 印刷範囲設定エリア

【外径のサイズ】

印刷する外径のサイズを0.1 mm (0.01 inch) 単位で設定できます。

【内径のサイズ】

印刷する内径のサイズを0.1 mm (0.01 inch) 単位で設定できます。

⬅️ ➕ (減らす) / (増やす)

サイズを調整できます。クリックするたびに、0.1 mm (0.01 inch) 単位でサイズが増減されます。

数値を直接入力することもできます。

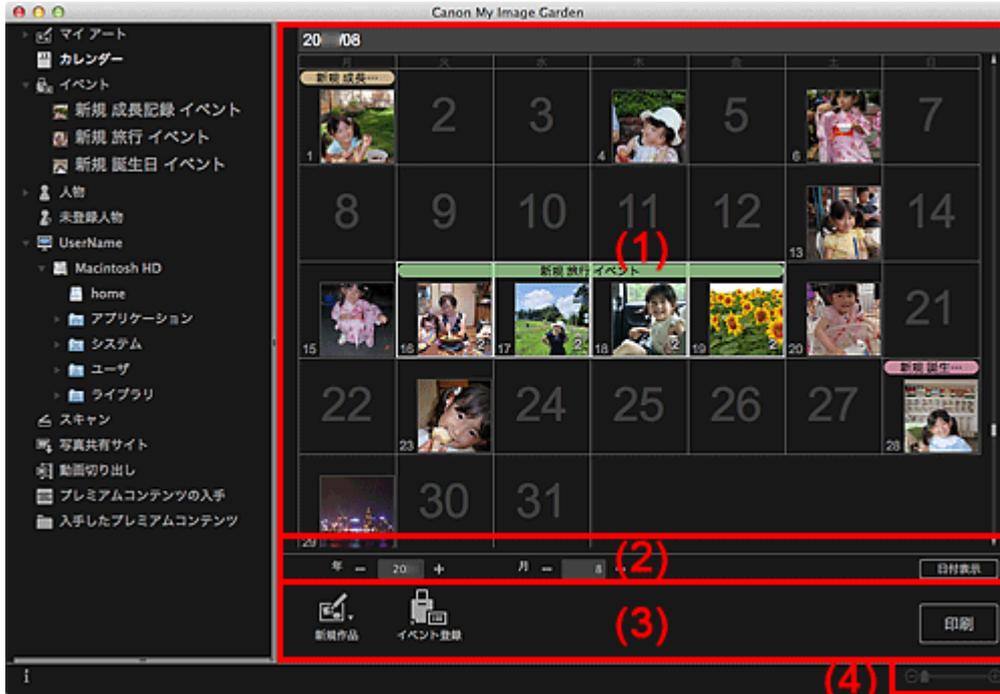
関連項目

- [ディスクレーベルを印刷する](#)

[カレンダー] ビュー

撮影日や作成日別に画像やPDFファイル、動画を閲覧したり、管理したりすることができます。

画面左側の [カレンダー] をクリックすると、[カレンダー] ビューに切り替わります。



- (1) カレンダー表示エリア
- (2) カレンダー表示切り替えエリア
- (3) 操作ボタン
- (4) 表示サイズ設定バー

(1) カレンダー表示エリア

月表示または日付表示のカレンダーが表示されます。カレンダー表示切り替えエリアにあるボタンで、月表示と日付表示を切り替えられます。

【月表示】の場合

カレンダーの日付には、その日付に撮影/作成された画像やPDFファイル、動画のサムネイルが1枚表示されます。

日付にカーソルを合わせると、サムネイルの右下にその日付に含まれる画像やPDFファイル、動画の合計ファイル数が表示されます。日付をダブルクリックすると、それらのファイルのサムネイル表示に切り替わります。

また、イベントを登録すると、カレンダー上にイベント名が表示されます。

参考

- 同じ日付に撮影/作成した画像やPDFファイル、動画が複数ある場合は、作成日時が一番古いファイルがサムネイル表示されます。

【日付表示】の場合

カレンダーの日付ごとに、その日付に撮影/作成された画像やPDFファイル、動画のサムネイルが表

示されます。

(2) カレンダー表示切り替えエリア

■ ■ (減らす) / (増やす)

年月日の数字を増減できます。クリックするたびに、カレンダー表示が指定の年月日に切り替わります。

参考

- 年月日は直接入力することもできます。

【日付表示】

日付表示のカレンダーに切り替わります。

参考

- 月表示のカレンダーで日付を選んでいるときにのみクリックできます。

【月表示】

月表示のカレンダーに切り替わります。

(3) 操作ボタン

表示されるボタンは、月表示と日付表示で異なります。

【月表示】の場合



【新規作品】

日付に含まれる画像を使用してコラージュやカードなどの作品が作成できます。作成する作品を選ぶと、[テーマと主役の選択] ダイアログが表示され、作成する作品のテーマや主役が設定できます。

➡ [テーマと主役の選択] ダイアログ

テーマや主役の選択が終わると、[マイ アート] ビューに切り替わります。

➡ [マイ アート] ビュー



【イベント登録】

[イベント登録] ダイアログが表示され、選んだ日付にイベント情報を登録できます。

➡ [イベント登録] ダイアログ

参考

- 複数の日付を選んで登録することもできます。

【日付表示】の場合

参考

- [新規作品] は、サムネイル表示のときにのみ表示されます。
- [登録する人物を指定]、 (前のファイル/次のファイル) は、詳細表示のときにのみ表示されます。
- [補正/加工]、[特殊フィルター] は、画像を選んでいるときにのみクリックできます。
- [PDFの作成/編集] は、画像またはPDFファイルを選んでいるときにのみクリックできます。
- [動画切り出し] は、動画を選んでいるときにのみクリックできます。



【新規作品】

画像を使用してコラージュやカードなどの作品が作成できます。

作成する作品を選ぶと、[テーマと主役の選択] ダイアログが表示され、作成する作品のテーマや主役が設定できます。

➡ [テーマと主役の選択] ダイアログ

テーマや主役の選択が終わると、[マイ アート] ビューに切り替わります。

➡ [マイ アート] ビュー



【補正/加工】

[画像の補正/加工] ウィンドウが表示され、画像を補正/加工できます。

➡ [画像の補正/加工] ウィンドウ



【特殊フィルター】

[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示され、特殊なフィルターで画像を加工できます。

➡ [画像の特殊フィルター] ウィンドウ



【動画切り出し】

[動画切り出し] ビューに切り替わり、動画から静止画を切り出せます。

➡ [動画切り出し] ビュー



【PDFの作成/編集】

[PDFの作成/編集] ビューが表示され、PDFファイルを作成したり、編集したりできます。

➡ [PDFの作成/編集] ビュー

重要

- PDFファイルは、My Image GardenまたはIJ Scan Utilityで作成したファイルにのみ対応しています。ほかのアプリケーションソフトで作成または編集されたPDFファイルには対応していません。



【登録する人物を指定】

プレビュー上に白枠が表示され、人物の顔の範囲を指定し、名前を登録できます。

【印刷】

印刷設定ダイアログが表示され、画像やPDFファイルを印刷できます。

➡ 印刷設定ダイアログ



(前のファイル/次のファイル)

画像やPDFファイル、動画が複数あるときに、表示する画像を切り替えられます。

(4) 表示サイズ設定バー

サムネイル表示

日付表示のときに、画像やPDFファイル、動画がサムネイル表示に切り替わります。

詳細表示

日付表示のときに、画像やPDFファイル、動画がプレビュー表示に切り替わります。

全体表示

日付表示で詳細表示にしているときに、プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

縮小/拡大

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小／拡大できます。また、スライダーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

- イベントの登録方法については、「[イベントを登録する](#)」をご覧ください。
 - 詳細表示のプレビューから人物を登録する方法については、「[画像の詳細表示から人物を登録する](#)」をご覧ください。
 - PDFファイルの詳細表示については、「[\[PDFの作成/編集\] ビュー](#)」をご覧ください。
 - 動画を詳細表示すると、動画再生リモコンが表示され、 (停止)、 (再生) /  (一時停止)、 (コマ戻し)、 (コマ送り)、 (ミュート) /  (ミュート解除) の操作ができます。
-

関連項目

- [イベントを登録する](#)
- [\[イベント\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[イベント登録] ダイアログ

画像にイベントの情報を登録できます。

[カレンダー] ビューで登録したい日付を選び、画面下側の [イベント登録] をクリックすると、[イベント登録] ダイアログが表示されます。

イベント登録

イベント名：
新規 誕生日 イベント

カテゴリ： (2)
記念日
誕生日

1 / 9

選択した撮影日の画像をすべて登録する (3) OK キャンセル

参考

- [カレンダー] ビューが月表示のときのみ、イベントが登録できます。日付表示になっている場合は、月表示に切り替えてください。

- (1) プレビューエリア
- (2) イベント設定エリア
- (3) [選択した撮影日の画像をすべて登録する]

(1) プレビューエリア

選んだ日付に撮影／作成された画像が表示されます。

◀ ▶ (前の画像) / (次の画像)

画像が複数あるときに、画像を切り替えられます。

(2) イベント設定エリア

【イベント名】

イベントの名称を入力できます。

【カテゴリ】

カテゴリを設定できます。以下の中から選べます。

[子供]：[成長記録]、[入学式]、[卒業式]、[発表会]、[運動会]、[誕生日]、[その他]

[記念日]：[結婚式]、[誕生日]、[その他]

[レジャー]：[旅行]、[その他]

[趣味]

[その他]

(3) 【選択した撮影日の画像をすべて登録する】

チェックマークを付けると、選んだ日付に含まれる画像をすべて同じイベントとして登録できます。また、選んだ日付に含まれる画像を確認するためのプレビューが表示されます。

関連項目

- イベントを登録する
- [カレンダー] ビュー

[ページの先頭へ▲](#)

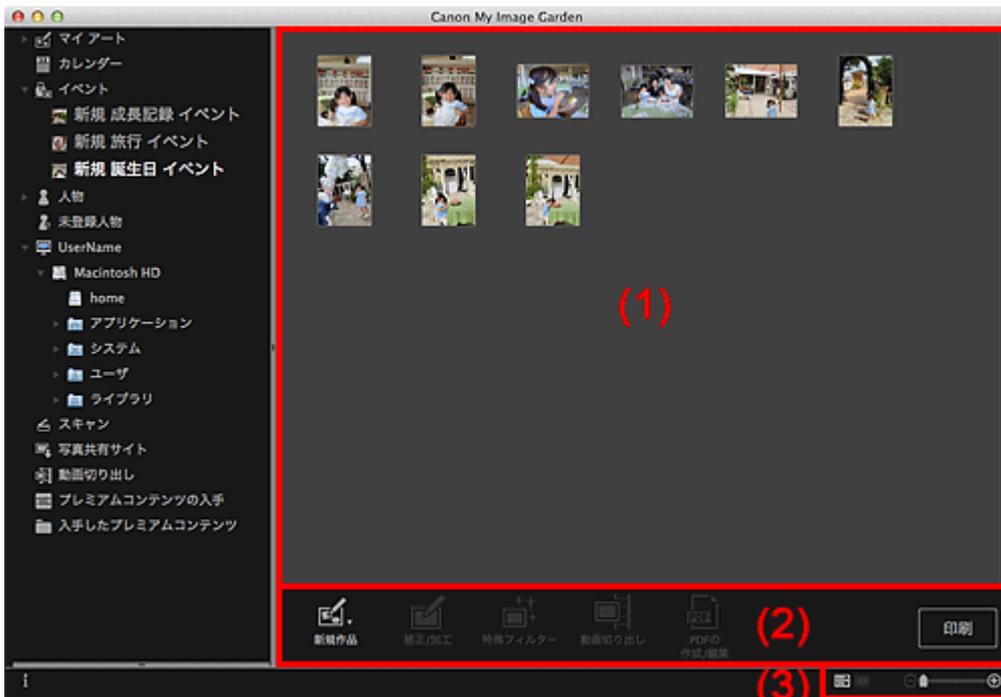
[イベント] ビュー

[カレンダー] ビューで設定したイベントに登録されている画像やPDFファイル、動画を、イベントごとに閲覧できます。

画面左側の [イベント] の下に表示されているイベント名をクリックすると、[イベント] ビューに切り替わります。

参考

- [イベント] ビューは、[カレンダー] ビューでイベントを登録したときのみ表示できます。



- (1) サムネイル表示エリア
- (2) 操作ボタン
- (3) 表示サイズ設定バー

(1) サムネイル表示エリア

イベントに登録されている画像やPDFファイル、動画がサムネイル表示されます。

参考

- controlキーを押しながらサムネイルをクリックして表示されるメニューから [削除] を選ぶと、サムネイル表示エリアに表示されなくなります。

(2) 操作ボタン

参考

- [新規作品] は、サムネイル表示のときにのみ表示されます。

- [登録する人物を指定]、 (前のファイル/次のファイル) は、詳細表示のときにのみ表示

されます。

- [補正/加工]、[特殊フィルター] は、画像を選んでいるときにのみクリックできます。
- [PDFの作成/編集] は、画像またはPDFファイルを選んでいるときにのみクリックできます。
- [動画切り出し] は、動画を選んでいるときにのみクリックできます。



【新規作品】

画像を使用してコラージュやカードなどの作品が作成できます。

作成する作品を選ぶと、[テーマと主役の選択] ダイアログが表示され、作成する作品のテーマや主役が設定できます。

➡ [テーマと主役の選択] ダイアログ

テーマや主役の選択が終わると、[マイ アート] ビューに切り替わります。

➡ [マイ アート] ビュー



【補正/加工】

[画像の補正/加工] ウィンドウが表示され、画像を補正/加工できます。

➡ [画像の補正/加工] ウィンドウ



【特殊フィルター】

[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示され、特殊なフィルターで画像を加工できます。

➡ [画像の特殊フィルター] ウィンドウ



【動画切り出し】

[動画切り出し] ビューに切り替わり、動画から静止画を切り出せます。

➡ [動画切り出し] ビュー



【PDFの作成/編集】

[PDFの作成/編集] ビューが表示され、PDFファイルを作成したり、編集したりできます。

➡ [PDFの作成/編集] ビュー

重要

- PDFファイルは、My Image GardenまたはIJ Scan Utilityで作成したファイルにのみ対応しています。ほかのアプリケーションソフトで作成または編集されたPDFファイルには対応していません。



【登録する人物を指定】

プレビュー上に白枠が表示され、人物の顔の範囲を指定し、名前を登録できます。

【印刷】

印刷設定ダイアログが表示され、画像やPDFファイルを印刷できます。

➡ 印刷設定ダイアログ



(前のファイル/次のファイル)

画像やPDFファイル、動画が複数あるときに、表示する画像を切り替えられます。

(3) 表示サイズ設定バー

 (サムネイル表示)

画像やPDFファイル、動画がサムネイル表示に切り替わります。

(詳細表示)

画像やPDFファイル、動画がプレビュー表示に切り替わります。

(全体表示)

詳細表示のときに、プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

(縮小/拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

- 詳細表示のプレビューから人物を登録する方法については、「[画像の詳細表示から人物を登録する](#)」をご覧ください。
- PDFファイルの詳細表示については、「[\[PDFの作成/編集\] ビュー](#)」をご覧ください。
- 動画を詳細表示すると、動画再生リモコンが表示され、 (停止)、 (再生) /  (一時停止)、 (コマ戻し)、 (コマ送り)、 (ミュート) /  (ミュート解除) の操作ができます。

関連項目

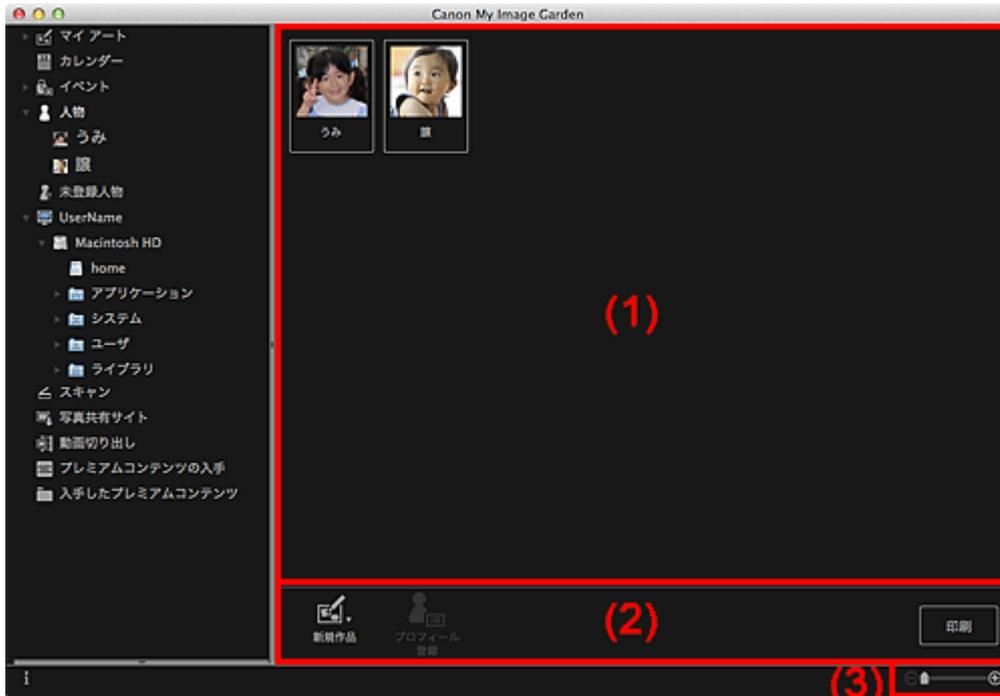
- [● イベントを登録する](#)
- [● \[カレンダー\] ビュー](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

【人物】ビュー

画像が人物ごとにまとめて表示されます。また、登録済みの人物のプロフィールを設定することができます。

画面左側の【人物】をクリックすると、【人物】ビューに切り替わります。



(1) 登録済み人物表示エリア

(2) 操作ボタン

(3) 表示サイズ設定バー

(1) 登録済み人物表示エリア

【未登録人物】ビューや画像の詳細表示で登録した人物がサムネイル表示されます。

人物にカーソルを合わせると、サムネイルの右下にその人物が含まれる画像の合計枚数が表示されます。

人物をダブルクリックすると、その人物が含まれる画像のサムネイル表示に切り替わります。

→ 展開表示

参考

- controlキーを押しながら人物をクリックして表示されるメニューから【削除】を選ぶと、削除を確認する画面が表示されます。【はい】をクリックすると、【人物】ビューから人物名が削除されます。また、人物名が削除された画像は、未登録の人物として【未登録人物】ビューに表示されます。

(2) 操作ボタン

参考

- 【プロフィール登録】は、人物を選んでいるときのみクリックできます。



【新規作品】

人物に登録されている画像を使用してコラージュやカードなどの作品が作成できます。作成する作品を選ぶと、[テーマと主役の選択] ダイアログが表示され、作成する作品のテーマや主役が設定できます。

➡ [テーマと主役の選択] ダイアログ

テーマや主役の選択が終わると、[マイ アート] ビューに切り替わります。

➡ [マイ アート] ビュー



【プロフィール登録】

[プロフィール登録] ダイアログが表示され、登録済みの人物にプロフィールを設定できます。

➡ [プロフィール登録] ダイアログ

【印刷】

印刷設定ダイアログが表示され、人物に含まれる画像を印刷できます。

➡ 印刷設定ダイアログ

(3) 表示サイズ設定バー

 (縮小/拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

- プロフィールの設定方法については、「[人物のプロフィールを登録する](#)」をご覧ください。

[ページの先頭へ▲](#)

[プロフィール登録] ダイアログ

登録した人物のプロフィールを登録できます。

[人物] ビューで登録したい人物を選び、画面下側の [プロフィール登録] をクリックすると、[プロフィール登録] ダイアログが表示されます。



参考

- [人物] ビューのときのみ、プロフィールが登録できます。展開表示になっている場合は、[人物] ビューに切り替えてください。

(1) プレビュー

(2) プロフィール登録エリア

(1) プレビュー

人物に登録されている画像がサムネイル表示されます。

◀ ▶ (前の画像) / (次の画像)

画像が複数あるときに、画像を切り替えられます。

(2) プロフィール登録エリア

【名前】

人物の名前を入力できます。

【続柄】

続柄を設定できます。以下の中から選べます。

[自分]、[息子]、[娘]、[孫息子]、[孫娘]、[夫]、[妻]、[父]、[母]、[兄弟/姉妹]、[祖父]、[祖母]、[親戚]、[友人]、[子供の友人]、[その他]

【生年月日】

カレンダーから生年月日を登録できます。

 (カレンダー) をクリックすると、カレンダーが表示されます。登録したい日付を選んでくださ

い。

関連項目

[● 人物のプロフィールを登録する](#)

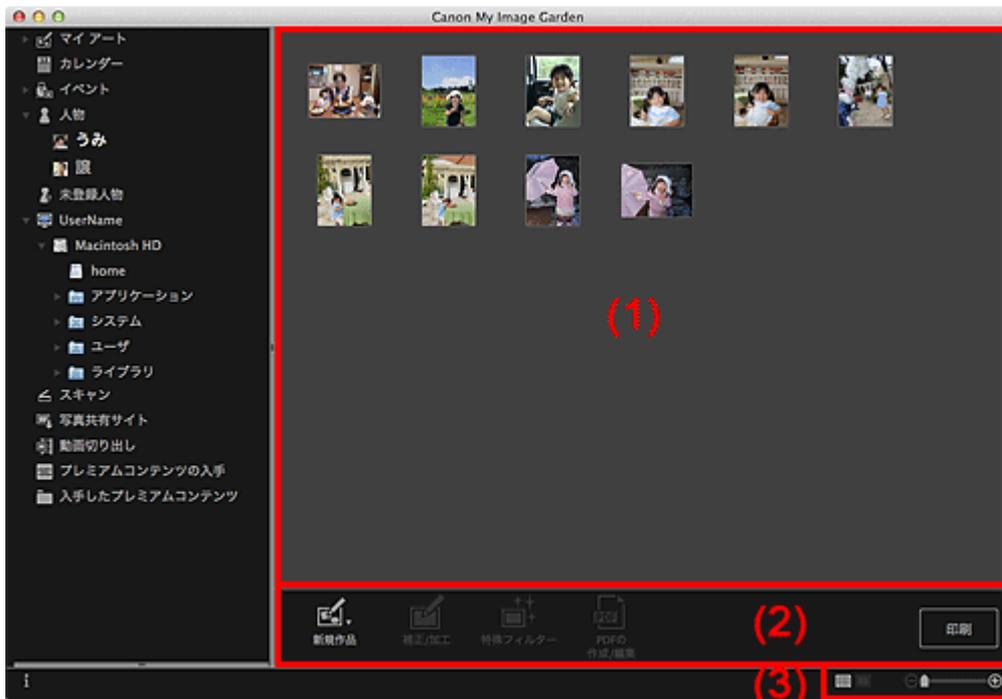
[ページの先頭へ▲](#)

展開表示

登録した人物に含まれるすべての画像が、サムネイル表示されます。画像を閲覧したり、編集したりすることができます。

以下のいずれかの操作で、[人物] ビューが展開表示に切り替わります。

- [人物] ビューで人物をダブルクリック
- 画面左側の [人物] の下に表示されている人物名をクリック



(1) サムネイル表示エリア

(2) 操作ボタン

(3) 表示サイズ設定バー

(1) サムネイル表示エリア

登録した人物の画像が表示されます。

サムネイル表示の場合

人物に登録されている画像がサムネイル表示されます。

詳細表示の場合

画像全体がプレビュー表示されます。

参考

- controlキーを押しながら画像をクリックして表示されるメニューから [削除] を選ぶと、サムネイル表示エリアに表示されなくなります。

(2) 操作ボタン

- [新規作品] は、サムネイル表示のときにのみ表示されます。
- [登録する人物を指定]、 (前のファイル/次のファイル) は、詳細表示のときにのみ表示されます。
- [補正/加工]、[特殊フィルター]、[PDFの作成/編集] は、画像を選んでいるときにのみクリックできます。



【新規作品】

画像を使用してコラージュやカードなどの作品が作成できます。

作成する作品を選ぶと、[テーマと主役の選択] ダイアログが表示され、作成する作品のテーマや主役が設定できます。

➡ [テーマと主役の選択] ダイアログ

テーマや主役の選択が終わると、[マイ アート] ビューに切り替わります。

➡ [マイ アート] ビュー



【補正/加工】

[画像の補正/加工] ウィンドウが表示され、画像を補正/加工できます。

➡ [画像の補正/加工] ウィンドウ



【特殊フィルター】

[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示され、特殊なフィルターで画像を加工できます。

➡ [画像の特殊フィルター] ウィンドウ



【PDFの作成/編集】

[PDFの作成/編集] ビューが表示され、PDFファイルを作成できます。

➡ [PDFの作成/編集] ビュー



【登録する人物を指定】

プレビュー上に白枠が表示され、人物の顔の範囲を指定し、名前を登録できます。

【印刷】

印刷設定ダイアログが表示され、画像を印刷できます。

➡ 印刷設定ダイアログ



(前のファイル/次のファイル)

画像が複数あるときに、表示する画像を切り替えられます。

(3) 表示サイズ設定バー

(サムネイル表示)

画像がサムネイル表示に切り替わります。

(詳細表示)

画像がプレビュー表示に切り替わります。

(全体表示)

詳細表示のときに、プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

   (縮小/拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

関連項目

- [● 画像の詳細表示から人物を登録する](#)

[ページの先頭へ▲](#)

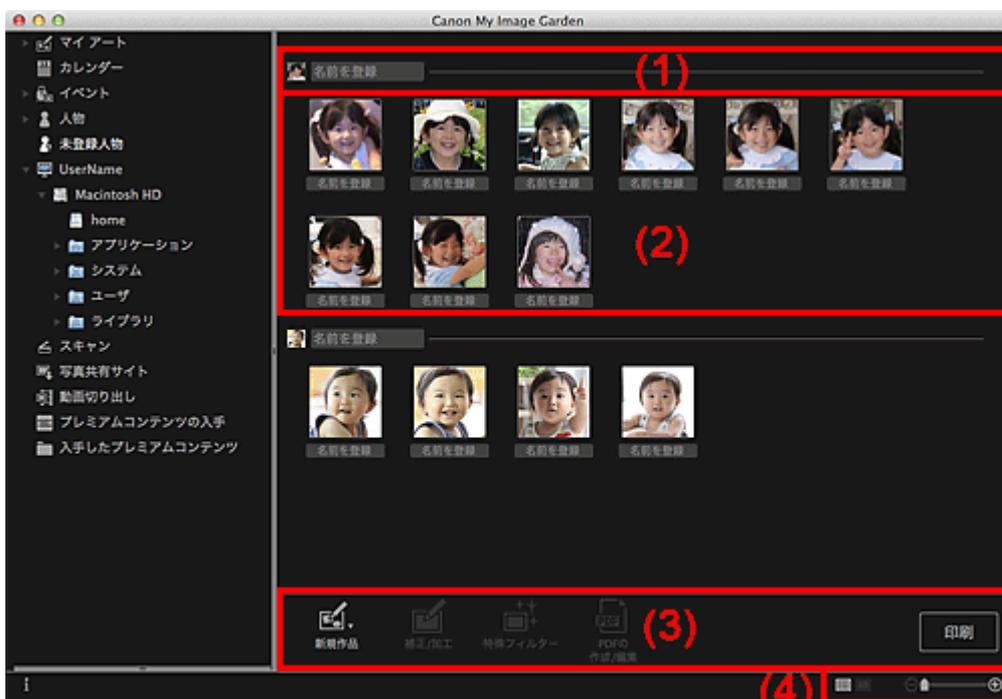
[未登録人物] ビュー

自動的に顔の部分が検出された画像に、その人物の名前を登録できます。

画面左側の [未登録人物] をクリックすると、[未登録人物] ビューに切り替わります。

参考

- 画像解析中は [未登録人物] ではなく、[人物を確認中...] と表示されます。
- 画像解析の対象となるのは [画像解析対象フォルダー] として設定されたフォルダー以下に保存されている、JPEG、TIFF、PNGの画像ファイルのみとなります。 [画像解析対象フォルダー] の設定方法については、「[環境設定] ダイアログ」をご覧ください。



(1) 代表サムネイル表示エリア

(2) サムネイル表示エリア

(3) 操作ボタン

(4) 表示サイズ設定バー

(1) 代表サムネイル表示エリア

同一人物として認識された画像のなかで、最初に認識された画像の顔部分がサムネイルで表示されます。

[名前を登録] をクリックして名前を入力すると、同一人物として認識されているサムネイル表示エリア内の画像に、一括で名前が登録できます。

(2) サムネイル表示エリア

同一人物として認識された画像の顔部分が、サムネイルでグループ表示されます。

[名前を登録] をクリックして名前を入力すると、画像ごとに人物の名前が登録できます。

(3) 操作ボタン

参考

- [新規作品] は、サムネイル表示のときにのみ表示されます。
- [登録する人物を指定]、 (前のファイル/次のファイル) は、詳細表示のときにのみ表示されます。
- [補正/加工]、[特殊フィルター]、[PDFの作成/編集] は、画像を選んでいるときにのみクリックできます。



【新規作品】

画像を使用してコラージュやカードなどの作品が作成できます。

➡ [テーマと主役の選択] ダイアログ

テーマや主役の選択が終わると、[マイ アート] ビューに切り替わります。

➡ [マイ アート] ビュー



【補正/加工】

[画像の補正/加工] ウィンドウが表示され、画像を補正/加工できます。

➡ [画像の補正/加工] ウィンドウ



【特殊フィルター】

[画像の特殊フィルター] ウィンドウが表示され、特殊なフィルターで画像を加工できます。

➡ [画像の特殊フィルター] ウィンドウ



【PDFの作成/編集】

[PDFの作成/編集] ビューが表示され、PDFファイルを作成できます。

➡ [PDFの作成/編集] ビュー



【登録する人物を指定】

プレビュー上に白枠が表示され、人物の顔の範囲を指定し、名前を登録できます。

【印刷】

印刷設定ダイアログが表示され、画像を印刷できます。

➡ 印刷設定ダイアログ



(前のファイル/次のファイル)

複数の画像が検出されているときに、表示する画像を切り替えられます。

(4) 表示サイズ設定バー

(サムネイル表示)

画像がサムネイル表示に切り替わります。

(詳細表示)

画像がプレビュー表示に切り替わります。

(全体表示)

詳細表示のときに、プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。



(縮小／拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小／拡大できます。また、スライダーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

関連項目

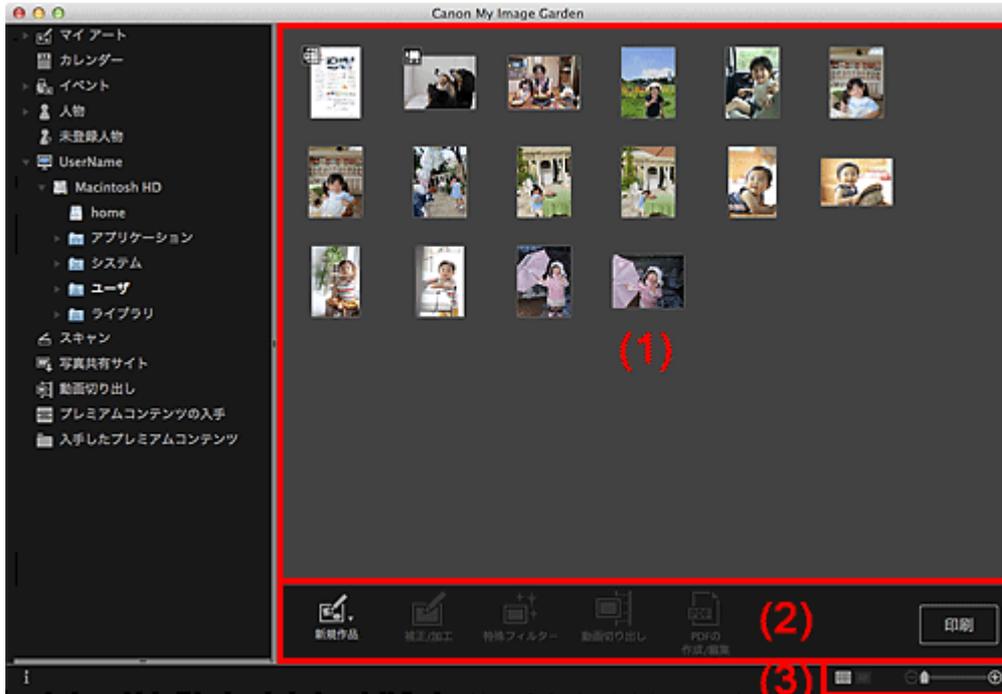
[● 人物を登録する](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

フォルダービュー

指定したフォルダー内にある画像やPDFファイル、動画が、サムネイル表示されます。

画面左側のフォルダーツリーでフォルダーを選ぶと、フォルダービューに切り替わります。



(1) サムネイル表示エリア

(2) 操作ボタン

(3) 表示サイズ設定バー

(1) サムネイル表示エリア

選んだフォルダー内にある画像やPDFファイル、動画がサムネイル表示されます。

参考

- 動画の場合は、サムネイルの左上に  (動画) マークが表示されます。
- PDFファイルの場合は、サムネイルの左上に  (PDF) マークが表示されます。

(2) 操作ボタン

参考

- [新規作品] は、サムネイル表示のときにのみ表示されます。
- [登録する人物を指定]、  (前のファイル/次のファイル) は、詳細表示のときにのみ表示されます。
- [補正/加工]、[特殊フィルター] は、画像を選んでいるときにのみクリックできます。
- [PDFの作成/編集] は、画像またはPDFファイルを選んでいるときにのみクリックできます。
- [動画切り出し] は、動画を選んでいるときにのみクリックできます。



【新規作品】

画像を使用してコラージュやカードなどの作品が作成できます。

作成する作品を選ぶと、【テーマと主役の選択】ダイアログが表示され、作成する作品のテーマや主役が設定できます。

➡ 【テーマと主役の選択】ダイアログ

テーマや主役の選択が終わると、【マイアート】ビューに切り替わります。

➡ 【マイアート】ビュー



【補正/加工】

【画像の補正/加工】ウィンドウが表示され、画像を補正/加工できます。

➡ 【画像の補正/加工】ウィンドウ



【特殊フィルター】

【画像の特殊フィルター】ウィンドウが表示され、特殊なフィルターで画像を加工できます。

➡ 【画像の特殊フィルター】ウィンドウ



【動画切り出し】

【動画切り出し】ビューに切り替わり、動画から静止画を切り出せます。

➡ 【動画切り出し】ビュー



【PDFの作成/編集】

【PDFの作成/編集】ビューが表示され、PDFファイルを作成したり、編集したりできます。

➡ 【PDFの作成/編集】ビュー

重要

- PDFファイルは、My Image GardenまたはIJ Scan Utilityで作成したファイルにのみ対応しています。ほかのアプリケーションソフトで作成または編集されたPDFファイルには対応していません。



【登録する人物を指定】

プレビュー上に白枠が表示され、人物の顔の範囲を指定し、名前を登録できます。

【印刷】

印刷設定ダイアログが表示され、画像やPDFファイルを印刷できます。

➡ 印刷設定ダイアログ



（前のファイル/次のファイル）

画像やPDFファイル、動画が複数あるときに、表示する画像を切り替えられます。

(3) 表示サイズ設定バー

(サムネイル表示)

画像やPDFファイル、動画がサムネイル表示に切り替わります。

(詳細表示)

画像やPDFファイル、動画がプレビュー表示に切り替わります。

(全体表示)

詳細表示のときに、プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

 (縮小/拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

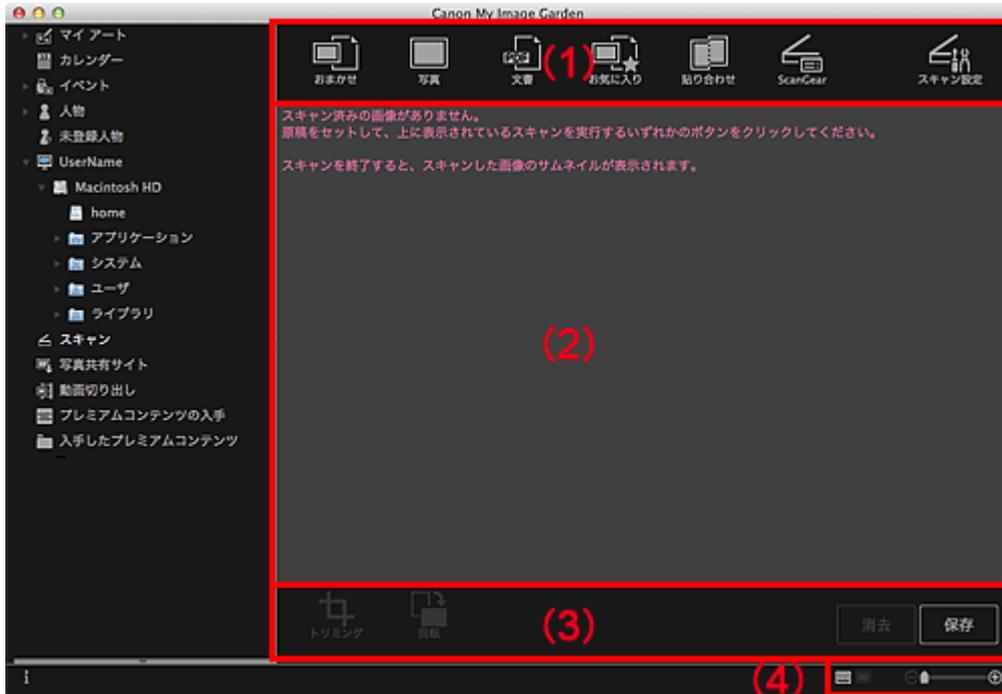
- 詳細表示のプレビューから人物を登録する方法については、「[画像の詳細表示から人物を登録する](#)」をご覧ください。
- PDFファイルの詳細表示については、「[\[PDFの作成/編集\] ビュー](#)」をご覧ください。
- 動画を詳細表示すると、動画再生リモコンが表示され、 (停止)、 (再生) /  (一時停止)、 (コマ戻し)、 (コマ送り)、 (ミュート) /  (ミュート解除) の操作ができます。

[ページの先頭へ▲](#)

[スキャン] ビュー

原稿や用途に合わせて、さまざまなスキャンができます。

画面左側の [スキャン] をクリックすると、[スキャン] ビューに切り替わります。



- (1) スキャンボタンエリア
- (2) スキャン画像サムネイル表示エリア
- (3) 操作ボタン
- (4) 表示サイズ設定バー

(1) スキャンボタンエリア



【おまかせ】

セットした原稿の種類を自動判別させてかんたんにスキャンできます。



【写真】

セットした原稿を写真としてスキャンできます。



【文書】

セットした原稿を文書としてスキャンできます。



【お気に入り】

お気に入りに指定した設定でスキャンできます。



【貼り合わせ】

スキャンした画像を貼り合わせて、1枚の画像にできます。
クリックすると、IJ Scan Utilityが起動します。
詳細については、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。



【ScanGear】

ScanGear（スキャナードライバー）を開き、詳細な設定で写真や文書をスキャンできます。
クリックすると、ScanGearが起動します。
詳細については、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。



【スキャン設定】

スキャンの詳細な設定ができます。
クリックすると、IJ Scan Utilityが起動します。
詳細については、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。

(2) スキャン画像サムネイル表示エリア

スキャンした画像のサムネイルとファイル名が表示されます。

(3) 操作ボタン

参考



（前のファイル/次のファイル）は、詳細表示のときにのみ表示されます。



【トリミング】

【トリミング】ビューに切り替わり、スキャンした画像の一部を切り出せます。

➡ 【トリミング】ビュー（【スキャン】ビュー）



【回転】

クリックするたびに、スキャンした画像を右に90度回転できます。

【消去】

スキャンした画像を削除できます。

【保存】

【保存】ダイアログが表示され、スキャンした画像を保存できます。

➡ 【保存】ダイアログ（【スキャン】ビュー）



（前のファイル/次のファイル）

スキャンした画像が複数あるときに、表示する画像を切り替えられます。

(4) 表示サイズ設定バー

(サムネイル表示)

画像がサムネイル表示に切り替わります。

(詳細表示)

画像がプレビュー表示に切り替わります。

 (全体表示)

詳細表示のときに、プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

  (縮小／拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小／拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

関連項目

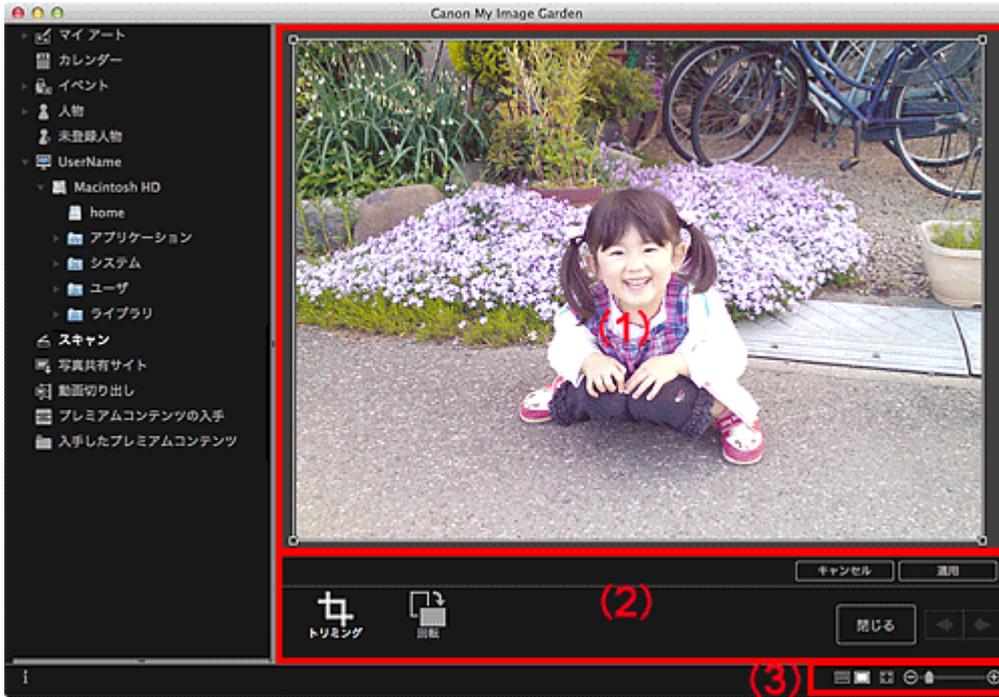
[写真や文書をスキャンしよう](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[トリミング] ビュー ([スキャン] ビュー)

スキャンした画像の一部を切り出すことができます。

[スキャン] ビューで [トリミング] をクリックすると、[トリミング] ビューに切り替わります。



- (1) プレビューエリア
- (2) 操作ボタン
- (3) 表示サイズ設定バー

(1) プレビューエリア

トリミングする画像がプレビュー表示されます。

また、トリミングの対象となる範囲が白枠で表示されます。

(2) 操作ボタン



【トリミング】

[スキャン] ビューに戻ります。



【回転】

クリックするたびに、プレビューエリアに表示された画像を右に90度回転できます。

【キャンセル】

白枠が初期状態に戻ります。

【適用】

トリミングが実行されます。

【閉じる】

トリミングが実行されずに、[スキャン] ビューに戻ります。



(前の画像/次の画像)

スキャンした画像が複数あるときに、表示する画像を切り替えられます。

(3) 表示サイズ設定バー

(サムネイル表示)

[スキャン] ビューに切り替わります。

(全体表示)

プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

(縮小/拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

関連項目

- [スキャンした画像の一部を切り出す \(トリミング\)](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

【保存】ダイアログ ([スキャン] ビュー)

スキャンした画像をパソコンに保存するときの詳細な設定ができます。

[スキャン] ビューの画面右下にある [保存] をクリックすると、[保存] ダイアログが表示されます。



【保存する場所】

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。変更したい場合は、[参照...] をクリックし、保存先フォルダーを指定してください。

初期設定では、[ピクチャ] フォルダーに保存されます。

【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力できます。複数のファイルを同時に保存する場合は、ファイル名を入力することができません。スキャン後に自動で付くファイル名で保存されます。

【データ形式】

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を指定できます。

[JPEG]、[TIFF]、[PNG]、[PDF]、[PDF (ページ追加)]、[PDF (複数ページ)]、[元のデータ形式で保存] のいずれかを選べます。

[PDF (ページ追加)] を選んだ場合は、表示されるメッセージの [追加先の選択...] をクリックし、挿入先のPDFファイルを指定してください。

参考

- [PDF (複数ページ)] は、[スキャン] ビューのスキャン画像サムネイル表示エリアで複数の画像を選んだときにのみ表示されます。
- [元のデータ形式で保存] は、[スキャン] ビューのスキャン画像サムネイル表示エリアで複数のデータ形式を選んだときにのみ表示されます。

【設定...】

[データ形式] で [JPEG]、[PDF]、[PDF (ページ追加)]、[PDF (複数ページ)] のいずれかを選んだときに、さらに詳細な保存方法を設定することができます。

【JPEG】を選んだ場合

[ファイル設定] ダイアログが表示され、JPEGファイルの画質 (圧縮タイプ) を指定できます。[高画質(低圧縮)]、[標準画質]、[低画質(高圧縮)] のいずれかを選べます。

【PDF】、【PDF (ページ追加)】、【PDF (複数ページ)】を選んだ場合

[PDF設定] ダイアログが表示され、PDFファイルを作成するときの詳細な設定ができます。

➡ [\[PDF設定\] ダイアログ](#)

【今日の日付のフォルダーに保存する】

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

関連項目

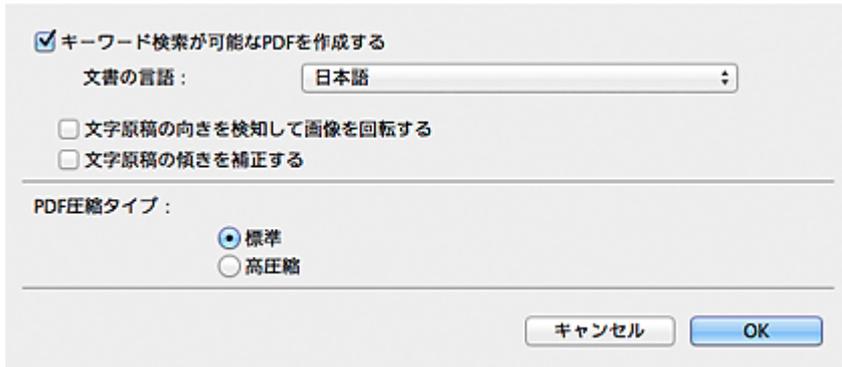
- [\[スキャン\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[PDF設定] ダイアログ

PDF圧縮タイプなど保存するPDFファイルの詳細な設定ができます。

[スキャン] ビューの [保存] ダイアログで、[データ形式] にPDFを選んで [設定...] をクリックすると、[PDF設定] ダイアログが表示されます。



[キーワード検索が可能なPDFを作成する]

チェックマークを付けると、画像内の文字列がテキストデータに変換され、キーワード検索ができるPDFファイルを作成できます。

[文書の言語]

画像内の文字列を認識させるための言語を選べます。

[文字原稿の向きを検知して画像を回転する]

チェックマークを付けると、画像内の文字列からページの向きを検知し、正しい向きに自動で回転されたPDFファイルを作成できます。

重要

- [文書の言語] で選べる言語の画像（文字原稿）のみ、この機能を利用できます。画像内の言語によっては使用できません。
- 次のような画像は文字が正しく認識できないため、ページの向きが検知されない場合があります。
 - ・文字数が少ない画像
 - ・文字サイズが8ポイント～48ポイントの範囲外の文字を含む画像
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む画像
 - ・下地に模様（地紋）がある画像

[文字原稿の傾きを補正する]

チェックマークを付けると、画像内の文字列から原稿の傾きを検知し、 ± 0.1 度～10度の範囲で傾きが補正されたPDFファイルを作成できます。

重要

- 次のような画像は文字が正しく認識できないため、正しく補正されない場合があります。
 - ・テキストの行が10度以上傾いている、もしくは傾きの角度が行によって異なる画像
 - ・縦書きと横書きのテキストが混在する画像
 - ・文字サイズが極端に大きいまたは小さい画像
 - ・文字数が少ない画像
 - ・図形や画像の含まれる画像
 - ・手書きの画像

【PDF圧縮タイプ】

保存するときの圧縮タイプを選べます。

【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

【高圧縮】

ファイルのデータ容量を圧縮して保存されます。ネットワークやサーバーへの負担を軽減できません。

重要

- PDFファイルを高圧縮で繰り返し保存すると、画像が劣化することがあります。

関連項目

- [\[保存\] ダイアログ \(\[スキャン\] ビュー \)](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

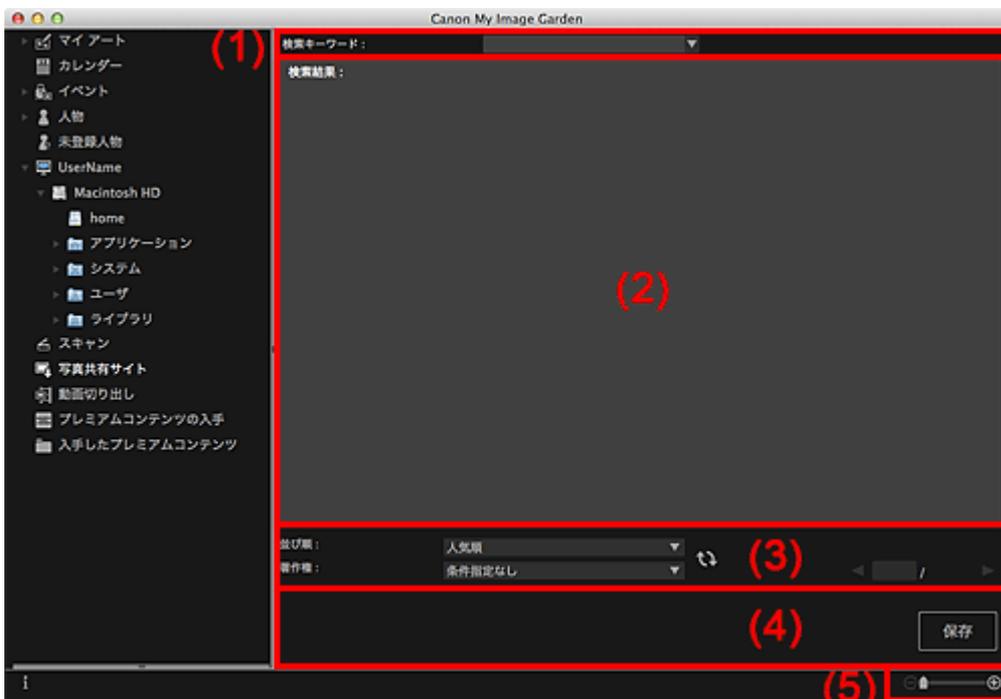
[写真共有サイト] ビュー

インターネット上の写真共有サイトで画像を検索し、印刷したい画像をダウンロードできます。

画面左側の [写真共有サイト] をクリックすると、[写真共有サイト] ビューに切り替わります。

重要

- この機能を利用するには、インターネットへの接続が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- このアプリケーションソフトはFlickr APIを利用していますが、Flickrによって推奨または認定されているわけではありません。



- (1) 検索キーワード入力エリア
- (2) 検索画像表示エリア
- (3) 検索条件/ページ指定エリア
- (4) 操作ボタン
- (5) 表示サイズ設定バー

(1) 検索キーワード入力エリア

【検索キーワード】

検索したいキーワードを入力してreturnキーを押すと、検索画像表示エリアに検索結果が表示されます。

参考

-  (下矢印) をクリックすると、検索履歴が20件まで表示され、その中からキーワードを選ぶことができます。
- 複数のキーワードを入力したい場合は、キーワードとキーワードの間にスペースを入力してください。
- 検索履歴がある場合、リストメニューの一番下に表示される [履歴の削除] を選ぶと、過去の検索キー

(2) 検索画像表示エリア

検索結果がサムネイル表示されます。サムネイルの下部には、作品名が表示されます。

重要

- 写真共有サイトの制限によって、検索結果が4000枚を超えた場合、4001枚目以降は同じ画像が表示されません。

参考

- 画像にカーソルを合わせると、作品名や著作権の種類などの情報が表示されます。

(3) 検索条件／ページ指定エリア

【並び順】

サムネイルウィンドウに表示される検索結果の並び順を、[人気順] または [日付順] から選びます。

検索後に設定を変更した場合は、 (更新) をクリックして再検索してください。

【著作権】

検索する画像の著作権の条件を選びます。

[条件指定なし]、[CCライセンス(商用利用不可)]、[CCライセンス(その他)] から選べます。

著作権の種類に関わらず、すべての画像を表示する場合は [条件指定なし] を選んでください。

CCライセンス付きの画像のうち、営利目的以外で使用できる画像のみを表示する場合は [CCライセンス(商用利用不可)] を選び、そのほかの画像を表示する場合は [CCライセンス(その他)] を選んでください。

検索後に設定を変更した場合は、 (更新) をクリックして再検索してください。

参考

- 著作権の種類は、画像によって異なります。画像にカーソルを合わせて表示されるツールチップで、著作権の種類を確認してください。

[著作権]	著作権の種類	使用上の注意 (My Image Garden) / 条件 (CCライセンス付きの画像を、個人、家庭内以外で使用 するときは、以下の条件に従ってください。)
[条件指定なし]	All Rights Reserved	著作者に無断で複製などを行うことは、個人、家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用する場合を除き違法となります。また、人物の写真を複製などする場合には肖像権が問題となることがありますのでご注意ください。
	表示・非営利 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない ・ 営利目的で使用してはならない
	表示・非営利・改変禁止 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない ・ 営利目的で使用してはならない ・ 作品を改変してはならない
	表示・非営利・継承 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない ・ 営利目的で使用してはならない ・ 他人の著作物を使用して作成した制作物であっても、原作の著作者が設定した条件に従わなければならない
	表示 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない
	表示・改変禁止	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない

	(CCライセンス)	・ 作品を改変してはならない
	表示・継承 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない ・ 他人の著作物を使用して作成した制作物であっても、原作の著作者が設定した条件に従わなければならない
[CCライセンス (商用利用不可)]	表示・非営利 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない ・ 営利目的で使用してはならない
	表示・非営利・改変禁止 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない ・ 営利目的で使用してはならない ・ 作品を改変してはならない
	表示・非営利・継承 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない ・ 営利目的で使用してはならない ・ 他人の著作物を使用して作成した制作物であっても、原作の著作者が設定した条件に従わなければならない
[CCライセンス (その他)]	表示 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない
	表示・改変禁止 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない ・ 作品を改変してはならない
	表示・継承 (CCライセンス)	・ 作品名と著作者名を制作物に表示しなければならない ・ 他人の著作物を使用して作成した制作物であっても、原作の著作者が設定した条件に従わなければならない

(更新)

再検索を行い、検索画像表示エリアの表示を更新できます。

(前のページ) / (次のページ)

検索画像表示エリアのページを切り替えることができます。

(ページ数/総ページ数)

任意のページ番号を入力してreturnキーを押すと、指定した検索画像表示エリアのページが表示できます。

(4) 操作ボタン

【保存】

【保存】ダイアログが表示され、検索画像表示エリアで選んでいる画像を保存できます。

➡ [【保存】ダイアログ](#) ([【写真共有サイト】ビュー](#))

(5) 表示サイズ設定バー

(縮小/拡大)

 (縮小) 、  (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

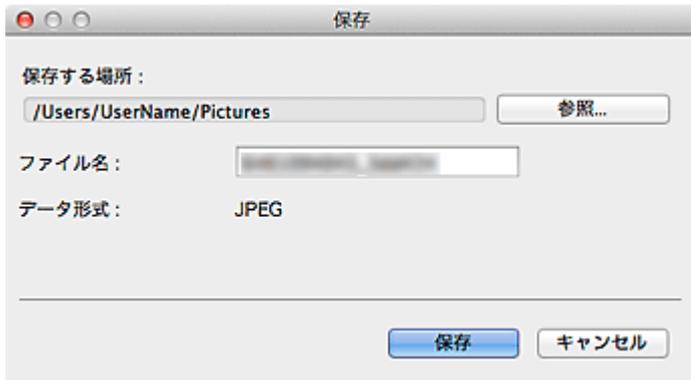
参考

- [写真共有サイトからの画像のダウンロード方法](#)については、「[写真共有サイトから画像をダウンロードしよう](#)」をご覧ください。

【保存】ダイアログ ([写真共有サイト] ビュー)

[写真共有サイト] ビューでダウンロードした画像をパソコンに保存するときの詳細な設定ができます。

[写真共有サイト] ビューで [保存] をクリックすると、[保存] ダイアログが表示されます。



【保存する場所】

静止画の保存先フォルダーを設定できます。変更したい場合は、[参照...] をクリックし、保存先フォルダーを指定してください。

初期設定では、[ピクチャ] フォルダーに保存されます。

【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力できます。複数のファイルを同時に保存する場合は、ファイル名を入力することができません。

【データ形式】

[JPEG] で保存されます。

関連項目

- [\[写真共有サイト\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[動画切り出し] ビュー

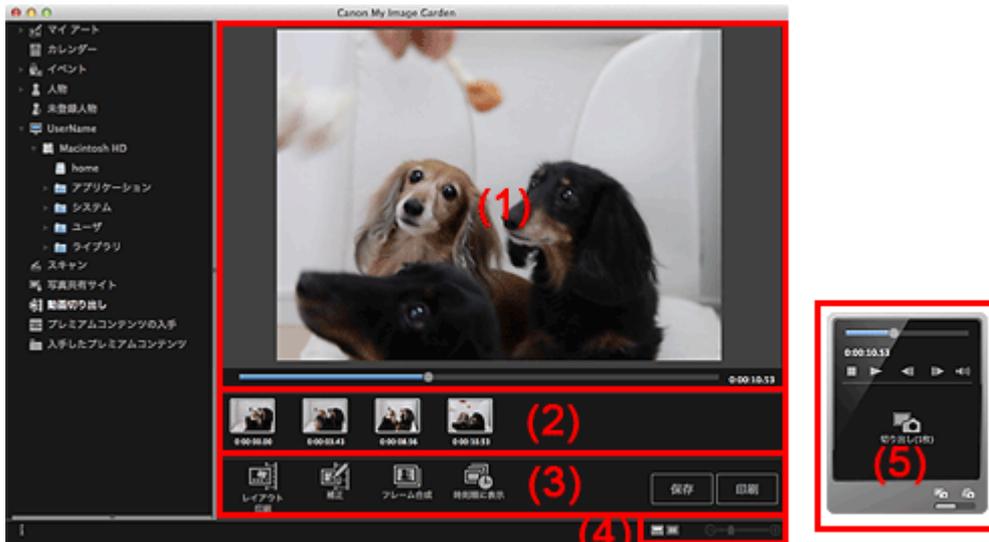
動画の一部を切り出して、静止画を作成することができます。また、切り出した静止画を印刷することもできます。

以下のいずれかの操作で、[動画切り出し] ビューに切り替わります。

- [カレンダー] ビューの [日付表示]、[イベント] ビュー、フォルダービューで動画を選び、画面下側の [動画切り出し] をクリック
- 切り出し中の動画があるときに、画面左側の [動画切り出し] をクリック

重要

- 動画が表示されない場合は、動作環境やファイル形式を確認してください。詳しくは、「[ファイル形式について](#)」をご覧ください。
- 切り出した静止画に、グラフィックドライバー（ビデオカード）やそれに付属するユーティリティの設定によって変更された動画の色味は反映されません。そのため、動画と切り出した静止画の色味が異なる場合があります。



- (1) プレビューエリア
- (2) 切り出し画像表示エリア
- (3) 操作ボタン
- (4) 表示サイズ設定バー
- (5) 静止画切り出しリモコン

(1) プレビューエリア

動画がプレビュー表示されます。

再生スライダーバー (再生スライダーバー)

再生中の動画の進行状況が表示されます。スライダーバーの右側には、現在の再生時間が表示されます。

ドラッグして、動画を進めたり戻したりすることができます。

スライダーバー下の [] (切り出し範囲の開始時刻)、 [] (切り出し範囲の終了時刻) マークを動かして、複数の画像を自動で切り出すときの開始/終了位置が設定できます。マークにカーソルを合わせる

と、時刻が表示されます。

(2) 切り出し画像表示エリア

動画から切り出した静止画がサムネイル表示されます。補正した静止画のサムネイルには (補正) マークが表示されます。

 (左スクロール) / (右スクロール)

切り出し画像表示エリアを左右にスクロールして、隠れているサムネイルを表示できます。

(3) 操作ボタン



【レイアウト印刷】

複数の静止画をフィルムや映画館をイメージしたレイアウトに配置して印刷できます。画像を選びクリックすると【テーマと主役の選択】ダイアログが表示され、動画レイアウトのテーマが設定できます。

➡ 【テーマと主役の選択】ダイアログ

テーマの選択が終わると、【マイ アート】ビューに切り替わります。

➡ 【マイ アート】ビュー



【補正】

【補正】ビューが表示され、静止画を補正できます。

➡ 【補正】ビュー



【フレーム合成】

【フレーム合成】ビューが表示され、複数の静止画を合成して1枚の画像にできます。

➡ 【フレーム合成】ビュー



【時刻順に表示】

切り出した静止画を、時刻順に並べ替えられます。

【保存】

【保存】ダイアログが表示され、切り出した静止画を保存できます。

➡ 【保存】ダイアログ (【動画切り出し】ビュー)

【印刷】

印刷設定ダイアログが表示され、切り出した静止画を印刷できます。

➡ 印刷設定ダイアログ

(4) 表示サイズ設定バー

 (切り出し画像表示)

画像がサムネイル表示に切り替わります。

 (詳細表示)

画像がプレビュー表示に切り替わります。

 (全体表示)

詳細表示のときに、プレビューがウィンドウサイズに合わせた表示になります。

 (縮小/拡大)

⊖ (縮小)、⊕ (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小／拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

(5) 静止画切り出しリモコン

[切り出し(1枚)] リモコン

[切り出し(複数枚)] リモコン



再生中の動画の進行状況が表示されます。スライドバーの下には、現在の再生時間が表示されます。ドラッグして、動画を進めたり戻したりすることができます。

■ (切り出し範囲の開始時刻) / (切り出し範囲の終了時刻)

複数の画像を自動で切り出す範囲を指定できます。

開始／終了時刻に設定したい再生位置でクリックすると、再生スライドバーの下にあるボタンと同じマークがクリックした位置に移動します。このマークを動かして、開始／終了時刻を指定することもできます。

マークにカーソルを合わせると、開始／終了時刻が表示されます。

▶▶ (コマ戻し) / (コマ送り)

クリックするたびに、動画を1コマ戻し／送りができます。

動画再生中にクリックしたときは、動画が一時停止します。

長押しすると、連続してコマ戻し／送りができます。

▶|| (再生) / (一時停止)

動画を再生／一時停止できます。

動画再生中／一時停止中によって、|| (一時停止) と▶ (再生) が切り替わります。

■ (停止)

動画を停止できます。

🔊 🔇 (ミュート) / (ミュート解除)

音声のOFF/ONを切り替えられます。



切り出す静止画の枚数を設定できます。

[すべてのフレーム]、[枚(総数)]、[秒単位]、[フレーム単位] のいずれかを選べます。[枚(総数)]、[秒単位]、[フレーム単位] を選んだときは、枚数、秒数、フレーム数も入力できます。

[ブレの小さい画像を優先する] にチェックマークを付けると、よりブレの小さい画像が自動で切り出されます。



[切り出し(1枚)]

プレビューに表示されているフレームを静止画で切り出せます。切り出された静止画は、切り出し画

像表示エリアに表示されます。

再生中の動画から切り出すこともできます。



【切り出し(複数枚)】

切り出す範囲に指定した開始／終了時刻の中から、切り出し条件に従って複数の静止画を切り出せます。切り出された静止画は、切り出し画像表示エリアに表示されます。

再生中の動画から切り出すこともできます。



（切り出し枚数切り替え）

【切り出し(1枚)】リモコンと【切り出し(複数枚)】リモコンの表示を切り替えられます。

参考

- [動画から静止画を切り出す方法については、「動画から静止画を切り出して印刷しよう」をご覧ください。](#)

[ページの先頭へ▲](#)

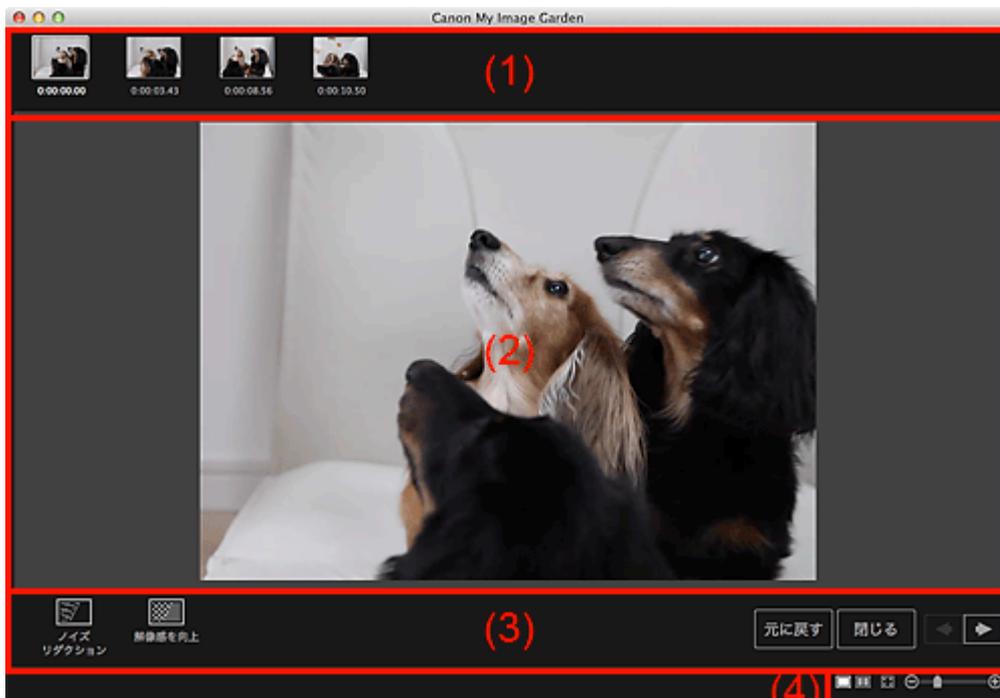
[補正] ビュー

動画から切り出した静止画を補正できます。

[動画切り出し] ビューの切り出し画像表示エリアで補正したい静止画を選び、画面下側の [補正] をクリックすると、[補正] ビューに切り替わります。

参考

- 被写体が大きく動いたフレームや、撮影中にカメラが大きく動いたフレームなどを切り出した場合は、静止画が正しく補正されないことがあります。



- (1) 選択画像表示エリア
- (2) プレビューエリア
- (3) 操作ボタン
- (4) 表示サイズ設定バー

(1) 選択画像表示エリア

[動画切り出し] ビューで選んだ静止画がサムネイル表示されます。

補正した静止画のサムネイルには  (補正) マークが表示されます。

 (左スクロール) / (右スクロール)

選択画像表示エリアを左右にスクロールして、隠れているサムネイルを表示できます。

(2) プレビューエリア

選択画像表示エリアで選んでいる静止画がプレビュー表示されます。

(3) 操作ボタン



【ノイズリダクション】

ノイズ（デジタルカメラで夜景など暗い場所を撮影した際に発生することがある画像のムラ）を低減できます。



【解像感を向上】

ジャギー（画像のギザギザ感）を低減できます。

【元に戻す】

補正前の状態に戻せます。

【閉じる】

【動画切り出し】 ビューに切り替わります。



（前の画像／次の画像）

選択画像表示エリアの画像が複数あるときに、プレビュー表示を切り替えられます。

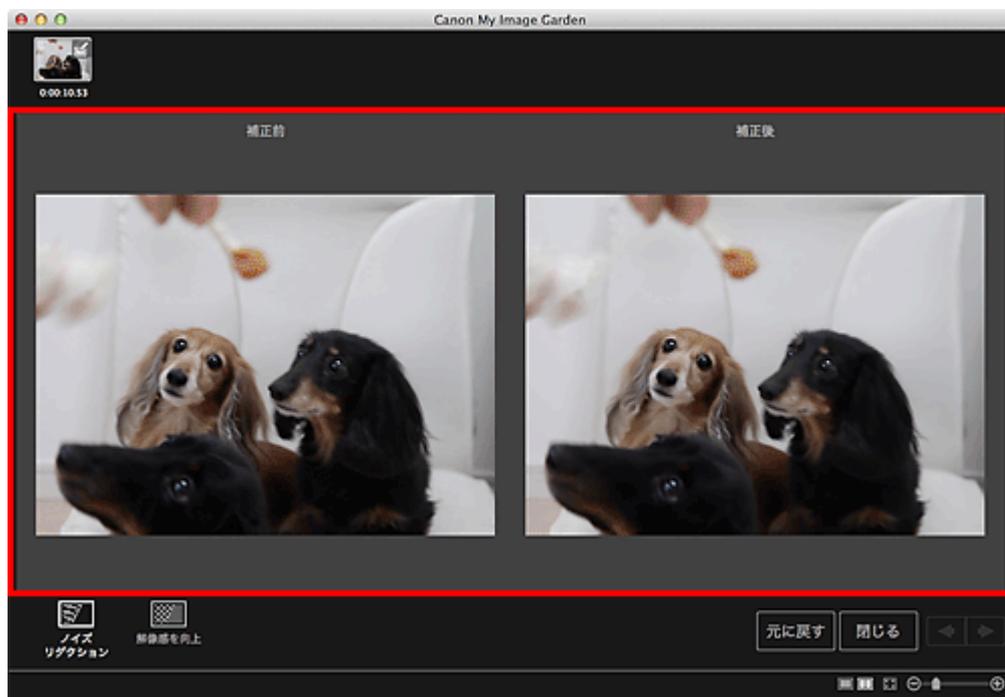
(4) 表示サイズ設定バー

 （補正画面表示）

プレビュー（補正画面）に切り替わります。

 （比較画面表示）

プレビューに補正前後の画像が並んで表示され、比較できます。



【補正前】

補正する前の画像が表示されます。

【補正後】

補正した後の画像が表示されます。

 （全体表示）

プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。



（縮小／拡大）

⊖ (縮小)、⊕ (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小／拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

- 動画から切り出した静止画を補正する方法については、「[動画から切り出した静止画を補正する](#)」をご覧ください。
-

[ページの先頭へ▲](#)

[フレーム合成] ビュー

動画から切り出した静止画を時刻順に合成し、流れるような動きを表現した1枚の画像を作成できます。

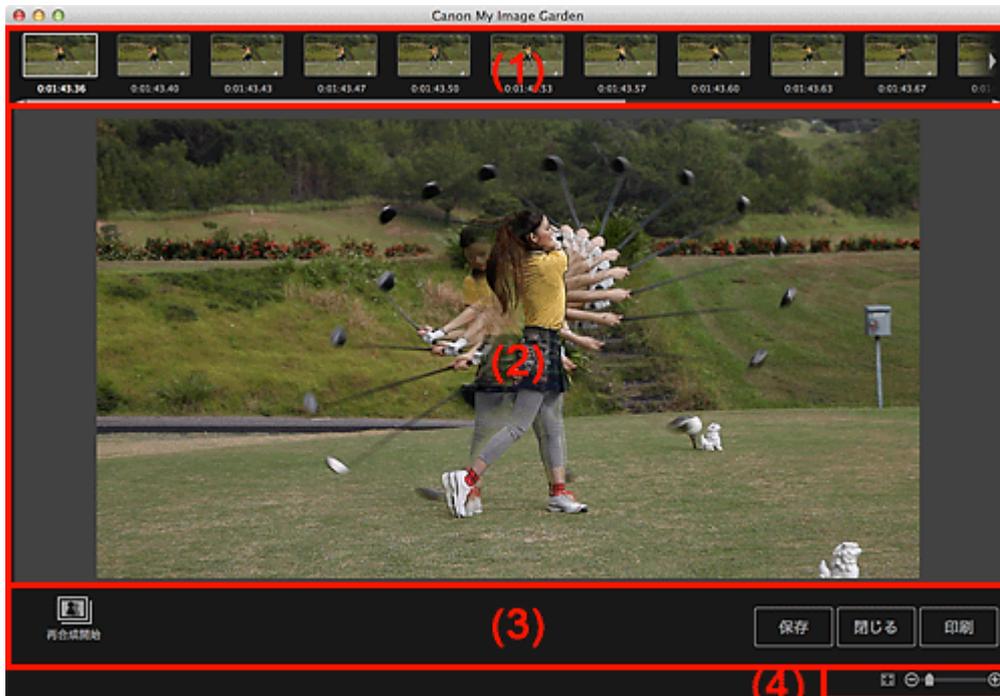
[動画切り出し] ビューで合成したい画像を選び [フレーム合成] をクリックすると、[フレーム合成] ビューに切り替わります。

重要

- 合成できる静止画の枚数は5枚から30枚までです。
- [補正] ビューで補正した静止画は使用できません。補正する前の静止画が使用されます。

参考

- 三脚などでカメラを固定して撮影した動画や、撮影中にズーム操作やピントの調整（フォーカス）をしていない動画から切り出した静止画を使用することをお勧めします。
- 動いている被写体が重なるようなフレームを選んだ場合、被写体の一部が透けることがあります。
- 以下のような場合、フレーム合成がきれいにできないことがあります。
 - ・ 背景が動いている場所で撮影した動画を使用している場合
 - ・ 動いている被写体や影が重なるようなフレームを選んでいる場合
 - ・ 動いている被写体と背景の色や形が似たような場所で、撮影した動画を使用している場合
 - ・ 撮影中に明るさや光の当たりかたが変わった動画を使用している場合
 - ・ ジオラマ風動画など、特殊な機能を使用して撮影した動画を使用している場合



- (1) 選択画像表示エリア
- (2) プレビューエリア
- (3) 操作ボタン
- (4) 表示サイズ設定バー

(1) 選択画像表示エリア

[動画切り出し] ビューで選んだ静止画がサムネイル表示されます。

 (左スクロール) / (右スクロール)

選択画像表示エリアを左右にスクロールして、隠れているサムネイルを表示できます。

(2) プレビューエリア

合成された画像がプレビュー表示されます。

(3) 操作ボタン

【再合成開始】

選択画像表示エリアで選び直した画像を使用して再合成できます。

【保存】

【保存】 ダイアログが表示され、作成したフレーム合成画像を保存できます。

➡ [【保存】 ダイアログ \(\[動画切り出し\] ビュー \)](#)

【閉じる】

【動画切り出し】 ビューに切り替わります。

【印刷】

印刷設定ダイアログが表示され、作成したフレーム合成画像を印刷できます。

➡ [印刷設定ダイアログ](#)

(4) 表示サイズ設定バー

(全体表示)

プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

(縮小/拡大)

 (縮小) 、  (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

- 静止画の合成方法については、「[動画からフレーム合成した画像を作成する](#)」をご覧ください。

[ページの先頭へ ▲](#)

[保存] ダイアログ ([動画切り出し] ビュー)

動画から切り出した静止画や、フレーム合成した画像をパソコンに保存するときの詳細な設定ができます。

以下のいずれかの操作で、[保存] ダイアログが表示されます。

- [動画切り出し] ビューで保存したい静止画を選び [保存] をクリック
- [フレーム合成] ビューで [保存] をクリック



【保存する場所】

画像の保存先フォルダーを設定できます。変更したい場合は、[参照...] をクリックし、保存先フォルダーを指定してください。

初期設定では、静止画を切り出した動画が保存されているフォルダーに保存されます。

【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力できます。複数のファイルを同時に保存する場合は、ファイル名の後ろに4桁の数字が自動で付きます。

【ファイル名に切り出し時刻を付ける】

チェックマークを付けると、保存するファイル名の後ろに、切り出し時刻が8桁の数字で付きます。

参考

- [ファイル名に切り出し時刻を付ける] は、[動画切り出し] ビューで切り出した静止画を保存するときのみ表示されます。

【データ形式】

[JPEG/Exif] で保存されます。

【動画ファイル名のフォルダーを作成する】

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に動画ファイル名のフォルダーが作成され、その中に静止画を保存できます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に直接画像が保存されます。

関連項目

- [\[動画切り出し\] ビュー](#)

[ページの先頭へ▲](#)

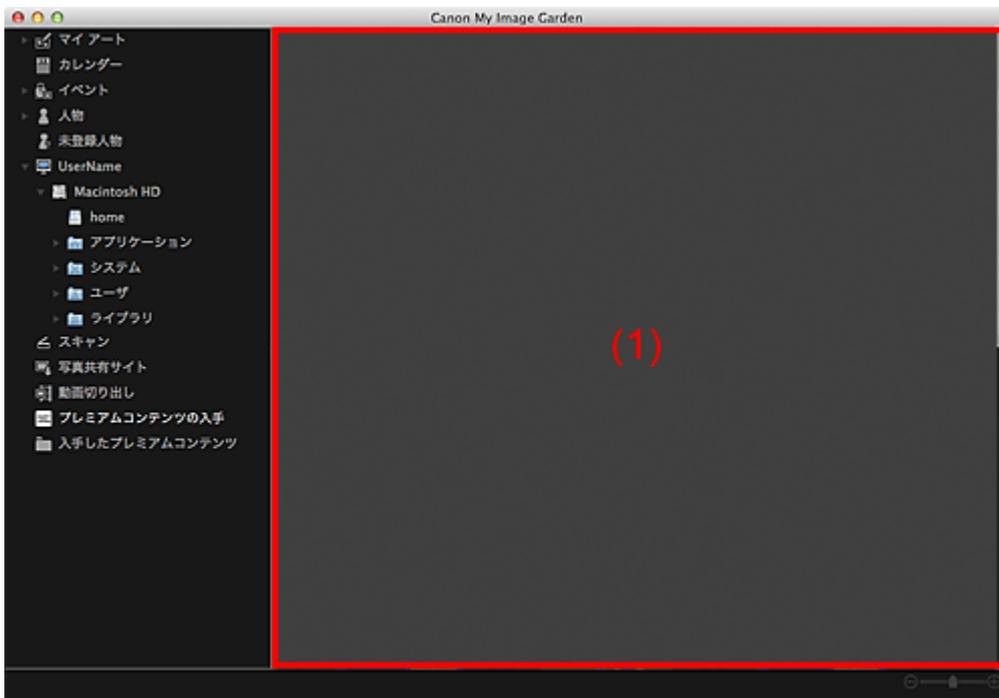
[プレミアムコンテンツの入手] ビュー

プレミアムコンテンツをダウンロードできます。

画面左側の [プレミアムコンテンツの入手] をクリックすると、[プレミアムコンテンツの入手] ビューに切り替わります。

重要

- ダウンロードまたは印刷したプレミアムコンテンツは、個人利用の目的でのみ利用することができます。商用目的では利用しないでください。



(1) コンテンツ表示エリア

(1) コンテンツ表示エリア

クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツが表示されます。

関連項目

- [プレミアムコンテンツをダウンロードする](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[入手したプレミアムコンテンツ] ビュー

ダウンロードしたプレミアムコンテンツ（印刷用の素材）を、編集したり印刷したりできます。

画面左側の [入手したプレミアムコンテンツ] をクリックすると、 [入手したプレミアムコンテンツ] ビューに切り替わります。

重要

- ダウンロードまたは印刷したプレミアムコンテンツは、個人利用の目的でのみ利用することができます。商用目的では利用しないでください。



(1) ダウンロード済み素材表示エリア

(2) 操作ボタン

(3) 表示サイズ設定バー

(1) ダウンロード済み素材表示エリア

ダウンロードしたプレミアムコンテンツがサムネイルで表示されます。

参考

- 画像にカーソルを合わせると、下記のような作品情報が表示されます。
 - ・素材名
 - ・アーティスト&ブランド
 - ・著作権
 - ・印刷可能部数
 - ・使用期限
 - ・用紙サイズ
 - ・推奨用紙

(2) 操作ボタン



【編集】

【マイ アート】ビューに切り替わります。

➡ [【マイ アート】ビュー](#)

参考

- 選んでいるプレミアムコンテンツによって、編集できる内容が異なります。
- 複数のプレミアムコンテンツを、同時に編集することはできません。

(3) 表示サイズ設定バー

 (縮小/拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

参考

- ダウンロードしたプレミアムコンテンツを使用して印刷する方法については、「[プレミアムコンテンツをダウンロードして印刷しよう](#)」をご覧ください。

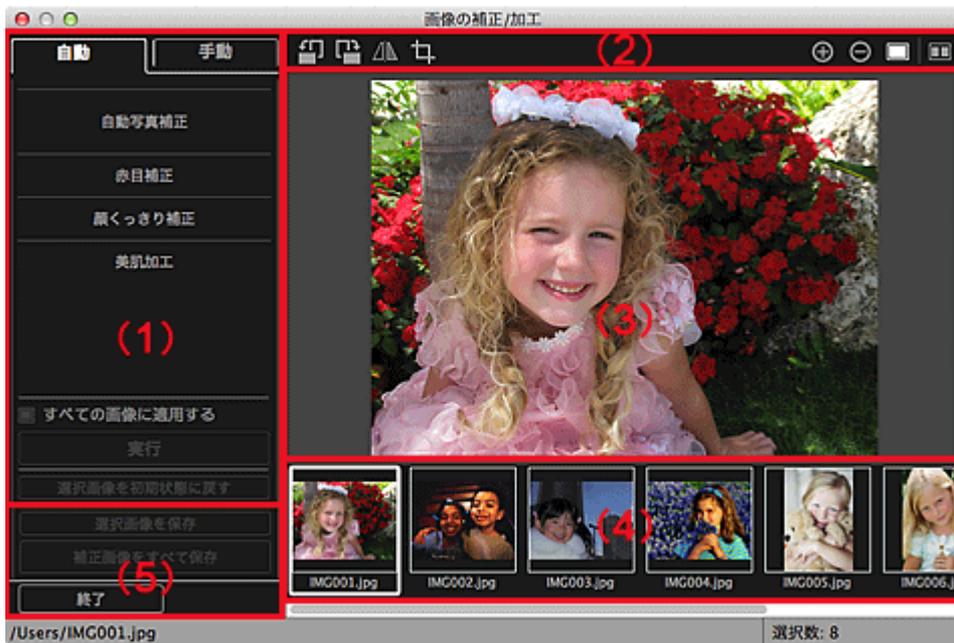
[ページの先頭へ ▲](#)

【画像の補正/加工】 ウィンドウ

画像の補正や加工ができます。

以下のいずれかの操作で、[画像の補正/加工] ウィンドウが表示されます。

- [マイ アート] ビューの編集エリアで使用中の画像を選び、画面下側の [補正/加工] をクリック
- [カレンダー] ビューの [日付表示]、[イベント] ビュー、[人物] ビューの展開表示、[未登録人物] ビュー、フォルダービューで画像を選び、画面下側の [補正/加工] をクリック



- (1) 画像調整／補正／加工エリア
- (2) プレビュー操作ボタン
- (3) プレビューエリア
- (4) 選択画像表示エリア
- (5) 操作ボタン

(1) 画像調整／補正／加工エリア

[自動] シート、[手動] シートでは、それぞれ設定できる項目や設定方法が異なります。

シートは [自動] タブ、[手動] タブをクリックすると切り替わります。

【自動】 シート

[自動] シートでは、画像全体を補正／加工できます。



【自動写真補正】

自動で写真に最適な補正ができます。

参考

- 印刷時に自動で写真補正を行うことができます。設定方法については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

【Exif情報を優先する】

チェックマークを付けると、画像撮影時の設定を優先して補正されます。

チェックマークを外すと、画像の解析結果を元に補正を行います。通常はこの設定をお勧めします。

参考

- Exifとは、デジタルカメラの画像（JPEG）にいろいろな撮影データを添付するための規格です。
- 印刷時に自動でExif情報を利用した最適な補正を行うことができます。設定方法については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

【赤目補正】

赤目を補正できます。

参考

- 印刷時に自動で赤目補正を行うことができます。設定方法については、「印刷設定ダイアログ」をご覧ください。

【顔くっきり補正】

ぼやけてしまった顔をくっきりと補正できます。

表示されるスライダーで、補正の強弱を調整できます。

【美肌加工】

しみやしわを目立たなくして、肌が美しく見えるように加工できます。

表示されるスライダーで、加工の強弱を調整できます。

【すべての画像に適用する】

チェックマークを付けると、選択画像表示エリア上にあるすべての画像が、自動で補正／加工されます。

【実行】

画像に対し、設定した補正／加工内容が実行されます。

【選択画像を初期状態に戻す】

補正/加工、調整済みの画像を、補正/加工、調整する前の状態に戻せます。

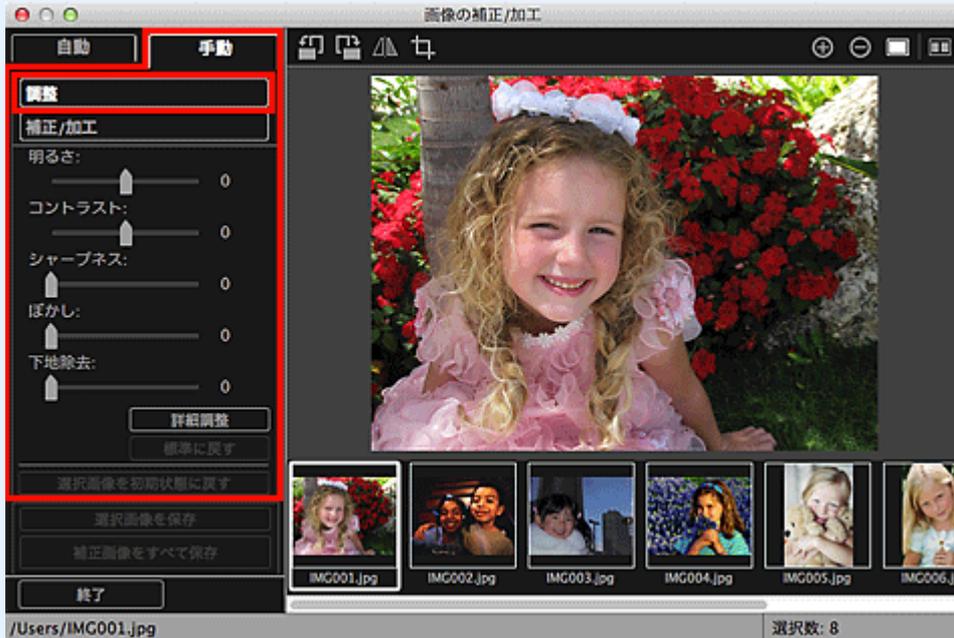
【手動】シート

【手動】シートには、【調整】と【補正/加工】の2種類があります。

【調整】では、明るさやコントラスト、画像全体をはっきりさせるなどの調整ができます。

【補正/加工】では、指定した範囲に対して補正/加工できます。

【調整】



【明るさ】

画像全体の明るさを調整できます。

スライダーを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。

【コントラスト】

画像の明暗度（コントラスト）を調整できます。画像の明暗差が少なくフラットなときに調整します。

スライダーを左に動かすと明暗差が弱まり、右に動かすと強まります。

【シャープネス】

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像に調整できます。全体がぼやけている写真や、文字がぼやけているときに調整します。

スライダーを右に動かすと、画像がよりくっきりします。

【ぼかし】

画像の輪郭をぼかし、やわらかい印象の画像に調整できます。

スライダーを右に動かすと、画像の輪郭をぼかします。

【下地除去】

両面原稿の裏の文字や、下地の色の写り込みを除去できます。原稿の紙が薄く、裏に印刷してある文字が写ってしまう場合や、原稿の色の写り込みを少なくしたい場合などに調整します。

スライダーを右に動かすと、裏写りしている文字や、写り込みした下地の色が薄くなります。

【詳細調整】

【詳細調整】ダイアログが表示され、画像の明るさや色あいを細かく調整できます。

【明るさ・コントラスト】または【トーン】を調整するときは、【チャンネル】で、【レッド】、【グリーン】、【ブルー】のいずれかの色の要素だけを選び個別に調整するか、【マスター】を選び3つの色の要素をまとめて調整することができます。



【明るさ・コントラスト】

画像の明るさや明暗度（コントラスト）を調整できます。

【明るさ】のスライダーを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。

【コントラスト】のスライダーを左に動かすと明暗差が弱まり、右に動かすと強まります。

【トーン】

画像の中のもっとも明るいレベル（【ハイライト】）、もっとも暗いレベル（【シャドウ】）、【ハイライト】と【シャドウ】の中間の色（【中間調】）を指定し、明暗のバランスを調節できます。

【ハイライト】のスライダーを左に動かすと、画像が明るくなります。

【中間調】のスライダーを左に動かすと画像が明るくなり、右に動かすと暗くなります。

【シャドウ】のスライダーを右に動かすと、画像が暗くなります。

【カラーバランス】

画像の鮮やかさや、色あいを調整できます。

【カラーバランス】のスライダーを左右に動かして、それぞれの色あいを強くすることができます。

【標準に戻す】

変更した各設定を初期状態に戻せます。

【閉じる】

【詳細調整】ダイアログが閉じます。

参考

- 【詳細調整】ダイアログで明るさや色あいを調整しても、【調整】で設定した【明るさ】や【コントラスト】は変更されません。

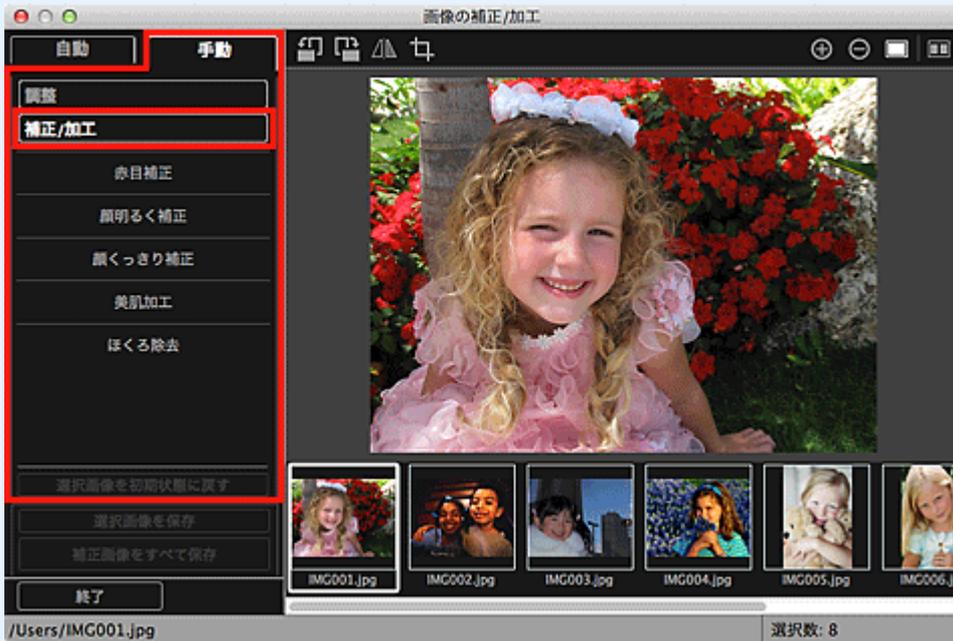
【標準に戻す】

明るさ、コントラスト、シャープネス、ぼかし、下地除去の各設定を初期状態に戻せます。

【選択画像を初期状態に戻す】

補正／加工、調整済みの画像を、補正／加工、調整する前の状態に戻せます。

【補正/加工】



【赤目補正】

選んだ範囲の赤目を補正できます。
表示されるスライダーで、補正の強弱を調整できます。

【顔明るく補正】

選んだ範囲を中心に顔が明るくなるように、画像全体を補正できます。
表示されるスライダーで、補正の強弱を調整できます。

【顔くっきり補正】

選んだ範囲を中心に顔がくっきりとなるように、画像全体を補正できます。
表示されるスライダーで、補正の強弱を調整できます。

【美肌加工】

選んだ範囲のしみやしわを目立たなくして、肌が美しく見えるように加工できます。
表示されるスライダーで、加工の強弱を調整できます。

【ほくろ除去】

選んだ範囲のほくろを目立たなくできます。

【実行】

指定した範囲に対し、設定した補正/加工内容が実行されます。

【元に戻す】

直前に実行した補正/加工を取り消せます。

【選択画像を初期状態に戻す】

補正/加工、調整済みの画像を、補正/加工、調整する前の状態に戻せます。

(2) プレビュー操作ボタン

参考

- [マイ アート] ビューから [画像の補正/加工] ウィンドウを表示した場合、 (左に90度回転)、 (右に90度回転)、 (左右反転)、 (トリミング) は表示されません。

  (左に90度回転) / (右に90度回転)

クリックするたびに、画像を左/右に90度回転できます。

(左右反転)

画像の左右を反転できます。

(トリミング)

[トリミング] ウィンドウが表示され、画像の一部を切り出せます。

➡ [トリミング] ウィンドウ

(拡大) / (縮小)

クリックするたびに、プレビューを拡大または縮小できます。

(全体表示)

プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

(比較画面表示)

[画像の比較] ウィンドウが表示され、補正/加工、調整前後の画像を比較できます。



【補正前】

補正/加工、調整する前の画像が表示されます。

【補正後】

補正/加工、調整した後の画像が表示されます。

【戻る】 / 【次へ】

1つ前/次の画像に切り替わります。

選んでいる画像が1つのときは使用できません。

【閉じる】

[画像の比較] ウィンドウが閉じます。

(3) プレビューエリア

補正/加工中の画像がプレビュー表示されます。

補正/加工した画像には  (補正/加工) マークが表示されます。

(4) 選択画像表示エリア

画像を複数選んで [画像の補正/加工] ウィンドウを表示すると、画像のサムネイルが表示されます。

画像を1枚選んで [画像の補正/加工] ウィンドウを表示したとき、このエリアは表示されません。

補正/加工した画像には  (補正/加工) マークが表示されます。

- [マイ アート] ビューで複数の画像を選び [画像の補正/加工] ウィンドウを表示した場合、このエリアは表示されず、最後に選んだ画像のみプレビュー表示されます。
-

(5) 操作ボタン

【選択画像を保存】

[保存] ダイアログが表示され、プレビューエリアに表示されている補正/加工、調整済みの画像を保存できます。

➡ [保存] ダイアログ ([画像の補正/加工] / [画像の特殊フィルター] ウィンドウ)

【補正画像をすべて保存】

[保存] ダイアログが表示され、選択画像表示エリア上にあるすべての補正/加工、調整済みの画像を保存できます。

➡ [保存] ダイアログ ([画像の補正/加工] / [画像の特殊フィルター] ウィンドウ)

【終了】

[画像の補正/加工] ウィンドウを閉じます。

関連項目

- [写真を補正/加工して仕上げよう](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[トリミング] ウィンドウ

画像の一部を切り出すことができます。

[画像の補正/加工] ウィンドウで  (トリミング) をクリックすると、[トリミング] ウィンドウが表示されます。

参考

- [マイ アート] ビューから [画像の補正/加工] ウィンドウを開いた場合、 (トリミング) は表示されません。



(1) プレビュー操作ボタン

(2) プレビューエリア

(1) プレビュー操作ボタン

  (拡大) / (縮小)

クリックするたびに、プレビューを拡大または縮小できます。

 (全体表示)

プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

(2) プレビューエリア

トリミングする画像がプレビュー表示されます。

また、トリミングの対象となる範囲が白枠で表示されます。

関連項目

- [写真をトリミングしよう](#)
- [\[画像の補正/加工\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[保存] ダイアログ ([画像の補正/加工] / [画像の特殊フィルター] ウィンドウ)

補正/加工、調整した画像をパソコンに保存するときの詳細な設定ができます。

以下のいずれかの操作で、[保存] ダイアログが表示されます。

- [画像の補正/加工] ウィンドウで [選択画像を保存] または [補正画像をすべて保存] をクリック
- [画像の特殊フィルター] ウィンドウで [選択画像を保存] または [処理画像をすべて保存] をクリック



【保存する場所】

画像の保存先フォルダーを設定できます。変更したい場合は、[参照...] をクリックし、保存先フォルダーを指定してください。

参考

- [元のフォルダーに保存する] にチェックを付けたときは無効になります。

【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力できます。複数のファイルを同時に保存する場合は、ファイル名を入力することができません。元のファイル名の後ろに「_NEW」が自動で付きます。

【ファイルの種類】

補正/加工、調整した画像を保存するときのファイルの種類が表示されます。[JPEG/Exif] でのみ保存できます。

【今日の日付のフォルダーに保存する】

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中に補正/加工、調整したデータを保存できます。今日の日付フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

【元のフォルダーに保存する】

チェックマークを付けると、補正/加工、調整前の画像が保存されているフォルダーに、補正/加工、調整後の画像が保存されます。

参考

- [元のフォルダーに保存する] は、[補正画像をすべて保存] または [処理画像をすべて保存] をクリックしたときにのみ表示されます。

関連項目

- [\[画像の特殊フィルター\] ウィンドウ](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[画像の特殊フィルター] ウィンドウ

特殊なフィルターを使って画像を加工できます。

以下のいずれかの操作で、[画像の特殊フィルター] ウィンドウを表示できます。

- [マイ アート] ビューの編集エリアで使用中の画像を選び、画面下側の [特殊フィルター] をクリック
- [カレンダー] ビューの [日付表示]、[イベント] ビュー、[人物] ビューの展開表示、[未登録人物] ビュー、フォルダービューで画像を選び、画面下側の [特殊フィルター] をクリック



- (1) 画像エフェクトエリア
- (2) プレビュー操作ボタン
- (3) プレビューエリア
- (4) 選択画像表示エリア
- (5) 操作ボタン

(1) 画像エフェクトエリア

参考

- [実行] と [元に戻す] は、[魚眼風] や [ジオラマ風]、[背景ぼかし] を選んでいる場合のみ表示されません。

【魚眼風】

設定した点を中心に魚眼レンズ風に加工できます。
表示されるスライダーで、加工の強弱を調整できます。

【ジオラマ風】

ジオラマ模型を撮影したような写真に加工できます。

表示されるスライダーで、白枠（ぼかさない領域）の大きさを調整できます。

【トイカメラ風】

トイカメラで撮影した写真のように、レトロな雰囲気に加工できます。

表示されるスライダーを動かして強弱を調整すると、加工が実行されます。

【ソフトフォーカス】

画像全体をソフトフォーカス風に加工できます。

表示されるスライダーを動かして強弱を調整すると、加工が実行されます。

【背景ぼかし】

選んだ範囲外をぼかせます。

表示されるスライダーで、加工の強弱を調整できます。

【実行】

選んでいる画像に対し、設定した加工内容が実行されます。

【元に戻す】

直前に実行した加工を取り消せます。

【選択画像を初期状態に戻す】

加工済みの画像を、加工する前の状態に戻せます。

(2) プレビュー操作ボタン

参考

- （輪郭を認識して領域を選択）と （選択された領域を削除）は、【背景ぼかし】を選んでいるときのみ表示されます。



（輪郭を認識して領域を選択）

ぼかさない部分の領域を指定できます。輪郭が自動で認識されます。



（選択された領域を削除）

選んでいる領域が削除されます。



（ヘルプ）

本ガイドが表示されます。



（拡大） / （縮小）

クリックするたびに、プレビューを拡大または縮小できます。



（全体表示）

プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。



（比較画面表示）

【画像の比較】ウィンドウが表示され、加工前後の画像を比較できます。



【フィルター処理前】

加工する前の画像が表示されます。

【フィルター処理後】

加工した後の画像が表示されます。

【戻る】 / 【次へ】

1つ前/次の画像に切り替わります。

選んでいる画像が1つのときは使用できません。

【閉じる】

【画像の比較】 ウィンドウが閉じます。

(3) プレビューエリア

加工中の画像がプレビュー表示されます。

加工した画像には  (加工) マークが表示されます。

(4) 選択画像表示エリア

画像を複数選んで【画像の特殊フィルター】ウィンドウを表示すると、画像のサムネイルが表示されます。

画像を1枚選んで【画像の特殊フィルター】ウィンドウを表示したとき、このエリアは表示されません。

加工した画像には  (加工) マークが表示されます。

参考

- 【マイ アート】 ビューで複数の画像を選び【画像の特殊フィルター】ウィンドウを表示した場合、このエリアは表示されず、最後に選んだ画像のみプレビュー表示されます。

(5) 操作ボタン

【選択画像を保存】

【保存】 ダイアログが表示され、プレビューエリアに表示されている加工済みの画像を保存できます。

➡ 【保存】 ダイアログ (【画像の補正/加工】 / 【画像の特殊フィルター】 ウィンドウ)

【処理画像をすべて保存】

【保存】 ダイアログが表示され、選択画像表示エリア上にあるすべての加工済みの画像を保存できます。

➡ [保存] ダイアログ ([画像の補正/加工] / [画像の特殊フィルター] ウィンドウ)

【終了】

[画像の特殊フィルター] ウィンドウを閉じます。

関連項目

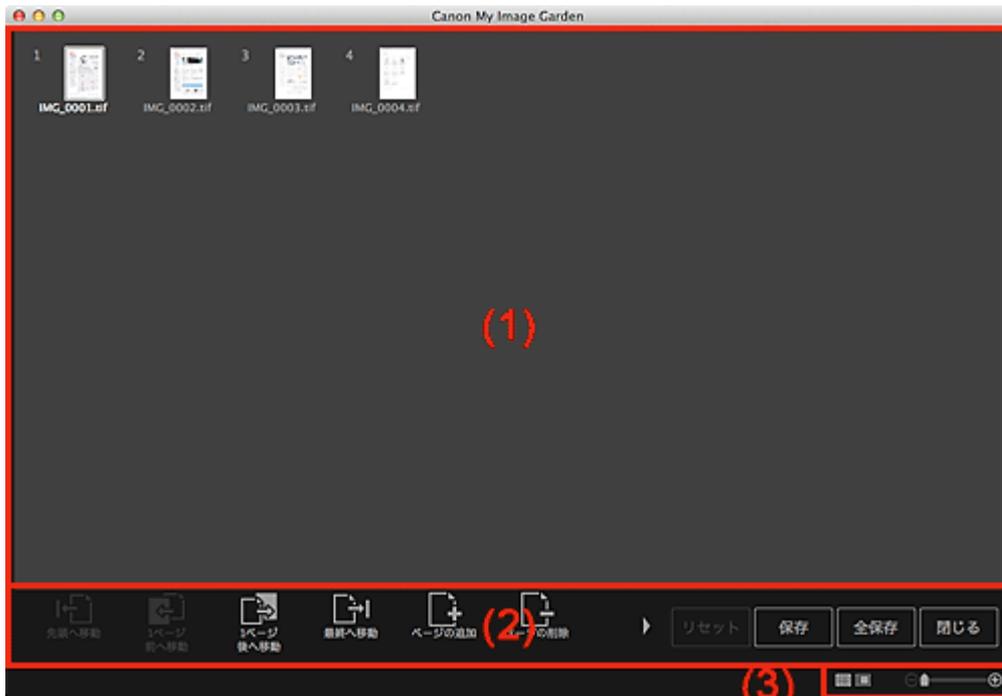
● [特殊なフィルターを使って写真を加工しよう](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[PDFの作成/編集] ビュー

パソコンに保存されている画像からPDFファイルを作成できます。作成したPDFファイルへのページの追加や削除、ページの並べ替えなどもできます。

[カレンダー] ビューの [日付表示]、[イベント] ビュー、フォルダービューで画像やPDFファイルを選び、画面下側の [PDFの作成/編集] をクリックすると、[PDFの作成/編集] ビューに切り替わります。



- (1) サムネイル表示エリア
- (2) 操作ボタン
- (3) 表示サイズ設定バー

(1) サムネイル表示エリア

画像がPDFファイルを構成するページとしてサムネイル表示されます。

ドラッグ&ドロップでページの順番を変更できます。

ページをダブルクリックすると、画像のプレビュー表示に切り替わります。



(a) ページ表示エリア

画像がPDFファイルを構成するページとしてサムネイル表示されます。
ドラッグ&ドロップでページの順番を変更できます。

▲ ▼ (上スクロール) / (下スクロール)

ページ表示エリアを上下にスクロールできます。

(b) プレビューエリア

画像がプレビュー表示されます。

(c) ページ操作ツールバー

▲ ▼ (前のページ) / (次のページ)

表示するページを切り替えられます。

▲ ▼ (先頭のページ) / (最終のページ)

先頭ページまたは最終ページを表示できます。

(2) 操作ボタン



[先頭へ移動]

選んだページを先頭に移動できます。



[1ページ前へ移動]

選んだページを1ページ前に移動できます。



[1ページ後へ移動]

選んだページを1ページ後に移動できます。



[最終へ移動]

選んだページを末尾に移動できます。



[ページの追加]

[開く] ダイアログが表示され、追加したい画像やPDFファイルを選び、[開く] をクリックすると、末尾にページを追加できます。



[ページの削除]

選んだページを削除できます。



【回転】

クリックするたびに、画像を90度回転できます。



【元に戻す】

直前の操作を取り消せます。

クリックするたびに、ひとつ前の状態に戻ります。

【リセット】

【PDFの作成/編集】ビューで行ったすべての操作を取り消せます。

クリックすると、最初の状態に戻ります。

【保存】

【保存】ダイアログが表示され、プレビューエリアに表示されているページごとに別のPDFファイルとして保存できます。

➡ [【保存】ダイアログ](#)（[【PDFの作成/編集】ビュー](#)）

【全保存】

【保存】ダイアログが表示され、サムネイル表示エリアやページ表示エリアのページの順番で、すべてのページを1つのPDFファイルに保存できます。

➡ [【保存】ダイアログ](#)（[【PDFの作成/編集】ビュー](#)）

【閉じる】

【PDFの作成/編集】ビューを表示させる前のビューに切り替わります。

(3) 表示サイズ設定バー

参考

-  (全体表示) はプレビュー表示のときにのみ表示されます。

 (サムネイル表示)

ページがサムネイル表示に切り替わります。

 (プレビュー表示)

ページがプレビュー表示に切り替わります。

 (全体表示)

プレビュー表示のときに、プレビューがエリアサイズに合わせた表示になります。

  (縮小/拡大)

 (縮小)、 (拡大) をクリックすると、表示サイズを縮小/拡大できます。また、スライドバーをドラッグして表示サイズを自由に変更することもできます。

関連項目

- [PDFファイルを作成/編集しよう](#)

[ページの先頭へ▲](#)

[保存] ダイアログ ([PDFの作成/編集] ビュー)

作成/編集したPDFファイルをパソコンに保存するときの詳細な設定ができます。

[PDFの作成/編集] ビューの右下にある [保存] または [全保存] をクリックすると、[保存] ダイアログが表示されます。



【保存する場所】

PDFファイルの保存先フォルダーを設定できます。変更したい場合は、[参照...] をクリックし、保存先フォルダーを指定してください。

【ファイル名】

保存する画像のファイル名を入力できます。複数のファイルを画像ごとに保存する場合、2番目以降のファイル名の後ろに連番の数字が付きます。

【データ形式】

PDFファイルを保存するときのデータ形式を選べます。

【PDF】

ページごとに1つのPDFファイルとして保存できます。

複数のページを選んでいる場合や [全保存] をクリックした場合も、ページごとのPDFファイルが作成されます。

【PDF (複数ページ)】

複数のページを1つのPDFファイルにまとめて保存できます。

参考

- [PDF (複数ページ)] は、複数の画像を選択しているときに表示されます。

【設定...】

[ファイル設定] ダイアログが表示され、PDFファイルを作成するときの詳細な設定ができます。設定方法については、「[\[ファイル設定\] ダイアログ](#)」をご覧ください。

【今日の日付のフォルダーに保存する】

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

関連項目

[📄 \[PDFの作成/編集\] ビュー](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

[ファイル設定] ダイアログ

PDF圧縮タイプなど保存するPDFファイルの詳細な設定ができます。

[PDFの作成/編集] ビューの [保存] ダイアログで [設定...] をクリックすると、[ファイル設定] ダイアログが表示されます。

キーワード検索が可能なPDFを作成する
文書の言語:

文字原稿の向きを検知して画像を回転する
 文字原稿の傾きを補正する

PDF圧縮タイプ:
 標準
 高圧縮

キャンセル OK

[キーワード検索が可能なPDFを作成する]

チェックマークを付けると、画像内の文字列がテキストデータに変換され、キーワード検索ができるPDFファイルを作成できます。

[文書の言語]

画像内の文字列を認識させるための言語を選べます。

[文字原稿の向きを検知して画像を回転する]

チェックマークを付けると、画像内の文字列からページの向きを検知し、正しい向きに自動で回転されたPDFファイルを作成できます。

重要

- [文書の言語] で選べる言語の画像 (文字原稿) のみ、この機能を利用できます。画像内の言語によっては使用できません。
- 次のような画像は文字が正しく認識できないため、ページの向きが検知されない場合があります。
 - ・文字数が少ない画像
 - ・文字サイズが8ポイント～48ポイントの範囲外の文字を含む画像
 - ・特殊なフォント、飾り文字、斜体 (イタリック)、手書きの文字を含む画像
 - ・下地に模様 (地紋) がある画像

[文字原稿の傾きを補正する]

チェックマークを付けると、画像内の文字列から原稿の傾きを検知し、 ± 0.1 度～10度の範囲で傾きが補正されたPDFファイルを作成できます。

重要

- 次のような画像は文字が正しく認識できないため、正しく補正されない場合があります。
 - ・テキストの行が10度以上傾いている、もしくは傾きの角度が行によって異なる画像
 - ・縦書きと横書きのテキストが混在する画像
 - ・文字サイズが極端に大きいまたは小さい画像
 - ・文字数が少ない画像
 - ・図形や画像の含まれる画像
 - ・手書きの画像

【PDF圧縮タイプ】

保存するときの圧縮タイプを選べます。

【標準】

通常は、この設定をお勧めします。

【高圧縮】

ファイルのデータ容量を圧縮して保存されます。ネットワークやサーバーへの負担を軽減できません。

重要

- PDFファイルを高圧縮で繰り返し保存すると、画像が劣化することがあります。

関連項目

- [【保存】ダイアログ（【PDFの作成/編集】ビュー）](#)

[ページの先頭へ▲](#)

印刷設定ダイアログ

印刷の詳細を設定し、印刷を開始できます。

各ビュー右下の「印刷」をクリックすると、印刷設定ウィンドウが表示されます。

参考

- 表示される項目は、印刷するデータによって異なります。



(1) 印刷プレビューエリア

(2) 印刷詳細設定エリア

(1) 印刷プレビューエリア

印刷プレビューを確認したり、印刷部数を設定したりできます。



フチなしの写真を印刷できます。

参考

- はみ出し量は、印刷詳細設定エリアの「フチなし印刷設定」で指定できます。



フチありの写真を印刷できます。

【写真ごとに部数を指定する】

複数の画像を同時に印刷する場合にチェックマークを付けると、画像ごとに印刷部数を設定できます。

◀▶ (先頭ページ) / (最終ページ)

印刷プレビューの先頭ページまたは最終ページを表示できます。

◀▶ (前のページ) / (次のページ)

印刷プレビューのページを切り替えられます。

➖➕ (1枚減らす) / (1枚増やす)

印刷部数を設定できます。設定できる部数は1～99部です。

(2) 印刷詳細設定エリア

印刷に使用するプリンターや、印刷方法などを設定できます。各項目の■ (右向き矢印) をクリックすると、詳細設定項目が表示されます。

参考

- 表示される項目は、印刷するデータや作品によって異なります。

[プリンターの設定]



[プリンター]

印刷に使用するプリンターを選べます。

参考

- キヤノン製のプリンターのみ表示されます。

[用紙のサイズ]

使用する用紙のサイズを選べます。

参考

- [マイ アート] ビューからの印刷の場合は、作品に適した用紙サイズが自動で表示されます。サイズの変更はできません。
- 用紙のサイズについては「[用紙サイズ一覧](#)」をご覧ください。

[用紙の種類]

使用する用紙の種類を選べます。

【給紙方法】

給紙の方法を選べます。

参考

- 選べる用紙のサイズ、用紙の種類、給紙方法は、使用するプリンターによって異なります。

【印刷範囲設定】



【印刷範囲】

印刷するページ範囲を指定できます。

【すべて】

すべてのページを印刷できます。

【ページ指定】

印刷したいページ番号を入力すると、指定したページのみ印刷できます。複数のページを指定したい場合は、ページ番号のあいだにハイフン (-) を入力すると、指定した範囲のページが印刷されます。

参考

- 【印刷範囲設定】は、【マイ アート】の作品やPDFファイルを印刷するときのみ表示されます。

【モノクロ写真設定】



【モノクロ写真で印刷する】

チェックマークを付けると、画像をモノクロで印刷できます。

【モノクロ色調】

色調を調節したいときはスライダーで調節できます。スライダーを右に動かすと暖色系の色あい（温黒）に、左に動かすと寒色系の色あい（冷黒）になります。

重要

- 選んだ【用紙の種類】によっては、【冷黒】【温黒】を設定できない場合があります。

参考

- 【プリンターの設定】で、モノクロ印刷対応のプリンターを選んだときのみ表示されます。

【日付印刷設定】



【日付を印刷する】

チェックマークを付けると、画像に日付を入れて印刷できます。

【文字の向き】

日付の向きを選べます。

【印刷位置】

日付を印刷する位置を選べます。

画像を回転しても日付の印刷位置は変わりません。

【文字の大きさ】

日付の文字の大きさを選べます。

【文字の色】

日付の文字の色を設定できます。



(色の設定)

【カラー】 ダイアログが表示されます。設定したい色を選んでください。

参考

- 日付は、Exifデータとして記録されている画像の撮影日です。Exifデータがない場合には画像ファイルの更新日時が印刷されます。

【フチなし印刷設定】



【フチなし全面印刷する】

チェックマークを付けると、画像を用紙全体にフチなしで印刷できます。

参考

- 印刷プレビューエリアの【フチなし】で設定することもできます。

【はみ出し量】

はみ出し量を【なし】、【小】、【中】、【大】、【標準】の中から選べます。



【大】のとき



【中】のとき



【小】のとき

実線は用紙サイズを、透過部分ははみ出し量を表しています。

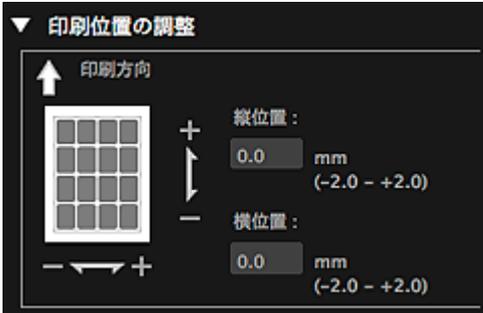
重要

- [はみ出し量] を [大] に設定した場合は、用紙の裏面が汚れることがあります。
- [はみ出し量] を [小] や [なし] に設定した場合は、用紙のサイズによっては余白ができることがあります。

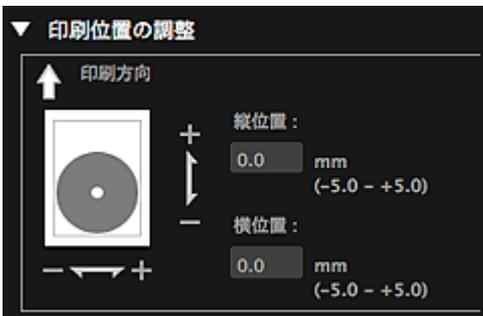
【印刷位置の調整】

シールやディスクレーベルを印刷する場合に画像がずれて印刷されるときは、印刷位置を調整できます。印刷位置は、以下の範囲内で0.1 mm/0.01 inch刻みで調整できます。

[シール] の場合：-2.0 mm (-0.08 inch) から+2.0 mm (+0.08 inch)



[ディスクレーベル] の場合：-5.0 mm (-0.2 inch) から+5.0 mm (+0.2 inch)



【縦位置】

縦方向の印刷位置を調整できます。

プラスの値にすると上側へ、マイナスの値にすると下側へずらせます。

【横位置】

横方向の印刷位置を調整できます。

プラスの値にすると左側へ、マイナスの値にすると右側へずらせます。

【詳細設定】



【画像補正】

自動で写真を補正したいときは [自動写真補正を行う] を選び、補正したくないときは [補正しない] を選んでください。[自動写真補正を行う] を選んだときは、以下の項目を設定できます。

【赤目補正を行う】

チェックマークを付けると、フラッシュによって赤く写ってしまった目が補正されます。

【Exif情報を優先する】

チェックマークを付けると、画像撮影時の設定を優先して補正されます。

重要

- [自動写真補正を行う] を選んで文書画像を印刷した場合、色味が変わってしまうことがあります。そのときは、[補正しない]を選んでください。

【印刷品質】

印刷するデータに適した印刷品質を選べます。

[きれい]、[標準]、[速い]、[ユーザー設定] のいずれかを選べます。[ユーザー設定] を選ぶとスライダーが表示され、5段階で印刷品質が設定できます。スライダーを右に動かすほど高品質で、左に動かすほど高速で印刷されます。

【両面印刷設定】

両面印刷対応のプリンターおよび両面印刷対応の用紙を選ぶと表示されます。チェックマークを付けると、両面印刷ができます。

【印刷】

設定した内容で印刷が開始されます。

関連項目

- [写真や文書を印刷しよう](#)
- [スライドショーに表示されたおすすめの商品や画像を印刷しよう](#)
- [作品を作って印刷しよう](#)
- [プレミアムコンテンツをダウンロードして印刷しよう](#)
- [動画から静止画を切り出して印刷しよう](#)

[ページの先頭へ▲](#)

用紙サイズ一覧

My Image Gardenで印刷できる用紙サイズは以下のとおりです。印刷する前に、ご使用の用紙を確認してください。

参考

- 選択できる用紙サイズは、ご使用のプリンターやOS、または国/地域の設定によって異なります。
- PDFファイルの場合は、ご使用のプリンターで印刷できる用紙サイズがすべて選べます。

用紙サイズ	サイズ
A4	21.0 x 29.7 cm (8.27 x 11.69 inches)
レター	21.59 x 27.94 cm (8.50 x 11.00 inches)
はがき	10.0 x 14.8 cm (3.94 x 5.83 inches)
L判	8.9 x 12.7 cm (3.50 x 5.00 inches)
2L判	12.7 x 17.8 cm (5.00 x 7.01 inches)
KG	10.16 x 15.24 cm (4.00 x 6.00 inches)
名刺	5.5 x 9.1 cm (2.17 x 3.58 inches)
US 5x7	12.7 x 17.78 cm (5.00 x 7.00 inches)
カード	5.4 x 8.6 cm (2.13 x 3.39 inches)
六切	20.32 x 25.4 cm (8.00 x 10.00 inches)
四切	25.4 x 30.48 cm (10.00 x 12.00 inches)
半切	35.56 x 43.18 cm (14.00 x 17.00 inches)
A3	29.7 x 42.0 cm (11.69 x 16.54 inches)
A3ノビ	32.9 x 48.3 cm (12.95 x 19.02 inches)
11x17	27.94 x 43.18 cm (11.00 x 17.00 inches)
フォトシールセット	10.0 x 14.8 cm (3.94 x 5.83 inches)
プチシール	10.0 x 14.8 cm (3.94 x 5.83 inches)
プチシール・フリーカット	10.0 x 14.8 cm (3.94 x 5.83 inches)
12cmディスク	12.0 x 12.0 cm (4.72 x 4.72 inches)
12cmディスク(内径小)	12.0 x 12.0 cm (4.72 x 4.72 inches)
CD-Rトレイ	13.58 x 25.57 cm (5.34 x 10.07 inches)
CD-RトレイA	14.3 x 26.27 cm (5.63 x 10.34 inches)
CD-RトレイB	13.1 x 23.88 cm (5.16 x 9.40 inches)
CD-RトレイC	13.1 x 23.88 cm (5.16 x 9.40 inches)
CD-RトレイD	13.1 x 23.88 cm (5.16 x 9.40 inches)
CD-RトレイE	17.2 x 27.5 cm (6.77 x 10.83 inches)
CD-RトレイF	13.1 x 24.26 cm (5.16 x 9.55 inches)
CD-RトレイG	13.1 x 25.43 cm (5.16 x 10.01 inches)
ディスクトレイG	13.1 x 25.43 cm (5.16 x 10.01 inches)
ディスクトレイH	15.12 x 37.9 cm (5.95 x 14.92 inches)
ディスクトレイJ	13.0 x 22.48 cm (5.12 x 8.85 inches)
ディスクトレイK	15.12 x 32.0 cm (5.95 x 12.60 inches)
アート A4 (余白35mm)	21.0 x 29.7 cm (8.27 x 11.69 inches)

アート レター (余白35mm)	21.59 x 27.94 cm (8.50 x 11.00 inches)
アート A3 (余白35mm)	29.7 x 42.0 cm (11.69 x 16.54 inches)
アート A3ノビ (余白35mm)	32.9 x 48.3 cm (12.95 x 19.02 inches)
ファインアート A4	21.0 x 29.7 cm (8.27 x 11.69 inches)
ファインアート レター	21.59 x 27.94 cm (8.50 x 11.00 inches)
ファインアート A3	29.7 x 42.0 cm (11.69 x 16.54 inches)
ファインアート A3ノビ	32.9 x 48.3 cm (12.95 x 19.02 inches)
A4 (アート紙 余白35mm)	21.0 x 29.7 cm (8.27 x 11.69 inches)
レター (アート紙 余白35mm)	21.59 x 27.94 cm (8.50 x 11.00 inches)
A3 (アート紙 余白35mm)	29.7 x 42.0 cm (11.69 x 16.54 inches)
A3ノビ (アート紙 余白35mm)	32.9 x 48.3 cm (12.95 x 19.02 inches)
A4 (アート紙 余白30mm)	21.0 x 29.7 cm (8.27 x 11.69 inches)
レター (アート紙 余白30mm)	21.59 x 27.94 cm (8.50 x 11.00 inches)
A3 (アート紙 余白30mm)	29.7 x 42.0 cm (11.69 x 16.54 inches)
A3ノビ (アート紙 余白30mm)	32.9 x 48.3 cm (12.95 x 19.02 inches)

[ページの先頭へ ▲](#)

【環境設定】 ダイアログ

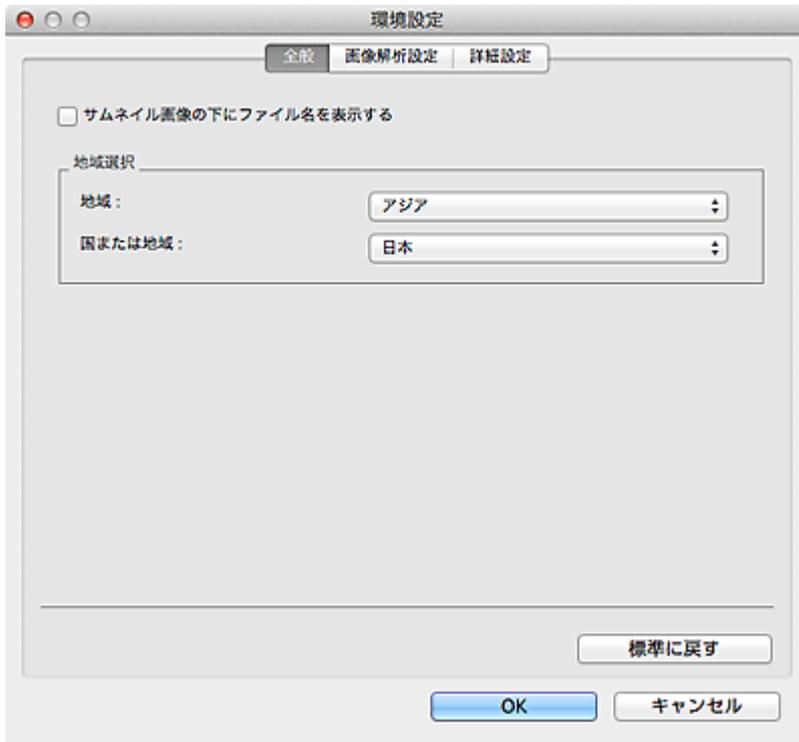
My Image Gardenの使用環境と画像解析機能の詳細、ファイルの保存先や使用するアプリケーションなどを設定できます。

My Image Gardenの [My Image Garden] メニューで [環境設定...] を選ぶと、 [環境設定] ダイアログが表示されます。

- ➡ [全般] シート
- ➡ [画像解析設定] シート
- ➡ [詳細設定] シート

【全般】 シート

表示や地域に関する設定ができます。



【サムネイル画像の下にファイル名を表示する】

チェックマークを付けると、 [カレンダー] ビューの [日付表示] や、 [イベント] ビュー、フォルダービューのサムネイル表示のとき、サムネイルの下にファイル名が表示されます。

【地域選択】

【地域】

お住まいの地域を選べます。

【国または地域】

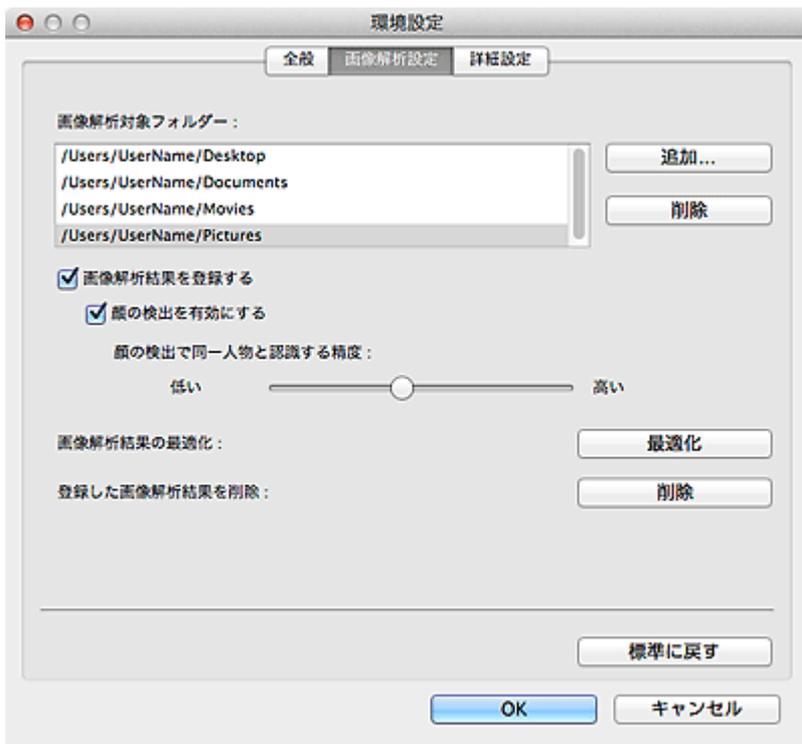
お住まいの国また地域を選べます。選べる項目は、 [地域] の設定によって異なります。

【標準に戻す】

すべての項目が初期設定に戻ります。

【画像解析設定】シート

画像解析対象のフォルダーや画像解析時の顔の検出精度などを設定できます。



【画像解析対象フォルダー】

画像解析の対象になっているフォルダーが表示されます。ここに登録されているフォルダー内の画像のみ、[カレンダー] ビューまたは[未登録人物] / [人物] ビューに表示されたり、Image Displayに表示されるおすすめの作品内に利用されたりします。

画像解析対象にフォルダーを追加したいときは [追加...] をクリックし、フォルダーを指定してください。フォルダーを画像解析対象から外したい場合は、フォルダーを選んで [削除] をクリックしてください。

重要

- フォルダーを画像解析対象から外すと、そのフォルダーに保存されている画像に設定したお気に入り度や、登録した人物やイベントの情報が失われることがあります。

参考

- [画像解析結果を登録する]、[顔の検出を有効にする] にチェックマークを付けていて、画像解析の対象となっているフォルダーに人物の情報が未登録の画像がある場合に、My Image Gardenが起動すると画像解析が行われます。
- 画像解析が終了した画像は、作品内の最適な位置に自動で配置させることができます。詳しい設定方法については、「[自動的に写真を並べる](#)」をご覧ください。

【画像解析結果を登録する】

チェックマークを付けると、画像解析の結果が保存されます。

【顔の検出を有効にする】

チェックマークを付けると、画像から顔の部分が検出されます。[顔の検出で同一人物と認識する精度] の設定に従い、同一人物と認識された画像が、[未登録人物] ビューでグループ化されます。

【顔の検出で同一人物と認識する精度】

スライダーを動かして同一人物と認識する精度を設定できます。

スライダーを左に動かすと、同じ人物と認識される画像の範囲が広がる分、精度が低くなります。スライダーを右に動かすと、同じ人物と認識される画像の範囲が狭くなる分、精度が高くなります。

【画像解析結果の最適化】

[最適化] をクリックすると、保存されている画像解析結果が更新されます。

【登録した画像解析結果を削除】

[削除] をクリックすると、画像解析結果が削除されます。

画像解析結果を削除すると、次に画像解析が行われるまで、[未登録人物] ビューに画像が表示されなくなります。

重要

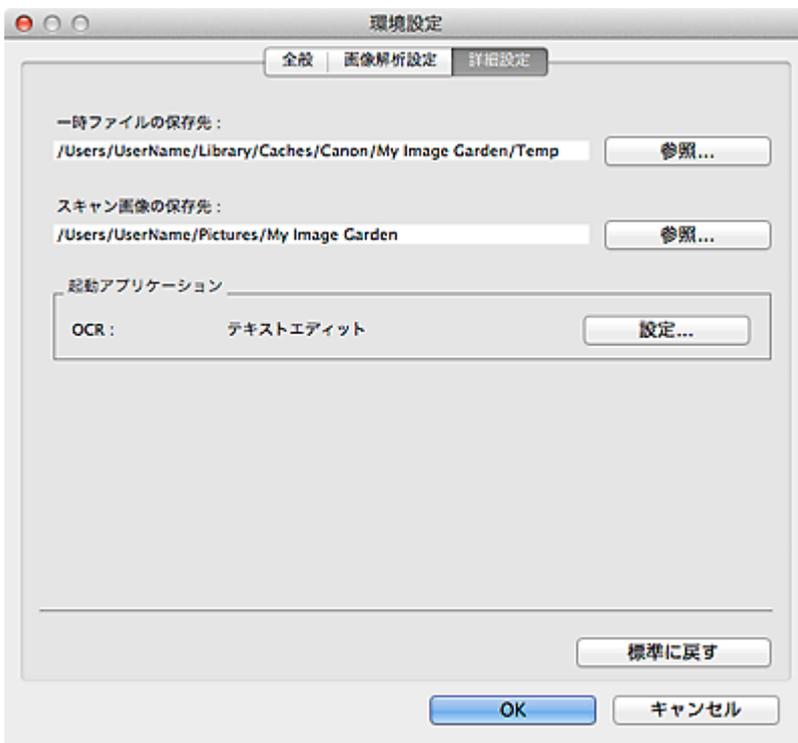
- 画像解析結果を削除すると、[人物] ビューに登録した人物の情報もすべて削除されます。

【標準に戻す】

すべての項目を初期設定に戻せます。

【詳細設定】 シート

ファイルの保存先と画像から文字列を抜き出すときの詳細を設定できます。



【一時ファイルの保存先】

画像を一時的に保存するフォルダーを設定できます。変更したい場合は、[参照...] をクリックし、保存先フォルダーを指定してください。

【スキャン画像の保存先】

スキャンした画像の保存先フォルダーを設定できます。変更したい場合は、[参照...] をクリックし、保存先フォルダーを指定してください。

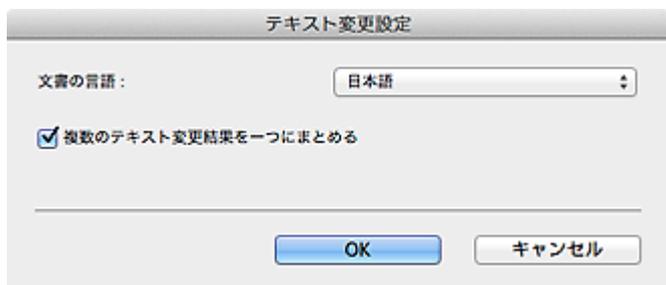
初期設定では、[ピクチャ] フォルダーの中の [My Image Garden] フォルダーに保存されます。

【起動アプリケーション】

【OCR】

Mac OSに付属のテキストエディットが表示されます。

[設定...] をクリックすると、[テキスト変更設定] ダイアログが表示され、画像から文字列を抜き出すときの詳細を設定できます。



【文書の言語】

画像内の文字列を認識させるための言語を選べます。

【複数のテキスト変更結果を一つにまとめる】

チェックマークを付けると、複数の画像から文字列を抜き出すときに、抜き出した結果を1つのファイルにまとめて保存できます。

重要

- 11枚以上の画像からまとめて文字列を抜き出すときは、必ずチェックマークを付けてください。

【標準に戻す】

すべての項目を初期設定に戻せます。

参考

- 画像から文字列を抜き出す方法については、「[画像から文字を抜きだそう（OCR機能）](#)」をご覧ください。

[ページの先頭へ▲](#)

困ったときには

My Image Gardenの設定を変更したい

My Image Gardenの設定は、[環境設定] ダイアログで変更できます。

➡ [\[環境設定\] ダイアログ](#)

画像が表示されない

インストール直後は画像解析が実施されます。そのため、画像解析が終わるまで[カレンダー] ビューや[未登録人物] ビューに画像が表示されないことがあります。

参考

- 画像解析中は、グローバルメニューの[未登録人物]が、[人物を確認中...]と表示されます。

[カレンダー] ビューや[未登録人物] / [人物] ビューに画像を表示したり、おすすめの作品機能を利用したりするには、画像が保存されているフォルダーが画像解析の対象になっている必要があります。画像が保存されているフォルダーが画像解析の対象になっていることを、[環境設定] ダイアログの[画像解析設定] シートで確認してください。

➡ [\[画像解析設定\] シート](#)

画像解析（顔認識）が上手くいかない

[環境設定] ダイアログの[画像解析設定] シートで、顔の検出精度などを調整してください。

➡ [\[画像解析設定\] シート](#)

スキャンがうまくできない

スキャンに関するトラブルについては、電子マニュアル（取扱説明書）の該当のページをご覧ください。

プレミアムコンテンツが利用できない

詳しくは、「[プレミアムコンテンツが利用できない](#)」をご覧ください。

[ページの先頭へ ▲](#)

プレミアムコンテンツが利用できない

クリエイティブパーク プレミアムのプレミアムコンテンツが印刷できない

チェック 1 My Image Gardenはインストールされていますか

My Image Gardenがインストールされていないと、プレミアムコンテンツを印刷することはできません。My Image Gardenをインストールしてから、プレミアムコンテンツを印刷してください。

チェック 2 プレミアムコンテンツをダウンロードしましたか

プレミアムコンテンツをダウンロードしてから、再度印刷を行ってください。プレミアムコンテンツの使用期限が過ぎている場合は、プレミアムコンテンツは表示されません。

ダウンロードしたプレミアムコンテンツの使用期限については、「[\[入手したプレミアムコンテンツ\]ビュー](#)」をご覧ください。

チェック 3 ご使用のプリンターでは印刷できない用紙サイズのプレミアムコンテンツを印刷しようとしていませんか

ご使用のプリンターで印刷できない用紙サイズのプレミアムコンテンツを印刷しようとすると、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容に従い、プレミアムコンテンツの用紙サイズを確認してください。

チェック 4 インクタンク/インクカートリッジは正しく取り付けられていますか

対応プリンターの全色にキヤノン純正インクタンク/インクカートリッジが正しく取り付けられていないと、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容に従い、キヤノン純正インクタンク/インクカートリッジの全色が正しく取り付けられていることを確認して、再度プレミアムコンテンツを印刷してください。

チェック 5 ご使用のプリンターが処理中ではありませんか

ご使用のプリンターが処理中だと、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージの内容に従い、処理が終了するまでお待ちください。処理が終了したら、再度プレミアムコンテンツを印刷してください。

チェック 6 ご使用のプリンターのプリンタードライバーがインストールされていますか

ご使用のプリンターのプリンタードライバーがインストールされていないと、プレミアムコンテンツを印刷することはできません。ご使用のプリンターのプリンタードライバーをインストールしてから、プレミアムコンテンツを印刷してください。

チェック 7 ご使用のプリンターがQuick Menuで選ばれていますか

Quick Menuからプレミアムコンテンツを表示する場合、ご使用のプリンターがQuick Menuで選ばれて

いないと、Quick Menuにクリエイティブパーク プレミアムのメニューが表示されません。Quick Menuの（環境設定）をクリックし、環境設定画面の「機種の設定」でご使用のプリンターを選んでから、プレミアムコンテンツを印刷してください。

チェック 8 パソコンとご使用のプリンターがBluetoothで接続されていませんか

パソコンとご使用のプリンターをBluetoothで接続している場合、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。USB接続またはネットワーク接続に変更して、再度プレミアムコンテンツを印刷してください。

チェック 9 ご使用のプリンターをAirMacとUSB接続して共有プリンターとして使用していませんか

ご使用のプリンターをAirMacとUSB接続して、共有プリンターとして使用している場合、パソコンの画面にエラーメッセージが表示されます。USB接続またはネットワーク接続に変更して、再度プレミアムコンテンツを印刷してください。

[ページの先頭へ▲](#)

使用上の注意 (My Image Garden)

My Image Garden (マイ・イメージ・ガーデン) の使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

- My Image Gardenに対応している製品については、キヤノンのホームページをご覧ください。
- ご使用のスキャナーまたはプリンターによって、使用できる機能や設定できる項目は異なります。
- 本ガイドに掲載しているプレミアムコンテンツのデザインは、予告なく変更される可能性があります。

おすすめの作品機能の制限事項

- おすすめの作品機能を利用するには、Quick Menu (クイック・メニュー) のインストールが必要です。Quick Menuは、キヤノンのホームページからダウンロードすることができます。

画像表示の制限事項

- [カレンダー] ビューや [未登録人物] / [人物] ビューに画像を表示したり、おすすめの作品機能を利用したりするには、画像が保存されているフォルダーが画像解析の対象になっている必要があります。

印刷時の制限事項

- ディスクレーベルやA4より大きいサイズ、名刺サイズ、シール紙への印刷は、対応機種のみ使用できます。
- My Image Gardenに対応したプリンタードライバーがご使用のパソコンにインストールされていない場合、作品を印刷することはできません。

スキャン時の制限事項

- My Image Gardenに対応したスキャナーまたはプリンターのドライバーがご使用のパソコンにインストールされていない場合、原稿をスキャンすることはできません。
- スキャン後の画像サイズが、10208 pixels x 14032 pixels (原稿のサイズ：原稿台全面、解像度：1200 dpi相当) よりも大きくなる原稿はスキャンできません。

ScanGear (スキャナードライバー) を使用してスキャンする場合の制限事項については、電子マニュアル (取扱説明書) の該当のページをご覧ください。

[ページの先頭へ ▲](#)

S501

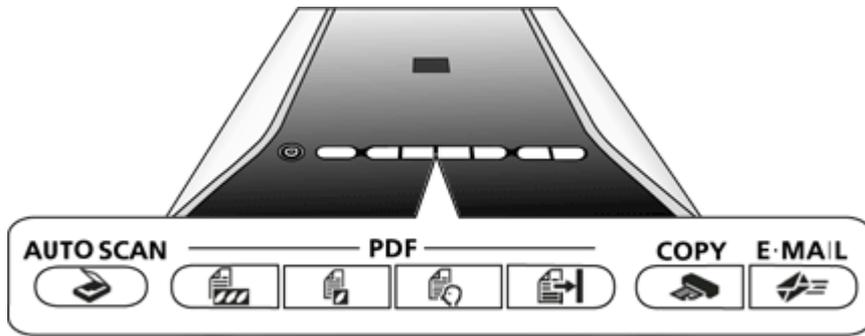
スキャナーの操作ボタン (EZボタン) でスキャンする

- EZ (イージー) ボタンとは
- 原稿をスキャンして画像を保存する (オートスキャン (AUTO SCAN) ボタン)
- 原稿をスキャンしてPDF文書として保存する (PDFボタン)
- 原稿をスキャンしてプリント/コピーする (コピー (COPY) ボタン)
- 原稿をスキャンしてEメールに添付する (Eメール (E-MAIL) ボタン)
- IJ Scan UtilityでEZボタンの動作設定をする

[ページの先頭へ▲](#)

EZ (イージー) ボタンとは

スキャナーの7つのボタンを「EZ (イージー) ボタン」と呼びます。原稿台に原稿をセットしてEZボタンを押すだけで、PDF文書の作成や、原稿の印刷、画像のメール添付などができます。



-  オートスキャン (AUTO SCAN) ボタン

原稿の種類を自動で判別し、パソコンに保存します。

- PDFボタン

目的に合わせて、かんたんにPDF文書を作成できます。

※以下のボタン名称は、本体に表記されていません。

-  カラー原稿ボタン

スキャンした画像をカラーのPDF文書としてパソコンに保存します。

-  白黒原稿ボタン

スキャンした画像をグレースケールまたは白黒のPDF文書としてパソコンに保存します。

-  お気に入りボタン

スキャンした画像をお好みの設定でPDF文書としてパソコンに保存します。

-  終了ボタン

PDFボタンのスキャンを終了して、画像を保存します。

-  コピー (COPY) ボタン

原稿をスキャンして、プリンターで印刷します。

-  Eメール (E-MAIL) ボタン

原稿をスキャンして、新規メールにスキャンされた画像を添付します。

参考

- EZボタンを押したときのIJ Scan Utilityの動作を設定することができます。

- ▶ [IJ Scan UtilityでEZボタンの動作設定をする](#)

- EZボタンを押すと電源ランプが点滅します。
- 初期設定では、スキャンした画像は「書類」フォルダーに保存されます。

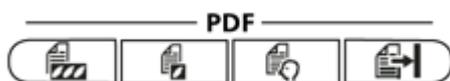
原稿をスキャンしてPDF文書として保存する (PDFボタン)

スキャンした画像データをPDF文書として保存することができます。

1. 原稿台に原稿をセット

- ➡ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)

2. 目的に応じてPDFボタンを押す



- カラー原稿をスキャンしたい :  (カラー原稿ボタン)
- 白黒原稿をスキャンしたい :  (白黒原稿ボタン)
- お好みの設定でスキャンしたい :  (お気に入りボタン)

スキャナーのPDFボタンの説明が表示されます。

3. PDFボタンの説明画面を確認し、[OK] をクリック

参考

- [今後、このメッセージを表示しない] にチェックマークを付けると、スキャナーのボタン操作だけで原稿の連続スキャンなどができます。

スキャンが開始されます。

4. ページを追加したいときは [スキャン]、終了したいときは [終了] を選択

スキャンが終了すると、メッセージが表示されます。

ページを追加する場合

原稿台に新しい原稿をセットして、手順2で選んだボタンと同じボタンを押すか、メッセージ画面の [スキャン] をクリックします。追加のスキャンが終了すると、メッセージが再び表示されます。

終了する場合

スキャナーの  (終了ボタン) を押すか、メッセージ画面の [終了] をクリックします。

終了すると、スキャンした画像がPDF形式で保存されます。

原稿をスキャンして画像を保存する (オートスキャン (AUTO SCAN) ボタン)

原稿の種類を自動で判別し、パソコンに保存することができます。

1. 原稿台に原稿をセット

➡ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)

2. オートスキャン (AUTO SCAN) ボタンを押す

スキャンが開始されます。

参考

- スキャンした画像は、[スキャン設定...] をクリックして表示される [スキャン設定(AUTO SCANボタン)] ダイアログで、[保存する場所] に設定したフォルダーに保存されます。[スキャン設定(AUTO SCANボタン)] ダイアログでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

原稿をスキャンしてプリント / コピーする (コピー (COPY) ボタン)

原稿をスキャンして、プリンターで印刷することができます。

参考

- コピー (COPY) ボタンで印刷をする場合は、プリンターを準備します。プリンターの準備方法については、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

1. 原稿台に原稿をセット

⇒ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)

2. コピー (COPY) ボタンを押す

スキャンが開始されます。スキャンされた画像はプリンターで印刷されます。

[ページの先頭へ ▲](#)

原稿をスキャンしてEメールに添付する (Eメール (E-MAIL) ボタン)

スキャンした画像データをEメールに添付して送信することができます。

参考

- メールソフトを選択していない場合は、スキャン後保存された画像を手動でメールに添付してください。

1. 原稿台に原稿をセット

- ➡ 原稿のセットのしかた (パソコンからスキャンする場合)

2. Eメール (E-MAIL) ボタンを押す

スキャンが開始されます。スキャンされた画像は、添付ファイルとして新規メッセージに添付されません。

3. 宛先を指定し、件名や本文を入力してメールを送信

メールの設定については、ご使用のメールソフトの取扱説明書をご覧ください。

[ページの先頭へ▲](#)

S508

IJ Scan UtilityでEZボタンの動作設定をする

EZボタンからスキャンを開始するときの動作を、IJ Scan Utilityで設定することができます。

参考

- オートスキャン (AUTO SCAN) ボタンの動作設定を行う画面を例に説明しています。

1. IJ Scan Utilityを起動

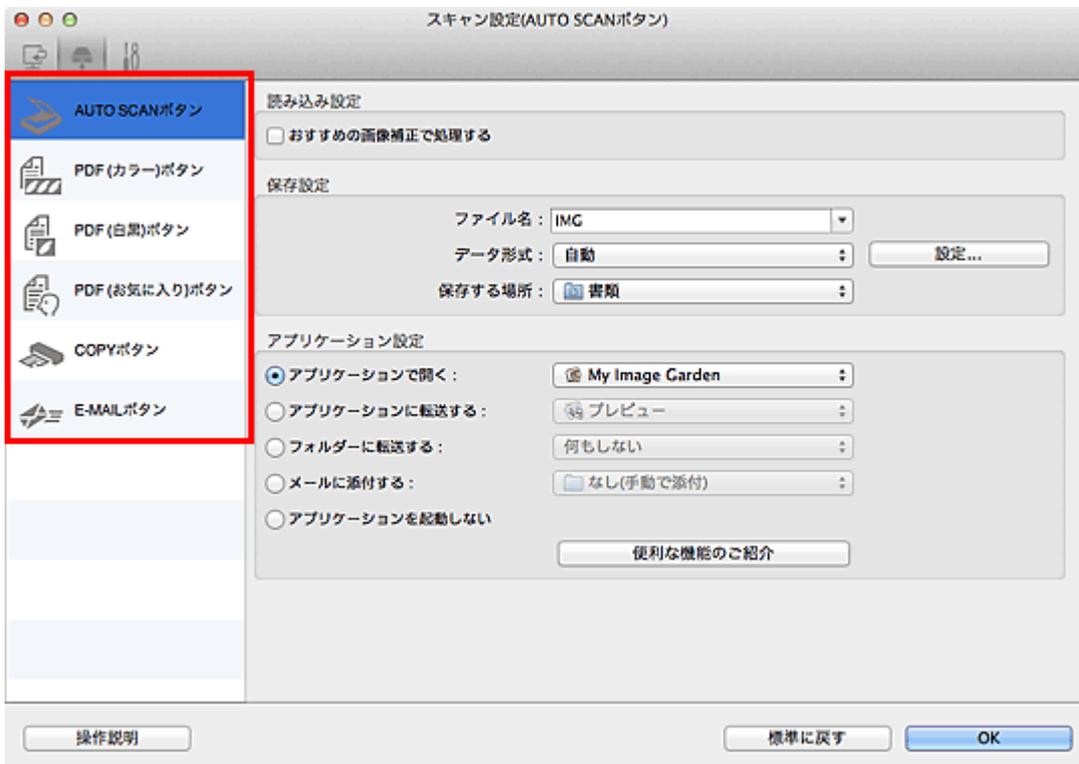
⇒IJ Scan Utilityを起動する

2. 【スキャン設定...】をクリック



スキャン設定ダイアログが表示されます。

3. (EZボタンからスキャン) シートを選択

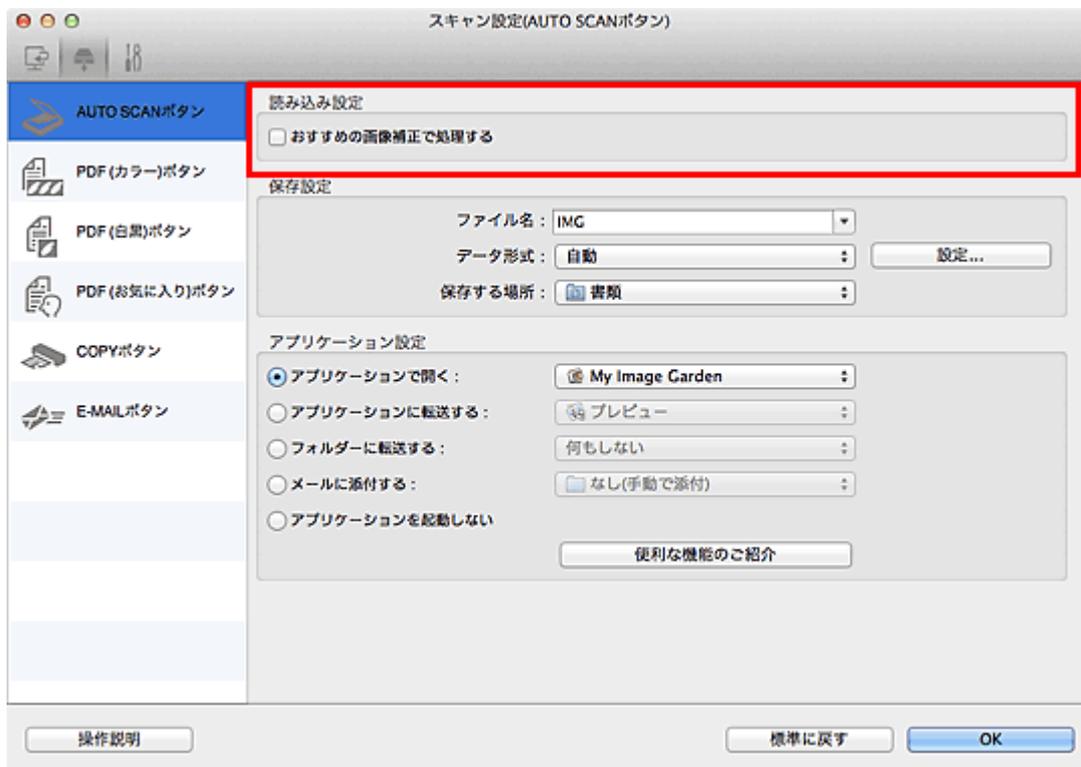


参考

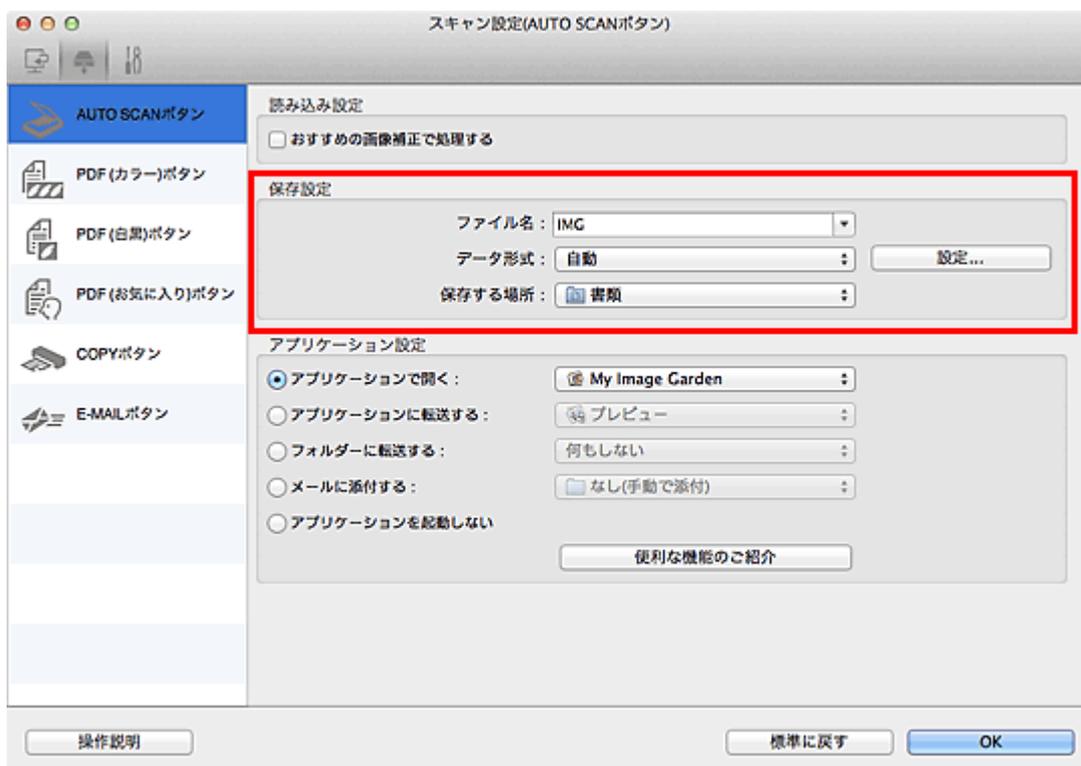
- 詳細については、以下をご覧ください。

- ➡ [スキャン設定(AUTO SCANボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(COPYボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(E-MAILボタン)] ダイアログ

4. 【読み込み設定】で画像補正を設定

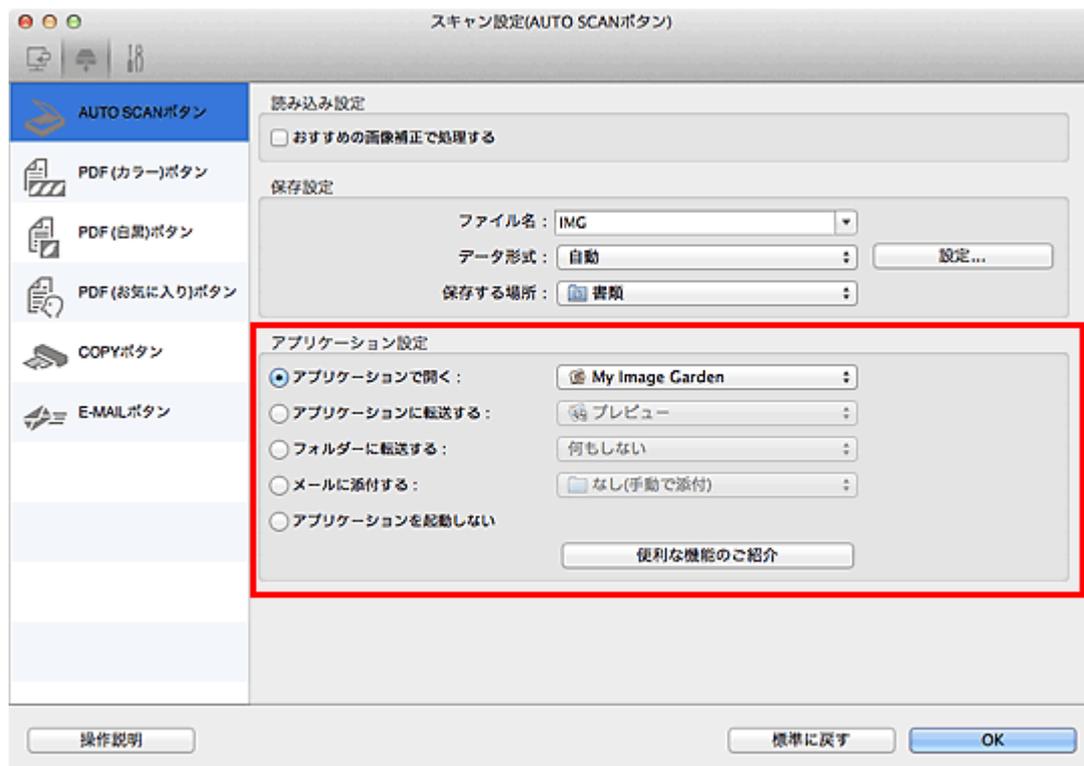


5. 【保存設定】でファイル名などを設定



【アプリケーション設定】で、スキャン後に起動したいアプリケーションを選択

6.



7. [OK] をクリック

EZボタンからスキャンを開始したとき、設定した内容で動作が実行されます。

[ページの先頭へ▲](#)

困ったときには

- [スキャンができない](#)
- [スキャン結果に満足できない](#)
- [ソフトウェアのトラブル](#)
- [フィルムスキャンのトラブル](#)
- [インストールのトラブル](#)
- [\[インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム\] について](#)
- [IJ Scan Utilityメッセージ/エラーメッセージ一覧](#)
- [ScanGear \(スキャナードライバー\) メッセージ/エラーメッセージ一覧](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

スキャンができない

- 「ロックスイッチを解除し、...」というエラーメッセージが表示され、スキャンできない
- スキャナーが動かない
- ScanGear（スキャナードライバー）がアプリケーションソフトから呼び出せない
- エラーメッセージが表示されてScanGear（スキャナードライバー）の画面が表示できない
- EZボタンが使えない
- EZボタンを押すと意図しないアプリケーションソフトに画像が渡される
- 複数の原稿を一度にスキャンできない
- 「おまかせスキャン」でうまくスキャンできない
- スキャンに時間がかかる
- 「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない
- スキャンの途中でパソコンが動かなくなった
- スキャンした画像が開けない
- EZボタンからスキャンしたときに画像の位置やサイズが正しく読めない

[ページの先頭へ▲](#)

S610

「ロックスイッチを解除し、...」というエラーメッセージが表示され、スキャンできない

チェック

スキャナーのロックは解除されていますか

いったんアプリケーションソフトを終了させてから、ロックを解除して電源を入れ直してください。ロック解除の方法については、『まず使えるようにしましょう（スキャナー基本ガイド）』をご覧ください。

[ページの先頭へ▲](#)

S600

スキャナーが動かない

チェック 1 ご使用のスキャナーの電源が入っていることを確認してください

チェック 2 パソコンに複数のUSBポートがある場合、ほかのUSBポートに差し替えてください

チェック 3 USBケーブルをUSBハブなどを介して接続しているときは、パソコンのUSBポートに直接接続してください

チェック 4 パソコンを再起動してください

[ページの先頭へ ▲](#)

S601

ScanGear (スキャナードライバー) がアプリケーションソフトから呼び出せない

チェック 1 ScanGear (スキャナードライバー) がインストールされていることを確認してください

インストールされていない場合、セットアップ CD-ROMを使ってScanGearをインストールしてください。

チェック 2 アプリケーションソフトのメニューで、ご使用のスキャナーを選択してください

参考

- アプリケーションソフトによっては、起動方法が異なる場合があります。

チェック 3 アプリケーションソフトがTWAINに対応していることを確認してください

TWAINに対応していないアプリケーションソフトからScanGearを呼び出すことはできません。

チェック 4 IJ Scan Utilityでスキャンして画像を保存し、ご使用のアプリケーションソフトでファイルを開いてください

[ページの先頭へ ▲](#)

S602

エラーメッセージが表示されてScanGear（スキャナードライバー）の画面が表示できない

チェック 1 ご使用のスキャナーの電源が入っていることを確認してください

チェック 2 電源をオフにし、USBケーブルと電源コードを接続し直してください

チェック 3 パソコンに複数のUSBポートがある場合、ほかのUSBポートに差し替えてください

チェック 4 USBケーブルをUSBハブなどを介して接続しているときは、パソコンのUSBポートに直接接続してください

チェック 5 ScanGear（スキャナードライバー）がインストールされていることを確認してください

インストールされていない場合、セットアップ CD-ROMを使ってScanGearをインストールしてください。

チェック 6 ご使用のスキャナーのロックは解除されていますか

ソフトウェアを起動している場合は、いったんソフトウェアを終了してください。そのあと、スキャナーロックスイッチを解除側（)にスライドし、電源を入れ直してください。

チェック 7 アプリケーションソフトのメニューで、ご使用のスキャナーを選択してください

参考

- アプリケーションソフトによっては、起動方法が異なる場合があります。

チェック 8 アプリケーションソフトがTWAINに対応していることを確認してください

TWAINに対応していないアプリケーションソフトからScanGearを呼び出すことはできません。

チェック 9 ほかのアプリケーションソフトでScanGearを起動している場合は、ScanGearを終了してください

S700

EZボタンが使えない

チェック 1 セットアップ CD-ROMを使って、必要なアプリケーションソフトを再インストールしてください

チェック 2 コピー (COPY) ボタンを使用するには、ご使用のプリンターのプリンタードライバーをインストールしてください

チェック 3 コピー (COPY) ボタンを使用するには、ご使用のプリンターが正常に動作するか確認してください

チェック 4 Eメール (E-MAIL) ボタンを使用するには、メールソフトをインストールしてください

チェック 5 アプリケーションソフト (IJ Scan Utilityなど) をインストール後、再起動しましたか

EZボタンからスキャンする場合は、アプリケーションソフトをインストール後、再起動してください。

[ページの先頭へ▲](#)

S702

EZボタンを押すと意図しないアプリケーションソフトに画像が渡される

チェック

IJ Scan Utilityの設定を変更してください

EZボタンに連動しているアプリケーションソフトはIJ Scan Utilityで管理しています。IJ Scan Utility基

本画面で [スキャン設定...] をクリックし、スキャン設定ダイアログの  (EZボタンからスキャン) シートで [アプリケーション設定] を変更すると、別のアプリケーションソフトと連動させることができます。詳しくは、以下のページを参照してください。

- ➡ [スキャン設定(AUTO SCANボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(COPYボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(E-MAILボタン)] ダイアログ

[ページの先頭へ▲](#)

S603

複数の原稿を一度にスキャンできない

チェック 1 原稿が正しくセットされていますか

➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

チェック 2 複数の原稿を一度にスキャンしていませんか

アプリケーションソフトによっては、複数の画像を連続して受け取れないものがあります。その場合、1枚ずつスキャンしてください。

[ページの先頭へ▲](#)

S604

「おまかせスキャン」でうまくスキャンできない

チェック 1 原稿が正しくセットされていますか

➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

チェック 2 複数の原稿を一度にスキャンしていませんか

アプリケーションソフトによっては、複数の画像を連続して受け取れないものがあります。その場合、1枚ずつスキャンしてください。

[ページの先頭へ▲](#)

S605

スキャンに時間がかかる

チェック 1 出力解像度は、モニターで見るときは150 dpi、プリンターで印刷するときは300 dpi程度に設定してください

➡ 解像度について

チェック 2 【褪色補正】 や 【粒状感低減】 などの画像の設定を【OFF】にしてください

➡ 【画像設定】

チェック 3 IJ Scan Utilityの【文字原稿の傾きを補正する】 / 【文字原稿の向きを検知して、画像を回転する】のチェックマークを外して原稿をスキャンし直してください

➡ 【スキャン設定(文書)】 ダイアログ

➡ 【スキャン設定(お気に入り)】 ダイアログ

➡ 【スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)】 ダイアログ

➡ 【スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)】 ダイアログ

➡ 【スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)】 ダイアログ

➡ 【スキャン設定(E-MAILボタン)】 ダイアログ

ページの先頭へ ▲

S606

「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない

チェック 1 起動中のアプリケーションソフトを終了してから、もう一度実行してください

チェック 2 適切な解像度または出力サイズへ変更し、スキャンし直してください

➡[解像度について](#)

[ページの先頭へ▲](#)

S607

スキャンの途中でパソコンが動かなくなった

チェック 1 パソコンを再起動し、ScanGear（スキャナードライバー）の出力解像度を下げてスキャンし直してください

➡ [出力設定]

チェック 2 不要なファイルを削除し、パソコンの空き容量を確保してからスキャンし直してください

大きな原稿を高解像度でスキャンするときなど画像サイズが大きいときは、パソコンのハードディスクに画像をスキャンし保存するための十分な空き容量がないと判断され、エラーになることがあります。

チェック 3 IJ Scan Utilityの [テンポラリファイルの保存先フォルダー] で、十分な空き容量があるドライブのフォルダーを設定してください

➡ [スキャン設定(基本設定)] ダイアログ

チェック 4 複数の機器をUSBポートに接続していませんか

ご使用のスキャナーまたはプリンター以外の機器を外してご使用ください。

[ページの先頭へ▲](#)

S609

スキャンした画像が開けない

チェック データ形式がアプリケーションソフトに対応していない場合、再度スキャンを行い、保存する際にJPEGなどの一般的なデータ形式を選んでください

詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

[ページの先頭へ▲](#)

S716

EZボタンからスキャンしたときに画像の位置やサイズが正しく読めない

チェック 1 原稿が正しくセットされていますか

- ⇒ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

チェック 2 読み込む原稿と設定が合っていますか

オートスキャン（AUTO SCAN）ボタンでうまくスキャンできない場合は、IJ Scan Utilityで原稿の種類を指定してスキャンしてください。

- ⇒ 写真をスキャンする
- ⇒ 文書をスキャンする
- ⇒ お気に入りの設定でスキャンする

[ページの先頭へ▲](#)

スキャン結果に満足できない

- きれいにスキャンできない（モニターに表示された画像がきたない）
- スキャンした画像の周囲に余白ができる
- 正しいサイズで読み込めない
- 原稿を正しくセットしたが、スキャンした画像が傾いている
- スキャンした画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される

[ページの先頭へ▲](#)

S710

きれいにスキャンできない (モニターに表示された画像がきたない)

チェック 1 画像が粗い場合は、スキャン解像度を上げてください

➡ 解像度について

チェック 2 画面表示を等倍 (100 %) に設定してください

アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。

チェック 3 キャリブレーションデータを更新してください

ScanGear (スキャナードライバー) の [詳細設定] ダイアログにある [スキャナー] シートで [キャリブレーション設定] の [スキャン前に毎回実行] を [ON] に設定してからスキャンし、キャリブレーションを実行してください。ご使用のパソコンによっては、キャリブレーションに時間がかかる場合があります。

➡ [スキャナー] シート

チェック 4 モアレ (縞模様など) が発生した場合は、次の対処方法に従ってスキャンし直してください

- ScanGearの [基本モード] シートで、[原稿を選択する] から [雑誌(カラー)] を選んでスキャンしてください。
➡ [基本モード] シート
- ScanGearの [拡張モード] シートで、[画像設定] の [モアレ低減] を [ON] にしてスキャンしてください。
➡ [画像設定]

参考

- デジタルプリント写真をスキャンしたときに、モアレが発生する場合は、上記の手順に従ってスキャンしてください。

- IJ Scan Utilityをご使用の場合は、スキャン設定ダイアログの各シートで [原稿の種類] から [雑誌] を選ぶか、[画像処理設定] を展開し [モアレを低減する] をオンにしてスキャンしてください。

- ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(COPYボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(E-MAILボタン)] ダイアログ

チェック 5 原稿台や原稿台カバーを清掃してください

「ご使用前にお読みください」の「日常のお手入れ」の手順に従って、清掃してください。

チェック 6 原稿の状態が悪い場合（原稿にごみがついている、褪色しているなど）は、ScanGearの[拡張モード]シートで、[画像設定]の[ごみ傷低減]や[褪色補正]、[粒状感低減]などを補正してスキャンしてください

➡ [画像設定]

チェック 7 原稿の元の色あいと異なってしまう場合は、次の対処方法に従ってスキャンし直してください

- ScanGearの[拡張モード]シートで、[画像設定]の[画像調整]を[OFF]に設定してスキャンしてください。

➡ [画像設定]

- ScanGearの[詳細設定]ダイアログの[色の設定]シートで[カラーマッチング]を設定してスキャンしてください。

➡ [色の設定]シート

チェック 8 外光が入り画像が白く欠けたり、筋状の模様や色のついた模様が出たりするときは、ご使用のスキヤナーを黒い布などで覆ってください

ページの先頭へ ▲

S711

スキャンした画像の周囲に余白ができる

チェック スキャンする範囲を指定してください

ScanGear（スキャナードライバー）の全体表示で （オートクロップ）をクリックすると、原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠（スキャンする範囲）が表示されます。

サムネイル表示時や写真などで原稿の周囲に白い縁がある場合、クロップ枠を設定したい場合は、手動で範囲を指定してください。

➡ [クロップ枠の調整のしかた](#)

[ページの先頭へ▲](#)

S712

正しいサイズで読み込めない

チェック

原稿が正しくセットされていますか

➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

[ページの先頭へ ▲](#)

S714

原稿を正しくセットしたが、スキャンした画像が傾いている

チェック

原稿の種類で【文書】または【雑誌】を選択している場合は、【文字原稿の傾きを補正する】のチェックマークを外して原稿をスキャンし直してください

- ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (カラー)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (白黒)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(PDF (お気に入り)ボタン)] ダイアログ
- ➡ [スキャン設定(E-MAILボタン)] ダイアログ

[ページの先頭へ▲](#)

S717

スキャンした画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される

チェック 1 アプリケーションソフトで、画像を拡大（縮小）してください

詳しい操作方法については、各アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

チェック 2 ScanGear（スキャナードライバー）で、解像度を変更してスキャンし直してください

解像度が高いと大きく表示され、低いと小さく表示されます。

➡[解像度について](#)

[ページの先頭へ▲](#)

ソフトウェアのトラブル

- スキャンした画像が大きく（小さく）印刷される
- 使用したいメールソフトが、メールソフトの選択画面に表示されない

[ページの先頭へ▲](#)

S719

スキャンした画像が大きく（小さく）印刷される

チェック

アプリケーションソフトで印刷する大きさを設定してください

[ページの先頭へ ▲](#)

S720

使用したいメールソフトが、メールソフトの選択画面に表示されない

チェック

メールソフトのMAPI 設定が有効になっているか確認してください

MAPI 設定の方法については、メールソフトの取扱説明書をご覧ください。

MAPI設定が有効でもうまく動作しない場合は、メールソフトの選択画面で [なし(手動で添付)] を選び、画像データを送信メールに手動で添付してください。

[ページの先頭へ▲](#)

フィルムスキャンのトラブル

- フィルムのスキャンができない
- きれいにスキャンできない、適切な色あいでスキャンできない
- クロップ枠を移動、拡大／縮小すると、色あいがおかしくなる
- コマを正しく認識できない
- スキャンの途中で止まる、または「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない

[ページの先頭へ▲](#)

S704

フィルムのスキャンができない

チェック 1 原稿台カバー内側のFAU保護シート（フィルムアダプターユニット保護シート）は取り外しましたか

チェック 2 フィルムガイドを原稿台の正しい位置にセットしましたか

チェック 3 キャリブレーション用窓がふさがっていないか確認してください

フィルムガイドのキャリブレーション用窓を、フィルムやそのほかのものでふさがないようにしてください。

チェック 4 原稿台カバーを正しく閉じましたか

チェック 5 IJ Scan Utilityでスキャンしている場合は、ScanGear（スキャナードライバー）でフィルムをスキャンしてください

ScanGearの〔原稿を選択する〕で〔ネガフィルム(カラー)〕または〔ポジフィルム(カラー)〕（基本モード）／〔原稿の種類〕で〔カラー ネガフィルム〕、〔カラー ポジフィルム〕、〔モノクロ ネガフィルム〕または〔モノクロ ポジフィルム〕（拡張モード）を選んでください。

チェック 6 適切な解像度を設定し、スキャンし直してください

パソコンが動かなくなったときは、パソコンを再起動してからスキャンしてください。

[ページの先頭へ ▲](#)

S705

きれいにスキャンできない、適切な色あいでスキャンできない

チェック 1 原稿台や原稿台カバー内側の光源部にほこりや汚れが付着していませんか

原稿台や原稿台カバー内側の光源部の汚れをきれいに取り除いてください。「ご使用前にお読みください」の「日常のお手入れ」の手順に従って、清掃してください。

チェック 2 ScanGear (スキャナードライバー) の [詳細設定] ダイアログにある [スキャナー] シートで [キャリブレーション設定] の [スキャン前に毎回実行] を [ON] に設定してからスキャンし、キャリブレーションを実行してください

➡ [スキャナー] シート

チェック 3 フィルムにごみがついていたり、色あせていたりして、原稿の状態が悪い場合は、ScanGearの [拡張モード] シートの [画像設定] で [ごみ傷除去(FARE)]、[褪色補正]、[粒状感低減]などを補正してスキャンしてください

➡ [画像設定]

チェック 4 リング状の縞模様 (ニュートンリング) が発生している場合は、フィルムのおもて面を上にしてセットして [プレビュー] をクリック

し、ScanGearのツールバーにある、 (鏡像) でプレビュー画像の左右を反転させ、[スキャン] をクリックしてください

チェック 5 非常に暗いシーンや非常に明るいシーンのフィルム、またはコマの間隔が非常に狭いフィルム (通常の間隔は2 mm (0.08 inch) 程度) をスキャンしようとしていませんか

EZボタンまたはIJ Scan Utilityでスキャンしたときに色あいが適切でない場合は、ScanGearでスキャンし直してください。

チェック 6 ScanGearでプレビューしたときに色あいが適切でない場合は、[拡張モード] シートで明るさやコントラスト、トーンカーブなどを調整してスキャンしてください

➡ ScanGear (スキャナードライバー) で画像補正や色調整をしよう

チェック 7 スキャンした画像が赤みがる、または青みがる場合

は、ScanGearの【拡張モード】シートで、【彩度・カラーバランス】を調整してスキャンしてください

➡彩度・カラーバランスの調整のしかた

チェック 8 モニターで正常に表示されている画像をプリンターで印刷したときに、画質が悪くなったり余白が出てしまったりする場合は、プリンターの設定を変更してください

詳細については、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

チェック 9 フィルムマウントが白色のときに、その照り返し光が映り込む場合は、マウントを黒色にするか、黒い枠などでマウント部を覆ってください

[ページの先頭へ▲](#)

S706

クロップ枠を移動、拡大／縮小すると、色あいがおかしくなる

チェック

ScanGear（スキャナードライバー）の【拡張モード】シートで、以下の手順を行ってください

1. 【プレビュー】をクリック

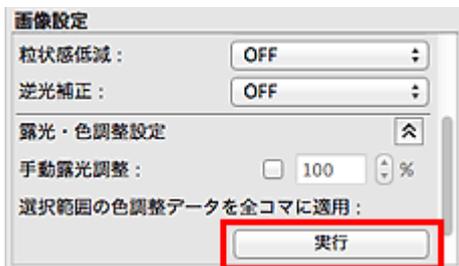
再度プレビューします。

フィルム全体を表示しているときは、ツールバーの （フィルム全体表示）をクリックして、サムネイル表示にします。

2. 色あいを補正したいコマを選択

3. 【選択範囲の色調整データを全コマに適用】の【実行】をクリック

【選択範囲の色調整データを全コマに適用】が表示されていない場合は、【露光・色調整設定】の （下矢印）をクリックしてください。



4. クロップ枠（スキャンする範囲）を指定し、【スキャン】をクリック

スキャンを開始します。

[ページの先頭へ▲](#)

S707

コマを正しく認識できない

チェック 1 フィルムの位置がずれていませんか

➡ フィルムのセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

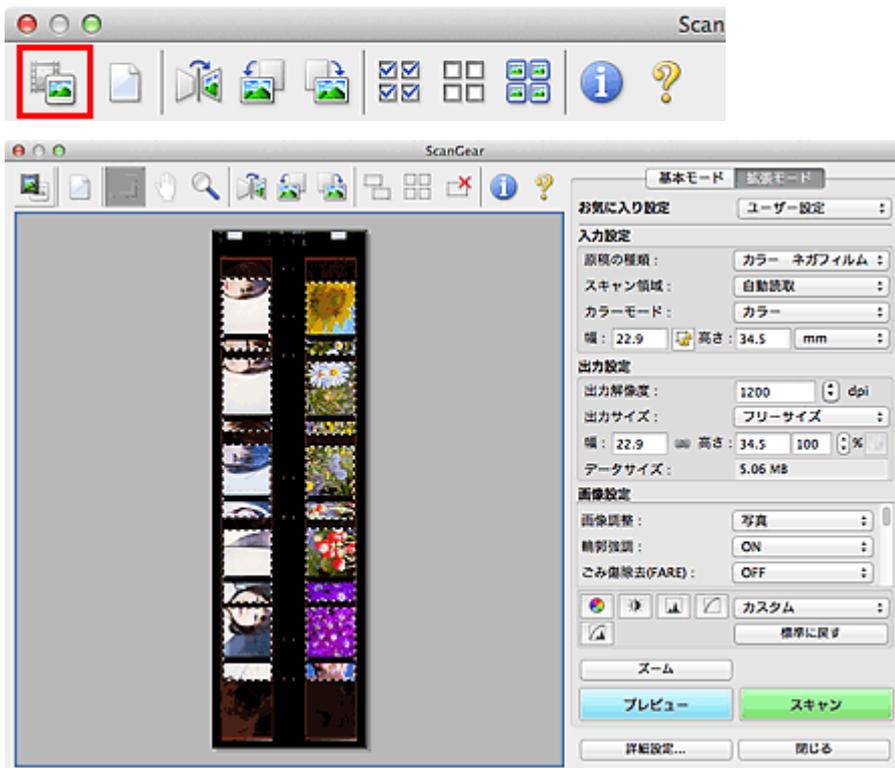
チェック 2 非常に暗いシーンや非常に明るいシーンのフィルム、またはコマの間隔が非常に狭いフィルム（通常の間隔は2 mm（0.08 inch）程度）をスキャンしようとしていませんか

ScanGear（スキャナードライバー）でプレビューしたときに、正常にサムネイル（縮小版）表示されない場合は、以下の手順を行ってください。

ここでは、[拡張モード] シートの例を説明します。

1. ツールバーの （フィルムサムネイル）をクリック

フィルム全体を表示します。



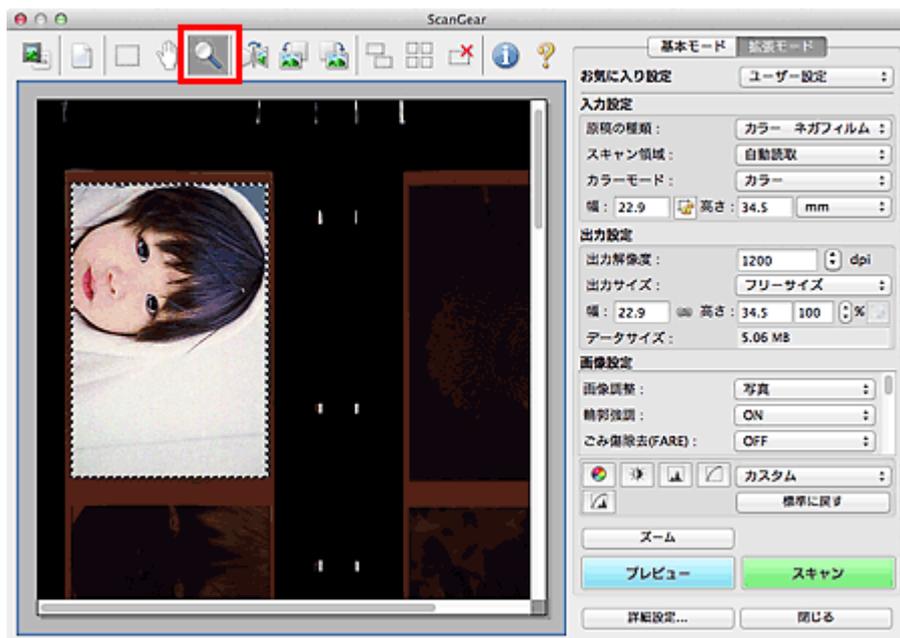
2. 不要なクロップ枠（スキャンする範囲）を選び、（クロップ枠削除）をクリック

クロップ枠を削除します。deleteキーでクロップ枠を削除することもできます。

3. 正常に表示されなかったコマを範囲指定

4.  (拡大/縮小) を選択し、画像上でクリック

プレビュー領域を拡大します。



5.  (クロップ) をクリックし、クロップ枠を目的の大きさに調節

6. 【スキャン】 をクリック

スキャンが開始されます。

チェック 3 フィルム全体表示にしてもクロップされないコマはありませんか

ScanGearの [拡張モード] シートでツールバーの  (フィルムサムネイル) をクリックすると、フィルム全体が表示され、自動的に検出されたコマにクロップ枠が表示されます。スキャンしたいコマが

正しくクロップされていない場合、 [スキャン領域] でスキャンするフィルムサイズを選択し、  (フィルムクロップ枠表示) をクリックしてください。それでも正しくクロップされない場合は、クロップ枠を調整してください。クロップ枠の調整方法については、チェック2の手順2~6をご覧ください。

[ページの先頭へ ▲](#)

S708

スキャンの途中で止まる、または「メモリーが足りません...」の メッセージが出てスキャンができない

チェック 1 適切な解像度または出力サイズへ変更し、スキャンし直してください

➡ 解像度について

チェック 2 スキャンするコマ数を減らす、または逆光補正などの画像設定は必
要なコマにのみ設定してください

[ページの先頭へ▲](#)

インストールのトラブル

- セットアップ CD-ROMが起動しない
- インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった
- 「メモリーが足りません...」のメッセージが出てインストールできない

[ページの先頭へ▲](#)

S724

セットアップ CD-ROMが起動しない

チェック 1 CD-ROMが正しくセットされているか確認してください

セットアップ CD-ROMをセットし直してください。

重要

- [Setup] アイコンをダブルクリックし直接起動してください。[Setup] アイコンが表示されない場合は、CD-ROMドライブが正常に動作していない可能性があります。パソコンの製造元にお問い合わせください。または、セットアップ CD-ROMが壊れている可能性があります。『まず使えるようにしよう（スキャナー基本ガイド）』に記載のお客様相談センターまたは修理受付窓口までご連絡ください。

チェック 2 セットアップ CD-ROMやCD-ROMドライブに、ごみやほこりがついていないか、CD-ROMが手あかなどで汚れていないか確認してください

- CD-ROMのごみやほこりは、やわらかい布で軽くはたくか、軽くぬぐって取り除いてください。
- CD-ROMの手あかなどの汚れは、やわらかい布やめがねクリーナーなどで、CD-ROMに傷を付けないように軽くぬぐって取り除いてください。
- CD/DVDドライブのごみやほこりは、カメラレンズ用のプロアブラシなどで吹き飛ばして取り除いてください。

重要

- CD/DVDドライブのセンサー部を直接布で拭かないでください。CD-ROMを読み取れなくなることがあります。

[ページの先頭へ ▲](#)

S725

インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった

チェック

不要なファイルを削除し、インストール先のハードディスクドライブの空き容量を確保してからインストールし直してください

不要なファイルを削除し、[Finder] メニューから [ゴミ箱を空にする...] を選びます。

[ページの先頭へ▲](#)

S726

「メモリーが足りません...」のメッセージが出てインストールできない

チェック

起動中のアプリケーションソフトを終了するか、パソコンを再起動して、その直後にインストールし直してください

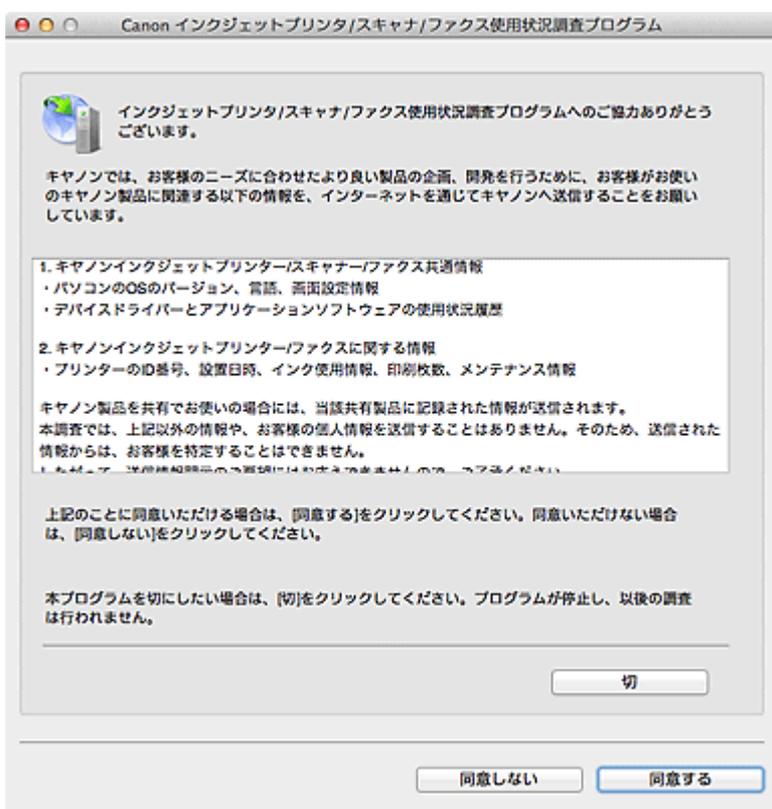
[ページの先頭へ▲](#)

S730

[インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム] について

インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをインストールした場合は、インストールしてから1ヵ月ごとに約10年間、スキャナーおよびアプリケーションソフトの使用状況を送信します。使用状況を送信する時期になるとDock内にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。

クリック後に表示される画面の説明をお読みにになり、次の操作を行ってください。



● 調査に同意される場合

[同意する] をクリックし、表示される画面に従って操作してください。インターネットを通じて使用状況を送信します。操作が完了すると、次回以降は自動送信となり、確認画面は表示されません。

参考

- [次回から自動的に送信する] のチェックマークを外すと、2回目以降の自動送信は行われず、使用状況の送信時にDockにインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。

● 調査に同意されない場合

[同意しない] をクリックします。確認画面が消え、今回は使用状況は送信されません。1ヵ月後に使用状況を送信するための確認画面が再度表示されます。

● 調査を停止する場合

[切] をクリックします。インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが停止し、使用状況は送信されません。調査を再開するには「[設定を変更するには](#)」を参照してください。

- インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合

1. インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムを停止

⇒設定を変更するには

2. Finderの【移動】メニューから【アプリケーション】を選び、【Canon Utilities】フォルダー、【Inkjet Extended Survey Program】フォルダーの順にダブルクリック

3. 【Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム】をゴミ箱にドラッグ&ドロップ

4. 再起動

ゴミ箱を空にして、パソコンを再起動します。

- 設定を変更するには

送信確認画面を表示して使用状況を送信するように変更したり、使用状況の調査を再開させたりしたい場合は、以下の手順に従って操作してください。

1. Finderの【移動】メニューから【アプリケーション】を選び、【Canon Utilities】フォルダー、【Inkjet Extended Survey Program】フォルダーの順にダブルクリック

2. 【Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム】アイコンをダブルクリック



- 【情報の送信時に確認画面を表示しない】：

チェックボックスをオンにすると、使用状況が自動的に送信されます。

チェックボックスをオフにすると、使用状況の送信時にDockにインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。確認画面から送信してください。

- 【切】 / 【入】：

【切】 をクリックすると、インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムを停止します。

【入】 をクリックすると、停止していたインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが再開されます。

S727

IJ Scan Utilityメッセージ/エラーメッセージ一覧

エラー/確認メッセージ	対処方法
本ソフトウェアに対応したスキャナドライバーがインストールされていません。インストールしてから再度実行してください。	<ul style="list-style-type: none">• セットアップ CD-ROMを使ってScanGear（スキャナードライバー）を再インストールしてください。
スキャンしようとした画像は、指定したアプリケーションで開くことができないサイズです。画像のサイズが小さくなるように設定を変更してください。	<ul style="list-style-type: none">• 解像度または出力サイズを小さくしてスキャンし直してください。
メモリー容量が足りません。他のアプリケーションを終了し、メモリー量を増やしてください。	<ul style="list-style-type: none">• IJ Scan Utilityの起動に必要なメモリーが確保できないため、ほかのアプリケーションソフトを終了してください。
必要なファイルがないか、ファイルが壊れています。または設定が正しくありません。再インストールしてください。	<ul style="list-style-type: none">• 「不要になったScanGear（スキャナードライバー）を削除する」に記載されている手順に従ってScanGearを削除したあと、セットアップ CD-ROMを使ってScanGearを再インストールしてください。
ディスクの空き容量が足りないため、読み取りを完了できません。	<ul style="list-style-type: none">• ハードディスク内の不要なファイルを削除してスキャンし直してください。

[ページの先頭へ ▲](#)

S721

ScanGear (スキャナードライバー) メッセージ/エラーメッセージ一覧

エラー/確認メッセージ	対処方法
<p>100MBを超える大きな画像をスキャンしようとしています。この容量の画像をスキャンすると、PCに大きな負担をかけたり、アプリケーションによっては、画像を受け取れない場合があります。</p> <p>続行しますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用のパソコン/アプリケーションソフトを確認後、必要があれば解像度あるいは選択範囲を小さくしてスキャンし直してください。
<p>100MBを超える大きな画像をスキャンしようとしています。</p> <p>この画像をスキャンしたい場合は、画像サイズを小さくするか、全体表示に切り替えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● クロップサイズ、出力解像度、または出力サイズを小さくして、スキャンするデータサイズを100 MB未満に設定してください。 ● または、全体表示に切り替えてスキャンしてください。
<p>スキャナー本体にエラーが発生しました。</p> <p>取扱説明書に従った処理を実行してください。</p> <p>スキャナードライバーを終了します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用のスキャナーとパソコンが正しく接続されていることを確認してください。 ● 「不要になったScanGear (スキャナードライバー) を削除する」に記載されている手順に従ってScanGear (スキャナードライバー) を削除したあと、セットアップ CD-ROMを使ってScanGearを再インストールしてください。 ● ご使用のスキャナーが故障していませんか。パソコンを再起動し、ご使用のスキャナーを接続し直してください。それでも同じエラーメッセージが表示される場合は、別紙サポートガイドに記載のお客様相談センターまたは修理受付窓口までご連絡ください。
<p>以下の理由でスキャナーとの通信ができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - スキャナーの電源が入っていない。 - USBケーブルが正しく接続されていない。 <p>確認してから、やり直してください。</p> <p>スキャナードライバーを終了します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ご使用のスキャナーの電源が入っていることを確認してください。 ● 「不要になったScanGear (スキャナードライバー) を削除する」に記載されている手順に従ってScanGearを削除したあと、セットアップ CD-ROMを使ってScanGearを再インストールしてください。 ● アプリケーションソフトのソース選択が間違っていないか、確認してください。 ● 詳細については、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。 ● USBケーブルの接続を確認し、必要に応じて接続し直してください。
<p>必要なファイルがないか壊れている、または設定が正しくありません。</p> <p>再インストールしてください。</p> <p>スキャナードライバーを終了します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「不要になったScanGear (スキャナードライバー) を削除する」に記載されている手順に従ってScanGearを削除したあと、セットアップ CD-ROMを使ってScanGearを再インストールしてください。
<p>ロックスイッチを解除し、本体の電源を入れ直してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ロックスイッチを解除し、スキャナーの電源を入れ直してください。

<p>スキャナードライバーを終了します。</p>	<p>スキャナーのロックスイッチを解除してもメッセージが表示される場合は、スキャナーが故障している可能性があります。別紙サポートガイドに記載のお客様センターまでご連絡ください。</p>
<p>ファイルの書き込みまたは読み出しができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 起動中のアプリケーションソフトを終了したあと、ハードディスクに十分な空きがあるか確認し、スキャンし直してください。
<p>読取を完了するために必要なディスクの空き容量がありません。 スキャナードライバーを終了します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ハードディスク内の不要なファイルを削除してスキャンし直してください。
<p>アプリケーションが48ビットカラーもしくは16ビットグレースケールに対応していなければ、画像を転送することはできません。 また、これらに対応しているアプリケーションでも、読取サイズによっては画像を受け取れないことがあります。続けますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 48ビットカラーもしくは16ビットグレースケールに対応していないアプリケーションソフトをご使用の場合には、[キャンセル] を選び、カラーモードで「カラー」または「グレー」を選んで、再度スキャンしてください。
<p>21000 x 30000 pixels 以下になるようにクロープサイズ、出力サイズ、または出力解像度を小さくし、かつ、データサイズも1.8GB 以下でないとスキャンできません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • クロープサイズ、出力解像度、または出力サイズを小さくして、スキャンするデータサイズを1.8 GB以下に設定してください。 • 50000 x 50000 pixels以下（データサイズは4.0 GB以下）の場合、「[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログ」の[保存設定]にある[大容量の画像のスキャンを有効にする]をオンにすると、スキャンできます。
<p>50000 x 50000 pixels 以下になるようにクロープサイズ、出力サイズ、または出力解像度を小さくし、かつ、データサイズも4.0GB 以下でないとスキャンできません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • クロープサイズ、出力解像度、または出力サイズを小さくして、スキャンするデータサイズを4.0 GB以下に設定してください。

仕様

装置の概要

形式	フラットベッド型（原稿固定型）
センサータイプ	CCD（12ライン カラーイメージセンサー）
光源	白色LED
光学解像度 *	透過原稿：9600 X 9600 dpi 反射原稿：4800 X 4800 dpi * 光学解像度は、ISO 14473規格をもとに、原稿を読み取る際の最大のサンプルリングレートを表しています。
読み取り解像度	25 ～ 19200 dpi（ソフトウェア補間）
読み取り階調（入力/出力）	カラー：48ビット（RGB各色16ビット）入力/48ビットまたは24ビット（RGB各色16ビットまたは8ビット）出力 グレースケール：48ビット（RGB各色16ビット）入力/16ビット*または8ビット出力 * フィルムのみ対応。
インターフェース	Hi-Speed USB * * Hi-Speed USBモードのWindows環境における最速値。コンピューターへの転送時間は含みません。実際の速度は、スキャンする原稿やスキャンの設定、コンピューターの仕様等により変化します。
最大原稿サイズ	A4/レター、216 X 297 mm
フィルムタイプ/読み取りコマ数	35 mmスリーブ（最大12コマ）、35 mmマウント（最大4コマ） プローニー（最大6 x 22 cm、スリーブのみ）
EZボタン	7ボタン（AUTO SCAN、PDF x 4、COPY、E-MAIL）
動作環境	温度：10 ～ 35 °C 湿度：10 ～ 90 % RH、フィルムスキャン時20 ～ 80 % RH（結露しないこと）
電源	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz （付属の電源コードはAC 100 V用です）
消費電力	動作時（最大）：約12 W 待機時（スリープ時）：約0.9 W *1*2 電源OFF時：約0.5 W *1*3 *1 USB接続時。 *2 スリープへの移行時間は変更できません。 *3 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
外形寸法	約270 mm（横） X 480 mm（奥行き） X 111 mm（高さ）
質量	本体 約4.6 kg

動作条件

OSの動作条件が高い場合はそれに準じます。

Windows

	Windows 8
--	-----------

OS	Windows 7、Windows 7 SP1 Windows Vista SP1、Vista SP2 Windows XP SP3 (32-bitのみ) Windows RTで使用できる機能については、ホームページを参照ください。
ブラウザ	Internet Explorer 8 以上
ハードディスク空き容量	3 GB 以上 注) 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量。 容量は予告なく変更となる場合があります。
CD-ROMドライブ	必要
表示環境	XGA 1024 X 768 以上

Mac OS

OS	Mac OS X v10.6.8以上
ブラウザ	Safari 5 以上
ハードディスク空き容量	1.5 GB 以上 注) 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量。 容量は予告なく変更となる場合があります。
CD-ROMドライブ	必要
表示環境	XGA 1024 X 768 以上

- Windows OSでご使用になる場合、.NET Framework 4または4.5のインストールが必要です。
- Windows XPでご使用になる場合、XPS Essentials Packが必要です。
- Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XPのいずれかがプレインストールされているコンピューターが必要です。
- Windows Media Centerでは、一部の制限があります。
- Mac OS拡張（ジャーナリング）またはMac OS拡張でフォーマットされたハードディスクが必要です。
- Mac OSでご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、ネットワーク接続が必要になります。
- TWAINドライバー（ScanGear）はTWAIN 1.9 Specificationに準拠しています。
TWAINドライバー（ScanGear）を使用する場合はOS提供のData Source Managerが必要です。

仕様は、予告なく変更することがあります。

[ページの先頭へ▲](#)

電子マニュアルの使いかた、印刷方法

- [電子マニュアルを操作する](#)
- [電子マニュアルを印刷する](#)
- [調べたい項目をキーワードで探す](#)
- [マイマニュアルに登録する](#)
- [本文中の記号](#)
- [商標、ライセンスについて](#)
- [電子マニュアルを削除する](#)

[ページの先頭へ ▲](#)

電子マニュアルを操作する

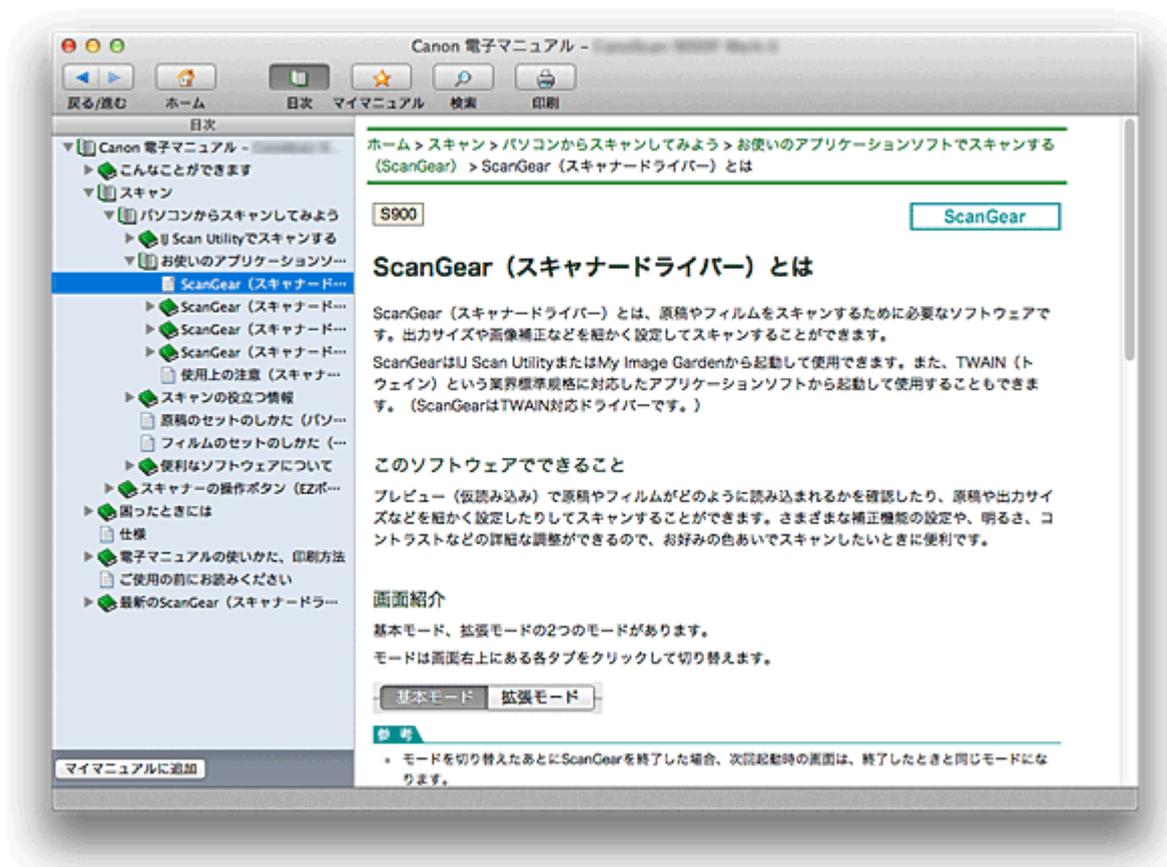
電子マニュアルの操作について



(1) [戻る/進む] をクリックすると、前に表示した文書に戻したり、戻した文書を進めたりすることができます。

(2) [ホーム] をクリックすると、説明画面に電子マニュアルのトップページが表示されます。

目次画面の操作について



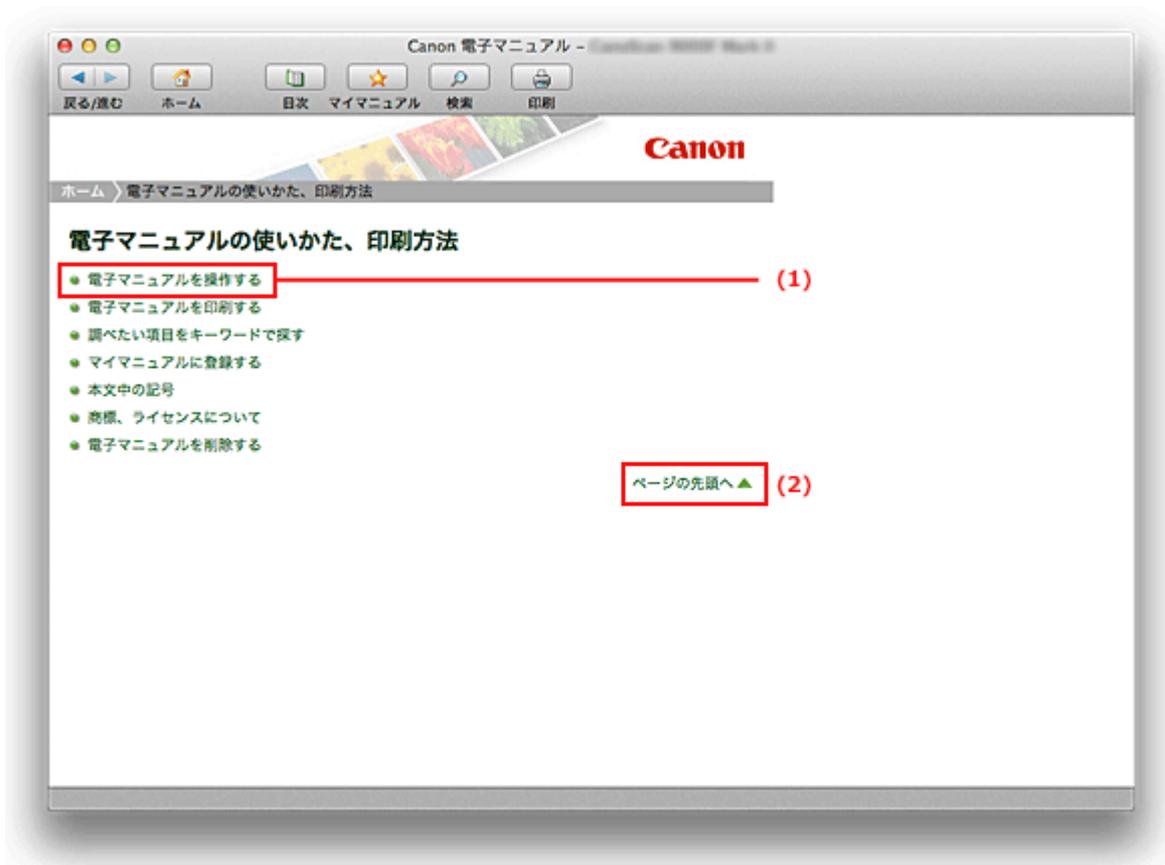
電子マニュアルの左側の、目次画面に表示されている文書タイトルをクリックすると、そのタイトルの文書が右側の説明画面に表示されます。

 の左側の  をクリックすると、下の階層の文書タイトルが表示されます。

参考

-  「目次」をクリックすることで、目次画面を閉じたり表示したりすることができます。

説明画面について



(1) 緑の文字をクリックすると、該当する文書にジャンプします。

(2) この文書の先頭へジャンプします。

操作説明で使用している画面について

この電子マニュアルでは、おもにMac OS X v10.7をお使いの場合に表示される画面で説明しています。

ページの先頭へ▲

電子マニュアルを印刷する



 [印刷] をクリックすると、電子マニュアルの左側に印刷画面が表示されます。

参考

-  [印刷] をクリックすることで、印刷画面を閉じたり表示したりすることができます。

印刷には次の4種類の方法があります。

- 現在の文書を印刷
- 選択した文書を印刷
- マイマニュアルを印刷
- すべての文書を印刷

現在の文書を印刷

現在表示されている文書を印刷することができます。

1. 【対象の選択】から【現在の文書】を選択

【印刷する文書】リストに、現在表示されている文書のタイトルが表示されます。

参考

- 【リンク先の文書も印刷】にチェックマークを付けると、現在の文書のリンク先の文書も印刷することができます。リンク先の文書は【印刷する文書】リストに追加されます。
- 【印刷プレビュー】をクリックすると、印刷前にどのような印刷結果になるかを表示し、確認することができます。

2. 【印刷開始】をクリック

印刷ページ数を確認するメッセージが表示されます。

何ページ分印刷されるかを確認し、【はい】をクリックすると、プリントダイアログが表示されま
す。

3. 印刷を実行

必要な項目を設定し、【プリント】をクリックします。

現在表示されている文書が印刷されます。

選択した文書を印刷

印刷したい文書を選んで、印刷することができます。

1. 【対象の選択】から【選択した文書】を選択

【印刷する文書】リストに、すべての文書のタイトルが表示されます。

2. 印刷する文書を選択

【印刷する文書】リストから、印刷したい文書のタイトルを選んでチェックマークを付けます。

参考

- 【下の階層の文書も選択】にチェックマークを付けると、その下の階層にあるすべての文書タイトルに
チェックマークが付きます。
- 【すべて選択】をクリックすると、すべての文書タイトルにチェックマークが付きます。
【すべてクリア】をクリックすると、すべての文書タイトルのチェックマークが外れます。
- 【印刷プレビュー】をクリックすると、印刷前にどのような印刷結果になるかを表示し、確認することが
できます。

3. 【印刷開始】をクリック

印刷ページ数を確認するメッセージが表示されます。

何ページ分印刷されるかを確認し、【はい】をクリックすると、プリントダイアログが表示されま
す。

4. 印刷を実行

必要な項目を設定し、【プリント】をクリックします。

チェックマークを付けた文書がすべて印刷されます。

マイマニュアルを印刷

マイマニュアルに登録されている文書を選んで、印刷することができます。

マイマニュアルについての詳細は「[マイマニュアルに登録する](#)」を参照してください。

1. 【対象の選択】から【マイマニュアル】を選択

【印刷する文書】リストに、マイマニュアルに登録されている文書のタイトルが表示されます。

2. 印刷する文書を選択

【印刷する文書】 リストから、印刷したい文書のタイトルを選んでチェックマークを付けます。

参考

- 【すべて選択】 をクリックすると、すべての文書タイトルにチェックマークが付きます。
【すべてクリア】 をクリックすると、すべての文書タイトルのチェックマークが外れます。
- 【印刷プレビュー】 をクリックすると、印刷前にどのような印刷結果になるかを表示し、確認することができます。

3. 【印刷開始】 をクリック

印刷ページ数を確認するメッセージが表示されます。

何ページ分印刷されるかを確認し、【はい】 をクリックすると、プリントダイアログが表示されます。

4. 印刷を実行

必要な項目を設定し、【プリント】 をクリックします。

チェックマークを付けた文書がすべて印刷されます。

すべての文書を印刷

電子マニュアルのすべての文書を印刷することができます。

1. 【対象の選択】 から【すべての文書】 を選択

【印刷する文書】 リストにすべての文書タイトルが表示され、自動的にチェックマークが付けられます。

参考

- チェックマークを外すと、該当する文書は印刷されません。
- 【すべて選択】 をクリックすると、すべての文書タイトルにチェックマークが付きます。
【すべてクリア】 をクリックすると、すべての文書タイトルのチェックマークが外れます。
- 【印刷プレビュー】 をクリックすると、印刷前にどのような印刷結果になるかを表示し、確認することができます。

2. 【印刷開始】 をクリック

印刷ページ数を確認するメッセージが表示されます。

何ページ分印刷されるかを確認し、【はい】 をクリックすると、プリントダイアログが表示されます。

3. 印刷を実行

必要な項目を設定し、【プリント】 をクリックします。

すべての文書が印刷されます。

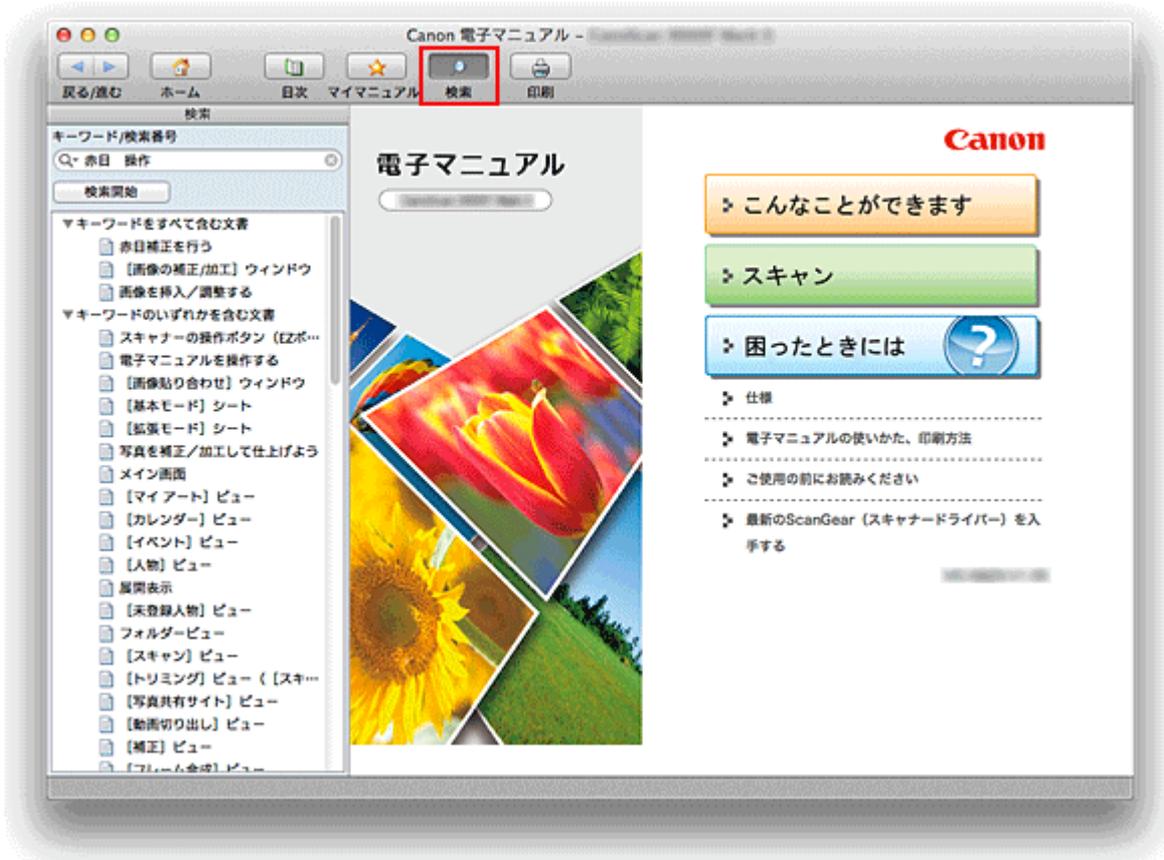
重要

- すべての文書を印刷する場合、多くの用紙が必要になります。メッセージに表示される印刷ページ数を十分に確認した上で印刷を行ってください。

調べたい項目をキーワードで探す

キーワードを入力して、目的の文書を探すことができます。

現在表示している電子マニュアルの、すべての文書を検索します。



1. [検索] をクリック

電子マニュアルの左側に検索画面が表示されます。

参考

-  [検索] をクリックすることで、検索画面を閉じたり表示したりすることができます。

2. キーワードを入力

[キーワード/検索番号] に調べたい項目のキーワードを入力します。

複数のキーワードを入力したい場合は、キーワードとキーワードの間にスペースを入力してください。

参考

- キーワードは最大10語まで、また文字数は最大255文字まで入力することができます。
- 大文字・小文字は区別しません。
- スペースを含んだキーワードの検索も可能です。
- 読みたい文書をより早く見つけるためには、キーワードを次のように入力すると便利です。
 - 機能を使っていて操作を知りたいとき：
パソコンに表示されたメニュー名などを入力（例：画像貼り合わせ）

- 目的に応じた操作説明を調べたいとき：
機能+印刷したいアイテムを組み合わせて入力（例：スキャン フィルム）
-

3. 【検索開始】をクリック

検索が開始され、キーワードを含む文書のタイトルが検索結果のリストに表示されます。
複数のキーワードを入力して検索を行った場合、以下のように検索結果が表示されます。

【完全に一致するキーワードを含む文書】

入力したキーワード間のスペースを含めて1つのキーワードとし、それが含まれている文書（完全一致）

【キーワードをすべて含む文書】

入力した各キーワードがすべて含まれている文書

【キーワードのいずれかを含む文書】

入力した各キーワードのうち、少なくとも1つ以上のキーワードが含まれている文書

4. 読みたい文書を表示

検索結果のリストから、読みたい文書のタイトルをダブルクリックするか、タイトルを選んでReturnキーまたはEnterキーを押します。

そのタイトルの文書が表示され、検索したキーワードがハイライトで表示されます。

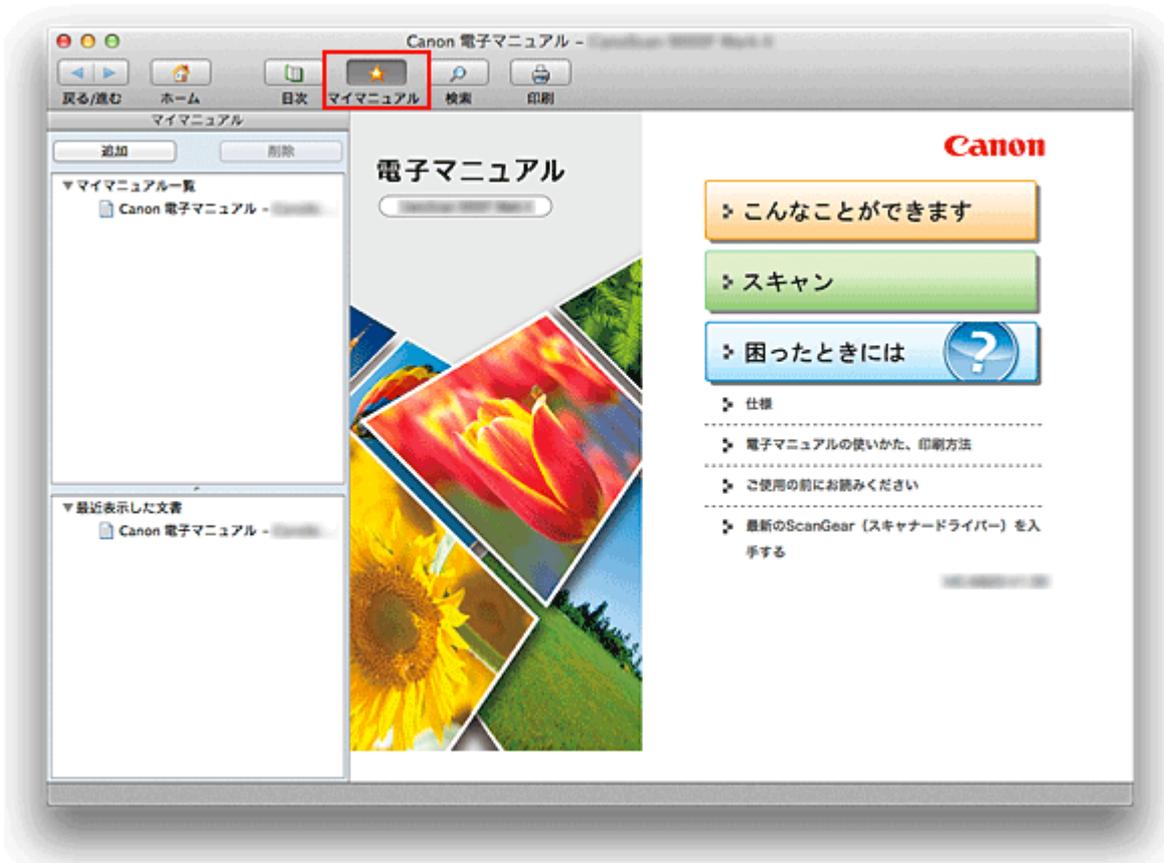
参考

- キーワードを入力しなおして複数回検索を行うと、検索履歴が残ります。検索履歴を削除したい場合は、[キーワード/検索番号]の左側にある  をクリックして表示される [履歴のクリア] を選んでください。
-

[ページの先頭へ▲](#)

マイマニュアルに登録する

よく読む文書をマイマニュアルとして登録し、いつでも簡単に参照することができます。



1. 文書を表示

マイマニュアルに追加したい文書を表示させます。

2. [マイマニュアル] をクリック

電子マニュアルの左側にマイマニュアル画面が表示されます。

参考

-  [マイマニュアル] をクリックすることで、マイマニュアル画面を閉じたり表示したりすることができます。

3. マイマニュアルに登録

[追加] をクリックします。

現在表示されている文書のタイトルが、[マイマニュアル一覧] に追加されます。

参考

- 次の方法でもマイマニュアルに追加することができます。マイマニュアルに追加すると、目次画面の文書のアイコンには  マークが表示されます。
 - [最近表示した文書] リストから、マイマニュアルに追加したい文書タイトルをダブルクリックするか、文書タイトルを選んでReturnキーまたはEnterキーを押して表示させ、[追加] をクリック
 -  [目次] をクリックし、Controlキーを押したまま目次画面で表示されている文書タイトル、

または説明画面をクリックして、ショートカットメニューにある [マイマニュアルに追加] を選択

- 目次画面でマイマニュアルに追加したい文書タイトルを選び、目次画面の左下にある [マイマニュアルに追加] をクリック
-

4. マイマニュアルを表示

[マイマニュアル一覧] に表示されている文書タイトルをダブルクリックするか、文書タイトルを選んでReturnキーまたはEnterキーを押すと、その文書が説明画面に表示されます。

参考

- [マイマニュアル一覧] から文書を削除したい場合は、一覧から文書タイトルを選び、[削除] をクリックします（またはDeleteキーを押します）。
-

[ページの先頭へ▲](#)

本文中の記号

重要

守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

基本

本製品の基本的な操作について説明しています。

[ページの先頭へ▲](#)

商標、ライセンスについて

- Microsoftは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、AirMac、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touchおよびSafariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。AirPrint、AirPrintロゴは、Apple Inc.の商標です。
- Adobe、Photoshop、Adobe RGBおよびAdobe RGB (1998)は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

参考

- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista operating systemです。
-

Exif Printについて

本製品は、「Exif Print」に対応しています。

Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。

Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報をもとに、撮影条件や撮影シーンなどに適したプリント結果を得ることができます。

電子マニュアルについて

本マニュアルに掲載されている文章や写真、画像の全部または一部について、複製・転用・転載などを行うことはできません。

[ページの先頭へ▲](#)

電子マニュアルを削除する

インストールした電子マニュアル（取扱説明書）を削除する操作について説明します。

電子マニュアルを削除する前に、開いている電子マニュアルをすべて終了させてください。

1. Finderの【移動】メニューから【アプリケーション】を選択
2. 【Canon Utilities】フォルダー、【IJ Manual】フォルダーの順にダブルクリック
3. 電子マニュアルを削除

お使いの機種名のフォルダーをゴミ箱にドラッグします。

参考

- デスクトップ上に電子マニュアル（取扱説明書）のアイコンがある場合は、ゴミ箱にドラッグしてください。

[ページの先頭へ▲](#)

ご使用前にお読みください

本製品をご使用いただく前に、かならずお読みください。

SA-0129-V1.00_1

ご使用になる前に

安全にお使いいただくために

■設置場所について

- ・不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。
- ・湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。
- ・狭い棚に押し込んだり、テーブルクロスをかけたり、毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。
本製品内に熱がこもり、故障の原因になることがあります。
- ・急激な温度変化がある場所には設置しないでください。
温度の低い場所から高い場所へ移動すると、結露が生じ、画像不良の原因になることがあります。この場合は、しばらく放置し環境に十分慣らしてからご使用ください。
- ・直射日光や強い光が当たる場所では使用しないでください。画像不良や故障の原因になることがあります。やむを得ず、日光の当たる場所で使用する場合、厚手のカーテンなどで光をさえぎってください。
- ・使用環境については、電子マニュアル（取扱説明書）の「仕様」をお読みください。
- ・本製品は、周囲に十分なスペースをとって設置してください（周囲約 20cm）。背面などを壁につけて置かないでください。

■電源について

- ・いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲には物を置かないでください。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
コードを引っ張ると、電源コードが傷つくことがあります。
- ・延長コードを複数接続しないでください。
- ・ケーブル類の抜き差し時は、過度な力を加えないでください。
- ・万一の感電を防止するために、コンピューターのアース接続をお勧めします。

■取扱いについて

- ・本製品の上に物を置かないでください。
特にクリップやホチキス針などの金属物や液体・可燃性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
- ・原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、原稿台カバーを強く押さえないでください。
原稿台ガラスが破損することがあります。
- ・原稿台カバーは、完全に止まるまで手を添えて開閉してください。
- ・原稿台に 2kg 以上の物を乗せないでください。また原稿台カバー、原稿台ガラスやフィルム読み取り光源部ガラスを強く（2kg を超える力で）押さないでください。

- ・本製品に辞書などの重いものを落とさないでください。また、原稿台ガラスやフィルム読み取り光源部ガラスに強い衝撃を与えないでください。
- ・本製品を持ち運ぶときは、ケーブル類を外してください。ケーブル類が破損することがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際エネルギースタープログラムについて

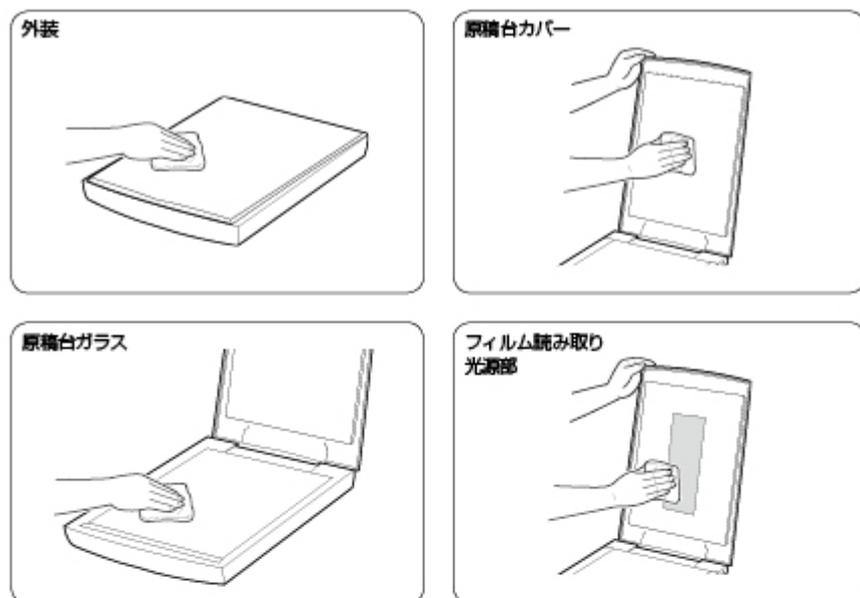


当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

日常のお手入れについて

本製品をご使用中に、外装や原稿台ガラス、原稿台カバーなどに汚れやほこりが付着したときは、次のような方法でふき取ってください。

1. 本製品に接続しているケーブル類を本製品から外します。
2. 原稿台ガラスや原稿台カバー、フィルム読み取り光源部の汚れやほこりは、柔らかい乾いた布でふき取ります。汚れがひどい場合は水を含ませて固く絞った布を使用し、その後柔らかい乾いた布で水気をふき取ってください。特にガラス面は、ふきあとが残らないように十分にふき取ってください。ティッシュやきめの粗い布などを使用すると表面に傷がつくことがありますので使用しないでください。
 - ・水気は十分にふき取ってください。ガラス面や原稿台カバー、フィルム読み取り光源部に水気が残ったままスキャンすると画像に影響がでる場合があります。
 - ・本体背面のコネクタ類や金属部分は濡らさないでください。もし水気が付いたときは、乾いた布で水気を十分にふき取ってください。
 - ・水で濡らした布をよく絞らずにふいたり、水や洗剤を直接噴霧しないでください。本製品内部に水分が侵入し、原稿台ガラスの内側やセンサーなどに付着し画像不良や故障の原因となることがあります。
 - ・絶対にアルコールやシンナー、ベンジンなどを使わないでください。外装が変形や変色したり、溶解したりすることがあります。



使用済み製品の廃棄について

本製品をご家庭で使用された場合は「一般廃棄物」、業務上使用された場合は「産業廃棄物」として廃棄処理をお願いしております。

ご家庭で使用された場合は、お住まいの地方自治体のルールに従い、一般廃棄物として廃棄をお願いいたします。

業務上使用された場合は、産業廃棄物として廃棄をお願いいたします。

また、キヤノンホームページ (canon.jp/ecology) でも処理についてのご案内をしておりますので、ご確認ください。

S960

最新のScanGear（スキャナードライバー）を入手する

現在使用しているScanGear（スキャナードライバー）から最新のScanGearにバージョンアップすると、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。

ScanGearのバージョンを確認する

ScanGearを起動し、（情報）をクリックすると、ScanGearのバージョンが表示されます。

ScanGearを入手する

ScanGearを入手するには、「[キャノンダウンロードホームページ](https://www.canon.jp/download)」（[canon.jp/download](https://www.canon.jp/download)）にアクセスし、ご使用の機種^①のScanGearをダウンロードしてください。

重要

- ScanGearは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- 最新のScanGearは、前のバージョンを削除してからインストールしてください。ScanGearを削除する方法については、「[不要になったScanGear（スキャナードライバー）を削除する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [ScanGear（スキャナードライバー）をインストールする前に](#)
- [ScanGear（スキャナードライバー）をインストールする](#)

[ページの先頭へ▲](#)

S962

ScanGear（スキャナードライバー）をインストールする前に

ScanGear（スキャナードライバー）をインストールする前に、以下の内容を確認してください。ScanGearがインストールできない場合にもご覧ください。

本製品の状態を確認する

- USBケーブルで本製品とパソコンを接続している場合は、パソコン側のUSBケーブルを抜いてください。
- 本製品の電源を切ってください。

パソコンの設定を確認する

- 起動中のアプリケーションソフトはすべて終了してください。
- コンピューターの管理者としてログインしてください。管理者の権限を持ったユーザーの名前とパスワードを入力する必要があります。Mac OS Xを複数のユーザーでご使用の場合は、最初に登録した管理者のアカウントでログインしてください。

重要

- 本ScanGearをインストールしたあと、本ScanGearのバージョンより古いバージョンのScanGearをインストールすると、ScanGearが正常に動作しなくなる場合があります。その場合は、本ScanGearを再インストールしてください。

参考

- 複数のScanGearをインストールする場合は、バージョンの古いScanGearからインストールしてください。

関連項目

- [最新のScanGear（スキャナードライバー）を入手する](#)
- [ScanGear（スキャナードライバー）をインストールする](#)

[ページの先頭へ▲](#)

S963

ScanGear（スキャナードライバー）をインストールする

インターネット経由で、「キャノンダウンロードホームページ」（canon.jp/download）にアクセスすると、最新のScanGear（スキャナードライバー）をダウンロードすることができます。

入手したScanGearをインストールする手順を説明します。

1. ディスクをマウント

ダウンロードしたディスクイメージファイルをダブルクリックします。

ファイルが解凍され、ディスクがマウントされます。

2. インストーラーを起動

解凍されたディスクの中の「.mpkg」ファイルをダブルクリックします。

インストールが開始されます。

3. ドライバーをインストール

画面のメッセージに従って、インストールを行います。

使用許諾契約画面が表示されたら、内容を確認して [続ける] をクリックしてください。使用許諾契約に同意いただけない場合は、本ソフトウェアをインストールできません。

認証画面が表示された場合は、管理者の名前とパスワードを入力し、 [ソフトウェアをインストール]（Mac OS X 10.6をご使用の場合は [OK]）をクリックしてください。

4. インストールを完了

ScanGearがインストールされます。

重要

- 途中で [戻る] をクリックすると、インストールが正常に終了しないことがあります。その場合は、 [インストーラ] メニューから [インストーラを終了] を選び、一度インストーラーを終了してから、インストールをやり直してください。
- ScanGearは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

関連項目

- [最新のScanGear（スキャナードライバー）を入手する](#)
- [不要になったScanGear（スキャナードライバー）を削除する](#)
- [ScanGear（スキャナードライバー）をインストールする前に](#)

S961

不要になったScanGear（スキャナードライバー）を削除する

使わなくなったScanGear（スキャナードライバー）は削除することができます。

ScanGearを削除するときには、使用中のアプリケーションソフトを終了させ、本製品とパソコンが接続されているUSBケーブルを取り外してください。

1. ScanGearを削除

Finderの [移動] メニューから [コンピュータ] を選びます。

ScanGearをインストールしたハードディスクから [ライブラリ] フォルダー、 [Image Capture] フォルダー、 [TWAIN Data Sources] フォルダーの順に開き、下記のファイルをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

- ・ 「CanoScan XXX.ds」（「XXX」は機種名）

2. パソコンを再起動

ゴミ箱を空にして、パソコンを再起動します。

重要

- 管理者の権限を持ったユーザーでログインしていない場合は、ScanGearの削除はできません。管理者ユーザーについては、Mac OSの使用説明書を参照してください。

[ページの先頭へ▲](#)